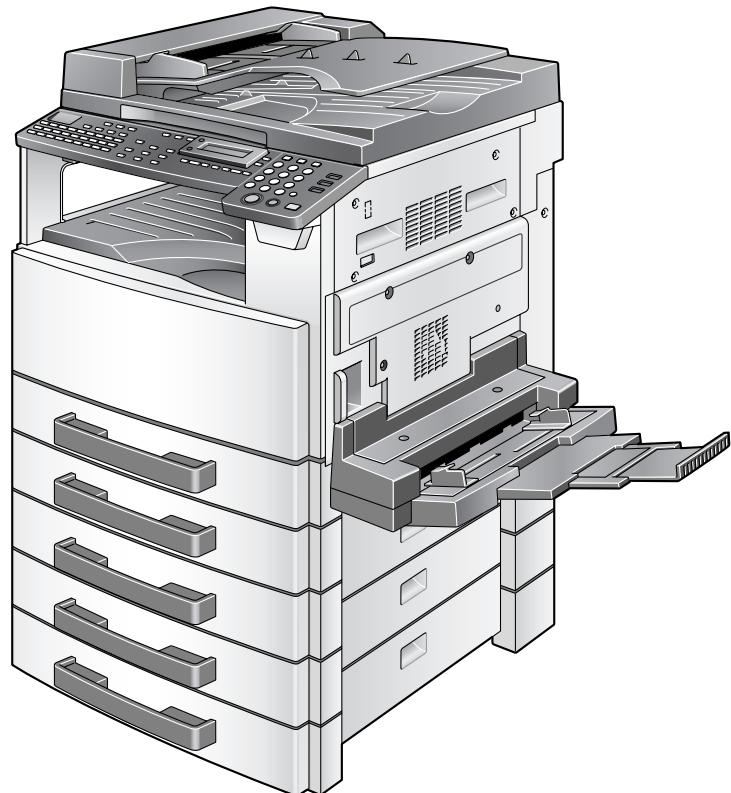


bizhub 162f

ユーザーズガイド



本書に、乱丁、落丁などがありましたら、サービス実施店もしくは、最寄の販売店にご連絡ください。新しいものとお取替えいたします。

はじめに

- ディスクパッケージの包装を開封される前に、必ず下記の「ソフトウェア使用許諾契約書」をお読み下さい。本契約にご同意いただけた場合のみ、本製品をご使用いただくことができます。

■ ソフトウェア使用許諾契約

コニカミノルタビジネスソリューションズ株式会社（以下「弊社」といいます）は、本契約とともにご提供する上記のプログラム製品（以下「本ソフトウェア」といいます）を使用する権利を下記条項に基づきお客様に許諾します。本契約で許諾される以外は、お客様は本ソフトウェアにおけるいかなる知的財産権をも得るものではありません。

(1) 使用許諾

- ① お客様は、本ソフトウェアがデジタル複合機「bizhub 162f」（以下「弊社製品」といいます）を使用するためのみ、本ソフトウェアを1台又は複数台のコンピュータにインストールし、実行することができます。
- ② お客様は、前項のほか、バックアップの目的に限って、本ソフトウェアを1部のみ複製することができます。

(2) 著作権

本ソフトウェアは、著作権および国際条約により保護されています。本ソフトウェアの著作権は、本ソフトウェアに記載された法人又は個人に帰属しています。

(3) 謙渡

お客様が本ソフトウェアの謙渡を希望する場合は、お客様は、改変されていない完全な本ソフトウェア及び本契約書を含む付属の文書を引き渡すこと、謙渡後、本ソフトウェアの複製物を直ちに破棄し、一切の複製物を所持しないこと、かつ謙渡人が本契約の条項に同意することを条件として、本契約に基づくお客様の権利を謙渡することができます。本ソフトウェアがバージョンアップされている場合は、バージョンアップ版及び以前のバージョンの一切を併せて謙渡しなければなりません。この謙渡によって、お客様への使用許諾は終了し、謙渡人は、本契約の受諾に基づき本ソフトウェアの使用許諾を得るものとします。

(4) 禁止条項

- ① お客様は、本契約及び法律で許されている場合を除いて、本ソフトウェアを複製又は改変することはできません。
- ② お客様は、弊社の書面による事前の承諾なく、第三者によるダウンロード等の用に供するために本ソフトウェアをネットワーク上に掲示することはできません。

(5) 保証及び責任

- ① 弊社は弊社製品の購入日より90日間、本ソフトウェアの記録媒体及び付属の取扱説明書等文書に瑕疵がないことを保証いたします。但し、本ソフトウェアのプログラム自体について現状通りとし、機能上、性能上の保証はいたしません。
- ② 本ソフトウェアの欠損が、お客様の故意、過失、誤用またはその他の異常な条件下での使用により生じた場合には、弊社は、保証の責任を負いません。
- ③ お客様による本ソフトウェアの操作または使用不能から生ずる損害（事業利益の損失、事業の中止、事業情報の損失又はその他の金銭的損害を含むがこれらに限定されない）に対しては、弊社は一切その責任を負わないものとします。たとえ弊社がかかる損害の可能性について知らされていた場合でも同様です。

1
設置・
取扱い
の注意

2
おかい
になる
まえに

3
コピー
をとる
まえに

4
コピーの
とりかた

5
一歩
進んだ
コピーの
とりかた

6
ファックス
の使い
かた

7
便利な
送信と
受信

8
ユーティリティ
/コピー設定

9
ユーティリティ
/ファックス設定

10
こんな
メッセージ
が表示
されたら

11
故障かな?
と思ったら

12
その他

(6) 契約の終了

- ① お客様は、本ソフトウェア及び本ソフトウェアの複製物を全て破棄することにより、本契約を終了させることができます。
- ② お客様が本契約に違反した場合、弊社はこの使用許諾契約を解除することができます。その場合、お客様は、本ソフトウェア及び本ソフトウェアの複製物を全て破棄することに同意するものとします。

本製品の仕様は、改良のため、予告なしに変更することがあります。

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

このユーザーズガイドは、bizhub 162f の機能と操作方法、使用上のご注意、簡単なトラブルの処置方法などについて記載しています。本機の性能を十分に発揮させて、効果的にご利用いただくために、ご使用の前にこのユーザーズガイドを最後までお読みください。お読みになったあとは必ずユーザーズガイドホルダーに入れて保管してください。ご使用中わからぬことや、不都合が生じたとき、きっとお役に立ちます。

ユーザーズガイド内で使用しているイラスト等は、実際の機械とは異なる場合があります。

■ 国際エネルギースタープログラム



当社は、国際エネルギースタープログラムの参加業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

国際エネルギースタープログラム対象製品とは？

国際エネルギースタープログラム対象製品とは、地球温暖化抑制に貢献する事を目的に作られた製品です。一定時間印刷を行わない場合、自動的に低電力モードに移行する機能が搭載されています。この機能により本機未使用時の効率的および、経済的な電力の使用ができます。

■ エコマーク



本機は資源採取からリサイクルまでのライフサイクル全体を通して環境に配慮し、エコマーク認定された製品です。

エコマークとは？

環境省の指導のもとに環境にやさしい社会の実現に向けて、財団法人日本環境協会が制定した認証です。

「製品の製造、使用、廃棄等による環境への負荷が相対的に少ない商品」、また、「この製品を利用することにより、他の原因から生ずる環境への負荷を極力抑えることができる商品」に認定されます。

■ 商標、著作権等について

KONICA MINOLTA、KONICA MINOLTA ロゴ、The essentials of imaging は、コニカミノルタホールディングス株式会社の登録商標です。

PageScope、bizhub はコニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社の登録商標です。

Netscape Communications、Netscape Communications ロゴ、Netscape Navigator、Netscape Communicator および Netscape は、Netscape Communications Corporation の商標です。

This machine and PageScope Box Operator are based in part on the work of the Independent JPEG Group.

Compact-VJE

Copyright 1986-2003 VACS Corp.

もくじ

はじめに	1
ソフトウェア使用許諾契約	1
国際エネルギースタープログラム	3
エコマーク	3
商標、著作権等について	4
もくじ	5
こんなコピーがとれます	14
コピー	14
倍率	14
仕上げ	15
応用	15
原稿	16
ファックスでこんなことができます	17
送信	17
受信	18
ページの見かた	20
原稿および用紙の呼び方と表示	21
排出面と通紙方向	21
幅と長さ	21
タテ	21
ヨコ	22
コピー禁止事項	23
法律によりコピーを禁止されているもの	23
著作権の対象となっているもの	23
注意を必要とするもの	23
機械・消耗品のリサイクル／リユース	24
使用済みのトナー・ボトル・イメージングユニット	24
使用済みのドラム（感光体）	24
本機廃棄について	24
2次電池（充電式バッテリー）の使用について	24
ご使用にあたってのお願い	25
第1章 設置・取扱いの注意	1-1
1.1 安全にご使用いただくために	1-2
絵表示の意味	1-2
図記号の例	1-2
1.2 適合宣言文	1-9
レーザーの安全性	1-9
内部レーザー放射	1-9
レーザー安全ラベル	1-10
オゾン放出	1-10
電波障害について	1-10
高調波対策ガイドライン	1-10
1.3 設置上のご注意	1-11
設置環境	1-11
設置電源	1-11

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

設置スペース	1-12
1.4 使用上のご注意	1-13
使用環境	1-13
本機使用上のご注意	1-13
転居、移動	1-13
消耗品の取り扱い上のご注意	1-14
コピー／プリントの保存について	1-14
第2章 おつかいになるまえに	2-1
2.1 装置全体の構成とはたらき	2-2
2.2 各部の名称とはたらき	2-4
本体	2-4
本体内部	2-6
自動原稿送り装置／マルチ手差し給紙ユニット（オプション）	2-7
ペーパーフィーダーユニット（オプション）	2-8
セパレータ（オプション）	2-9
2.3 操作パネル部の名称とはたらき	2-10
操作パネル部の名称とはたらき	2-10
ディスプレイの角度の変えかた	2-15
ディスプレイ表示について	2-16
2.4 電源について	2-19
電源をONにする	2-19
電源をOFFにする	2-19
初期モード	2-19
オートリセット	2-20
低電力（スリープ）モード	2-20
オートパワーオフ	2-20
予約コピー	2-20
2.5 電気を節約するには	2-21
第3章 コピー／ファクスをとるまえに	3-1
3.1 用紙について	3-2
用紙種類	3-2
用紙サイズ	3-3
用紙セット枚数	3-4
コピー／プリントに適さない用紙	3-5
3.2 画像コピー／プリント領域	3-6
3.3 用紙の保管	3-7
3.4 用紙のセットのしかた	3-8
第1トレイに用紙をセットする	3-9
第2/第3/第4/第5トレイに用紙をセットする	3-10
3.5 原稿について	3-12
原稿送り装置を使用する場合	3-12
原稿のタイプ	3-12
原稿についての注意	3-13

1	3.6	原稿のセットのしかた	3-14
2		原稿送り装置に原稿をセットする	3-14
3		原稿ガラス上に原稿をセットする	3-15
4		透明度の高い原稿をセットする	3-16
5		ブック原稿をセットする	3-17
6		サイズが異なる原稿をセットする（混載原稿）	3-18
7	3.7	文字の入力のしかた	3-20
8		キー操作	3-20
9		入力モードの変更	3-21
10		入力例	3-22
11		文字列の訂正のしかたと入力時の注意	3-23
12	3.8	最初に必要な登録と設定の確認	3-24
1		必要な登録	3-24
2		初期設定の確認	3-24
3		現在の日付／時刻を設定する	3-25
4		自局のファックス番号を登録する	3-27
5		発信元名を登録する	3-28
6		回線種別を設定する	3-29
7		通信回線を設定する	3-31
8	第4章	コピーのとりかた	4-1
9	4.1	コピーする	4-2
10		コピーの基本的なとりかた	4-2
11		定形サイズの原稿を異なる定形サイズに縮小／拡大する	4-4
12		図面や写真を鮮明にコピーする	4-6
1	4.2	コピーの停止／再開／消去について	4-8
2	4.3	用紙の選択のしかた	4-9
3		オート用紙選択のしかた	4-9
4		マニュアル用紙選択のしかた	4-10
5		オートトレイチェンジ機能	4-11
6		トレイチェンジの順序	4-12
7	4.4	手差しでコピーする	4-13
8		手差しコピーできる用紙	4-13
9		マルチ手差しトレイの調整について	4-13
10		手差しトレイに普通紙をセットする	4-14
11		手差しトレイに官製はがきをセットする	4-15
12		手差しトレイにOHPフィルムをセットする	4-16
1		手差しトレイにラベル用紙をセットする	4-17
2		手差しトレイに封筒をセットする	4-18
3		手差しコピーのとりかた（シングル手差しトレイ）	4-19
4		手差しコピーのとりかた（マルチ手差しトレイ）	4-22
5	4.5	いろいろな用紙にコピーする	4-25
6		OHPフィルムにコピーする	4-25
7		ラベル用紙にコピーする	4-27
8		不定形サイズの用紙にコピーする	4-30
9		封筒にコピーする	4-33
10		官製はがきにコピーする	4-36

4.6	倍率を指定してコピーする	4-39
	倍率設定の種類	4-39
	オート倍率の設定のしかた	4-40
	固定倍率の設定のしかた	4-41
	倍率の設定のしかた	4-42
	タテ・ヨコ独立変倍の設定のしかた	4-43
4.7	コピー濃度を変更してコピーする	4-45
	コピー濃度の設定のしかた	4-46
4.8	割り込んでコピーする	4-48
	割り込み設定のしかた	4-48
4.9	マシンカウンタを確認する	4-50
	マシンカウンタで確認できる項目	4-50
第5章	一歩進んだコピーのとりかた	5-1
5.1	2in1、4in1 コピーの設定について	5-2
	原稿ガラスの場合	5-2
	原稿送り装置の場合	5-4
5.2	ブック分割コピーの設定について	5-5
	枠／折目消しの種類について	5-6
5.3	仕上り設定について（ソート、グループ）	5-7
	仕上りの種類	5-7
	仕上り設定のしかた（原稿送り装置に原稿をセット）	5-9
	仕上り設定のしかた（原稿ガラスに原稿をセット）	5-10
5.4	原稿の一部を消してコピーする（イレース）	5-12
	イレース位置でのご注意	5-12
	イレース設定のしかた	5-13
5.5	白黒反転コピーをする（ネガポジ反転）	5-14
	ネガポジ反転の設定のしかた	5-14
5.6	とじ代をつけてコピーする	5-15
	とじ代位置のご注意	5-15
	とじ代の設定のしかた	5-15
5.7	コピー設定を登録する	5-17
	コピー設定の登録のしかた	5-17
	コピー設定を呼び出してコピーする	5-18
5.8	ID（部門）番号を使ってコピーする	5-19
	ID（部門）番号の入力のしかた	5-19
第6章	ファクスの使いかた	6-1
6.1	送信時の操作のながれ	6-2
6.2	原稿をセットする	6-4
	原稿送り装置に原稿をセットする	6-4
	原稿ガラス上に原稿をセットする	6-6
	原稿ガラス上にセットした原稿を送信するには	6-7

6.3	ファックス画質を設定する	6-10
	画質の設定のしかた	6-10
6.4	送信先を指定する	6-11
	送信先を1か所だけ指定する	6-11
	ダイヤル入力	6-12
	ワンタッチダイヤル	6-13
	短縮ダイヤル	6-14
	グループダイヤル	6-15
	プログラム	6-16
	電話帳	6-17
	チェーンダイヤル	6-19
	複数の宛先を指定する（順次同報送信）	6-20
	手動リダイヤル	6-24
6.5	原稿読み込み中の動作	6-25
	メモリオーバーしたときは	6-25
6.6	送信できないときは	6-26
6.7	通話後に送信する（手動送信）	6-27
6.8	送信を中止する	6-28
	送信予約をキャンセル（削除）する	6-28
6.9	通信結果を確認する（レポート／リスト）	6-30
	通信結果の確認のしかた	6-30
	レポート／リストの出力	6-31
6.10	レポート／リストの種類	6-32
6.11	メモリ送信と即時送信	6-34
	メモリ送信	6-34
	即時送信	6-34
6.12	時刻を指定して送信する	6-35
6.13	一括送信	6-37
6.14	受信する	6-38
	メモリ受信	6-38
	受信時の用紙サイズ	6-38
	受信時の用紙の優先順位	6-38
	自動受信（ファックス専用モード）	6-39
	自動受信（TEL/FAX自動切替えモード）	6-40
	留守番電話	6-42
	手動受信	6-43
6.15	電話をかける	6-44
6.16	電話を受ける	6-45
第7章	便利な送信と受信	7-1
7.1	Fコード	7-2
	ファックス送信時にFコードを指定する	7-2
	相手先登録時にFコードを指定する	7-4

7.2	親展通信	7-5
	メールボックス（親展ボックス）の作成	7-5
	親展送信	7-6
	親展受信	7-8
7.3	ポーリング送信	7-9
	ポーリング送信した文書を削除する	7-11
7.4	ポーリング受信	7-13
7.5	中継指示送信	7-16
7.6	中継同報送信	7-18
	中継配信局	7-18
7.7	転送	7-19
第 8 章 ユーティリティ／コピー設定		8-1
8.1	ユーティリティモード	8-2
8.2	ユーティリティ／コピー設定一覧	8-3
8.3	本体設定	8-4
	本体設定メニューを選択する	8-5
	オートリセット設定を変更する	8-6
	低電力（スリープ）設定を変更する	8-7
	オートパワーオフ設定を変更する	8-8
	原稿送り装置使用時の画質を変更する	8-9
	原稿ガラス使用時の画質を変更する	8-10
	濃度を変更する	8-11
	LCD コントラストを変更する	8-12
	ブザー音量	8-13
	初期モードを変更する	8-14
8.4	トレイ設定	8-15
	トレイ設定メニューを選択する	8-16
	用紙サイズ自動検出の設定をする	8-17
	第 1 トレイ用紙の設定をする	8-18
	トレイの特殊紙設定をする	8-21
8.5	ユーザー保守モード	8-22
	ドラムドライ（露とり）	8-22
	トナー補給	8-23
8.6	管理者保守モード	8-24
	管理者保守メニューを選択する	8-24
	オートパワーオフしない設定をする	8-25
	ID（部門）管理の設定をする	8-27
	ID（部門）を登録する	8-28
	ID（部門）を変更／削除する	8-29
	ID（部門）別カウンタ表示／カウンタクリア	8-31
	ID（部門）別トータルカウンタのオールクリア	8-33
	リモートモニタの設定をする	8-35
8.7	コピー設定	8-36
	コピー設定 1 メニューを選択する	8-38
	優先用紙の設定をする	8-39

優先濃度の設定をする	8-40
優先濃度レベル（オート）の設定をする	8-41
優先濃度レベル（マニュアル）の設定をする	8-42
ブックとじ位置を選択する	8-43
とじ代幅の調整をする	8-44
イレース幅の調整をする	8-45
小サイズ原稿の設定をする	8-46
コピー設定2メニューを選択する	8-47
優先混載原稿の設定をする	8-48
優先自動選択の設定をする	8-49
優先ソートの設定をする	8-50
4in1ページ順の設定をする	8-51
交互排紙の設定をする	8-52
第9章 ユーティリティ／ファクス設定	9-1
9.1 ユーティリティモード	9-2
9.2 ファクス登録	9-3
ファクス登録を選択する	9-4
ワンタッチダイヤルを登録する	9-5
ワンタッチダイヤルを変更／削除する	9-8
短縮ダイヤルを登録する	9-10
短縮ダイヤルを変更／削除する	9-13
グループダイヤルを登録する	9-15
グループダイヤルを変更／削除する	9-17
プログラムダイヤルを登録する	9-19
順次同報送信プログラムを変更／削除する	9-21
時刻指定送信プログラムを変更／削除する	9-23
親展送信プログラムを変更／削除する	9-25
ポーリング受信プログラムを変更／削除する	9-27
中継指示送信プログラムを変更／削除する	9-29
一括送信の登録をする	9-31
一括送信設定を変更する	9-33
一括送信設定を削除する	9-34
親展ボックスの登録をする	9-35
親展ボックスの設定を削除する	9-37
中継ボックスの登録をする	9-39
中継ボックス設定を削除する	9-42
9.3 送信設定	9-43
送信設定メニューを選択する	9-44
読み取り濃度を設定する	9-45
画質を設定する	9-46
優先送信モードを設定する	9-48
ヘッダー／プリントを設定する	9-49
9.4 受信設定	9-50
受信設定メニューを選択する	9-52
メモリ受信モードを設定する	9-53
メモリ受信モードを解除する	9-55
呼び出し回数を設定する	9-56
縮小プリントを設定する	9-57

受信プリント設定を指定する	9-58
受信モードを設定する	9-59
転送設定を指定する	9-60
フッタープリントを設定する	9-61
トレイ選択を設定する	9-62
クローズドネットワークを設定する	9-63
転送受信を設定する	9-64
9.5 通信設定	9-65
通信設定メニューを選択する	9-66
モニタ音量を設定する	9-67
TEL/FAX 切替えを設定する	9-68
電話呼び出し時間を設定する	9-69
留守番電話接続を設定する	9-70
9.6 レポート出力設定	9-71
レポート出力設定メニューを選択する	9-72
通信管理レポートの自動出力を選択する	9-73
予約レポートの自動出力を選択する	9-74
送信結果レポートの自動出力を選択する	9-75
受信結果レポートの自動出力を選択する	9-76
PageScope Web Connection の設定画面	9-77
第 10 章 こんなメッセージが表示されたら	10-1
10.1 「トナー ガ ナクナリマシタ」と表示されたら	10-2
トナー補給のしかた	10-2
10.2 「ヨウシ ガ ツマリマシタ」が表示されたら	10-5
本機内部／第 1 トレイでの紙づまり処理のしかた	10-6
第 2/ 第 3/ 第 4/ 第 5 トレイ（オプション）での紙づまり処理のしかた	10-10
マルチ手差しトレイ（オプション）での紙づまり処理のしかた	10-12
10.3 「ゲンコウ ガ ツマリマシタ」が表示されたら	10-14
原稿送り装置での紙づまり処理のしかた	10-14
10.4 主なメッセージと処置のしかた	10-17
第 11 章 故障かな？と思ったら	11-1
11.1 こんなコピーが出てきたら	11-2
11.2 コピー機が動作しない	11-4
11.3 ファクスがうまく動作しない	11-5
うまく送信できない	11-5
うまく受信できない	11-6
うまく電話できない	11-7
第 12 章 その他	12-1
12.1 おもな仕様	12-2
本機 bizhub 162f	12-2
ファクス仕様	12-3
自動原稿送り装置 DF-502	12-4
ペーパーフィーダーユニット PF-502	12-4

セパレータ JS-503	12-4
マルチ手差し給紙ユニット MB-501	12-5
12.2 日常のお手入れ	12-6
外装カバー	12-6
原稿ガラス	12-6
原稿押さえパッド	12-6
操作パネル	12-7
12.3 おもな機能の組み合わせ一覧表	12-8
おもな機能の組み合わせ一覧表	12-8
12.4 コピー用紙サイズとコピー倍率一覧表	12-9
コピー用紙サイズ	12-9
コピー倍率	12-10
12.5 消耗品について	12-12
コピー用紙	12-12
トナーボトル	12-12
12.6 保守サービスについて	12-13
12.7 PageScope Web Connection について	12-14
PageScope Web Connection とは？	12-14
動作環境	12-15
アクセスのしかた	12-15
画面の説明	12-16
管理者モードへのログインのしかた	12-17
12.8 LSD について	12-18
LSD とは	12-18
LSD の動作環境	12-18
セットアップの流れ	12-19
LSD のインストール	12-20
LSD を起動する	12-21
LSD 画面について	12-22
本機と接続する	12-23
本機から登録内容をダウンロードする	12-23
ワンタッチダイヤルに登録する	12-23
ワンタッチダイヤルを編集する	12-25
短縮ダイヤルに登録する	12-26
短縮ダイヤルを編集する	12-28
グループに登録する	12-29
グループを編集する	12-30
ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、グループのリストを印刷する	12-30
設定内容を PC に保存する	12-31
設定内容を本機に保存する	12-31
ユーティリティの設定をする	12-32
トータルカウンタを確認する	12-35
コンフィギュレーションページを確認する	12-35
LSD のアンインストール	12-36
12.9 用語一覧	12-37
12.10 索引	12-39

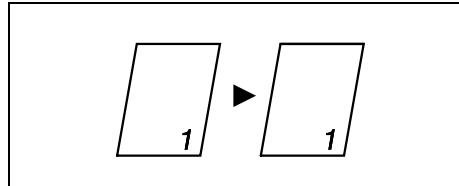
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12

こんなコピーがとれます

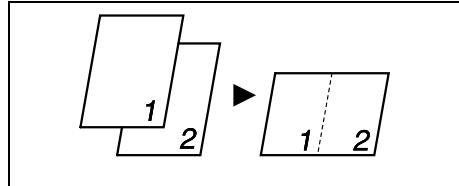
本機のおもなコピー機能を簡単に紹介します。操作方法については、参照ページをご覧ください。

■ コピー

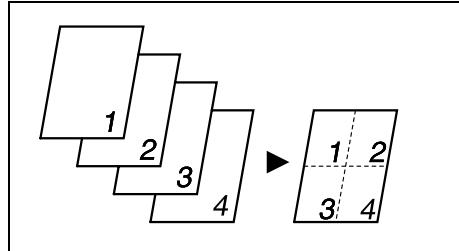
片面コピー (p. 4-1)



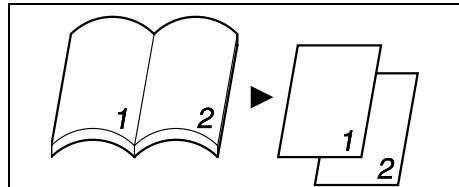
2in1 コピー (p. 5-2)



4in1 コピー (p. 5-2)

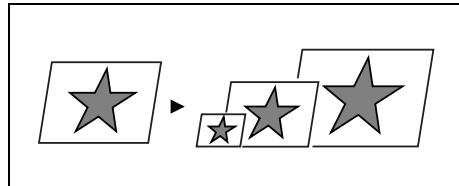


ブック分割コピー (p. 5-5)

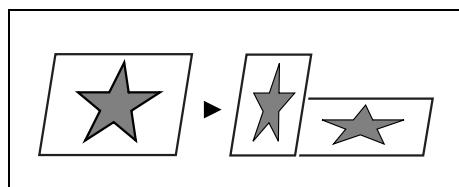


■ 倍率

縮小／等倍／拡大 (p. 4-39)



タテヨコ変倍 (p. 4-43)

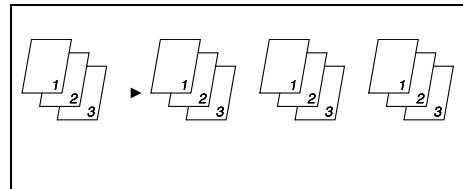


■ 仕上げ

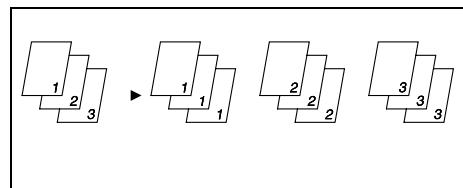
ひとこと

コピー機能により、必要な装着オプションが異なります。

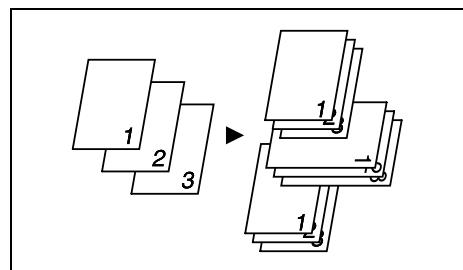
ソート (p. 5-7)



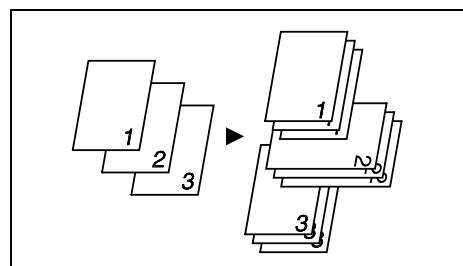
グループ (p. 5-7)



交互ソート (p. 5-8)

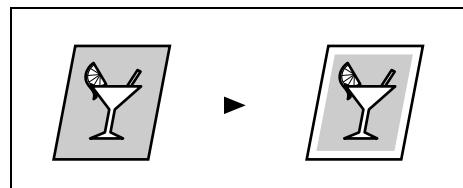


交互グループ (p. 5-8)



■ 応用

イレース (p. 5-12)

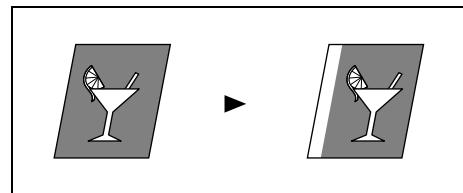


ネガポジ反転 (p. 5-14)



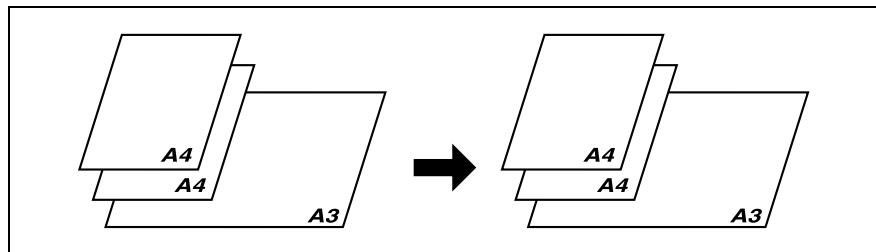
こんなコピーがとれます

とじ代 (p. 5-15)



■ 原稿

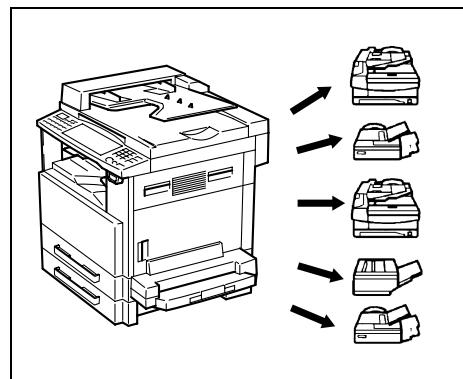
混載原稿 (p. 3-18)



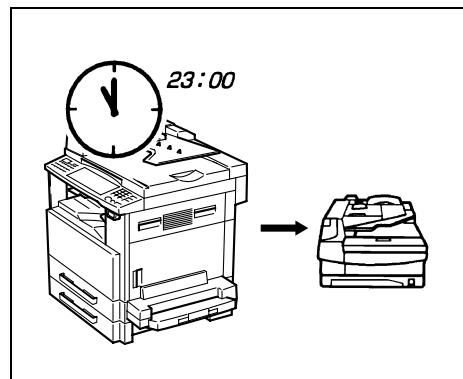
ファクスでこんなことができます

■ 送信

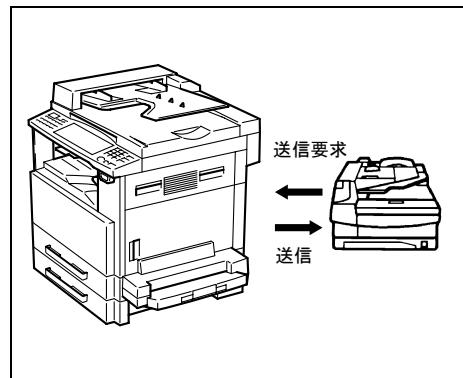
順次同報送信 (p. 6-20)



時刻指定送信 (p. 6-35)



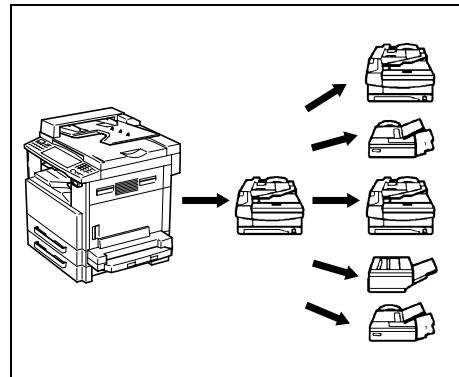
ポーリング送信 (p. 7-9)



中継指示送信 (p. 7-16)

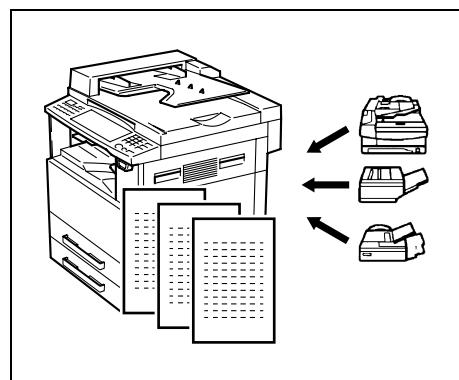


中継局には、Fコード通信に対応した機種を指定してください。



■ 受信

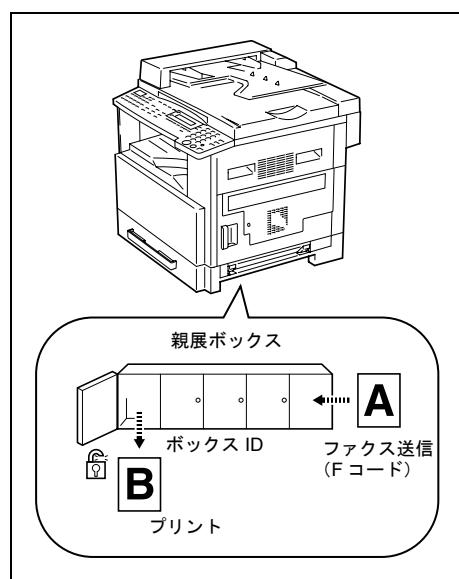
メモリ受信 (p. 6-38)



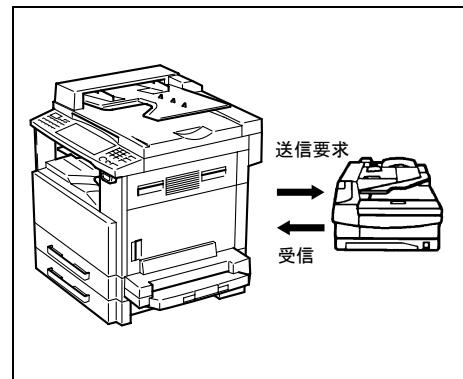
親展受信 (p. 7-8)

ひとこと

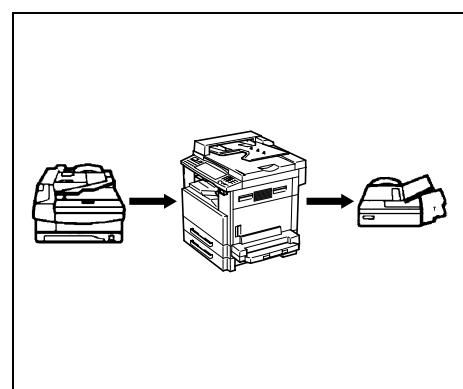
親展受信は、Fコード通信に対応した機能です。

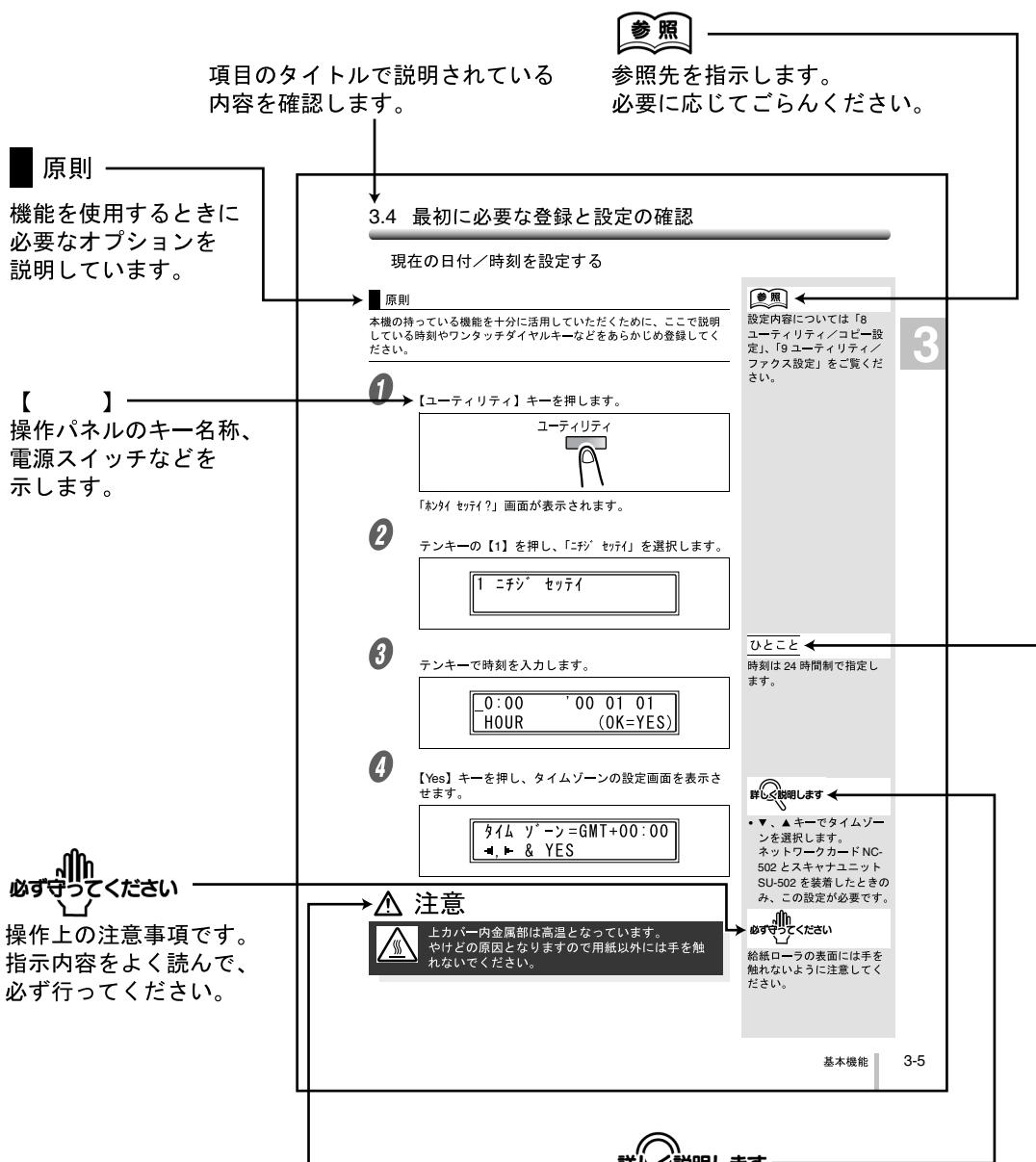


ポーリング受信 (p. 7-13)



転送 (p. 7-19)





⚠ 警告、注意

機械を安全に使用していただくための注意事項です。警告は、表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。注意は、表示を無視して誤った扱いをすると、人が傷害を負う可能性または物的損害のみを負う可能性が想定される内容を示しています。

(このページは実際には存在しません。)



操作手順や内容に関して、
さらに詳しく説明しています。

ひとこと

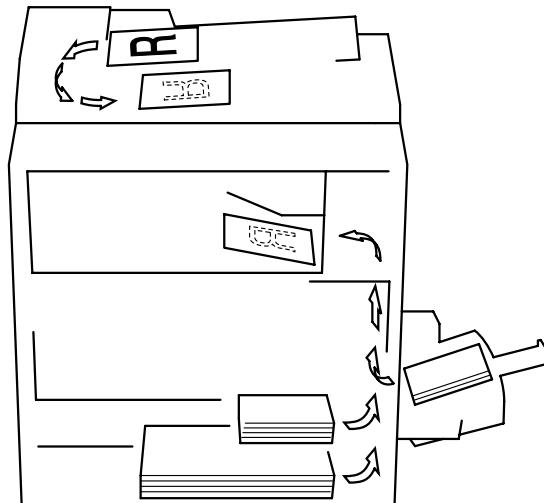
作業手順や内容に関して、
参考となることや補足事項
などが書かれています。
お読みになることを
おすすめします。

原稿および用紙の呼び方と表示

本文中に出てくる原稿や用紙の呼び方と、その表示について説明します。

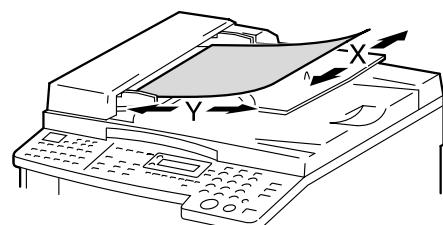
■ 排出面と通紙方向

本機は用紙を右側から給紙し、コピー／プリントした面を下に向けて上側の排紙トレイへ排出します。下図の矢印で示された、用紙の送られる方向のことを通紙方向と呼びます。



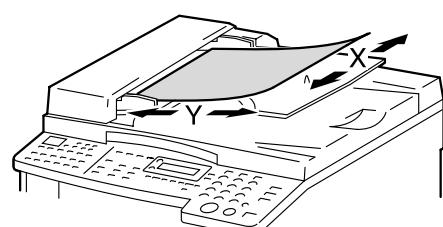
■ 幅と長さ

原稿／用紙の大きさを表す場合、X辺を幅と呼び、Y辺を長さと呼びます。



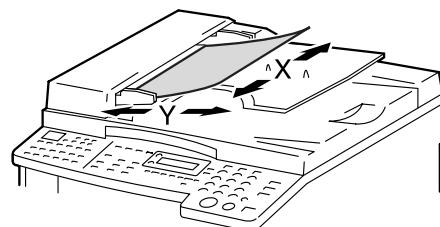
■ タテ

幅（X）よりも長さ（Y）のほうが大きいものをタテと呼び、□と表示します。



■ ヨコ

幅 (X) よりも長さ (Y) のほうが小さいものをヨコと呼び、□と表示します。



コピー禁止事項

本機でなにをコピーしてもよいわけではありません。

特に法律によって、そのコピーをとるだけでも罰せられるものがありますので、次の点にご注意ください。

■ 法律によりコピーを禁止されているもの

- 紙幣、貨幣、政府発行の有価証券、国債、地方債証券
- 外国紙幣、証券類
- 未使用郵便切手、官製はがき類
- 政府発行の印紙、酒税法で規定されている証券類

<関係法律>

通貨及証券模造取締法

外国ニ於テ流通スル貨幣紙幣銀行券証券偽造変造及模造ニ関スル法律

郵便切手類模造等取締法

印紙等模造取締法

紙幣類似証券取締法

■ 著作権の対象となっているもの

書籍、絵画、写真、図面、地図、楽譜などの著作物は、個人的にまたは、家庭内、その他これに準ずる限られた範囲内で使用する場合を除いてコピーは禁止されています。

■ 注意を必要とするもの

- 政府発行のパスポート、公共機関や民間団体発行の免許証、許可証、身分証明書や通行証、食券などの切符類も勝手にコピーしないほうが良いと考えられます。
- 民間発行の有価証券（株券、小切手、手形等）、定期券、回数券などは事業所が業務に供するための最低必要部数をコピーする以外は、政府の指導によって注意が呼びかけられています。



本機が搭載している「部門管理」機能で「暗証番号登録」を設定すると、コピー使用時に暗証番号を入力しないと本機が使用できなくなるため、不正使用を防止することができます。

また、「部門管理」機能でコピーの「許可／禁止」を設定することにより、コピー機能に制限を加えることもできます。

機械・消耗品のリサイクル／リユース

■ 使用済みのトナーボトル・イメージングユニット

- 使用済みのトナーボトル・イメージングユニットは、サービス技術者が回収しますので、捨てずに個装箱に入れて保管しておいてください。

■ 使用済みのドラム（感光体）

- 使用済みのドラム（感光体）は、サービス技術者が回収しますので、捨てずに個装箱に入れて保管しておいてください。

■ 本機廃棄について

- 本機を廃棄するときは、サービス実施店もしくは、最寄りの販売店にご連絡ください。本機を直接お引取りするか、または指定のお引取り場所をお知らせします。

■ 2次電池（充電式バッテリー）の使用について

- 本機は2次電池（充電式ニッケル水素電池）を使用しております。
本機を廃棄するときは、2次電池も回収いたします。お客様が2次電池を取り外す必要はありません。また、故障時の2次電池の交換は、お客様が行う必要はありません。サービス実施店にご相談ください。

ご使用にあたってのお願い

NTT 東日本、NTT 西日本（以下 NTT と言う）のキャッチホンサービスをご利用の場合、ファクシミリ画像の乱れや回線異常を起こすことがあります。キャッチホンサービスとファクシミリ通信の併用はしないでください。

本機をご使用になるにあたって、NTT のレンタル電話機が不要になる場合は、NTT へご連絡ください。

ご連絡いただく日をもって「機器使用料」は不要になります。詳しくは、局番無しの 116 番へお問い合わせください。

電話料金の内訳

1. 回線使用料 :

ご契約者名義等により住宅用と事務用に区別され、回線使用料が異なります。

2. 屋内配線使用料 :

保安器から屋内の電話機のさしこみ口までの屋内配線を NTT からレンタルでご利用いただいている場合の料金です。

3. 機器使用料 :

NTT の電話機などをレンタルでご利用いただいている場合の料金です。

4. 付加機能使用料 :

プッシュ回線、キャッチホン、クレジット通話などをご利用いただいている場合の付加機能の使用料金です。

第1章

設置・取扱いの注意

設置や取扱いの注意について説明します。

1.1 安全にご使用いただくために	1-2
1.2 適合宣言文	1-9
1.3 設置上のご注意	1-11
1.4 使用上のご注意	1-13

1.1 安全にご使用いただくために

製品を安全にお使いいただくため、機械の電源、設置および日常の取扱い時にぜひ守っていただきたい注意とお願いを記述しました。製品の電源を入れる前に必ずお読みください。

- このユーザーズガイドはいつでも見られる場所に大切に保管ください。
- ユーザーズガイド本文内に書かれている注意事項も必ずお守りください。

KM_Ver. 01J_F

※ご購入いただいた製品によってはこの項の内容と、一部合致しないものもありますが、ご了承ください。

■ 絵表示の意味

このユーザーズガイドおよび製品への表示では、製品を正しくお使いいただき、あなたや他人々への危害や財産の損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■ 図記号の例



この記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。記号の中に具体的な注意内容が描かれています。

例)  「高温注意」を示す図記号



この記号は禁止の行為であることを告げるものです。記号の中や近くに具体的な禁止内容が描かれています。

例)  「分解禁止」を表わす図記号



この記号は必ず行わなければならない行為を告げるものです。記号の中に具体的な指示内容が描かれています。

例)  「電源プラグを抜く」を表わす図記号

分解・改造について

! 警告

- 本製品を改造しないでください。火災・感電のおそれがあります。また、レーザーを使用している機器にはレーザー光源があり、失明のおそれがあります。



- 本製品の固定されているカバーやパネルなどは外さないでください。製品によっては、内部で高電圧の部分やレーザー光源を使用しているものがあり、感電や失明のおそれがあります。



電源コードについて

! 警告

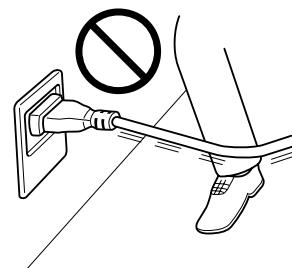
- 同梱されている電源コード以外は使用しないでください。不適切な電源コードを使用すると火災・感電のおそれがあります。



- この製品の電源コードを他の製品に転用しないでください。火災・感電のおそれがあります。



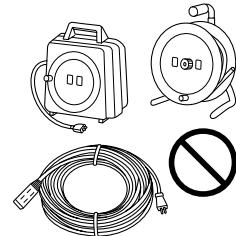
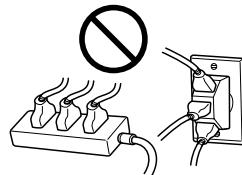
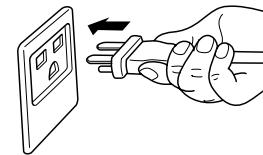
- 電源コードを傷つけたり、加工したり、重いものを載せたり、加熱したり、無理にねじったり、曲げたり、引っ張ったりして破損させないでください。傷んだ電源コード（芯線の露出、断線等）を使用すると火災のおそれがあります。



電源について

⚠ 警告

- 製品に表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災、感電のおそれがあります。
- プラグの形状とコンセントが合わない場合に変換アダプタを使用しないでください。コンセントの形状は電圧や流せる電流で決まっているため、これを守らないと火災の危険があります。また、アース接続の不良により、感電の危険もあります。プラグの形状に合うコンセントの設置を電気工事士にご依頼ください。
- コンセントが2口以上あって、この製品と他の電気製品を同時に使う場合は、事前に担当サービス技術者にご相談ください。コンセントの容量を超えて使用すると、火災の危険があります。
- 原則的に延長コードは使用しないで下さい。また、タコ足配線はしないでください。火災、感電のおそれがあります。やむを得ず延長コードを使用する場合は、担当サービス技術者にご相談ください。



⚠ 注意

- コンセントはできるだけ製品のそばにあるものを利用し、そのコンセントに容易に近づけるようにしてください。火災、感電のおそれがあります。非常時に電源プラグを抜けなくなります。



電源プラグについて

! 警告

- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電のおそれがあります。



- 電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。火災、感電のおそれがあります。



! 注意

- プラグを抜くときは電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



- 電源プラグは年1回以上コンセントから抜いて、プラグの刃と刃の周辺部分を清掃してください。ほこりがたまると、火災の原因となることがあります。



アース接続について

! 警告

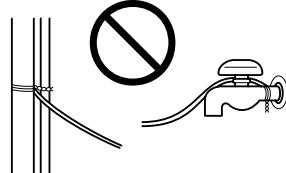
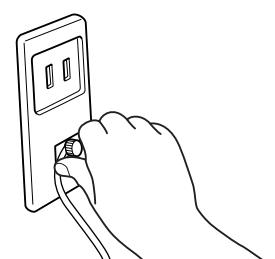
- 必ずアース接続してください。アース接続しないで、万一漏電した場合は火災、感電のおそれがあります。



※アース線の接続は電源プラグをコンセントに差し込む前にやってください。また、アース線を外すときは、必ず電源プラグをコンセントから外してから行ってください。

アース線は、以下のいずれかの場所に取り付けるようにしてください。

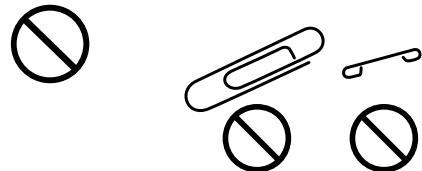
- コンセントのアース端子
 - 接地工事を施してある接地端子（第D種）
- 次のような所には絶対にアース線を取り付けないでください。
- ガス管（ガス爆発の原因になります）
 - 電話専用アース線および避雷針のアース線（落雷時に大きな電流が流れ、火災・感電のおそれがあります）
 - 水道管（途中が樹脂になっていて、アースの役目を果たさない場合があります）



設置について

⚠ 警告

- 本製品の上に水などの入った花瓶等の容器や、クリップ等の小さな金属物などを置かないでください。こぼれて製品内に入った場合、火災、感電のおそれがあります。
万一、金属片、水、液体等の異物が本製品の内部に入った場合には、ただちに電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いて、担当サービス技術者にご連絡ください。



⚠ 注意

- 本製品を設置したら固定脚を使用して固定してください。動いたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。(床置き型製品の場合)
- 本製品をほこりの多い場所や調理台・風呂場・加湿器の側など油煙や湯気の当たる場所には置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 本製品を不安定な台の上や傾いたところ、振動・衝撃の多いところに置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。
- 本製品の通風口をふさがないでください。内部に熱がこもり、火災・故障の原因となることがあります。
- 本製品の周囲で引火性のスプレー や液体、ガス等を使用しないでください。火災の原因となります。



換気について

⚠ 注意

- 本製品を狭い部屋等で使用される場合は、定期的に部屋の換気をしてください。換気の悪い状態で長期間使用すると健康に障害を与える可能性があります。



異常が見られたら

！警告

- 本製品が異常に熱くなったり、煙、異臭、異音が発生するなどの異常が発生した場合には、ただちに電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いて、担当サービス技術者にご連絡ください。



- 本製品を落としたり、カバーを破損した場合は、ただちに電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いて、担当サービス技術者にご連絡ください。そのまま使用しますと、火災・感電のおそれがあります。

**！注意**

- 本製品の内部にはやけどの原因となる高温部分があります。紙づまりの処置など内部を点検するときは、「高温注意」を促す表示がある部分（定着器周辺など）に、触れないでください。



消耗品について

！警告

- トナーまたはトナーの入った容器を火中に投じないでください。トナーが飛び散り、やけどのおそれがあります。

**！注意**

- トナーカートリッジや感光体等を子供の手の届くところに放置しないで下さい。なめたり食べたりすると健康に障害を来す原因になることがあります。



- トナーユニットや感光体ユニットは、フロッピーディスクや時計等磁気に弱いものの近くには保管しないでください。これら製品の機能に障害を与える可能性があります。



製品を移動させるときは

△ 注意

- 本製品を移動させる場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



- 本製品を移動する際は必ず使用書等で指定された場所を持って移動してください。製品が落下してけがの原因となります。



1.2 適合宣言文

■ レーザーの安全性

本機は、レーザーを使用するデジタル機器です。本マニュアルに記載の指示事項を守って動作させる限り、レーザーの危険にさらされることはありません。

レーザー光放射は、保護カバーの中に完全に遮蔽されていますので、ユーザー使用のどの段階においても、レーザー光が機外に漏れ出すことはありません。

本機はクラス 1 レーザー製品として認定されています。従って、本機が危険なレーザー放射を発生させることは 없습니다。

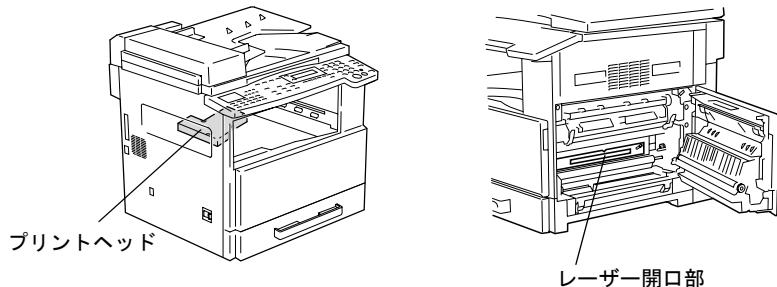
■ 内部レーザー放射

最大平均放射パワー：プリントヘッドのレーザー開口部で $6.32 \mu\text{W}$

波長：770-795 nm

本機は、クラス 3b のレーザーダイオードを使用し、不可視のレーザー光を放射します。

プリントヘッド部には、このレーザーダイオードと読み取り用ポリゴンミラーが組み込まれています。プリントヘッド部は市場保守調整品目ではありません。したがって、プリントヘッド部は、どのような状況でも開けないでください。



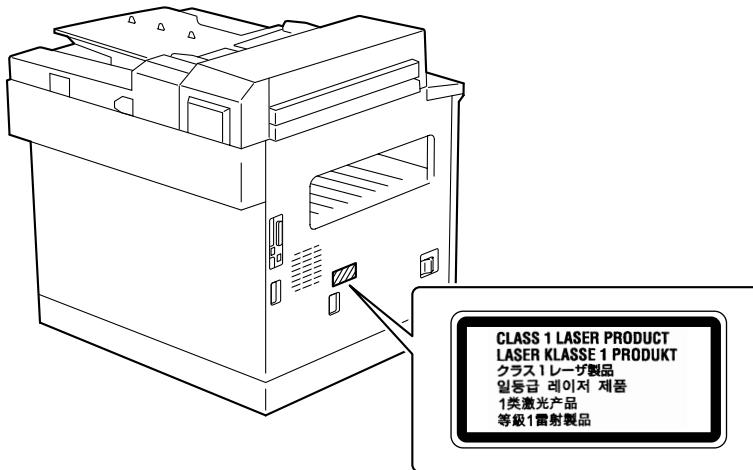
注意

ここに規定した以外の手順による制御や調整は、危険なレーザー放射の被ばくをもたらす恐れがあります。

これは半導体レーザーです。このレーザーダイオードの最大出力は 5 mW で波長は 770-795 nm です。

■ レーザー安全ラベル

下図に示すように、レーザー安全ラベルが本機の外側に貼り付けられています。



■ オゾン放出

本機の使用中はオゾンが発生しますが、その量は人体に悪影響を及ぼさないレベルです。ただし、換気の悪い部屋で長時間使用したり、大量にコピー／プリントを行ったりする場合には臭気が気になることがあります。快適な環境を保つために部屋の換気をおすすめします。

■ 電波障害について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

この製品にはシールドされたネットワークケーブルおよびパラレルケーブルを使う必要があります。そうでない場合は、電波障害を引き起こすことがあります。

■ 高調波対策ガイドライン

本機器は社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会が定めた複写機及び類似の機器の高調波対策ガイドライン（家電・汎用品高調波抑制対策ガイドラインに準拠）に適合しています。

1.3 設置上のご注意

■ 設置環境

次のような場所への設置は安全上好ましくありません。また本機の故障の原因になりますので、避けて設置してください。

- カーテンなどの燃えやすいものが近くにあるところ。
- 水などが飛び散り、漏電を起こす危険性のあるところ。
- 直射日光のあたるところ。
- エアコンや暖房器具の風が直接あたるような、温度や湿度が急激にかわるところ。
- 通気性、換気性の悪いところ。
- 湿気の多いところ。
- ほこりの多いところ。
- 振動の激しいところ。
- 水平でないところ。
- アンモニア等の有機ガスが発生するところ。
- 機械の排気が直接人体に当たるところ。
- 石油ストーブ等の発熱機器に近いところ。

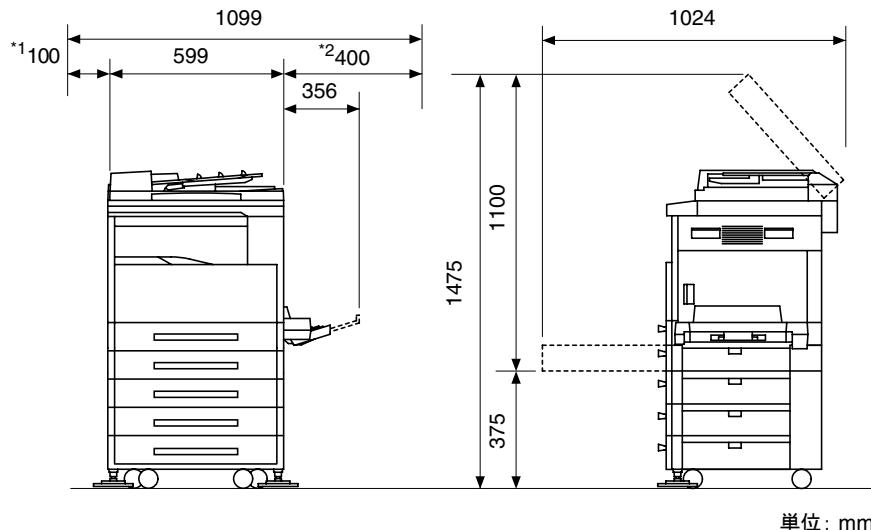
■ 設置電源

設置電源には以下の条件の電源を使用してください。

- 使用する電源は、電圧および周波数の変動が少ないものを使用してください。
- 電圧変動率：AC 100 V ± 10% 以内
周波数変動：50 Hz/60 Hz ± 3 Hz 以内

■ 設置スペース

コピー操作、ファクス操作、消耗品の交換、点検などの作業を容易にするため、下図の設置スペースを確保してください。



単位: mm



*1: 本機の左側面には排熱用の排気ダクトがあるため、左側面は必ず 100 mm 以上あけてください。

*2: 本機の右側面は横カバーの開閉用に 400 mm 以上あけてください。

1.4 使用上のご注意

■ 使用環境

いつも良い条件でご使用いただける環境の範囲は、以下の条件です。

- 気温 10°C ~ 30°C 温度変化率 10°C/h 以下
- 湿度 15% ~ 85% 湿度変化率 10%/h 以下

■ 本機使用上のご注意

本機を最良の状態でご使用いただくために、次の点にご注意ください。

- 原稿ガラスの上に重いものを載せたり、衝撃を与えるたりしないでください。
- コピー／プリント中に、各種ドアを開けたり、メインスイッチを OFF にしたりしないでください。紙づまりをおこします。
- 本機に磁石や燃えやすいガス、または液体を近づけないでください。
- 電源プラグはしっかり差し込んでください。
- 電源プラグを差し込んだコンセントが、本機などの陰に隠れてしまわないようにしてください。
- 長い休みなどで長期間本機を使用しない場合は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 連続して多量のコピー／プリントを行う場合には、部屋の換気を行ってください。

⚠ 注意

本機の左側面にある排気ダクトがふさがれると、内部に熱がこもり、故障や火災の原因となります。

排気ダクトの左側面は 100 mm 以上あけてください。

⚠ 注意

定着部周辺は高温となっています。

火傷の原因となりますので、ユーザーズガイド中で指定された箇所以外には手を触れないように注意してください。特に、「注意 やけどのおそれあり さわらないでください」という表示のある箇所、およびその周辺には手を触れないでください。

高温部分に手などが触れてしまった場合は、すぐに冷たい水で冷やし、医師にご相談ください。

■ 転居、移動

引越しなどで本機を移転させる場合には、サービス実施店にご相談ください。

■ 消耗品の取り扱い上のご注意

消耗品（トナーボトル、用紙）の取り扱いには以下の点にご注意ください。

- 消耗品を以下のような場所で保管しないでください。
 - 直射日光の当るところ
 - 火気のある暑いところ
 - 湿気の多いところ
 - ほこりの多いところ
- 包みから取り出した用紙は、ポリ袋に入れ必ず冷暗所に保管してください。
- トナーは本機専用のトナーを使用してください。他のトナーは絶対に使用しないでください。
- 幼児や子供の手の届く所には置かないようにしてください。

⚠ 注意

トナーで本体内や衣服または手などを汚さないように注意して取り扱ってください。
トナーで手を汚してしまった場合には、水や中性洗剤などを使って洗い流してください。
目に入ってしまった場合には、すぐ水で洗い流し、医師にご相談ください。

■ コピー／プリントの保存について

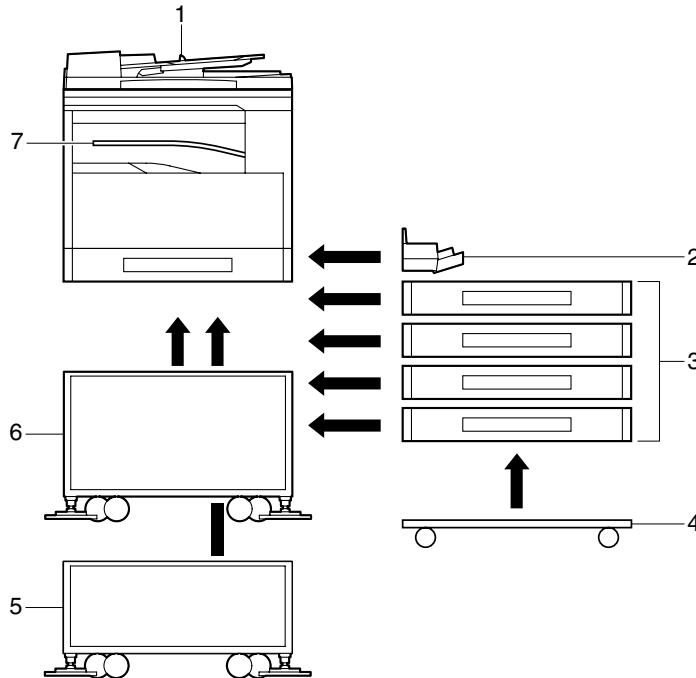
- 長期間保存される場合は、光による退色を防ぐため光の当らないところに保管してください。
- コピー／プリントされたものを貼る場合、溶剤入りの接着剤（スプレーのりなど）を使用すると、トナーが溶けことがあります。

第2章 おつかいになるまえに

おつかいになるまえに知っておきたいことについて説明します。

2.1 装置全体の構成とはたらき	2-2
2.2 各部の名称とはたらき	2-4
2.3 操作パネル部の名称とはたらき	2-10
2.4 電源について	2-19
2.5 電気を節約するには	2-21

2.1 装置全体の構成とはたらき



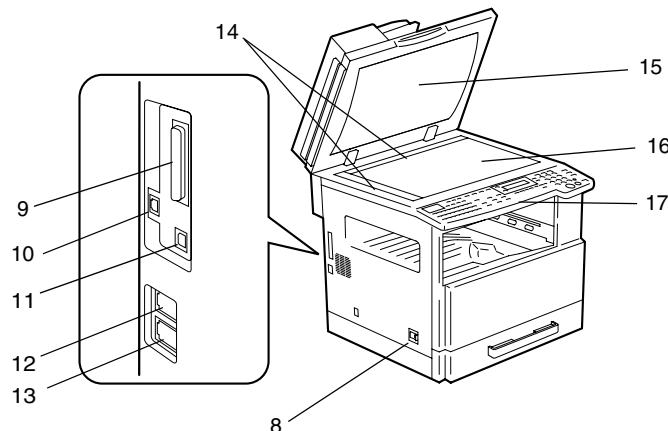
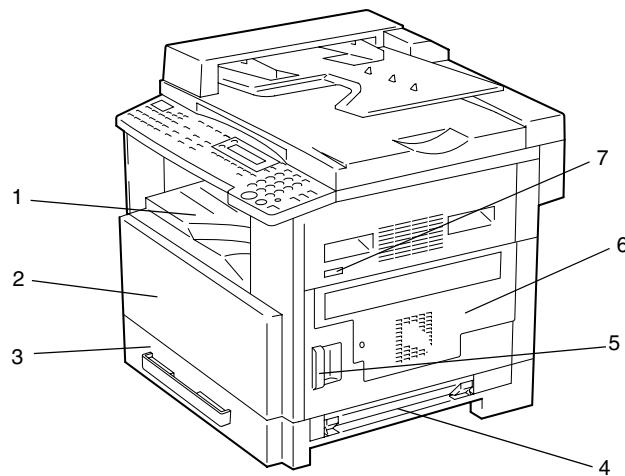
No.	名称	説明
1	自動原稿送り装置 DF-502	自動的に原稿を1枚ずつ送り出し、読み込みます。 以降本文中では原稿送り装置と呼びます。
2	マルチ手差し給紙ユニット MB-501 (オプション)	用紙を最大100枚までセットできます。 以降本文中ではマルチ手差しトレイと呼びます。
3	ペーパーフィーダーユニット PF-502 (オプション)	用紙を250枚セットできるペーパーフィーダーユニットです。 本機には4段まで増設できます。 以降本文中では第2/第3/第4/第5トレイと呼びます。
4	専用デスク DK-703 (オプション)	本機を専用デスクの上に設置できます。 専用デスクを使用することにより、本機をフロアに設置できます。 以降本文中では専用デスクと呼びます。
5	専用デスク DK-702 (オプション)	本機を専用デスクの上に設置できます。 専用デスクを使用することにより、本機をフロアに設置できます。 以降本文中では専用デスクと呼びます。
6	専用デスク DK-701 (オプション)	本機を専用デスクの上に設置できます。 専用デスクを使用することにより、本機をフロアに設置できます。 以降本文中では専用デスクと呼びます。
7	セパレータ JS-503 (オプション)	プリントされた用紙を仕分けることができます (PCプリント時のみ有効)。 以降本文中ではセパレータと呼びます。

No.	名称	説明
8	イメージコントローラ IC-205* (オプション)	内蔵型のプリンタコントローラです。本機を PC プリンタ (PCL) として使用できます。 詳しくは、イメージコントローラ IC-205 のユーザーズガイドをご覧ください。
9	ネットワークカード NC-502* (オプション)	内蔵型のネットワークカードです。本機にネットワークカード NC-502 を装着することにより、Windows および NetWare ネットワーク環境でのネットワークプリントができます。
10	スキャナユニット SU-502* (オプション)	スキャナから読み込んだ画像を、インターネットサーバを介してコンピュータやインターネットアクセスに送信したり、E メールを受信したりできます。
11	拡張メモリ EM-101* (オプション)	32MB の拡張メモリです。本機で処理できる原稿枚数を増やすことができます。 以降本文中では拡張メモリと呼びます。
12	拡張メモリ EM-102* (オプション)	64MB の拡張メモリです。本機で処理できる原稿枚数を増やすことができます。 以降本文中では拡張メモリと呼びます。

* 内蔵系オプションのため、図解してありません。

2.2 各部の名称とはたらき

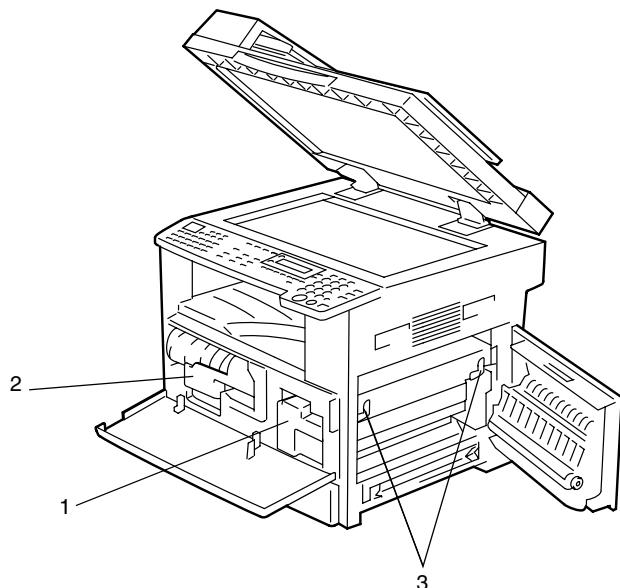
■ 本体



No.	名称	説明
1	コピー／プリントされた用紙がコピー／プリント面を下にして排出されます。	コピー／プリントされた用紙がコピー／プリント面を下にして排出されます。
2	トナーボトルを交換するときに開きます (p. 10-2)。	トナーボトルを交換するときに開きます (p. 10-2)。
3	250枚までの用紙をセットできます。 用紙サイズを自由に変更できます。 特殊紙を使用できます (p. 8-16)。	第1トレイ
4	手差しコピーをするときに使用します。 用紙は1枚ずつ差し込みます。 特殊紙を使用できます (p. 4-19)。	シンガル手差しトレイ
5	横カバーを閉閉するときに使用します。	ロック解除レバー
6	紙づまりの処理をするときに開きます。	横カバー
7	コピー／プリントされたトータル枚数を表示します。	メカカウンタ
8	本機の電源をON／OFFします (p. 2-19)。	メインスイッチ

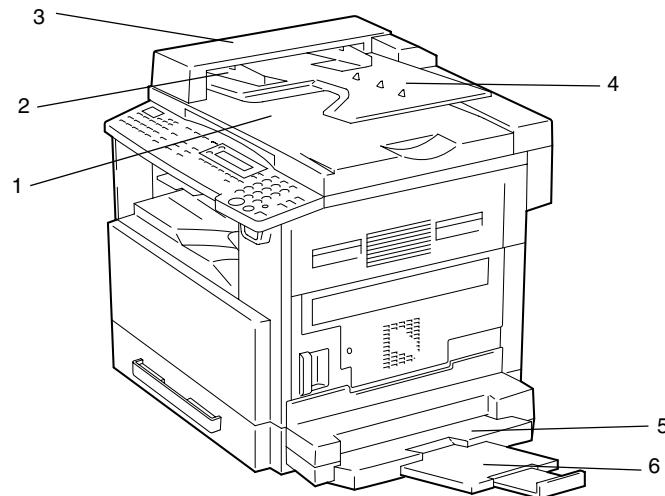
No.	名称	説明
9	パラレルインターフェースコネクタ	パラレルケーブルで PC と本機を接続するときに使用します。
10	ネットワーク用コネクタ RJ45 (オプション)	本機をネットワークプリンタとして使用するときにネットワークケーブルを接続します。
11	USB コネクタ	USB ケーブルで PC と本機を接続するときに使用します。
12	回線コネクタ (LINE)	回線コードを接続します。
13	外付け電話機接続コネクタ (TEL)	外付け電話機のコードを接続します。
14	原稿スケール	スケールの表示に合わせて原稿をセットします (p. 3-15)。
15	原稿カバー	セットされた原稿を押さえます。
16	原稿ガラス	原稿をここにセットし、原稿を読み込みます。 原稿面は下側に向けてセットします (p. 3-15)。
17	操作パネル	コピー動作、送信動作や各種の設定を行う場合に使用します (p. 2-10)。

■ 本体内部



No.	名称	説明
1	感光体ユニット	プリントイメージを生成します。 感光体ユニットの交換はサービス実施店で行います。
2	トナーボトルホルダー	トナーボトルを交換するときに開きます。
3	圧着レバー	定着部の紙づまり処理をするときに使用します (p. 10-6)。

■ 自動原稿送り装置／マルチ手差し給紙ユニット（オプション）



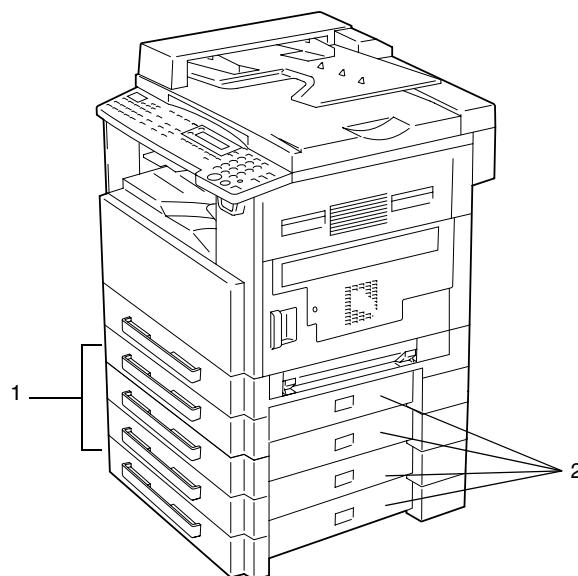
自動原稿送り装置

No.	名称	説明
1	原稿排出トレイ	読み込みの終わった原稿が排出されます。
2	原稿セットガイド	原稿の幅に合わせてガイドを調整します。(p. 3-14)
3	給紙カバー	紙づまりの処理をするときに開きます。(p. 10-14)
4	原稿給紙トレイ	コピー／送信する原稿を上向きにセットします。(p. 3-14)

マルチ手差し給紙ユニット

No.	名称	説明
5	手差しトレイ	100枚（普通紙）、20枚（特殊紙）、10枚（封筒）までの用紙をセットできます。(p. 4-14)
6	補助トレイ	大きなサイズの用紙をセットするときに引き出します。

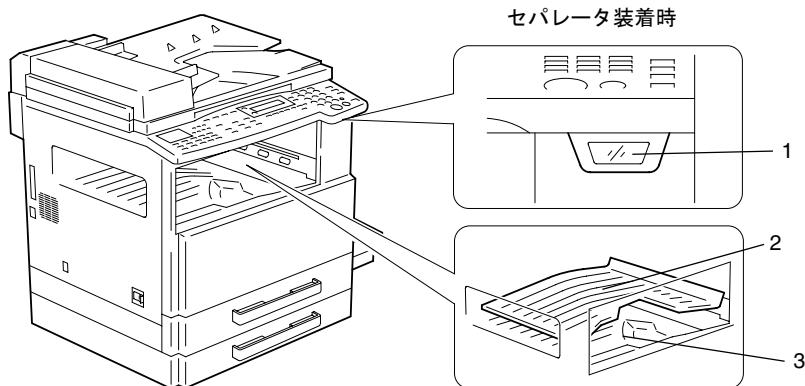
■ ペーパーフィーダーユニット（オプション）



ペーパーフィーダーユニット

No.	名称	説明
1	第2/第3/第4/第5トレイ	<ul style="list-style-type: none">250枚（普通紙）までの用紙をセットできます。4段のペーパーフィーダーユニットを増設できます。
2	横カバー	紙づまりの処理をするときを開きます。（p. 10-10）

■ セパレータ（オプション）

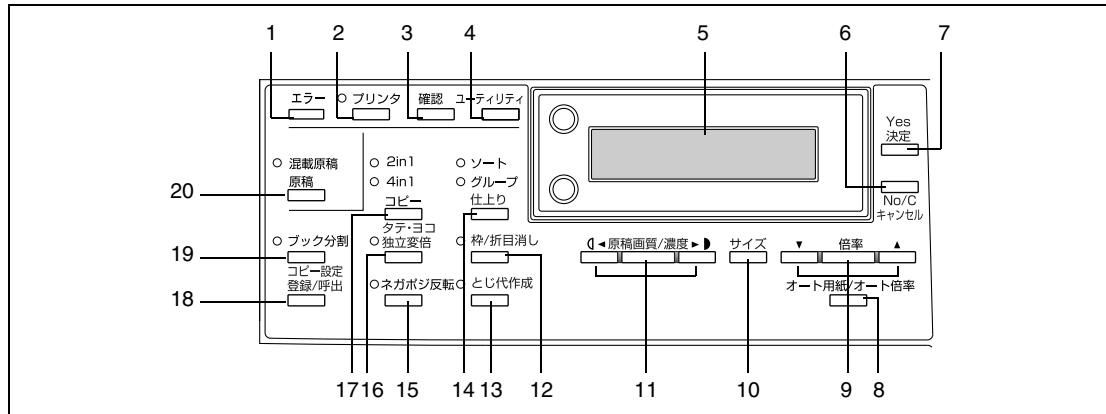


セパレータ

No.	名称	説明
1	用紙排出ランプ	上段排出トレイが上部に移動している状態で、トレイに用紙が残っているときにランプが点灯します。
2	上段排出トレイ	PCからのプリントまたはファクス受信された用紙が排出されます。
3	下段排出トレイ	コピーされた用紙がここに排出されます。

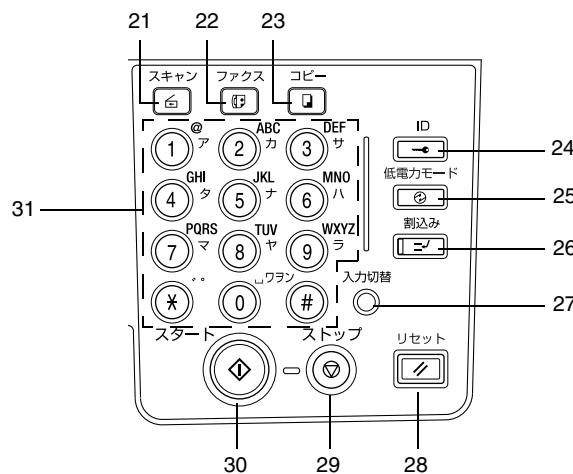
2.3 操作パネル部の名称とはたらき

■ 操作パネル部の名称とはたらき



No.	名称	機能
1	エラーランプ	エラーが発生したときに点灯または点滅します。 詳しくは、「こんなメッセージが表示されたら」(p. 10-1)をご覧ください。
2	プリンタキー／ランプ	PCからのプリント中はランプが点灯し、データの転送中はランプが点滅します。 詳しくは、プリンタドライバユーザーズガイドをご覧ください。
3	確認キー	カウンタの確認、通信結果の確認、レポート出力を行います。
4	ユーティリティキー	ユーティリティモードの設定画面に切替えます。 本体設定、トレイ設定、ユーザー保守、 管理者保守、コピー設定1、2、ファクス登録、送信設定、 受信設定、通信設定、レポート設定、ユーザーデータ登録、ネットワーク設定、メール設定1、2、スキャン設定
5	ディスプレイ	コピー枚数や倍率、ファクスモード、設定メニュー、エラーメッセージを表示します。
6	No/C キャンセルキー	入力中の文字や数字を消去します。 前の画面に戻ります。
7	Yes 決定キー	各種設定値を決定します。
8	オート用紙／オート倍率キー	オート用紙モード／オート倍率モードを選択します。
9	倍率キー ▼、▲キー	<ul style="list-style-type: none"> 拡大／縮小の固定倍率を選択します。 キーを押すごとに、$\times 0.25 \sim \times 4.00$ の範囲で 0.01 刻みの倍率を設定できます。(マニュアル用紙選択モード時) オート用紙モード選択時は $\times 0.50 \sim \times 2.00$ の範囲で選択できます。 機能選択画面や一覧画面で上下キーとして使用します。
10	サイズキー	コピーしたい用紙サイズのトレイを選択します。
11	原稿画質／濃度キー □◀、□▶キー	<ul style="list-style-type: none"> コピーの読み取り濃度を選択します。 機能選択画面で左右キーとして使用します。
12	枠／折目消しキー	イレース位置の選択をします。

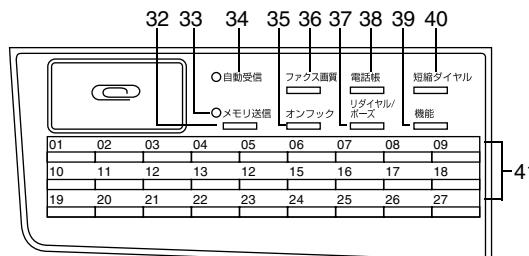
No.	名称	機能
13	とじ代作成キー	とじ代モードを選択します。
14	仕上りキー	コピーの仕上りモードを選択します。
15	ネガポジ反転キー	原稿の白色部と黒色部を反転してコピーします。
16	タテ・ヨコ独立変倍キー	タテとヨコの倍率を変えてコピーします。
17	コピーキー	2in1、4in1 コピーを選択します。
18	コピー設定 登録／呼出キー	<ul style="list-style-type: none"> コピー設定を登録できます。 登録したコピー設定を選択して呼び出します。
19	ブック分割キー	ブック分割を選択します。
20	原稿キー	混載原稿を選択します。 ファクスキーを押すと、原稿混載ランプが点灯します。



No.	名称	機能
21	スキャンキー	スキャンモードに切替えます。キーがグリーン点灯し、スキャンモードであることを示します。 (ネットワークカード NC-502 およびスキャナユニット SU-502 装着時ののみ有効です。)
22	ファクスキー	ファクスマードに切替えます。キーがグリーン点灯し、ファクスマードであることを示します。
23	コピーキー	コピー モードに切替えます。キーがグリーン色に点灯し、コピー モードであることを示します。
24	ID キー	部門管理をしているときに使用します (p. 5-19)。
25	低電力モードキー	低電力モードに切替わります (p. 2-20)。
26	割込みキー	割り込みモードに切替わります。キーがグリーン色に点灯し、割り込みモードであることを示します。 もう一度キーを押すと、割り込みモードを解除し、割り込みモードに入る前のモードに戻ります (p. 4-48)。 ファクス受信／PC プリント中にこのキーを押すと、プリントが停止し割り込みコピーできます。もう一度キーを押すと、ファクス受信／PC プリントを再開します。
27	入力切替キー	番号入力モードと文字入力モードが切替わります。
28	リセットキー	<ul style="list-style-type: none"> 設定をすべて解除します。 設定中のジョブを消去します。 (コピー モード、ファクスマードへの切替えはできません。)
29	ストップキー	<ul style="list-style-type: none"> 連続コピー動作を停止させます。 ファクス送受信を停止させます。 PC プリントを停止させます。
30	スタートキー	<ul style="list-style-type: none"> コピー動作を開始します。 ファクス送信を開始します。 ウォームアップ中に押すと、予約コピー機能がはたらきます (p. 2-20)。 グリーン色に点灯しているときはコピー受け付け可能なことを示し、オレンジ色に点灯しているときはコピー開始の準備ができないことを示しています。

No.	名称	機能
31	テンキー	<ul style="list-style-type: none">コピー部数を設定します。各種設定値を入力します。ファクス番号を入力します。短縮番号や文字を入力します。ファクスモードではトーン送信（ダイヤル回線）用に＊キーを使用し、外線のアクセス用に＃キーを使用します。

2.3 操作パネル部の名称とはたらき

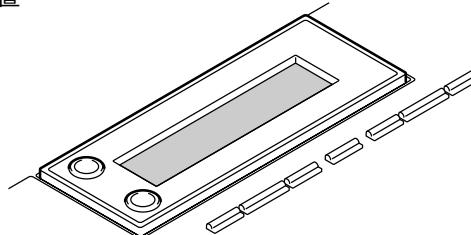


No.	名称	機能
32	メモリ送信キー	メモリ送信を設定します。
33	メモリ送信ランプ	メモリ送信モードに設定されているときに点灯します。
34	自動受信ランプ	自動受信モードに設定されているときに点灯します。
35	オンフックキー	受話器をとった状態にします。もう一度キーを押すと、受話器を置いた状態に戻ります。
36	ファクス画質キー	画質（送信解像度）を選択します。
37	リダイヤル／ポーズキー	<ul style="list-style-type: none"> 最後にかけた相手先にダイヤルします。 ダイヤル時、内線から外線への発信、情報サービスを受けるときの待ち時間に利用します。
38	電話帳キー	ワンタッチダイヤル、グループダイヤル、短縮ダイヤルに登録されている内容が表示されます。
39	機能キー	<p>機能設定画面に切替えます。 順次同報送信、時刻指定通信、親展送信、親展プリント、 ポーリング送信、ポーリング受信、中継指示送信、予約 キャンセル、インターネットファクス受信（スキャナユ ニット SU-502 装着時） 詳しくは、「便利な送信と受信」(p. 7-1) をご覧ください。</p>
40	短縮ダイヤルキー	3桁の数字と組み合わせて、あらかじめ登録されている相手先にダイヤルします。
41	ワンタッチダイヤルキー	<ul style="list-style-type: none"> あらかじめ登録されている相手先にダイヤルします。 ワンタッチダイヤルキーとグループダイヤルの設定には、【01】～【27】を使用します。 プログラムダイヤルの設定には、【24】～【27】を使用します。

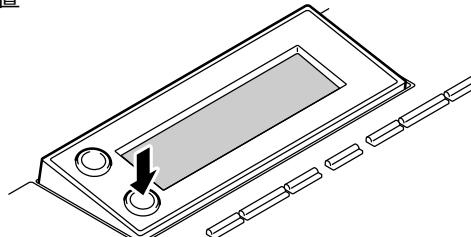
■ ディスプレイの角度の変えかた

ディスプレイ部分を押して角度を3段階に調節できます。
使いやすい角度を選んでご使用ください。

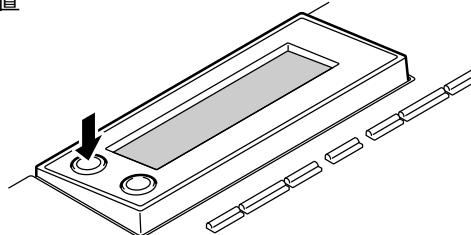
中段位置



上段位置

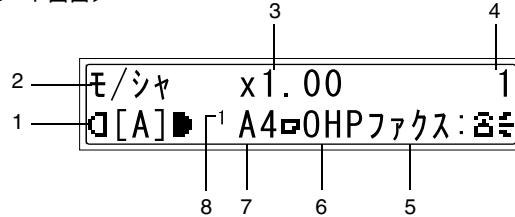


下段位置

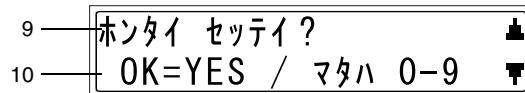


■ ディスプレイ表示について

<コピー モード画面>



<ユーティリティ画面>



<ファクスモード画面>



No.	ディスプレイ表示	説明
1	コピー濃度 [A]	コピー濃度設定での濃度設定状態を表示します。
		オート濃度が選択されています。
		マニュアル濃度が選択されています。マニュアル濃度は、9段階で調整できます。

No.	ディスプレイ表示	説明
2	原稿画質	原稿の画質設定状態を表示します。
	モ/シャ	文字 / 写真画質が選択されています。 文字と写真が混在する新聞や雑誌などの印刷された原稿から、コピーするのに適したモードです。 オート濃度モードと組合せて設定できます。
	シャシン	写真画質が選択されています。 パンフレットやカタログなどの印刷された原稿から、コピーするのに適したモードです。モジ画質では再現できないハーフトーンの原稿画像（写真など）を、可能なかぎり再現します。
	モジ	文字画質が選択されています。 文字だけで構成された原稿からコピーするのに適したモードです。コピーされた文字のエッジをシャープに再現し、読みやすい画像がえられます。 オート濃度モードと組合せて設定できます。
3	コピー倍率	設定されているコピー倍率を表示します。
	xオート	オート倍率が選択されています。 原稿サイズと選択した用紙サイズに合わせて、自動的に最適なコピー倍率を選択します。
	x1.00	等倍（×1.00）が選択されています。 原稿と同じ大きさでコピーします。
	xヨコ/行	タテ・ヨコ独立変倍が選択されています。 原稿のタテ方向とヨコ方向を異なった倍率でコピーします。
4	コピー枚数	コピー枚数を表示します。 1～99枚まで設定可能です。
5	メッセージ表示	コピーモード中における、ファクス、PC プリントなどの状態を表示します。
6	用紙種類	選択されている用紙種類を表示します。
		普通紙または再生紙が選択されています。
	アッガミ	厚紙が選択されています。
	OHP	OHP フィルムが選択されています。
	カトウ	封筒が選択されています。
	ハガキカトウ	官製はがきが選択されています。
7	用紙サイズ	選択されている用紙サイズを表示します。
	[□]	フリーサイズの用紙が設定されています。
8	給紙トレイ	選択されている給紙トレイを表示します。
	1	第1トレイが選択されています。
	2	第2トレイが選択されています。
	3	第3トレイが選択されています。
	4	第4トレイが選択されています。
	5	第5トレイが選択されています。
	▲	シングル手差しトレイまたはマルチ手差しトレイが選択されています。

2.3 操作パネル部の名称とはたらき

No.	ディスプレイ表示	説明
9	モード／機能	<ul style="list-style-type: none"> 各種設定メニュー、選択肢を表示します。 エラーが発生した場合、エラーメッセージを表示します。
10	メッセージ	操作の指示メッセージなどを表示します。
11	モード／機能	<ul style="list-style-type: none"> 現在選択されているモードや機能の設定状態などが表示されます。 各種設定メニュー、選択肢が表示されます。 エラーが発生した場合、エラーメッセージが表示されます。 待ち受け状態のときは、日付とメモリ残容量が表示されます。
12	メッセージ	ファックスモード中における、PC プリントなどの状態を表示します。

＜ファックスモード時の絵文字一覧＞

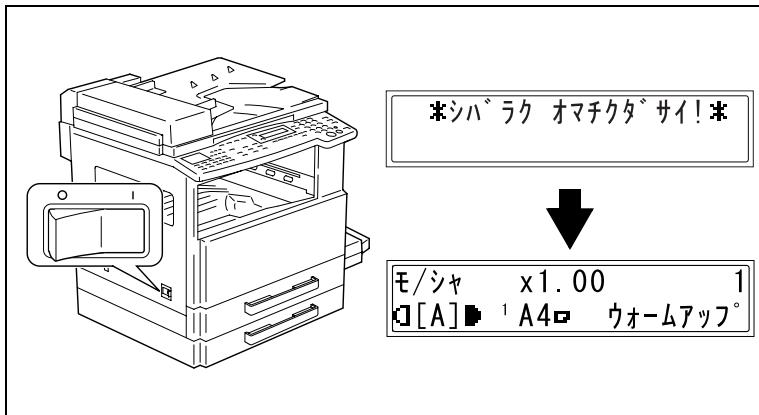
絵文字		説明
	ダイヤル中	ダイヤル中です。
	着信中	呼び出し（着信）を受けています。
	送信中	原稿を送信中です。
	受信中	原稿を受信中です。
	時刻指定送信待機中	時刻指定送信待ちの文書があります。
	ポーリング送信待機中	ポーリング送信待ちの文書があります。
	親展受信待機中	親展受信プリント待ちの文書があります。
	メモリ受信	メモリ受信中または、メモリ受信した文書があります。

2.4 電源について

■ 電源をONにする

メインスイッチの【|】を押します。

【スタート】がオレンジ色に点灯し、ディスプレイに「*シハラク オマチクダサイ!*」と表示されます。



■ 電源をOFFにする

1

すべてのジョブが終了したことを確認します。

2

メインスイッチの【○】を押します。

■ 初期モード

本機の電源をONにしたときやリセットしたときの設定を初期モードと呼びます。初期モードは、すべての操作を行うときの基本となります。

コピー モード

- コピー枚数：1
- コピー濃度：オート
- 倍率：等倍（×1.00）
- 用紙：オート用紙
- 仕上り：ノンソート

ファクス モード

- 画質：スタンダード
- 濃度：ふつう
- 送信設定：メモリ送信
- 受信設定：自動着信

2

ひとこと

- ・ウォームアップタイムは室温 23°C で 30 秒以内です。
- ・ウォームアップ時でもコピーを予約することができます。(p. 2-20)

参照

ユーティリティモードを使って初期モードを変更できます。(p. 8-1) (p. 9-1)

■ オートリセット

オートリセットとはコピー終了後、または本機を操作しなくなつてから一定時間が経過すると、初期モードに戻る機能です。
(工場出荷時の設定：1分)



オートリセット機能が有効になるまでの時間を30秒、または1分から5分の間で設定できます。

またオートリセット機能を無効にすることもできます。詳しくはp.8-6をご覧ください。



ファクスモード中は、オートリセット機能の設定値に関係なく、最後のキー操作後1分間を経過するとオートリセット機能がはたらきます。

■ 低電力（スリープ）モード

低電力モードは電源をOFFするかわりに本機を節電状態にする機能です。

低電力モード中は【スタート】がグリーン色に点灯し、操作パネルのディスプレイ表示はOFFになります。

低電力モードになる条件

- 【低電力モード】を押したとき
- 本機を操作しなくなつてから一定時間が経過したとき
(工場出荷時の設定：15分)



低電力モード中でもオートパワーオフ機能が有効になると、本機の電源はOFFになります。



低電力モードが有効になるまでの時間を1分から240分の間で設定できます。詳しくはp.8-7をご覧ください。

■ オートパワーオフ

オートパワーオフとは、本機を操作しなくなつてから一定時間が経過すると、節電のために自動で電源がOFFになる機能です。
(工場出荷時の設定：OFF)



自動的にオートパワーオフがはらくまでの時間を、15分～240分の間で設定できます(p.8-8)。

■ 予約コピー

予約コピーとは、ディスプレイ右下に「*ウォームアップ*」と表示されているときに原稿をセットし、【スタート】を押すと、コピーを予約できる機能です。

ウォームアップ表示が消えると、セットされた原稿の読み込みを開始してコピーを行います。

2.5 電気を節約するには

省エネルギーのために電気を節約したいときは、「低電力（スリープ）モード」や「オートパワーオフモード」を使うと便利です。

ここでは自動的に低電力（スリープ）モード、オートパワーオフに切り替える方法を説明します。

1

【ユーティリティ】を押します。

本体設定メニューが表示されます。

ホンタイ セッティ ?
OK=YES / マタハ 0-9

2

テンキーの【2】を押します。

「スリープ° モード」が表示されます。

2 スリープ° モード

3

テンキーで、機能が有効になるまでの時間を入力し、
【Yes】を押します。

タイマー= 15min (1-240)
OK=YES

4

テンキーの【3】を押します。

「オートパワーオフ」が表示されます。

3 オート ハ° ワー オフ

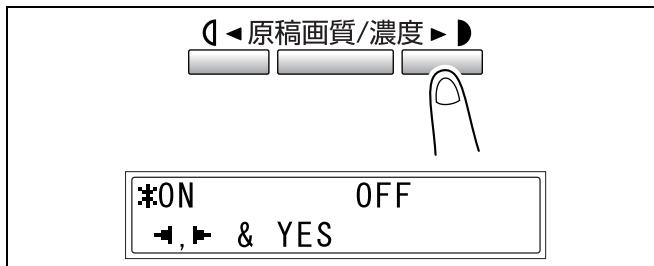


詳しく説明します

- タイマー設定は、1分～240分の間で設定できます。
- 数値を訂正したい場合は、【No】を押して入力します。

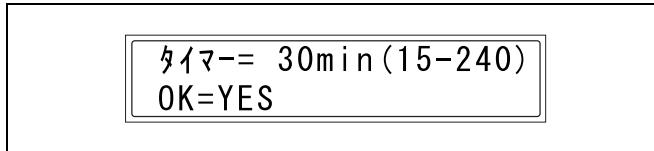
- 管理者保守メニューで、オートパワーオフしない設定の「**オフ**」を選択しているときは、下の画面が表示されます。

【**◀**】、【**▶**】で「ON」を選択し、【YES】を押してください。



5

テンキーで、機能が有効になるまでの時間を入力し、
【Yes】を押します。



6

【No】を押します。

基本画面が表示されます。



- タイマー設定は、15 分～240 分の間で設定できます。
- 数値を訂正したい場合は、【No】を押して入力しないでください。

第3章

コピー／ファクスをとるまえに

コピー／ファクスをとる前に知っておくと便利なことについて説明します。

3.1 用紙について	3-2
3.2 画像コピー／プリント領域	3-6
3.3 用紙の保管	3-7
3.4 用紙のセットのしかた	3-8
3.5 原稿について	3-12
3.6 原稿のセットのしかた	3-14
3.7 文字の入力のしかた	3-20
3.8 最初に必要な登録と設定の確認	3-24

3.1 用紙について

以下の表に示す条件を満たす用紙を使用してください。

■ 用紙種類

用紙種類 坪量 (g/m ²)	普通紙	厚紙	再生紙
給紙口／その他	60 ~ 90 g/m ²	91 ~ 157 g/m ²	60 ~ 90 g/m ²
シングル手差しトレイ	○	○	○
マルチ手差しトレイ	○	○	○
第 1 トレイ	○	○	○
第 2 トレイ	○	—	○
第 3 トレイ	○	—	○
第 4 トレイ	○	—	○
第 5 トレイ	○	—	○

ひとこと

第 2/ 第 3/ 第 4/ 第 5 トレイ、
マルチ手差しトレイはオプションです。

用紙種類 給紙口／その他	特殊紙			
	官製 はがき	OHP フィルム	ラベル 用紙	封筒
シングル手差しトレイ	○	○	○	○
マルチ手差しトレイ	○	○	○	○
第 1 トレイ	○	○	○	○
第 2 トレイ	—	—	—	—
第 3 トレイ	—	—	—	—
第 4 トレイ	—	—	—	—
第 5 トレイ	—	—	—	—

○：セット可

—：セット不可

■ 用紙サイズ

不定形紙

給紙口	用紙幅	用紙長
シングル手差しトレイ	90 mm ~ 297 mm	140 mm ~ 432 mm
マルチ手差しトレイ	90 mm ~ 297 mm	140 mm ~ 432 mm
第1トレイ	90 mm ~ 297 mm	140 mm ~ 432 mm
第2トレイ	182 mm ~ 297 mm	140 mm ~ 432 mm
第3トレイ	182 mm ~ 297 mm	140 mm ~ 432 mm
第4トレイ	182 mm ~ 297 mm	140 mm ~ 432 mm
第5トレイ	182 mm ~ 297 mm	140 mm ~ 432 mm

定形紙

用紙サイズ 給紙口／その他	A3 □	B4 □	A4 □	A4 □	B5 □	B5 □	A5 □	A5 □
シングル手差しトレイ	○	○	○	○	○	○	○	○
マルチ手差しトレイ	○	○	○	○	○	○	○	○
第1トレイ	○	○	○	○	○	○	○	○
第2トレイ	○	○	○	○	○	○	—	○
第3トレイ	○	○	○	○	○	○	—	○
第4トレイ	○	○	○	○	○	○	—	○
第5トレイ	○	○	○	○	○	○	—	○

○ : セット可

— : セット不可

ひとこと

第2/第3/第4/第5トレイ、マルチ手差しトレイはオプションです。

■ 用紙セット枚数

用紙種類 坪量 (g/m ²)	普通紙	厚紙	再生紙
	60 ~ 90 g/m ²	91 ~ 157 g/m ²	60 ~ 90 g/m ²
給紙口／その他			
シングル手差しトレイ	1 枚	1 枚	1 枚
マルチ手差しトレイ	100 枚	20 枚	100 枚
第 1 トレイ	250 枚	20 枚	250 枚
第 2 トレイ	250 枚	—	250 枚
第 3 トレイ	250 枚	—	250 枚
第 4 トレイ	250 枚	—	250 枚
第 5 トレイ	250 枚	—	250 枚

ひとこと

第 2/ 第 3/ 第 4/ 第 5 トレイ、マルチ手差しトレイはオプションです。

用紙種類 給紙口／その他	特殊紙			
	官製はがき	OHP フィルム	ラベル用紙	封筒
シングル手差しトレイ	1 枚	1 枚	1 枚	1 枚
マルチ手差しトレイ	20 枚	20 枚	20 枚	10 枚
第 1 トレイ	20 枚	20 枚	20 枚	10 枚
第 2 トレイ	—	—	—	—
第 3 トレイ	—	—	—	—
第 4 トレイ	—	—	—	—
第 5 トレイ	—	—	—	—

— : セット不可

■ コピー／プリントに適さない用紙

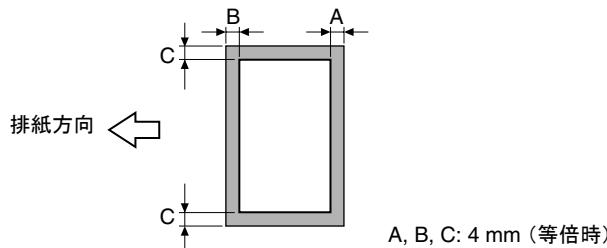
以下に示す用紙は使用しないでください。コピー／プリント品質の低下や、紙づまり、故障の原因になります。

- 一度通紙したOHP フィルム
白紙状態で排出されたOHP フィルムであっても再使用できません
- 熱転写プリンタやインクジェットプリンタでプリントされた用紙
- 厚すぎる用紙や薄すぎる用紙
- 折り目、反り、しわ、破れのある用紙
- 開封後に長期経過した用紙
- 吸湿した用紙
- バインダー用の穴があいている用紙、ミシン目のある用紙
- 表面が滑らかすぎる用紙、表面が粗すぎる用紙、表面が一様でない用紙
- カーボン紙、感熱紙、感圧紙のような表面が加工された用紙
- 箔押し、エンボス等の加工が施されている用紙
- 形が不規則な用紙（長方形でない用紙）
- のり、ステープル、クリップなどで綴じられている用紙
- ラベルが貼ってある用紙
- リボンやフック、ボタン等の付いている用紙

3.2 画像コピー／プリント領域

以下に示す領域の画像はコピー／プリントされませんので注意してください。

- 用紙の後端より 4 mm (等倍時) のエリア (A)
- 用紙の先端より 4 mm (等倍時) のエリア (B)
- 用紙の端より 4 mm (等倍時) のエリア (C)



PC からプリントする場合については、「プリンタ ドライバユーザーズガイド」をご覧ください。オプションのイメージコントローラ IC-205 を装着している場合は、「イメージコントローラ IC-205 ユーザーズガイド」をご覧ください。

3.3 用紙の保管

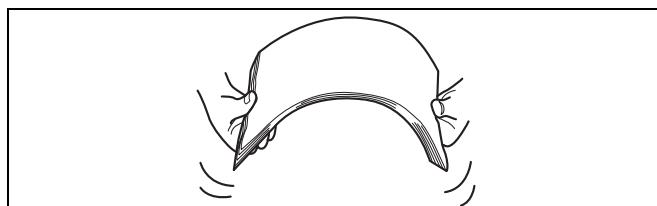
用紙は以下の注意点を守って取り扱ってください。

- 用紙を保管するときには、次のような場所は避けてください。
 - 直射日光の当たるところ
 - 火気のあるところ
 - 湿気のあるところ
 - ほこりのあるところ
- 包みから取り出した用紙はポリ袋に入れ、必ず冷暗所で保管してください。
- 幼児や子供の手の届くところには置かないようにしてください。

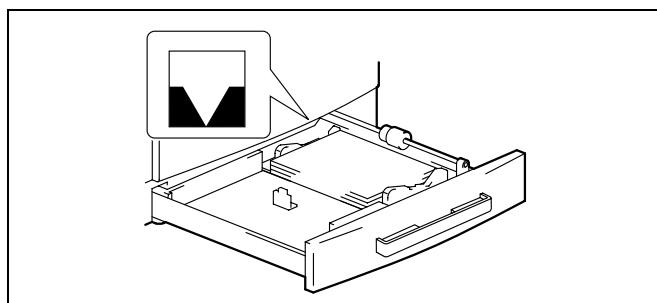
3.4 用紙のセットのしかた

用紙をセットするときに、以下の注意事項を必ず守ってください。

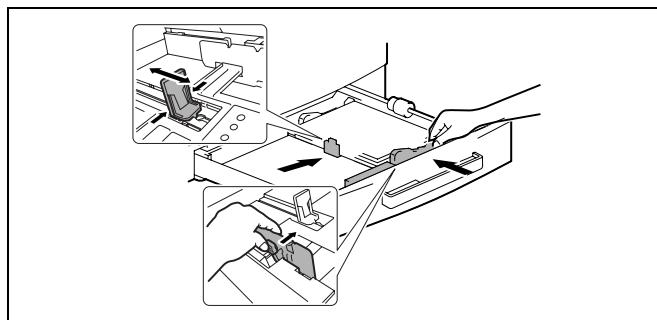
- 用紙がカールしている（反っている）場合は、用紙のカール（反り）をなおしてからセットしてください。



- 用紙は▼マークまたは規定枚数を超えないようにセットしてください。



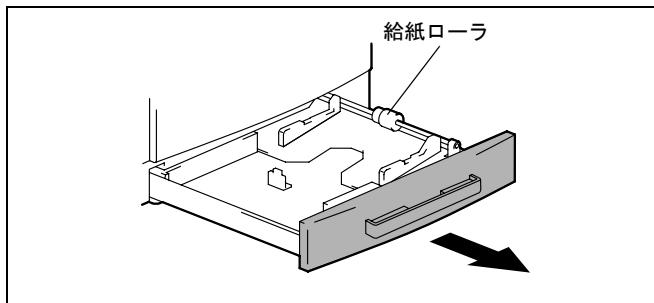
- ガイド板を確実に用紙の端面にあわせてください。



■ 第1トレイに用紙をセットする

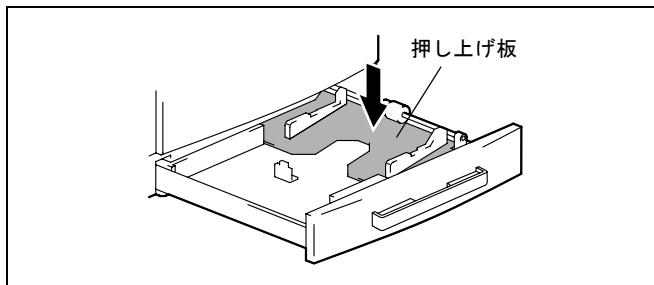
1

第1トレイを引き出します。



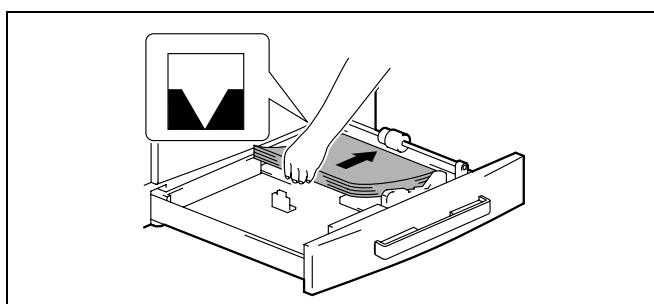
2

押し上げ板を“カチッ”と音がするまで押し下げます。



3

用紙をセットします。



給紙ローラの表面には手を
触れないように注意してく
ださい。

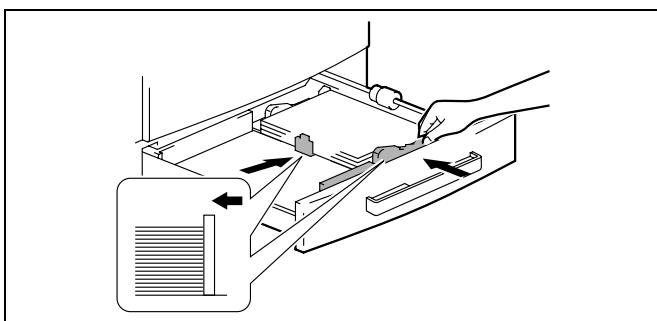
3



用紙は▼マークをこえない
ようにセットしてください。

4

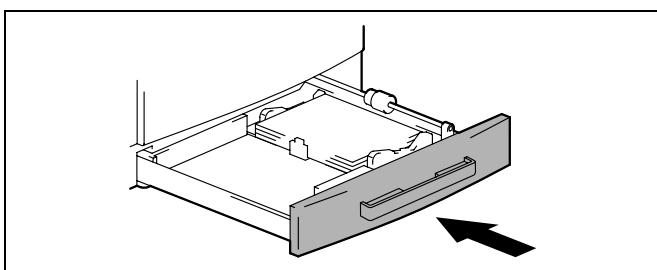
用紙のサイズにあわせ、ガイド板を調整します。



必ず守ってください
ガイド板は、必ず用紙の端面にあわせてください。

5

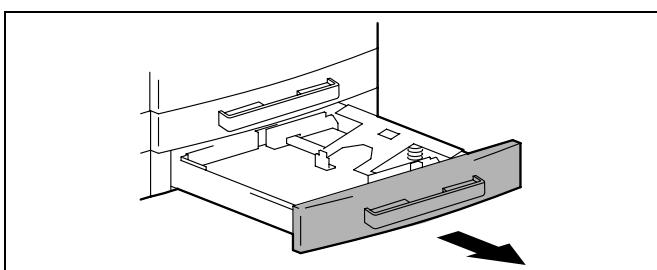
第1トレイをもとに戻します。



■ 第2/第3/第4/第5トレイに用紙をセットする

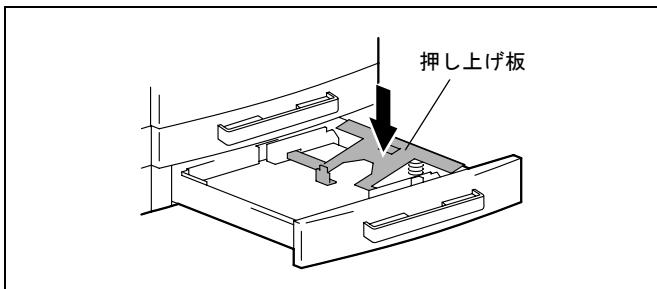
1

トレイを引き出します。



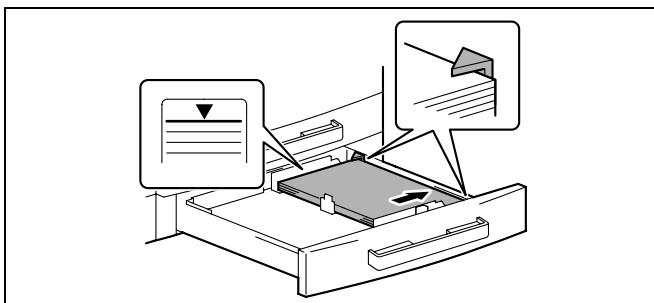
2

押し上げ板を“カチッ”と音がするまで押し下げます。



3

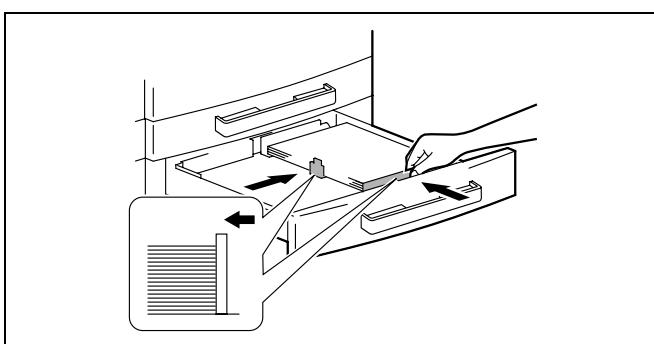
用紙をセットします。



用紙は▼マークをこえない
ように、ツメの下にセット
してください。

4

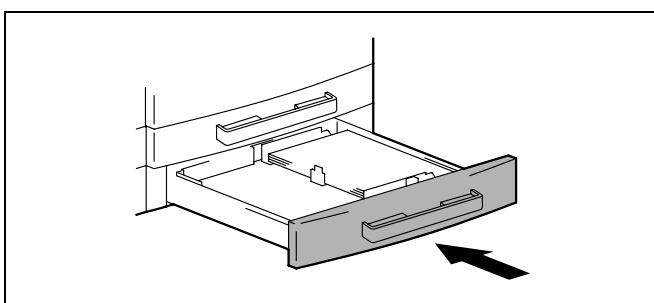
用紙のサイズに合わせ、ガイド板を調整します。



ガイド板は、必ず用紙の端
面にあわせてください。

5

トレイをもとに戻します。



3.5 原稿について

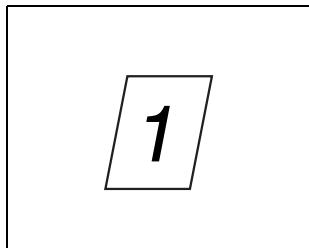
■ 原稿送り装置を使用する場合

原稿送り装置は、多数の原稿を1枚ずつ送り出して読み込み、読み込み終わると自動的に排出する装置です。この装置の機能を十分発揮させるために、適正な原稿をご使用ください。

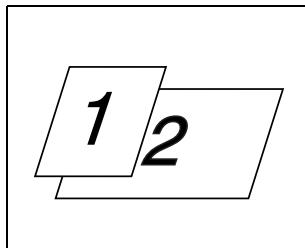
適正な原稿を使用しないと、原稿つまりや原稿破損、本機の故障の原因となります。

■ 原稿のタイプ

片面の原稿



混載の原稿



原稿セット方法	原稿種類	原稿サイズ
原稿送り装置の場合	シート原稿 片面原稿 (50 g/m ² ~ 110 g/m ²) 混載原稿 (60 g/m ² ~ 90 g/m ²)	A3 □、B4 □、A4 □/□、B5 □/□、A5 □/□ 原稿幅：90 mm ~ 297 mm 原稿長さ：210 mm ~ 420 mm ファクス送信の場合、原稿 の長さは1,000 mmまで読 み取りできます。ただしA3 幅をスーパーファインで読 み取る場合は900 mmまで です。 混載原稿の場合以下の組み 合わせができます。 A3 □とA4 □ B4 □とB5 □
原稿ガラスの場合	シート原稿、 ブック原稿、 立体物 最大質量 3 kg	A3 □、B4 □、A4 □/□、B5 □/□、A5 □/□ 原稿幅：297 mmまで 原稿長さ：432 mmまで

■ 原稿についての注意

以下のような原稿は原稿つまりや原稿破損、本機の故障の原因になるため、原稿送り装置に適していません。原稿ガラス上に原稿をセットしてください。

- 折り目のついた原稿（2つ折り、Z折りなど）
- 第2原図などの透明度の高い原稿
- とじ穴のあいた原稿（とじ穴の数が2個～4個）
- ルーズリーフなどの、とじ穴が多い原稿
- 感熱紙やカーボン紙など、原稿表面にコーティング処理されている原稿
- インクジェットプリンタ用の用紙
- 本機でコピー／プリントした直後の用紙
- 反り返った原稿
- しわや破れのある原稿
- OHP フィルム



原稿ガラス上に、不定形サイズの原稿をセットしたときは、オート用紙、オート倍率機能が使用できません。不定形サイズの原稿をセットしたときは、【サイズ】を押してコピーする用紙を選択するか、【倍率】を押してコピー倍率を選択してください。（p. 4-39）

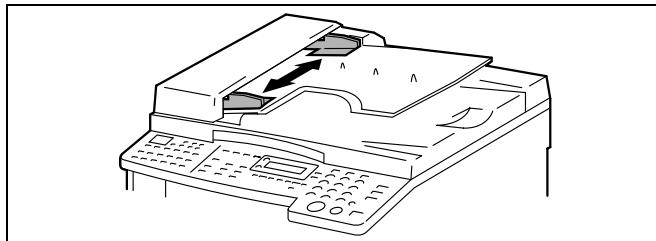
3.6 原稿のセットのしかた

原稿のセットのしかたには、原稿送り装置にセットする方法と、原稿ガラス上にセットする方法があります。原稿の種類にあわせて最適な方法で原稿をセットしてください。

■ 原稿送り装置に原稿をセットする

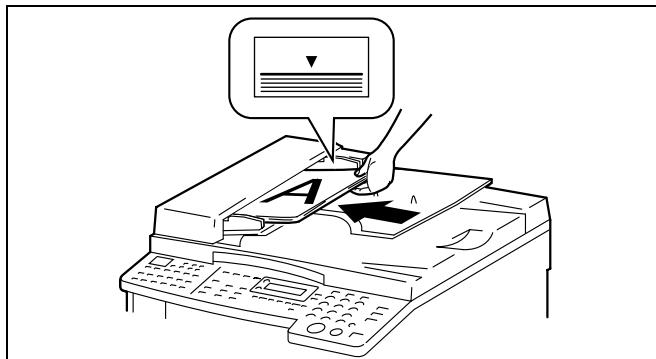
1

原稿セットガイドを開きます。



2

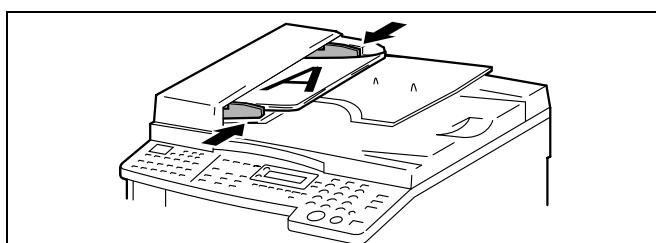
原稿のコピーする面を上に向けてセットします。



- 原稿のセット枚数は最大50枚までです。
- 原稿は▼マークをこえないようにセットしてください。

3

原稿セットガイドを原稿サイズにあわせます。



原稿を正しくセットしないと、原稿が斜め送りされる原因になります。

■ 原稿ガラス上に原稿をセットする

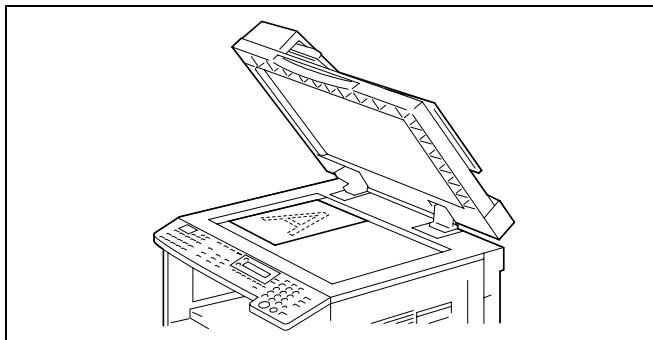
普通紙や原稿送り装置に適さない原稿をセットする場合は、以下の手順でセットしてください。

1

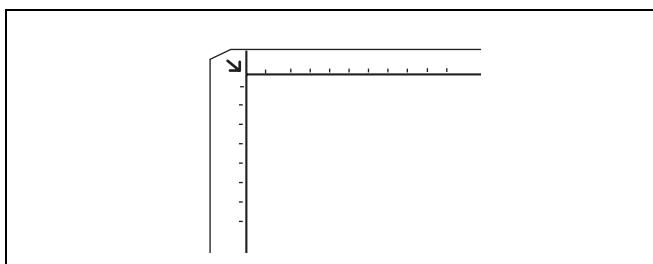
原稿送り装置を開きます。

2

原稿のコピーする面を下に向けてセットします。



○ 原稿は原稿ガラス左側と上側にある原稿スケールにあわせます。



3

原稿送り装置を静かに閉じます。

3

■ 透明度の高い原稿をセットする

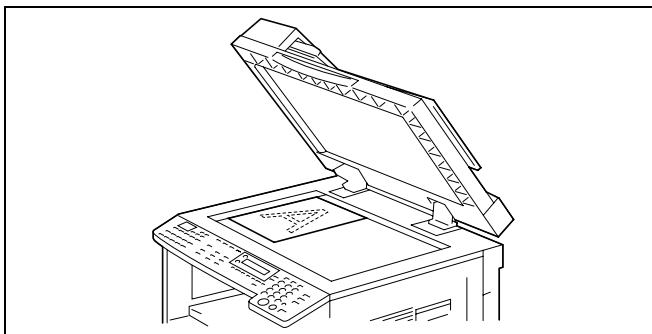
OHP フィルム、トレーシングペーパー、第 2 原図などの透明度の高い原稿をセットする場合は、以下の手順でセットしてください。

1

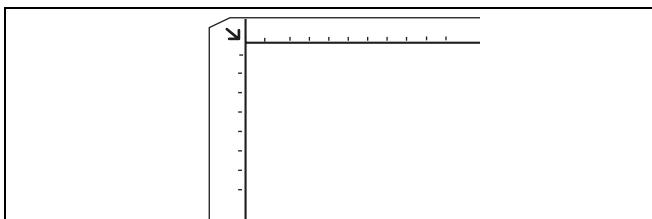
原稿送り装置を開きます。

2

原稿のコピーする面を下に向けてセットします。

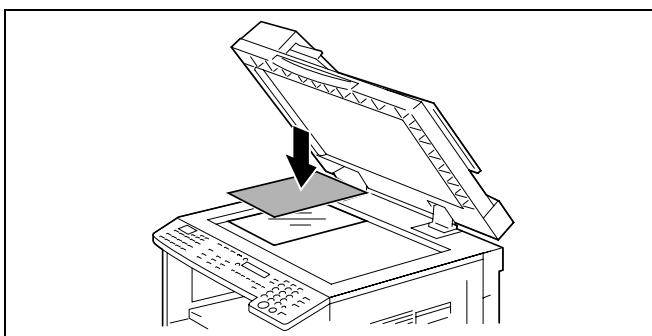


○ 原稿は原稿ガラス左側と上側にある原稿スケールにあわせます。



3

原稿と同じサイズの白紙を原稿の上に重ねます。



4

原稿送り装置を静かに閉じます。

■ ブック原稿をセットする

本や雑誌など、綴じてある見開き原稿をセットする場合は、以下の手順でセットしてください。

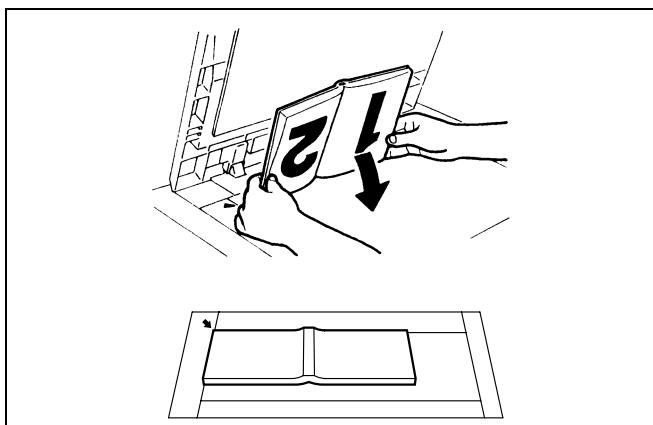
1

原稿送り装置を開きます。

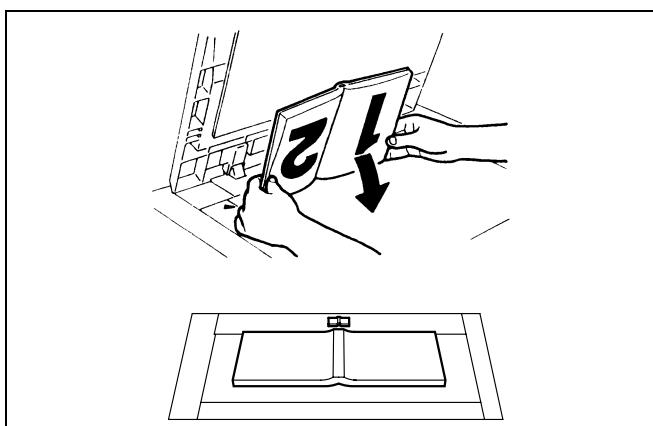
2

ブック原稿を原稿ガラスにセットします。

- 見開きコピーの場合、原稿スケール左奥側の  マークにあわせます。



- ブック分割コピーの場合、原稿の天部（上側）を奥側にし、ブック原稿の中央を奥側にある原稿スケールの  マークにあわせます。



3

原稿送り装置を静かに閉じます。

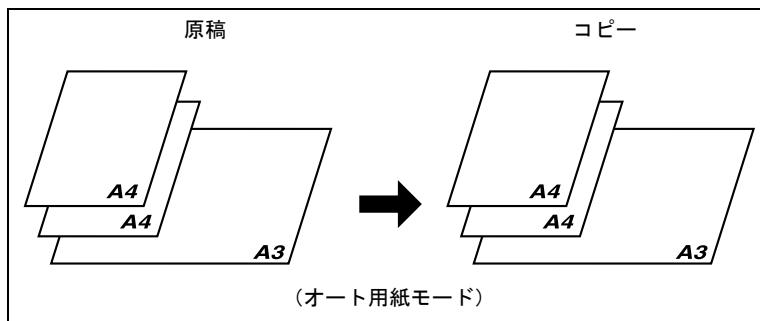
3

必ず守ってください

原稿ガラスの上には 3 kg を超えるような重い原稿は載せないでください。また、ブック原稿などをセットする場合、強い力で上から押さえつけないようにしてください。故障の原因となります。

■ サイズが異なる原稿をセットする（混載原稿）

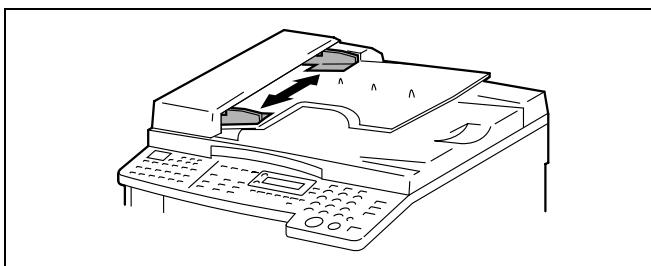
混載原稿とは、原稿送り装置にサイズの異なる原稿を一度にセットしてコピーをとる機能です。



原稿の幅が同じ場合のみ混載原稿コピーができます。
原稿の組み合わせは以下のとおりです。
A3 □ と A4 □、B4 □ と B5 □

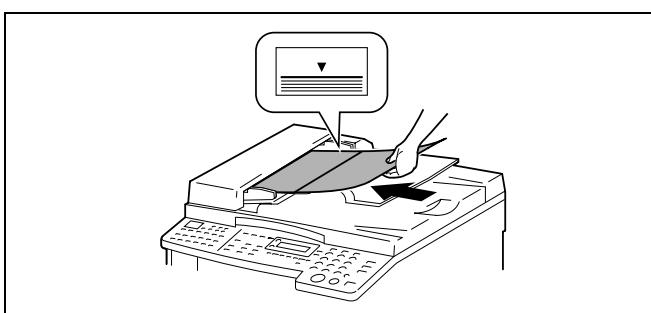
1

原稿セットガイドを開きます。



2

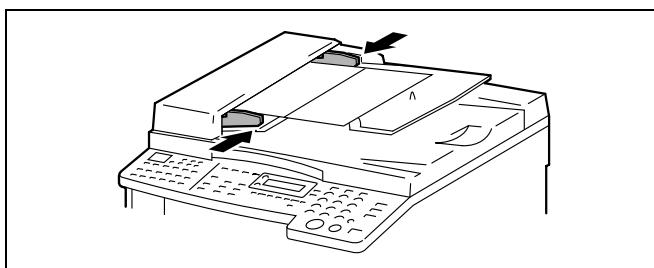
原稿のコピーする面を上に向けてセットします。



- 原稿のセット枚数は最大50枚までです。
- 原稿は▼マークをこえないようにセットしてください。

3

原稿セットガイドを原稿サイズにあわせます。



原稿を正しくセットしないと原稿が斜め送りされる原因となります。

3

4

【原稿】を押します。

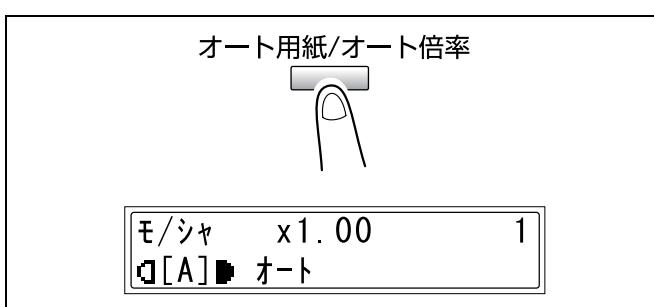
混載原稿ランプが点灯します。



5

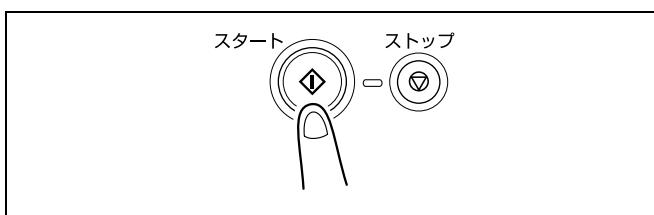
【オート用紙／オート倍率】を押し、オート用紙を選択します。

○ ディスプレイ下行に「オート」が表示されていることを確認します。



6

【スタート】を押します。



3.7 文字の入力のしかた

発信元を登録したり、ワンタッチダイヤルキーなどに相手先の名前を登録したりするときの、文字の入力のしかたについて説明します。

■ キー操作

テンキーで数字、カタカナ、英字、記号を入力します。

数字、英字／記号とカタカナの入力切り替えは【入力切替】で行います。

数字入力時は、[1] がディスプレイに表示されます。

英字／記号入力時は、[A] がディスプレイに表示されます。

「→」は「～」（チルダ）として扱われます。

カタカナ入力時は [ア] がディスプレイに表示されます。

テンキーの各キーで使用できる文字は、以下の表のようになっています。

＜テンキー入力文字列一覧＞

テンキー	入力文字列 *		
	[1]	[A]	[ア]
1	1 . (ピリオド) @ _ (アンダー バー) - (ハイフ ン) 1		アイウエオ アイウエオ
2	2	ABC2abc	カキクケコ
3	3	DEF3def	サシスセソ
4	4	GHI4ghi	タチツテトツ
5	5	JKL5jkl	ナニヌネノ
6	6	MNO6mno	ハヒフヘホ
7	7	PQRS7pqrs	マミムメモ
8	8	TUV8tuv	ヤユヨヤユヨ
9	9	WXYZ9wxyz	ラリルレロ
0	0	(スペース) 0	ワラン (スペース)
*	*	+ & / * = ! ? () % [] ^ ' { } → \$, : ; < > “	。。
#	#	#	#

* テンキーを繰り返し押すと、文字・記号が各欄に記されている順番でディスプレイに表示されます。

■ 入力モードの変更

【入力切替】を押すたびに、番号入力モードと文字入力モードが切替わります。

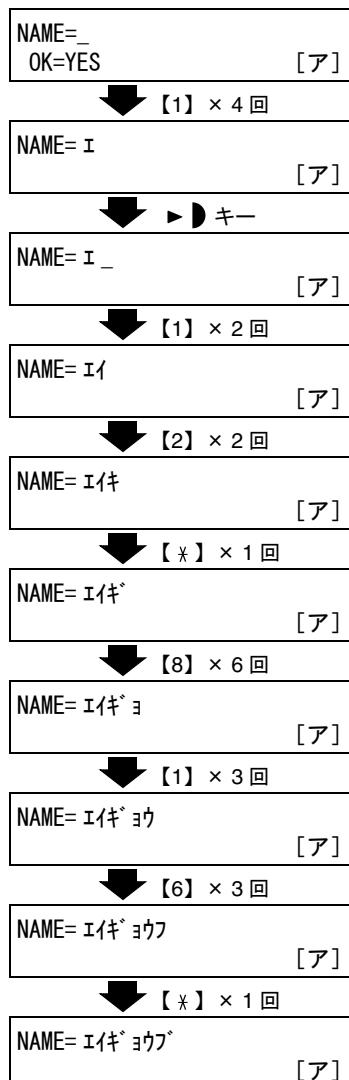
- [1] : 番号を入力できます。
- [A] : アルファベット、記号を入力できます。
- [ア] : カナを入力できます。

■ 入力例

名前を入力する場合の例： エイギョウブ

【入力切替】を押して入力モード [ア] を選択します。

※ ディスプレイ上のカーソル (_) は、その位置の文字と交互に表示されます。



■ 文字列の訂正のしかたと入力時の注意

- 入力済みの文字列をすべて消去したい場合は、【No】を長押しします。
- 入力済みの文字列の一部を削除したい場合は、【□◀】、【▶□】で削除したい文字の上にカーソル（_）を移動させ、【No】を押します。
- 入力済みの文字列を修正したい場合は、【□◀】、【▶□】で修正したい文字の上にカーソル（_）を移動させ、文字を入力します。（カーソル位置の文字は、入力した文字に置替えられます。）
- テンキーで文字を入力するとき、直前に入力した文字と次に入力する文字で同じキーを使う場合は、次の文字を入力する前に【▶□】を押します。（前ページの入力例をご覧ください。）
- スペースを入力したい場合は、テンキーの【0】を押します。
- すべての入力、登録をキャンセルしたい場合は、【リセット】を押します。

3.8 最初に必要な登録と設定の確認

本機の持っている機能を十分に活用していただくために、ここで説明している時刻やワンタッチダイヤルキーなどをあらかじめ登録してください。

また、各種レポートのプリントのしかたなどは、工場出荷時に設定してありますが、利用状況に応じて変更できます。本機の操作に入る前に、これらをご確認ください。

■ 必要な登録

はじめてお使いになるときは、必ず以下の登録を行ってください。

- 現在の日付／時刻
- 自局ファクス番号
- 回線種別の設定
- 通信回線（外線／内線）の設定

以下の登録をしておくと、本機を有効に利用できます。登録することをおすすめします。

- 発信元（こちらの名前や番号）
- ワンタッチダイヤル
- 短縮ダイヤル
- プログラムダイヤル

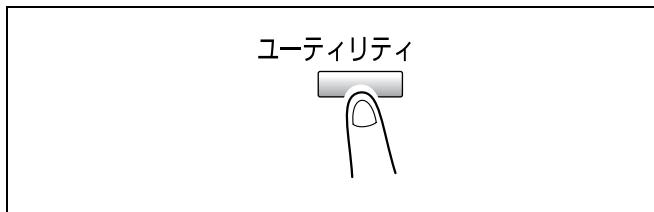
■ 初期設定の確認

各種機能の設定状態は、工場出荷時にあらかじめ設定されています。お買い上げいただいたときの設定内容を確認し、利用状況に合わせて変更してください。（「第8章 ユーティリティ／コピー設定」、「第9章 ユーティリティ／ファクス設定」をご覧ください。）

■ 現在の日付／時刻を設定する

1

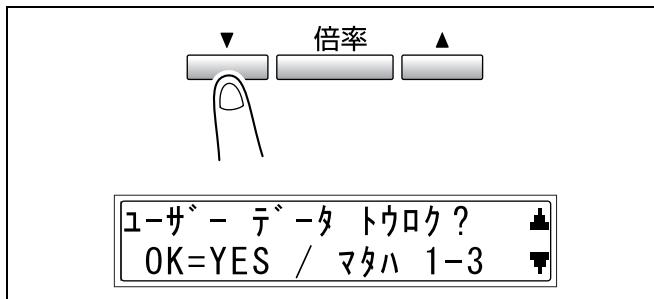
【ユーティリティ】を押します。



「ポンタイ セッティ？」画面が表示されます。

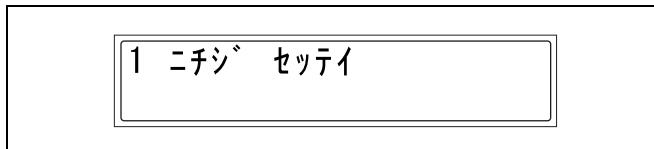
2

【▼】を11回押し、「ユーザーテータ トウロク？」を選択します。



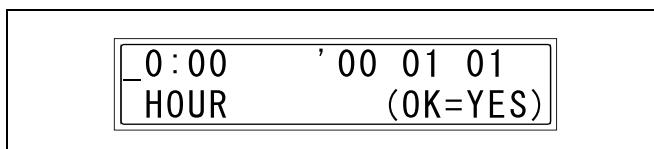
3

テンキーの【1】を押し、「ニチジ セッティ」を選択します。



4

テンキーで時刻を入力します。



○ 時刻、日付入力画面では【◀】、【▶】でカーソル（_）を移動させることができます。



時刻は24時間制で指定します。

5

テンキーで日付（年月日）を入力します。

15:23	,	0	01	01
YEAR		(OK=YES)		

詳しく説明します

年は西暦の下2桁で指定します。

6

【Yes】を押し、タイムゾーンの設定画面を表示させます。

タイムゾーン=GMT+00:00				
◀	▶	&	YES	

ひとこと

ネットワークカード NC-502 とスキャナユニット SU-502 を装着したときのみ、この設定が必要です。

詳しく説明します

日本国内の場合は、+09:00 が標準です。

7

【Yes】を押します。

「ユーザーデータトウウ？」画面が表示されます。

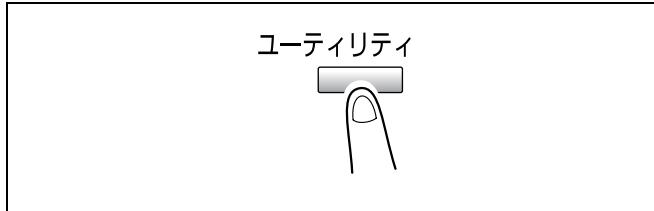
○【リセット】を押すと基本画面に戻ります。

■ 自局のファクス番号を登録する

送信原稿のヘッダーに付ける自局のファクス番号を登録します。

1

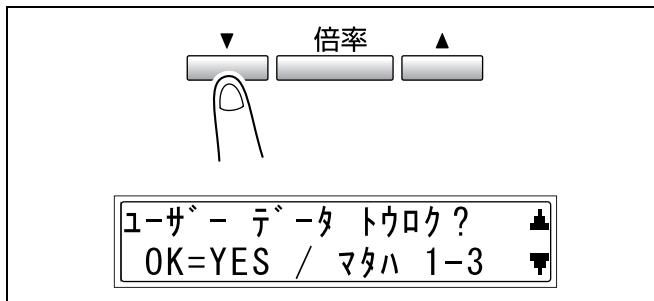
【ユーティリティ】を押します。



「ポンタイ セッティ？」画面が表示されます。

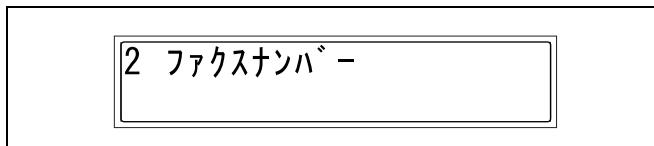
2

【▼】を11回押し、「ユーザーデータ トウロク？」を選択します。



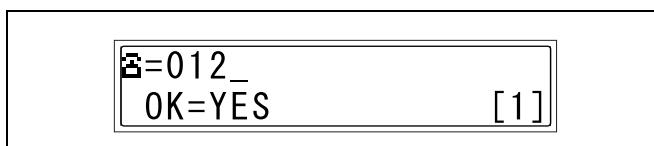
3

テンキーの【2】を押し、「ファクスナンバー」を選択します。



4

テンキーでファクス番号を入力します。



5

【Yes】を押します。

「ユーザーデータ トウロク？」画面が表示されます。



文字列の入力方法については「文字の入力のしかた」(p. 3-20)をご覧ください。



詳しく説明します

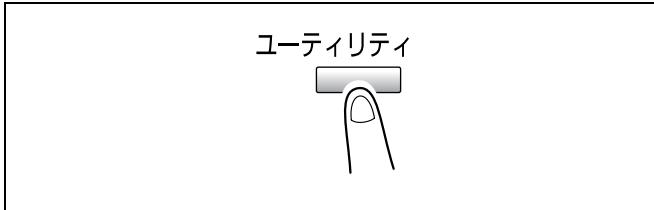
- ・ファクス番号は最大20桁まで入力できます。
- ・入力可能な文字： 数字(0～9)、スペース、+、-

■ 発信元名を登録する

送信原稿のヘッダーに付ける発信元名を登録します。

1

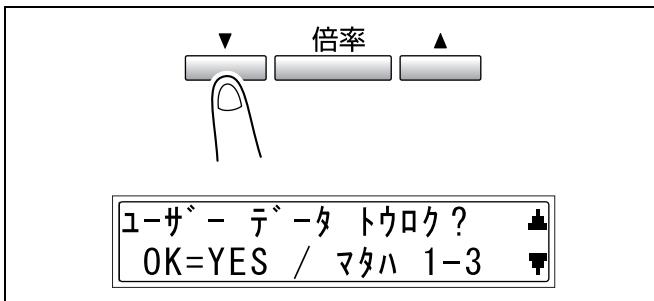
【ユーティリティ】を押します。



発信元は、送信した原稿の先端にプリントされます。発信元を付けずに送信することもできます。

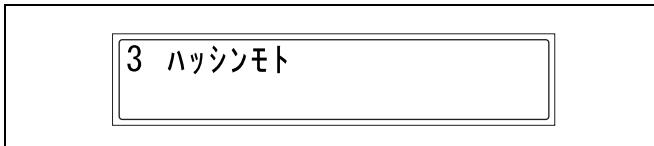
2

【▼】を11回押し、「ユーザーデータ トウロク？」を選択します。



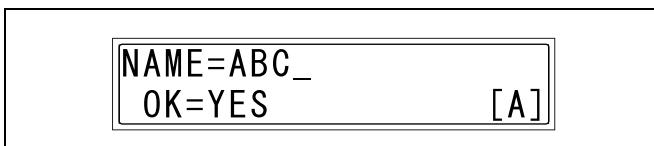
3

テンキーの【3】を押し、「ハッシンモト」を選択します。



4

テンキーで発信元名を入力します。



文字列の入力方法については「文字の入力のしかた」(p. 3-20)をご覧ください。



発信元名は最大32文字まで登録できます。

5

【Yes】を押します。

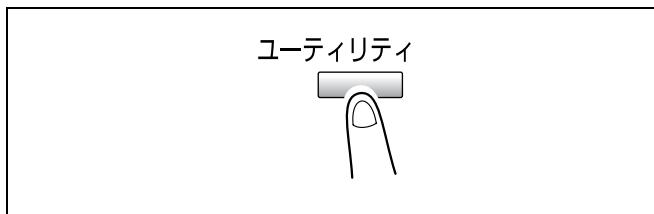
「ユーザーデータ トウロク？」画面が表示されます。

■ 回線種別を設定する

電話回線には、プッシュ回線（PB）とダイヤル回線（DP10pps、DP20pps）があります。ご使用の電話回線の種別と本機の設定を合わせないと送信できません。ご使用の電話回線の種別をご確認のうえ、回線種別を設定してください。ご使用の回線種別がわからない場合は、最寄りのNTT窓口へお問い合わせください。

1

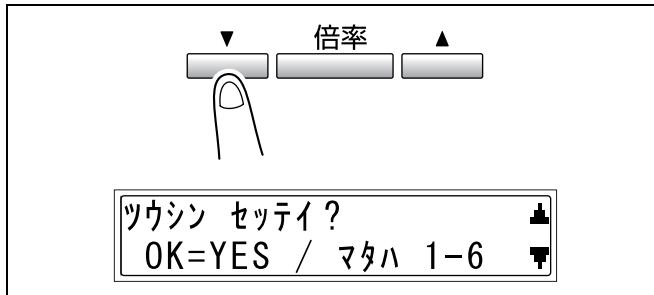
【ユーティリティ】を押します。



「ポンタイ セッティ？」画面が表示されます。

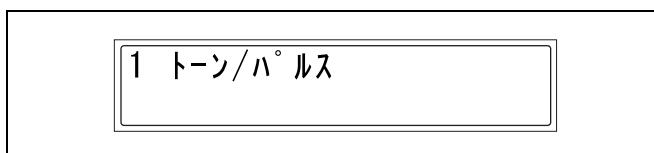
2

【▼】を9回押し、「ツウシン セッティ？」を選択します。



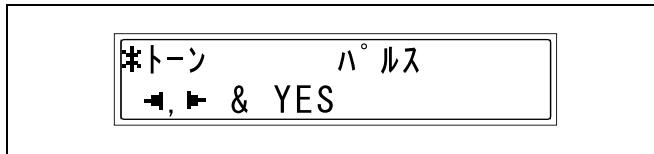
3

テンキーの【1】を押し、「トーン／パルス」を選択します。



4

【◀】、【▶】で「トーン」（プッシュ回線）または「パルス」（ダイヤル回線）を選択し、【Yes】を押します。



5

「パルス」を選択した場合、「10pps」か「20pps」を選択し、【Yes】を押します。

*10pps 20pps
◀, ▶ & YES

「ツウシン セッティ？」画面が表示されます。

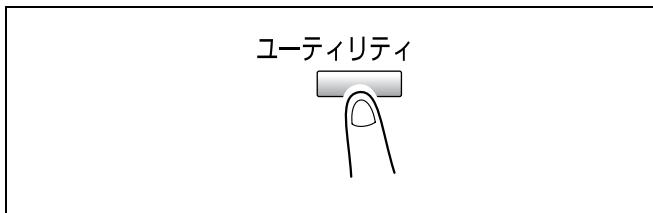
■ 通信回線を設定する

接続している通信回線が、「PSTN（公衆網電話線）」か「PBX（構内電話交換機）」かを設定します。

「PBX」の場合、外線接続（または内線接続）のダイヤル番号を登録します。外線接続（内線接続）のダイヤル番号は【#】に登録されます。

1

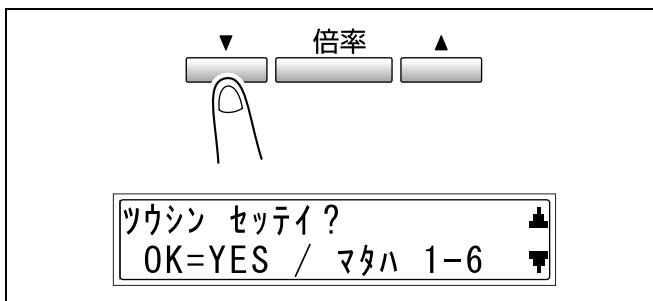
【ユーティリティ】を押します。



「ホンタイ セッティ？」画面が表示されます。

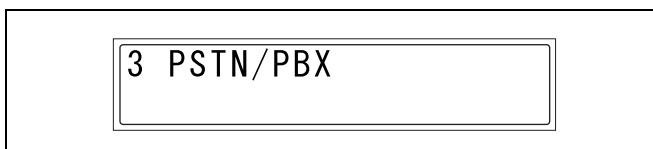
2

【▼】を9回押し、「ツウシン セッティ？」を選択します。



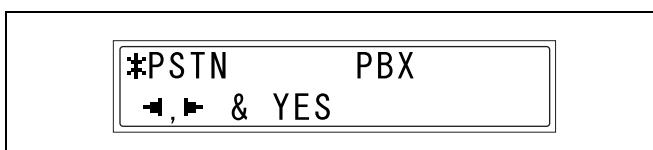
3

テンキーの【3】を押し、「PSTN/PBX」を選択します。



4

【◀】、【▶】で「PSTN」（公衆網電話線）か「PBX」（構内電話交換機）を選択し、【Yes】を押します。

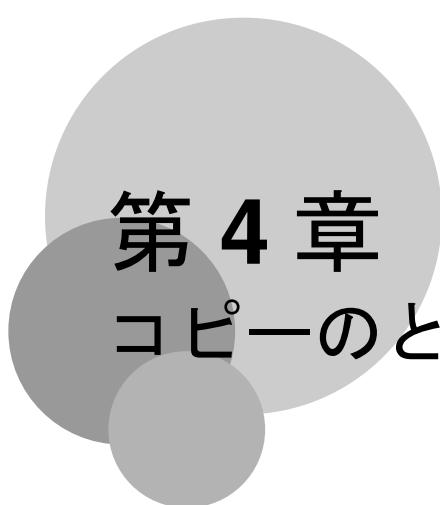


5

「PBX」を選択した場合、外線接続するためのダイヤル番号を登録します。テンキーでダイヤル番号を入力し、【Yes】を押します。

カ イセンハッシンNo. =1_
OK=YES

「ツウシン セッティ？」画面が表示されます。



第4章 コピーのとりかた

4

基本的なコピーのとりかたについて説明します。

4.1 コピーする	4-2
4.2 コピーの停止／再開／消去について	4-8
4.3 用紙の選択のしかた	4-9
4.4 手差しでコピーする	4-13
4.5 いろいろな用紙にコピーする	4-25
4.6 倍率を指定してコピーする	4-39
4.7 コピー濃度を変更してコピーする	4-45
4.8 割り込んでコピーする	4-48
4.9 マシンカウンタを確認する	4-50

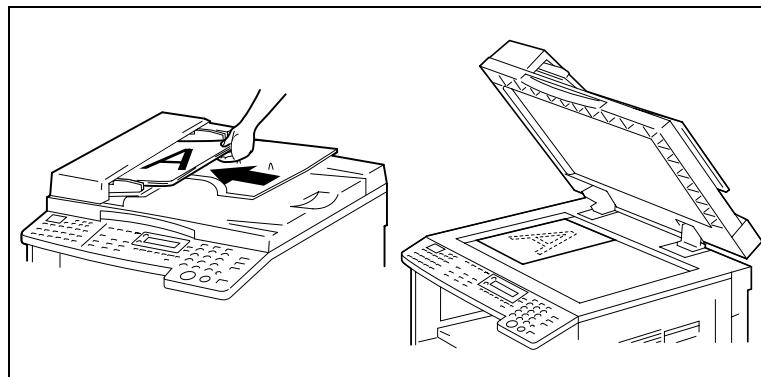
4.1 コピーする

原稿をセットし、コピーをとるための基本的な操作手順を説明します。

■ コピーの基本的なとりかた

1

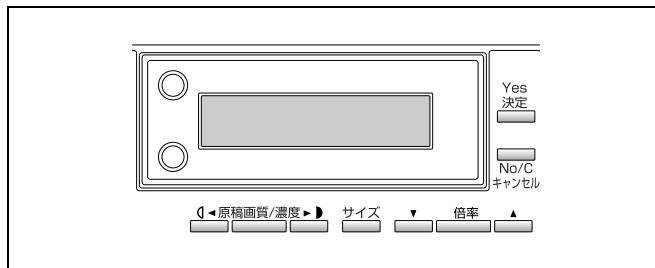
原稿をセットします。



「原稿のセットのしかた」
(p. 3-14) をご覧ください。

2

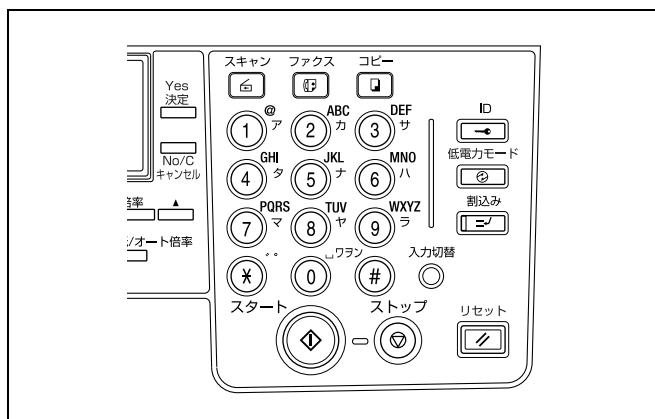
操作パネルで、必要な機能を設定します。



- 「用紙の選択のしかた」
(p. 4-9) をご覧ください。
- 「倍率を指定してコピーする」
(p. 4-39) をご覧ください。
- 「コピー濃度を変更してコピーする」
(p. 4-45) をご覧ください。
- 「一歩進んだコピーのとりかた」
(p. 5-1) をご覧ください。

3

テンキーでコピー部数を設定します。

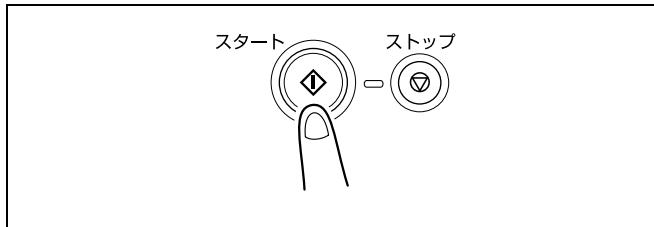


- コピー部数は、1枚から99枚までの間で設定します。
- 【No】を押すと設定した部数はクリアされます。

4

【スタート】を押します。

コピーが開始されます。



詳しく説明します

コピーを途中で中断する場合は、【ストップ】を押してください。

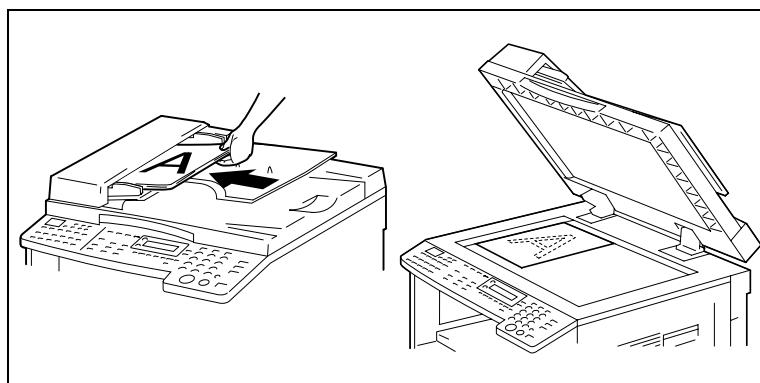
4

■ 定形サイズの原稿を異なる定形サイズに縮小 ／拡大する

ここでは A4 サイズの原稿を B4 サイズに拡大してコピーする例を説明します。

1

原稿をセットします。

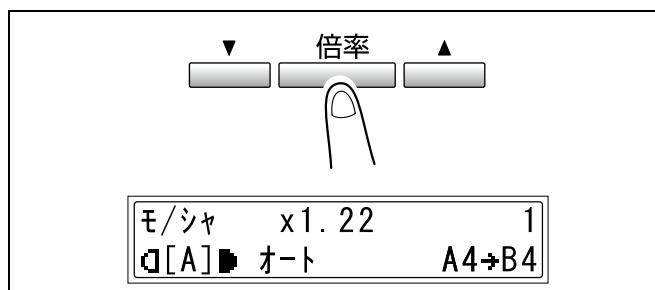


「原稿のセットのしかた」
(p. 3-14) をご覧ください。

2

【倍率】を押します。

ディスプレイに「A4 → B4」と表示されます。



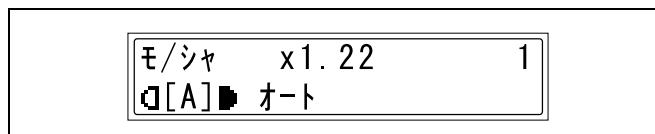
ひとこと

【倍率】を押すたびに、表示される固定倍率が切り替わります。

3

コピーする用紙を確認します。

- 「オート」と表示されているときは、トレイに B4 の用紙がセットされていることを確認します。
- 「オート」と表示されないときは、【サイズ】を押して「オート」を表示してください。



給紙トレイの用紙サイズ設定を変更するときは p. 8-15 をご覧ください。

4

必要に応じてその他の項目を設定します。

5

【スタート】を押します。



- ・「コピー／ファクスをとるまえに」(p. 3-1) をご覧ください。
- ・「一歩進んだコピーのとりかた」(p. 5-1) をご覧ください。

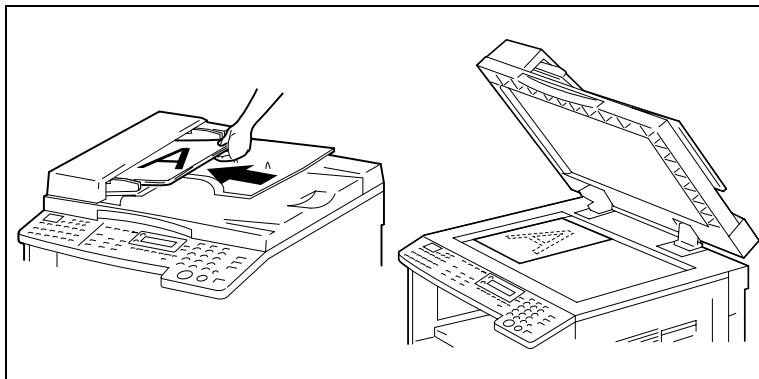
4

■ 図面や写真を鮮明にコピーする

コピーする原稿にあわせて、「モジ」、「シャシン」、「モ／シャ」を指定すると、原稿を鮮明にコピーできます。

1

原稿をセットします。

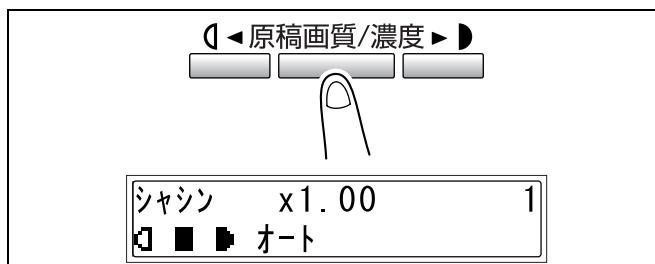


「原稿のセットのしかた」
(p. 3-14) をご覧ください。

2

【原稿画質／濃度】を押します。

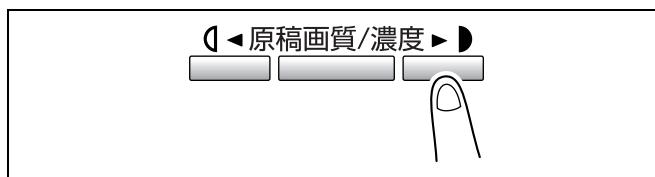
○「シャシン」、または「モ／シャ」を選択します。



3

【◀】、【▶】を押し、濃度を調整します。

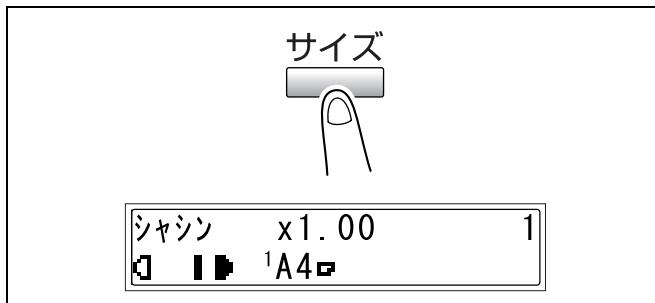
○ 原稿の文字、用紙の色や濃さにあわせて調整してください。



4

コピーする用紙を確認します。

- 「オート」または、給紙トレイを指定するときは
【サイズ】を繰り返し押します。



5

必要に応じてその他の項目を設定します。

6

【スタート】を押します。

4



- 「コピー／ファクスをとるまえに」(p. 3-1) をご覧ください。
- 「一步進んだコピーのとりかた」(p. 5-1) をご覧ください。

4.2 コピーの停止／再開／消去について

コピー中のジョブは、以下の手順で中断できます。

1

コピーの設定をし【スタート】を押します。

コピーが開始されます。

2

コピー中に【ストップ】を押します。

「*シハラク オマチクタサイ！*」と表示され、ジョブが停止します。

シハラク オマチクタサイ！

- 停止中のジョブを再開する場合は、「スタートキー テ サイカイ テキマス」が表示されているときに【スタート】を押します。

スタートキー テ サイカイ テキマス

- 停止中のジョブを消去する場合は、「スタートキー テ サイカイ テキマス」が表示されているときに【No】を押します。「*コピー ノ キャンセル シマシタ*」と表示され、ジョブが消去されます。

コピー ノ キャンセル シマシタ

4.3 用紙の選択のしかた

コピーをとるときに用紙を選択する方法は2種類あります。

- オート用紙：

原稿サイズと設定されたコピー倍率をもとに、適切な用紙がセットされているトレイを自動的に選択します。

- マニュアル用紙選択：

コピーをする前に、希望する用紙がセットされているトレイを指定します。



詳しく説明します

- 第1トレイにOHPフィルム、官製はがき、厚紙、封筒などの特殊紙をセットできます。特殊紙をセットする場合は、あらかじめユーティリティモードの「トレイセッティング」で「トレイヨウシ」を設定してください。詳しくは、「第1トレイ用紙の設定をする」(p. 8-18)をごらんください。
- 第1トレイを特殊紙設定している場合は、オート用紙を選択したときに第1トレイは選択されません。

4

■ オート用紙選択のしかた

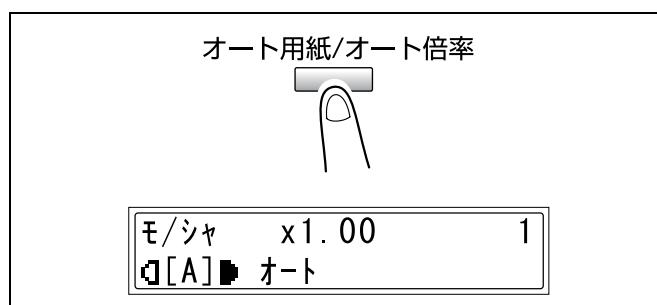
1

原稿送り装置に原稿をセットします。

2

【オート用紙／オート倍率】を押し、オート用紙を選択します。

○ ディスプレイ下行に「オート」が表示されていることを確認します。



「原稿のセットのしかた」
(p. 3-14) をご覧ください。

3

必要に応じてその他の項目を設定します。

4

テンキーでコピー部数を設定し、【スタート】を押します。



- ・「倍率を指定してコピーする」(p. 4-39) をご覧ください。
- ・「コピー濃度を変更してコピーする」(p. 4-45) をご覧ください。
- ・「一歩進んだコピーのとりかた」(p. 5-1) をご覧ください。



ディスプレイに「ヨウヲ
センタク デキマセン」と表示された場合は、トレイに適切な用紙がセットされていません。適切なサイズの用紙をセットするか、【サイズ】を押して別の用紙を選択し、再度【スタート】を押してください。

■ マニュアル用紙選択のしかた

1

原稿をセットします。

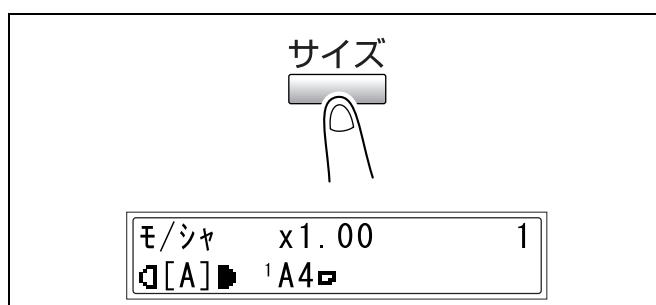
2

【サイズ】を押し、希望する用紙サイズを選択します。

○ ディスプレイ下行の用紙サイズを確認します。



「原稿のセットのしかた」(p. 3-14) をご覧ください。



3

必要に応じてその他の項目を設定します。

4

テンキーでコピー部数を設定し、【スタート】を押します。



- ・「倍率を指定してコピーする」(p. 4-39) をご覧ください。
- ・「コピー濃度を変更してコピーする」(p. 4-45) をご覧ください。
- ・「一歩進んだコピーのとりかた」(p. 5-1) をご覧ください。

4

■ オートトレイチェンジ機能

オートトレイチェンジ機能とは、コピー／プリント中に現在選択中のトレイに用紙がなくなった場合、他のトレイに自動的に切り替えてコピー／プリントを続ける機能です。

現在選択中のトレイとは別のトレイ（シングル手差しトレイを除く）が以下の条件のときオートトレイチェンジがはたらきます。

- 同じサイズの用紙がセットされているとき
- 同じ種類の用紙がセットされているとき
- 用紙が同じ向きにセットされているとき
- 各トレイにセットされている用紙の種類が「フツウシ」、「サセイシ」のとき



詳しく説明します

- ・シングル手差しトレイに用紙がセットされているときは、オートトレイチェンジは機能しません。
- ・オプションのマルチ手差しトレイと第2/第3/第4/第5トレイを装着すれば、最大で1,350枚の連続コピー／プリントができます。大量の連続コピー／プリントをする場合は、全てのトレイ（シングル手差しトレイを除く）で左記の条件をそろえて用紙をセットしてください。
- ・すべてのトレイに用紙がなくなった場合、画面の表示にしたがって用紙を補給してください。画面表示されたトレイ以外のトレイに用紙をセットしても、コピー／プリントが再開されないことがあります。

■ トレイチェンジの順序

オートトレイチェンジ機能が動作する場合、以下の優先順位でトレイが選択されます。

第1トレイ ⇒ 第2トレイ ⇒ 第3トレイ ⇒ 第4トレイ ⇒ 第5トレイ ⇒ マルチ手差しトレイ



第1トレイ、またはマルチ手差しトレイにOHPフィルムやラベル用紙などの特殊紙をセットしている場合、オートトレイチェンジ機能がはたらき、誤って給紙される恐れがあります。

このような場合、以下の設定をすることをおすすめします。

- 第1トレイに特殊紙をセットしたときはユーティリティの「トレイ1ヨウシ」で用紙タイプを変更します。(p. 8-18)
- マルチ手差しトレイに特殊紙をセットしたときは、用紙をセットしたあとに用紙種類を設定します。(p. 4-22)

4.4 手差しでコピーする

トレイにセットされていないサイズの用紙にコピーする場合や、OHP フィルム、官製はがき、厚紙などの特殊紙にコピーする場合に手差しトレイを使用します。

■ 手差しコピーできる用紙

種類：

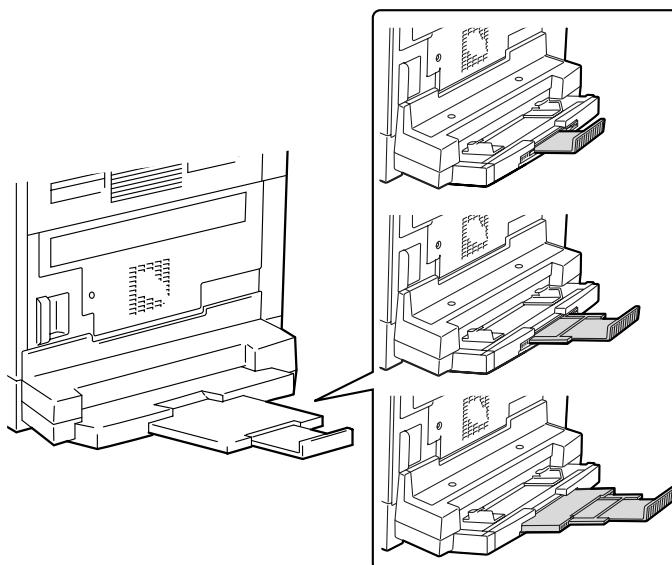
- 普通紙、再生紙（紙厚：60 g/m² ~ 90 g/m²）
- 特殊紙
 - 厚紙（紙厚：91 g/m² ~ 157 g/m²）
 - OHP フィルム
 - 官製はがき
 - ラベル用紙
 - 封筒

サイズ：

- 最大サイズ：297 mm × 432 mm
- 最小サイズ：90 mm × 140 mm

■ マルチ手差しトレイの調整について

用紙サイズにあわせて、補助トレイを以下のように調整できます。



シングル手差しトレイを使ってコピーをするときは、用紙を1枚ずつセットしてください。



マルチ手差しトレイ（オプション）装着時の用紙セット枚数については、p. 3-4をご覧ください。

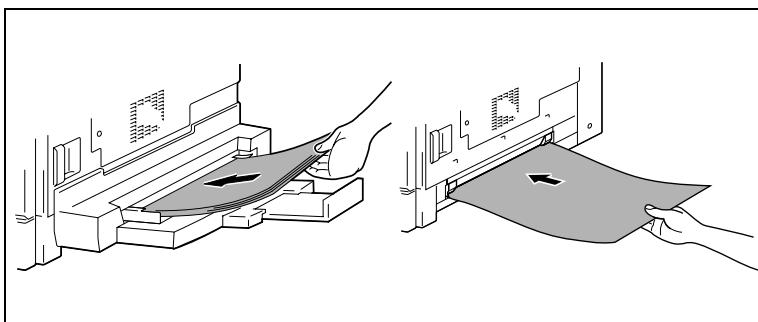
■ 手差しトレイに普通紙をセットする

シングル手差しトレイにセットできる用紙は1枚です。

マルチ手差しトレイにセットできる用紙は100枚までです。▼
マークをこえないようにセットしてください。

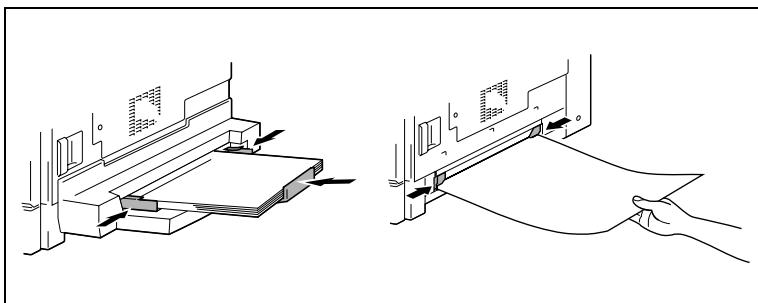
1

手差しトレイに用紙をセットします。



2

用紙サイズにあわせ、ガイドと補助トレイを調整します。



普通紙以外の用紙をセットしたときは、操作パネルで用紙種類の設定が必要です。



- コピーする面を下に向けて用紙をセットしてください。
- 必ず用紙のカール（反り）をなおしてからセットしてください。

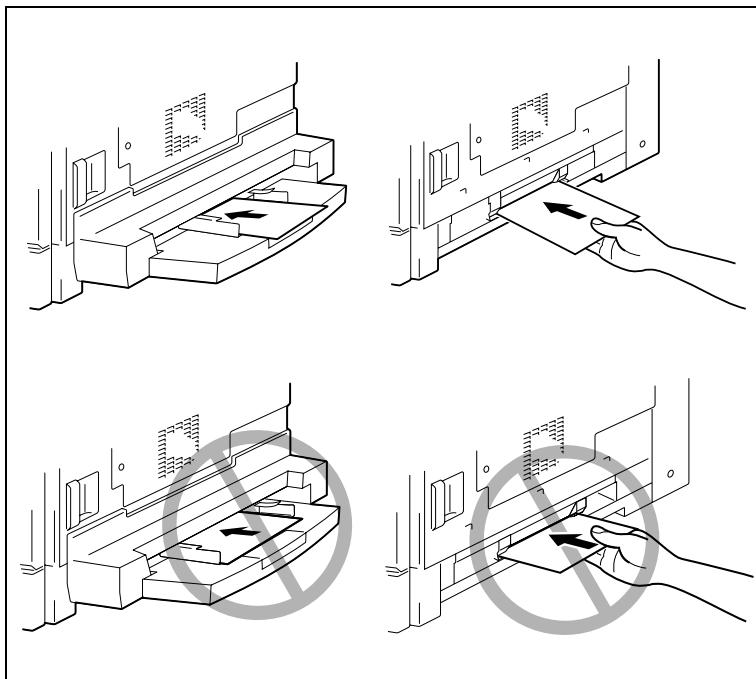
■ 手差しトレイに官製はがきをセットする

シングル手差しトレイにセットできる用紙は1枚です。

マルチ手差しトレイにセットできる用紙は20枚までです。

1

図のように □ (タテ) 向きにし、コピーする面を下向きにセットします。



- 官製はがきは、□ (ヨコ) 向きにセットしないでください。

- 官製はがきをセットした後は、操作パネルで用紙種類を設定してください。

4

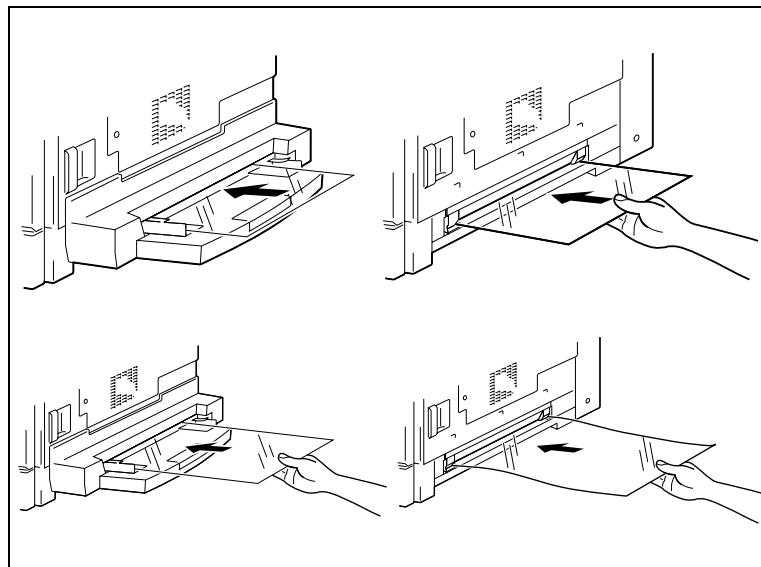
■ 手差しトレイにOHP フィルムをセットする

シングル手差しトレイにセットできる用紙は1枚です。

マルチ手差しトレイにセットできる用紙は20枚までです。

1

原稿にあわせ □ (タテ) 向きまたは □ (ヨコ) 向きに
セットします。



OHP フィルムをセットした
後は、操作パネルで用紙サ
イズや用紙種類を設定して
ください。

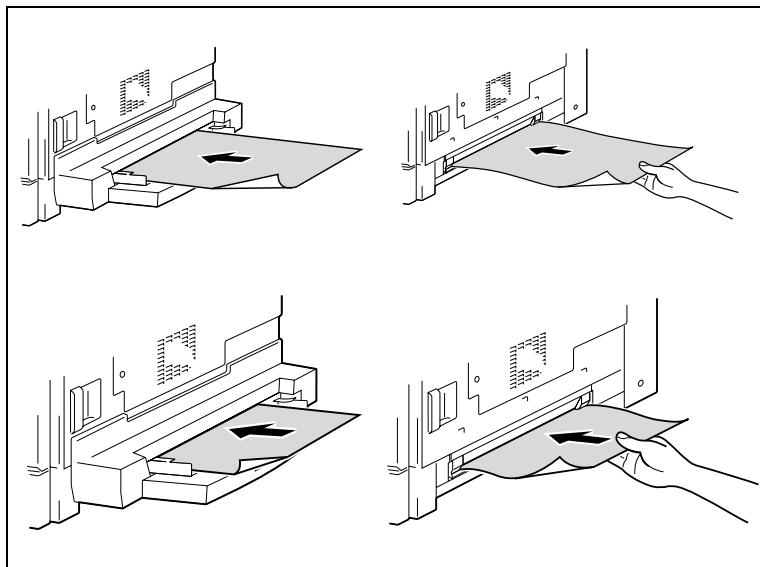
■ 手差しトレイにラベル用紙をセットする

シングル手差しトレイにセットできる用紙は1枚です。

マルチ手差しトレイにセットできる用紙は20枚までです。

1

原稿にあわせ □（タテ）向きまたは ▨（ヨコ）向きに
し、コピーする面を下向きにセットします。



ラベル用紙をセットした後
は、操作パネルで用紙サイ
ズや用紙種類を設定してく
ださい。

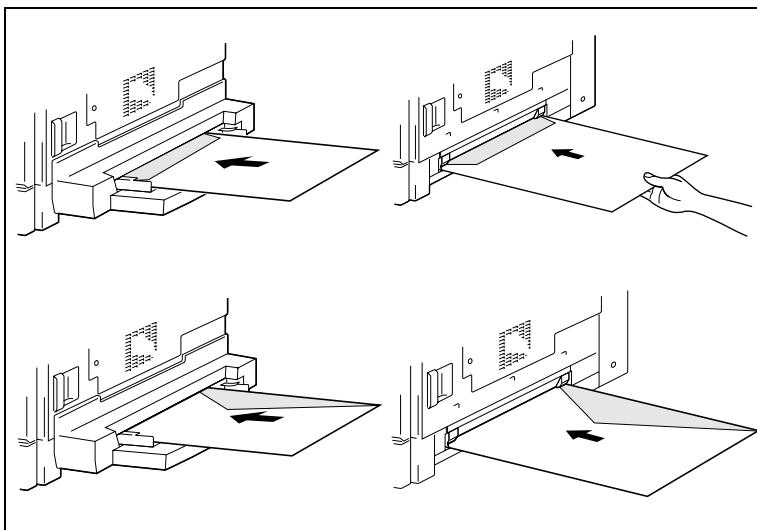
4

■ 手差しトレイに封筒をセットする

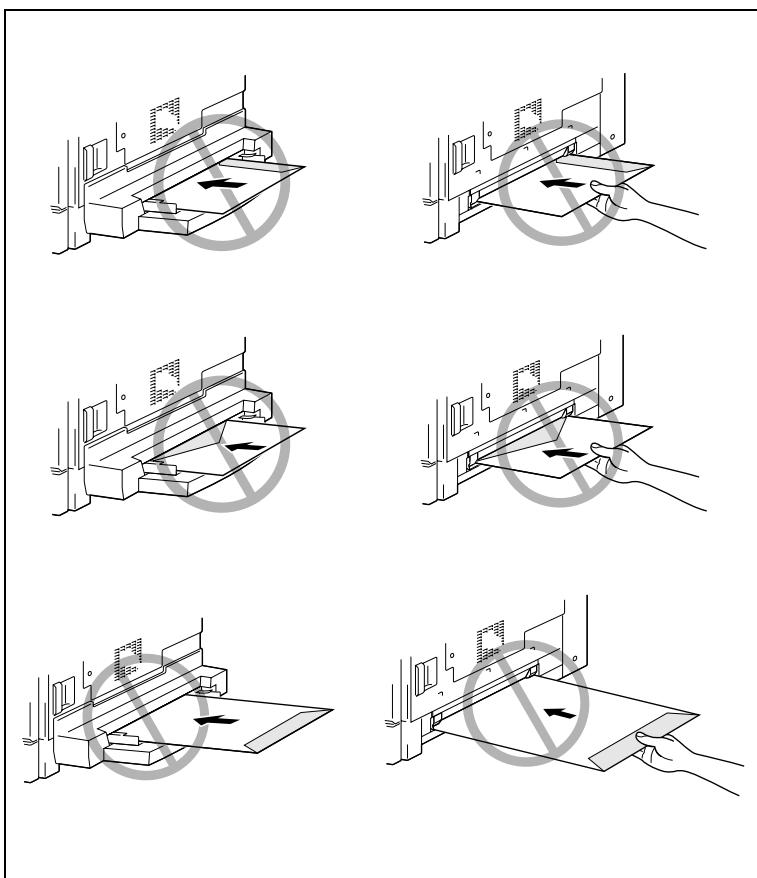
シングル手差しトレイにセットできる用紙は1枚です。
マルチ手差しトレイにセットできる用紙は10枚までです。

1

図のように封印部を上向きにしてセットします。



- 封筒をセットする場合は、封筒内部の空気を押し出し封筒の折り目をしっかりと押さえてください。空気が残っていたり、折り目がしっかりと押さえられていないと、しわになったり、紙づまりの原因になります。
- 封筒をセットした後は、操作パネルで用紙サイズや用紙種類を設定してください。



- 封筒は□（ヨコ）向きにセットしないでください。
- 封印部を下側に向けてセットしないでください。
- 封印部を後端にしてセットしないでください。

■ 手差しコピーのとりかた（シングル手差しトレイ）

1

原稿をセットします。

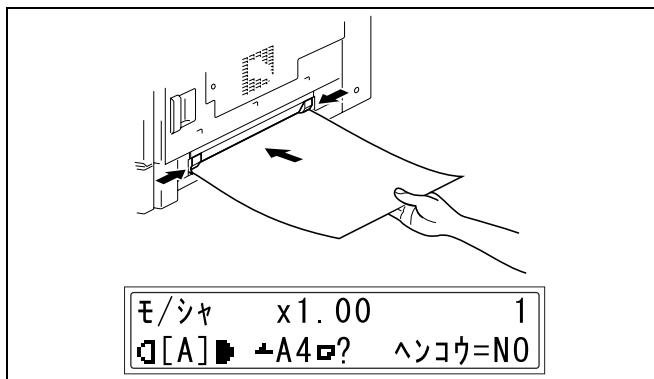
2

ガイドを用紙サイズにあわせて調整します。

3

用紙（1枚）はコピーする面を下に向け、用紙が止まる位置まで軽く差し込みます。

ディスプレイ下行に手差しの記号  が表示されます。



4

【No】を押します。

用紙種類選択メニューが表示されます。

5

【◀】、【▶】で用紙種類を選択します。

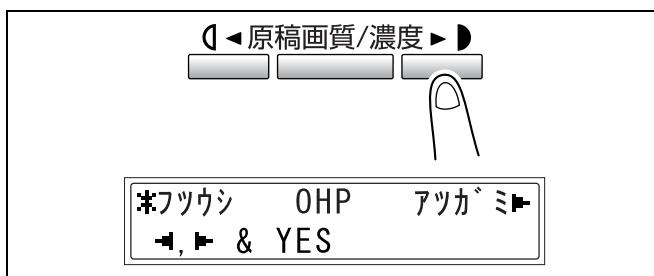
○ 用紙種類は以下のとおりです。

「フツウシ」

「OHP」

「アツガミ」

「フウトウ・ハガキ」



「原稿のセットのしかた」
(p. 3-14) をご覧ください。



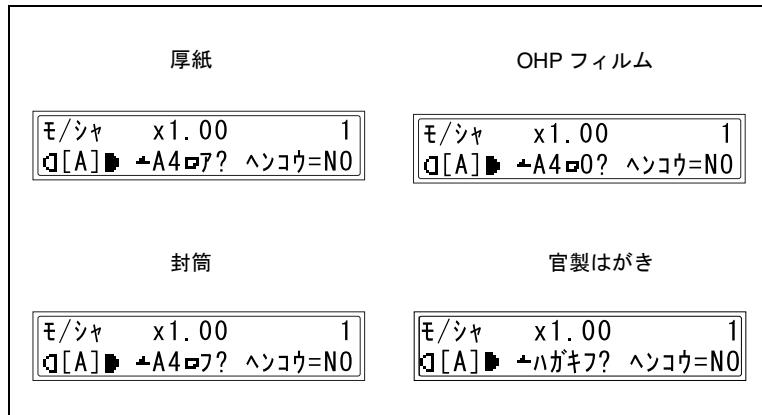
必ず守ってください

厚紙、官製はがきをセットする場合は、必ずカール（反り）をなおしてからセットしてください。

4

4.4 手差しでコピーする

- シングル手差しトレイ使用時に、普通紙以外の用紙を設定すると以下の画面が表示されます。



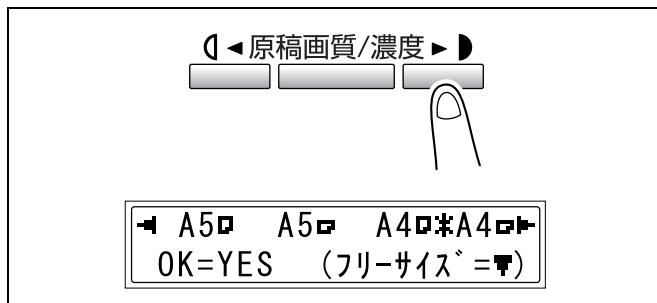
6

【Yes】を押します。

用紙サイズ選択メニューが表示されます。

7

【□◀】、【□▶】で用紙サイズを選択します。



- 手順5で「OHP」を選択した場合、用紙サイズは以下の4つから選択します。

「A4 □」

「A4 □」

「Letter □」

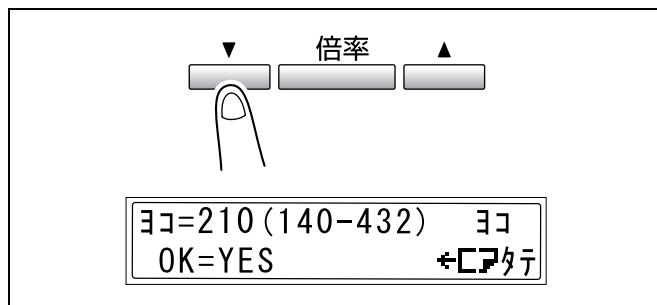
「Letter □」

*A4 □ A4 □ LT □ LT □
□, □ & YES

- 官製はがきをセットする場合は、用紙サイズで「ハガキ」を選択します。

□ LG □ 11x14 11x17 *ハガキ
OK=YES (フリーサイズ=□)

- 不定形紙の場合は、【▼】を押し、テンキーでサイズを入力してください。
詳しくは p. 4-30 をご覧ください。



8

【Yes】を押します。

基本画面が表示されます。

9

必要に応じてその他の項目を設定します。

10

【スタート】を押します。



- ・「倍率を指定してコピーする」(p. 4-39) をご覧ください。
- ・「コピー濃度を変更してコピーする」(p. 4-45) をご覧ください。
- ・「一步進んだコピーのとりかた」(p. 5-1) をご覧ください。



- ・同じ条件で2枚目以降のコピーをする場合、用紙をシングル手差しトレイにセットすると自動的にコピーを開始します。
- ・厚紙、官製はがき、OHPフィルム、封筒に連続してコピーしたい場合は、第1トレイに用紙をセットしてください。

■ 手差しコピーのとりかた（マルチ手差しトレイ）

1

原稿をセットします。

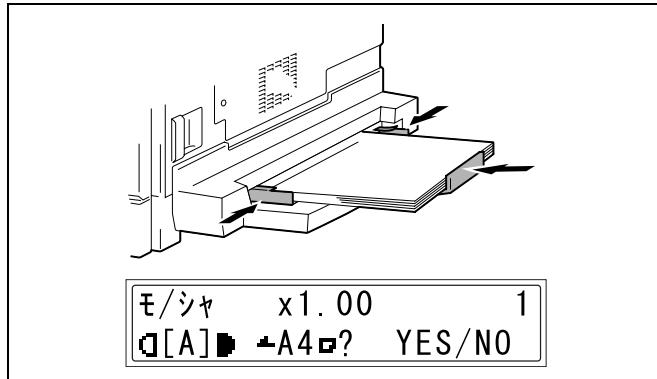
2

ガイドと補助トレイを用紙サイズにあわせて調整します。

3

用紙はコピーする面を下に向け、用紙が止まる位置まで軽く差し込みます。

ディスプレイ下行に手差しの記号  が表示されます。



4

ディスプレイ下行の「YES/NO」を確認し、【No】を押します。

用紙種類選択メニューが表示されます。



「原稿のセットのしかた」
(p. 3-14) をご覧ください。



厚紙、官製はがきをセットする場合は、必ずカール（反り）をなおしてからセットしてください。



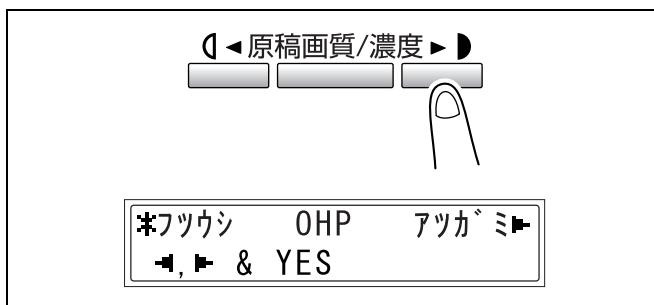
「YES/NO」はマルチ手差しトレイに用紙をセットしてから約5秒間表示されます。 「YES/NO」表示が消えたあと用紙サイズなどを変更する場合は【サイズ】で手差しトレイ () を選択し、【NO】を押します。

5

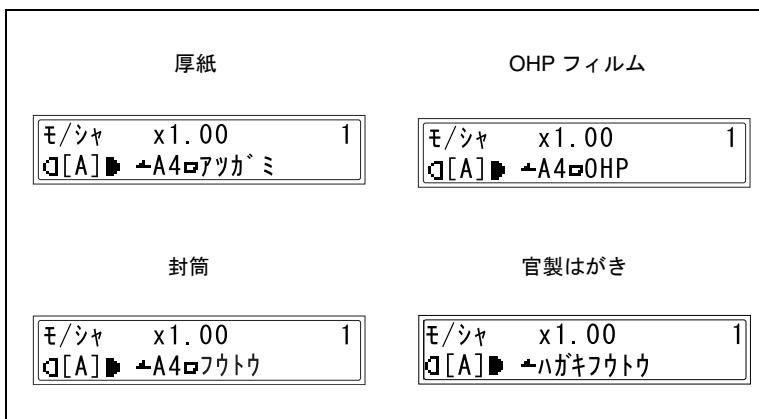
【**◀**】、【**▶**】で用紙種類を選択します。

○ 用紙種類は以下のとおりです。

「フツウシ」
「OHP」
「アツカミ」
「フウトウ・ハガキ」



○ マルチ手差しトレイ使用時に普通紙以外の用紙を設定すると以下の画面が表示されます。



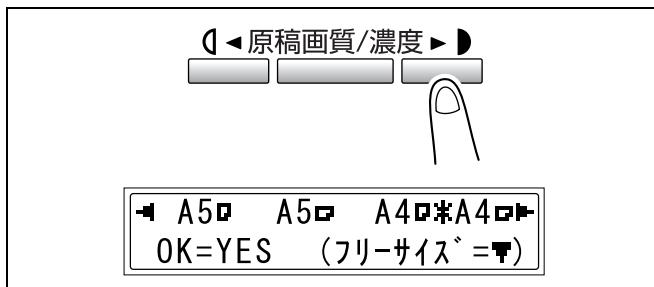
6

【Yes】を押します。

用紙サイズ選択メニューが表示されます。

7

【**◀**】、【**▶**】で用紙サイズを選択します。



4.4 手差しでコピーする

- 手順5で「OHP」を選択した場合、用紙サイズは以下の4つから選択します。

「A4 □」

「A4 □」

「Letter □」

「Letter □」

*A4□ A4□ LT□ LT□
◀, ▶ & YES

- 官製はがきをセットする場合は、用紙サイズで「ハガキ」を選択します。

◀ LG□ 11x14 11x17 *ハガキ
OK=YES (フリーサイズ=▼)

- 不定形紙の場合は、【▼】を押し、テンキーでサイズを入力してください。
詳しくはp. 4-30をご覧ください。

▼ 倍率 ▲
ヨコ=210(140-432) ヨコ
OK=YES ←□アタテ

8

【Yes】を押します。

基本画面が表示されます。

9

必要に応じて他の項目を設定します。

10

【スタート】を押します。



- ・「倍率を指定してコピーする」(p. 4-39)をご覧ください。
- ・「コピー濃度を変更してコピーする」(p. 4-45)をご覧ください。
- ・「一歩進んだコピーのとりかた」(p. 5-1)をご覧ください。

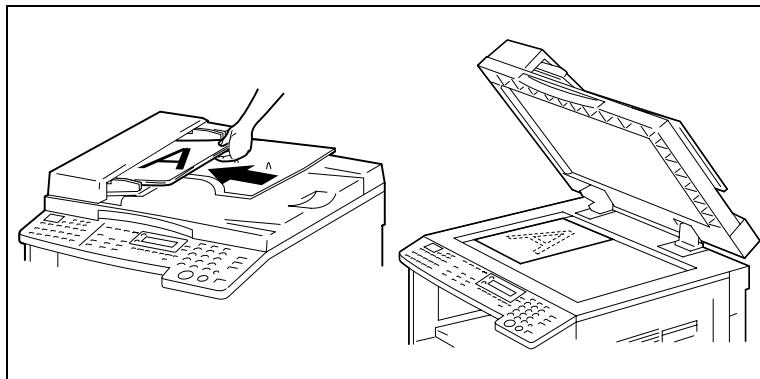
4.5 いろいろな用紙にコピーする

■ OHP フィルムにコピーする

ここでは第 1 トレイに OHP フィルムをセットしてコピーする例を説明します。

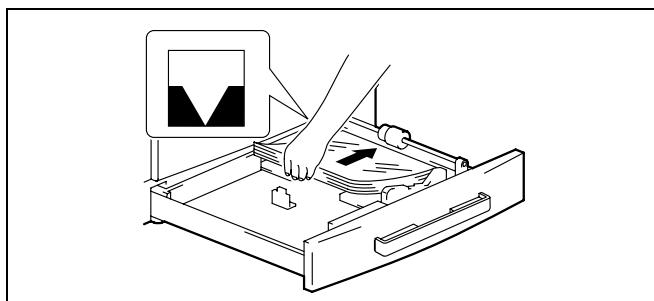
1

A4 サイズの原稿をセットします。



2

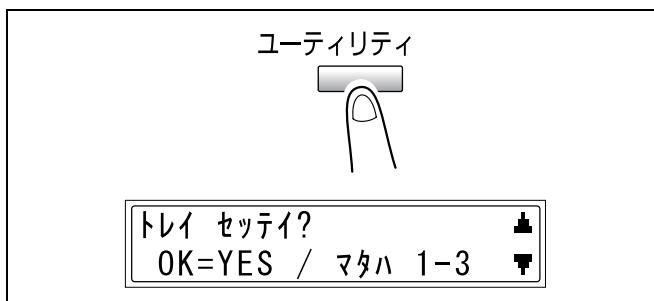
第 1 トレイのガイドを調整し、OHP フィルムをセットします。



3

【ユーティリティ】を 2 回押します。

「トレイ セッティ？」が表示されます。



「原稿のセットのしかた」
(p. 3-14) をご覧ください。

4



OHP フィルムをセットするときは、原稿にあわせ □ (タテ) 向き、または □ (ヨコ) 向きにセットします。



OHP フィルムは 20 枚までセットできます。

4

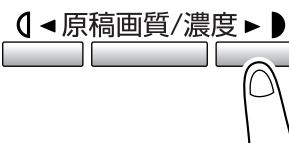
テンキーで【2】を押します。

「トレイ1ヨウシ」が表示されます。

2 トレイ1ヨウシ

5

【(◀)、(▶)】で「OHP」を選択し、【Yes】を押します。



フツウシ *OHP アツカミ
◀, ▶ & YES

6

【(◀)、(▶)】で、「オート」を選択し、【Yes】を押します。

*オート フリーサイズ
◀, ▶ & YES

7

【No】を押します。

基本画面が表示されます。

8

【サイズ】を押し、第1トレイを選択します。

モ/シャ x1.00 1
□[A] □ 1A4 □ OHP

9

必要に応じてその他の項目を設定します。

10

【スタート】を押します。



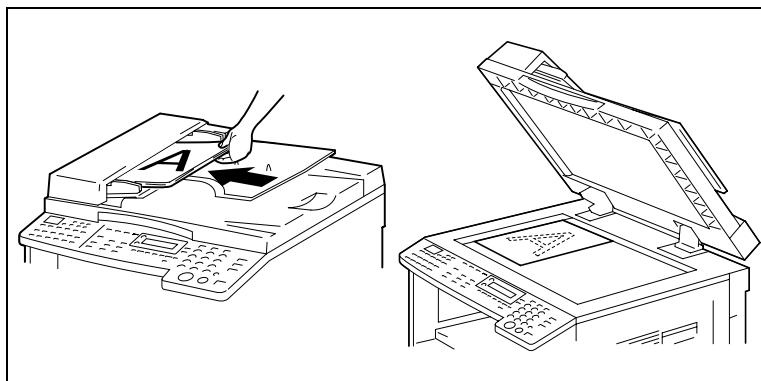
- 「コピー／ファクスをとるまえに」(p. 3-1)をご覧ください。
- 「一歩進んだコピーのとりかた」(p. 5-1)をご覧ください。

■ ラベル用紙にコピーする

ここでは第1トレイに200 mm×250 mmのラベル用紙をセットしてコピーする例を説明します。

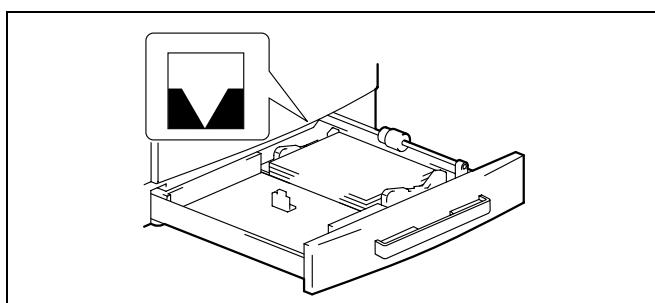
1

原稿をセットします。



2

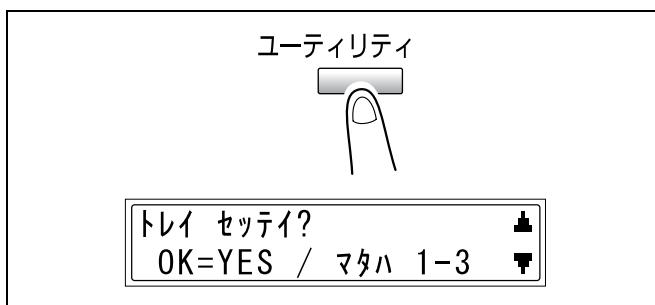
第1トレイのガイドを調整し、ラベル用紙をセットします。



3

【ユーティリティ】を2回押します。

「トレイ セッティ?」が表示されます。



「原稿のセットのしかた」
(p. 3-14) をご覧ください。

4



必ず守ってください

ラベル用紙をセットするときは、図のようにコピーする面を上に向けてセットしてください。

4

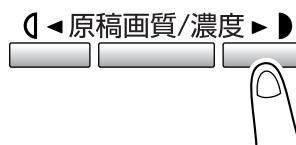
テンキーで【2】を押します。

「トレイ1ヨウシ」が表示されます。

2 トレイ1ヨウシ

5

【D◀】、【▶D】で「アッガミ」を選択し、【Yes】を押します。



フツウシ OHP *アッガミ
◀, ▶ & YES

6

「フリーサイズ」を選択し、【Yes】を押します。

オート *フリーサイズ
◀, ▶ & YES

7

テンキーで長さ（ヨコ）を「200」と入力し、【Yes】を押します。

ヨコ=200(140-432) ヨコ
OK=YES タテ □↗



- 用紙の長さ（ヨコ）は 140 mm から 432 mm の範囲で設定します。
- 入力した値を訂正するときは、【No】を押してください。

8

テンキーで幅（タテ）を「250」と入力し、【Yes】を押します。

タテ=250(90-297) ヨコ
OK=YES タテ □↗



- 用紙の幅（タテ）は 90 mm から 297 mm の範囲で設定します。
- 入力した値を訂正するときは、【No】を押してください。

9

【No】を押します。

基本画面が表示されます。

10

【サイズ】を押し、第1トレイを選択します。

モ/シャ	x 1. 00
[A]	[□] アツカミ

11

必要に応じてその他の項目を設定します。

12

【スタート】を押します。



- ・「コピー／ファクスをとるまえに」(p. 3-1) をご覧ください。
- ・「一歩進んだコピーのとりかた」(p. 5-1) をご覧ください。

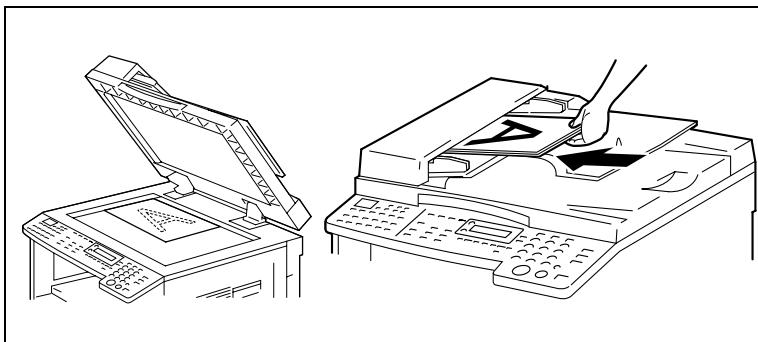
4

■ 不定形サイズの用紙にコピーする

ここではシングル手差しトレイまたはマルチ手差しトレイに 250 mm × 180 mm の不定形サイズの用紙をセットしてコピーする例を説明します。

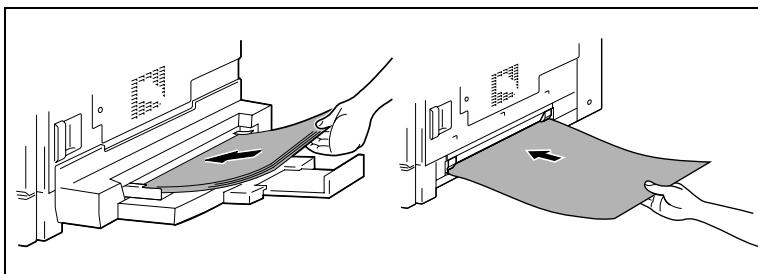
1

原稿をセットします。



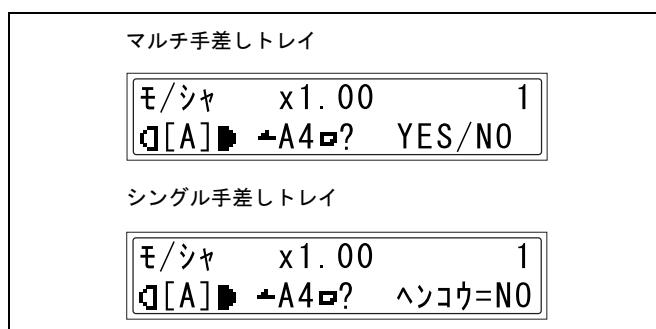
2

手差しトレイのガイドを調整し、用紙をセットします。



3

【No】を押します。



用紙種類選択メニューが表示されます。

ひとこと

定形サイズ以外の原稿や用紙をセットするときは、あらかじめサイズを測っておいてください。

原稿ガラスのスケールを利用すると便利です。

参照

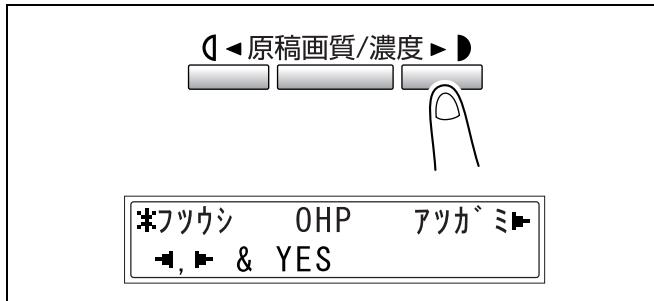
「原稿のセットのしかた」(p. 3-14)をご覧ください。

必ず守ってください

- コピーする面を下に向けて用紙をセットしてください。
- シングル手差しトレイにセットできる用紙は1枚です。
- マルチ手差しトレイにセットできる用紙は100枚までです。
- ▼マークをこえないようにセットしてください。

4

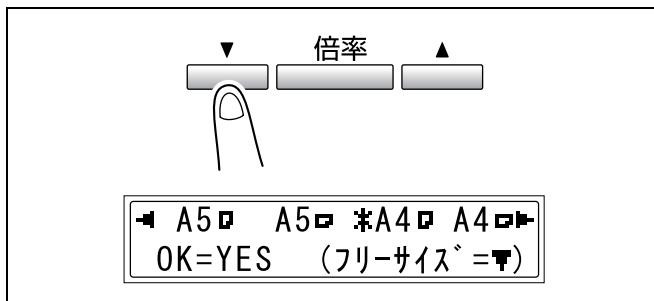
【**◀**】、【**▶**】で「**ツウシ**」を選択し、【**Yes**】を押します。



用紙サイズ選択メニューが表示されます。

5

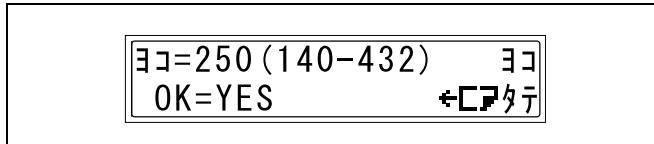
【**▼**】を押します。



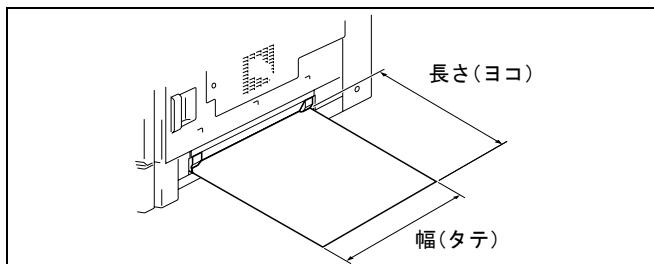
長さ（ヨコ）の数値が表示されます。

6

テンキーで長さ（ヨコ）を「250」と入力し、【**Yes**】を押します。



○ 用紙の幅および長さは、下図を参照し、間違えないように入力してください。



詳しく説明します

- 用紙の長さ（ヨコ）は 140 mm から 432 mm の範囲で入力します。
- 入力した値を訂正するときは【**No**】を押してください。

7

テンキーで幅（タテ）を「180」と入力します。

タテ=180 (90-297)	ヨコ
OK=YES	◀ ▶ □ タテ



- 用紙の幅（タテ）は 90 mm から 297 mm の範囲で入力します。
- 入力した値を訂正するときは、【No】を押してください。

8

【Yes】を押します。

基本画面が表示されます。

マルチ手差しトレイ		
モ/シャ	x 1. 00	1
□ [A]	◀ [□]	
シングル手差しトレイ		
モ/シャ	x 1. 00	1
□ [A]	◀ [□]	? ヘンコウ=NO

9

必要に応じて他の項目を設定します。



- 「コピー／ファクスをとるまえに」(p. 3-1) をご覧ください。
- 「一歩進んだコピーのとりかた」(p. 5-1) をご覧ください。

10

【スタート】を押します。

ひとこと

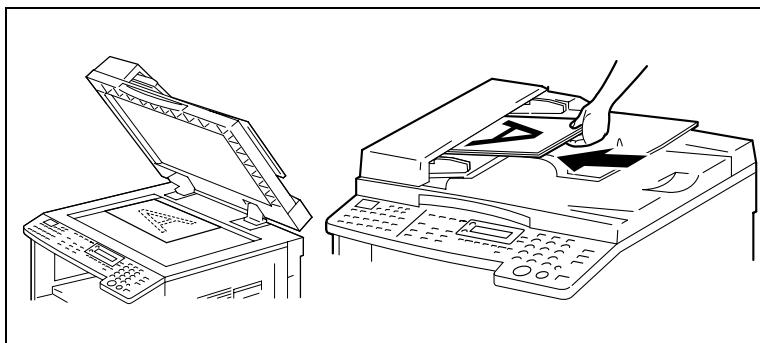
シングル手差しトレイで続けてコピーをとるときは、新しい用紙をシングル手差しトレイにセットします。

■ 封筒にコピーする

ここではシングル手差しトレイまたはマルチ手差しトレイに 200 mm × 150 mm の封筒をセットしてコピーする例を説明します。

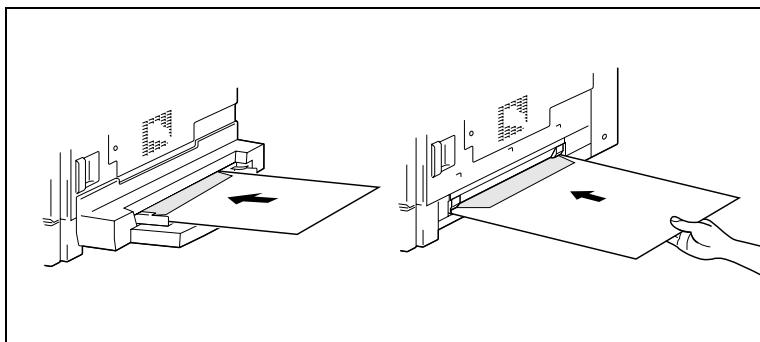
1

原稿をセットします。



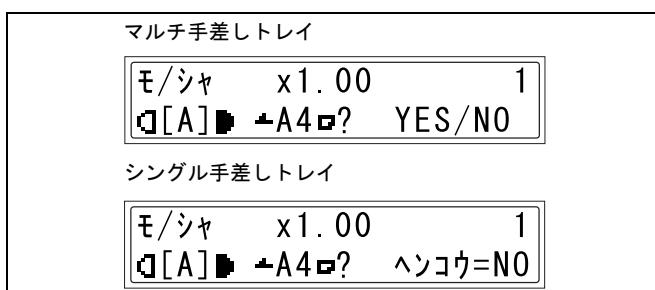
2

手差しトレイのガイドを調整し、封筒をセットします。



3

【No】を押します。



用紙種類選択メニューが表示されます。

ひとこと

定形サイズ以外の原稿や用紙をセットするときは、あらかじめサイズを測っておいてください。

原稿ガラスのスケールを利用すると便利です。



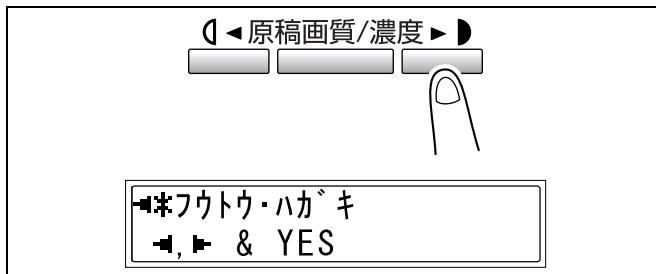
「原稿のセットのしかた」
(p. 3-14) をご覧ください。



- 封筒をセットするときは、コピーする面が下向きになるよう図のように封印部を上に向けてセットします。
- 封筒をセットするときは、封筒内部の空気を押し出し、封筒の折り目をしっかりと押さえてください。
- シングル手差しトレイにセットできる封筒は1枚です。
- マルチ手差しトレイにセットできる封筒は10枚までです。
- ▼マークをこえないようにセットしてください。

4

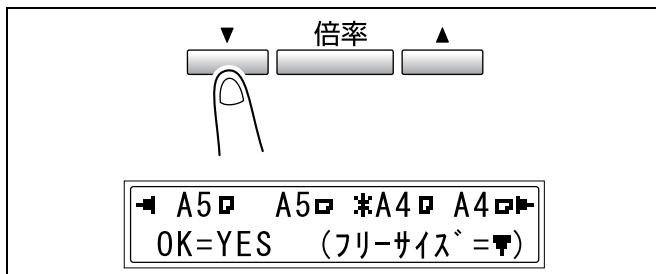
【(◀)、(▶)】で「フウトウ・ハガキ」を選択し、【Yes】を押します。



用紙サイズ選択メニューが表示されます。

5

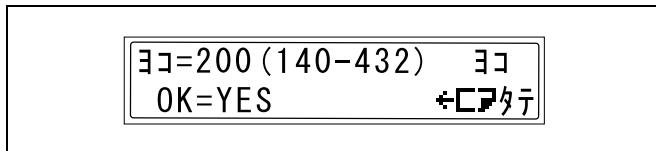
【▼】を押します。



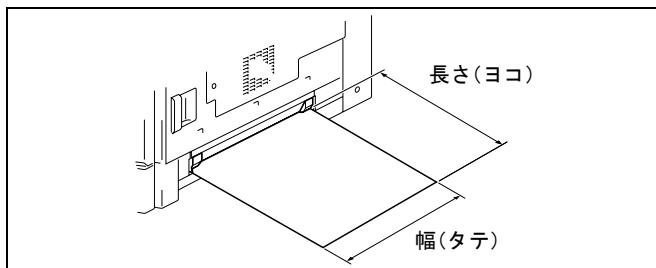
長さ（ヨコ）の数値が表示されます。

6

テンキーで長さ（ヨコ）を「200」と入力し、【Yes】を押します。



○ 用紙の幅および長さは、下図を参照し、間違えないように入力してください。



詳しく説明します

- 用紙の長さ（ヨコ）は 140 mm から 432 mm の範囲で入力します。
- 入力した値を訂正するときは【No】を押してください。

7

テンキーで幅（タテ）を「150」と入力します。

タテ=150(90-297) ヨコ
OK=YES ←□アタ

8

【Yes】を押します。

基本画面が表示されます。

マルチ手差しトレイ

モ/シャ x1.00 1
□[A] ▶ [□] フウトウ

シングル手差しトレイ

モ/シャ x1.00 1
□[A] ▶ [□] フ? ヘンコウ=NO

9

必要に応じてその他の項目を設定します。

10

【スタート】を押します。



- 用紙の幅（タテ）は 90 mm から 297 mm の範囲で入力します。
- 入力した値を訂正するときは、【No】を押してください。



- 「コピー／ファクスをとるまえに」(p. 3-1) をご覧ください。
- 「一歩進んだコピーのとりかた」(p. 5-1) をご覧ください。

ひとこと

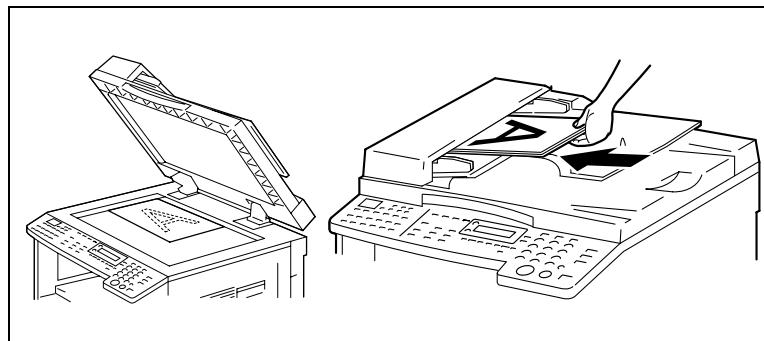
シングル手差しトレイで続けてコピーをとるときは、新しい用紙をシングル手差しトレイにセットします。

■ 官製はがきにコピーする

ここではシングル手差しトレイまたはマルチ手差しトレイに 148 mm × 100 mm の官製はがきをセットしてコピーする例を説明します。

1

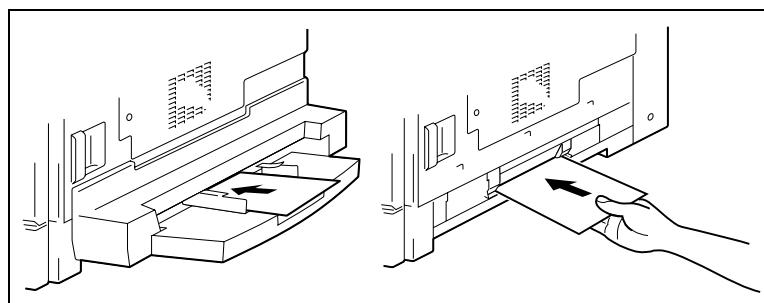
原稿をセットします。



「原稿のセットのしかた」
(p. 3-14) をご覧ください。

2

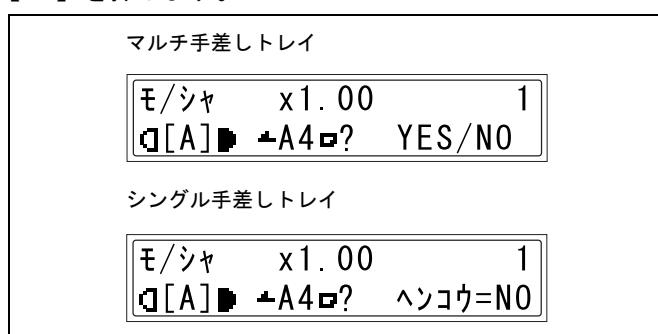
手差しトレイのガイドを調整し、官製はがきをセットします。



- 必ず守ってください
- 官製はがきをセットするときは、図のよう □ (タテ) 向きにセットします。
 - 印刷する面を下に向けてセットしてください。
 - シングル手差しトレイにセットできる官製はがきは 1 枚です。
 - マルチ手差しトレイにセットできる官製はがきは 20 枚までです。
 - ▼マークをこえないようにセットしてください。

3

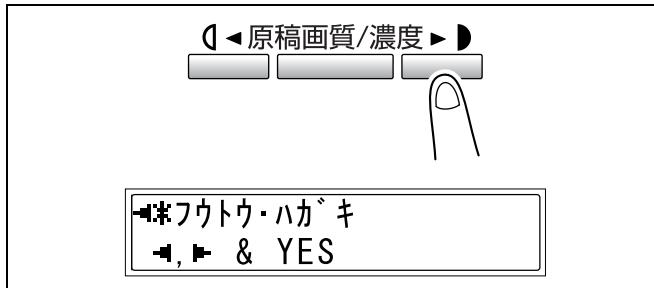
【No】を押します。



用紙種類選択メニューが表示されます。

4

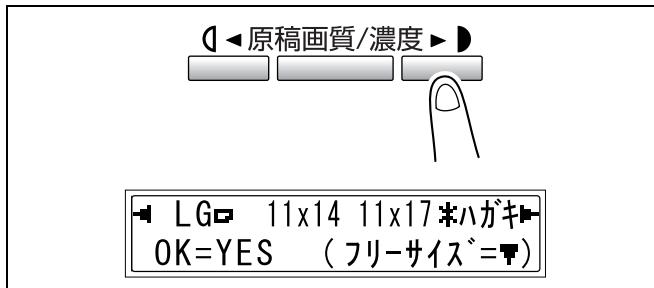
【(◀)、(▶)】で「**フウトウ・ハガキ**」を選択し、【Yes】を押します。



用紙サイズ選択メニューが表示されます。

5

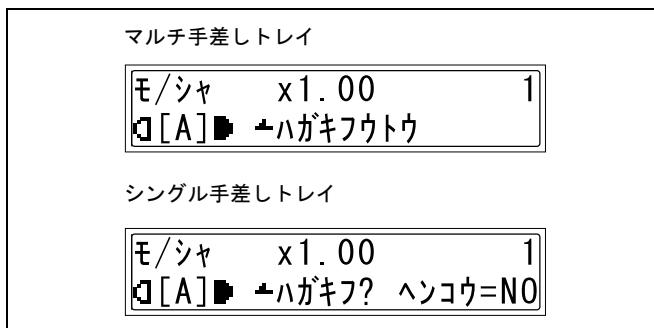
【(◀)、(▶)】で「**ハガキ**」を選択します。



6

【Yes】を押します。

基本画面が表示されます。



7

必要に応じてその他の項目を設定します。

参照

- 「コピー／ファクスをとるまえに」(p. 3-1) をご覧ください。
- 「一歩進んだコピーのとりかた」(p. 5-1) をご覧ください。

8

【スタート】を押します。

ひとこと

シングル手差しトレイで続けてコピーをとるときは、新しい用紙をシングル手差しトレイにセットします。

4.6 倍率を指定してコピーする

倍率を指定することにより、コピーの拡大や縮小ができます。

■ 倍率設定の種類

倍率の種類	説明
等倍	原稿と同じ大きさ ($\times 1.00$) でコピーします。
オート倍率	セットされた原稿と選択した用紙をもとに、最適なコピー倍率が自動選択されます。
固定倍率	通常よく使用する定形サイズの原稿から定形サイズの用紙にコピーする場合の最適な倍率が設定されています。 $\times 0.25$ $\times 0.50$ $\times 0.70$ (A3▶A4、B4▶B5) $\times 0.81$ (B4▶A4、B5▶A5) $\times 1.22$ (A4▶B4、A5▶B5) $\times 1.41$ (A4▶A3、B5▶B4) $\times 2.00$ $\times 4.00$ $\times 0.25$ と $\times 4.00$ はマニュアル用紙選択時のみ設定可能です。オート用紙選択モード時は設定できません。
ズームアップダウンキーを使った倍率設定	【▼】、【▲】を押すごとに 0.01 刻みで倍率が変わります。(増減します) マニュアル用紙選択モード時： $\times 0.25$ ~ $\times 4.00$ の範囲で設定可能です。 オート用紙モード時： $\times 0.50$ ~ $\times 2.00$ の範囲で設定可能です。
タテ・ヨコ独立変倍	原稿のタテ方向とヨコ方向を異なった倍率でコピーします。 【▼】、【▲】を押すごとに 0.01 刻みで倍率が変わります。(増減します) タテ方向： $\times 0.50$ ~ $\times 2.00$ の範囲で設定可能です。 ヨコ方向： $\times 0.50$ ~ $\times 1.00$ の範囲で設定可能です。

■ オート倍率の設定のしかた

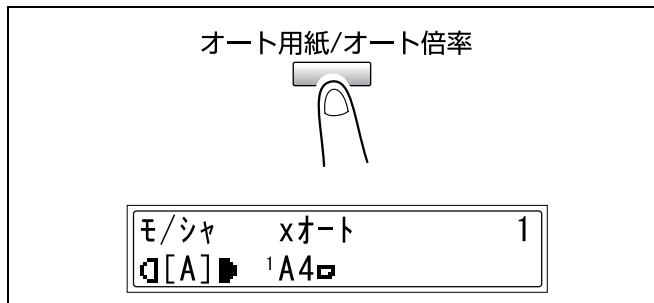
1

原稿をセットします。

2

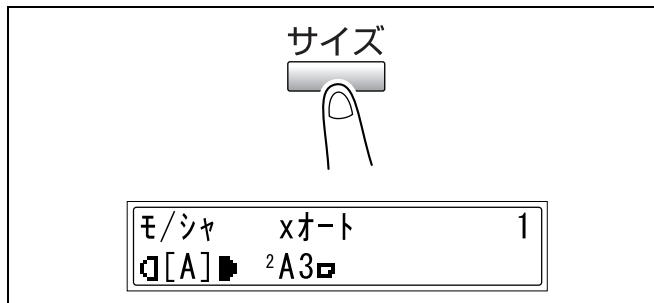
【オート用紙／オート倍率】を押し、オート倍率を選択します。

○ ディスプレイ上行に「オート」が表示されていることを確認します。



3

【サイズ】を押し、希望する用紙を選択します。



4

必要に応じてその他の項目を設定します。

5

テンキーでコピー部数を設定し、【スタート】を押します。



「原稿のセットのしかた」
(p. 3-14) をご覧ください。



- ・「コピー濃度を変更してコピーする」(p. 4-45) ご覧ください。
- ・「一歩進んだコピーのとりかた」(p. 5-1) をご覧ください。

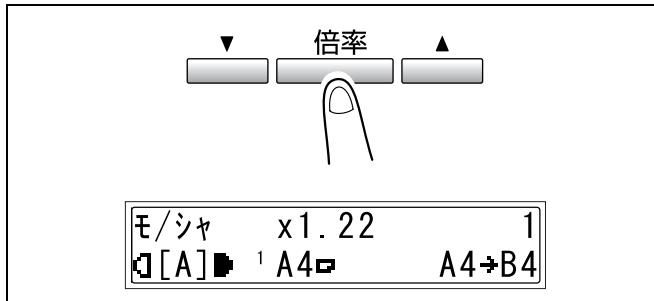
■ 固定倍率の設定のしかた

1

原稿をセットします。

2

【倍率】を押し、希望する倍率を選択します。



3

必要に応じてその他の項目を設定します。

4

テンキーでコピー部数を設定し、【スタート】を押します。



「原稿のセットのしかた」
(p. 3-14) をご覧ください。



- 【倍率】を押すたびに倍率が以下のように切り替わります。
 $\times 1.22 \rightarrow \times 1.41 \rightarrow \times 2.00 \rightarrow$
 $\times 4.00 \rightarrow \times 0.25 \rightarrow \times 0.50 \rightarrow$
 $\times 0.70 \rightarrow \times 0.81 \rightarrow \times 1.00 \dots$
- オート用紙モードでは、 $\times 0.25$ と $\times 4.00$ は表示されません。

4



- 「用紙の選択のしかた」
(p. 4-9) をご覧ください。
- 「コピー濃度を変更してコピーする」(p. 4-45) をご覧ください。
- 「一步進んだコピーのとりかた」(p. 5-1) をご覧ください。

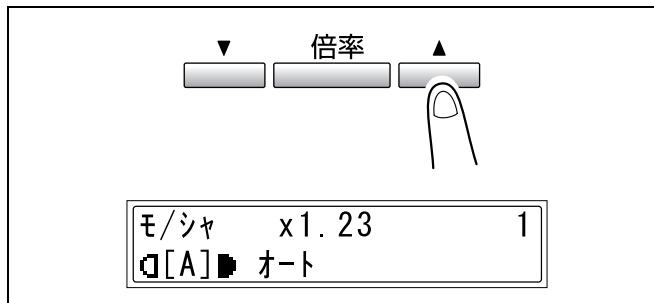
■ 倍率の設定のしかた

1

原稿をセットします。

2

【倍率】を押し、【▼】、【▲】で倍率を設定します。



3 必要に応じてその他の項目を設定します。

4

テンキーでコピー部数を設定し、【スタート】を押します。



「原稿のセットのしかた」
(p. 3-14) をご覧ください。



倍率は、0.01 刻みで設定できます。



- ・「用紙の選択のしかた」
(p. 4-9) をご覧ください。
- ・「コピー濃度を変更してコピーする」(p. 4-45) をご覧ください。
- ・「一歩進んだコピーのとりかた」(p. 5-1) をご覧ください。

■ タテ・ヨコ独立変倍の設定のしかた

1

原稿をセットします。

2

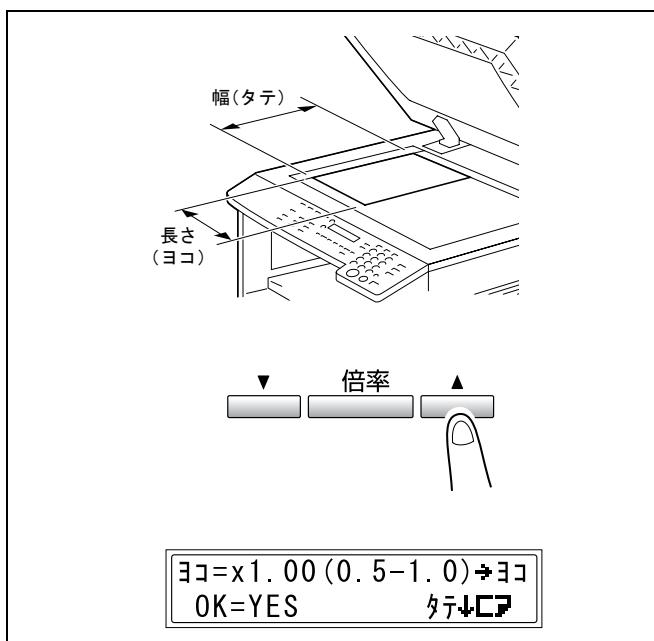
【タテ・ヨコ独立変倍】を押します。

タテ・ヨコ独立変倍のランプが点灯します。



3

【▼】、【▲】で長さ方向（ヨコ）の倍率を設定し、
【Yes】を押します。



「原稿のセットのしかた」
(p. 3-14) をご覧ください。

4



- 0.01 刻みで倍率が増減します。
- 【倍率】を押すと、固定倍率が表示されます。【倍率】を押すたびに、倍率が以下のように切り替わります。
×1.00 → ×0.50 → ×0.70 → ×0.81...

ひとこと

【No】を押すと、基本画面に戻ります。
設定した倍率を訂正するときは【No】を押し、手順2からやり直してください。

4

【▼】、【▲】で幅方向（タテ）の倍率を設定し、【Yes】を押します。

タテ=x1.41(0.5-2.0) ×ヨコ
OK=YES タテ↓□



- 0.01刻みで倍率が増減します。
- 【倍率】を押すと、固定倍率が表示されます。【倍率】を押すたびに、倍率が以下のように切り替わります。
×0.50→×0.70→×0.81→
×1.00→×1.22→×1.41→
×2.00...

ひとこと

【No】を押すと、基本画面に戻ります。

設定した倍率を訂正するときは【No】を押し、手順2からやり直してください。

5

必要に応じて他の項目を設定します。

モ/シャ ×ヨコ/タテ 1
□[A] □ 1 A4 □



- 「用紙の選択のしかた」(p. 4-9)をご覧ください。
- 「コピー濃度を変更してコピーする」(p. 4-45)をご覧ください。
- 「一歩進んだコピーのとりかた」(p. 5-1)をご覧ください。

6

テンキーでコピー部数を設定し、【スタート】を押します。

4.7 コピー濃度を変更してコピーする

原稿種類とコピー濃度の設定

● 文字モード：

文字原稿のときに選択します。輪郭を強調し、文字原稿をくっきり表現します。

オート濃度調整と9段階のマニュアル濃度調整ができます。

○ オート濃度調整：コピーする原稿に合わせて自動的に濃度調整します。

○ マニュアル濃度調整：コピーする原稿に合わせて【□◀】(うすく)、【▶●】(こく)を使用して調整します。

● 写真モード：

写真などのハーフトーン(中間色)部の多い原稿をコピーする場合に選択します。

写真モードのときはオート濃度調整はできません。

● 文字／写真モード：

文字と写真の混在する原稿の場合に選択します。

オート濃度調整と9段階のマニュアル濃度調整ができます。

○ オート濃度調整：コピーする原稿に合わせて自動的に濃度調整します。

○ マニュアル濃度調整：新聞や雑誌などをコピーするときの裏写りを防止したい場合は、【□◀】(うすく)を使用して調整します。画像の明るい部分の淡い色を再現したい場合は、【▶●】(こく)を使用して調整します。

4

ひとこと

マニュアル濃度調整のときに「コイ」側に設定すると、下地の色までコピーしてしまったり、「ウスイ」側に設定すると、コピー 자체が薄くなってしまうことがありますので、原稿にあわせて適切なレベルを設定してください。

■ コピー濃度の設定のしかた

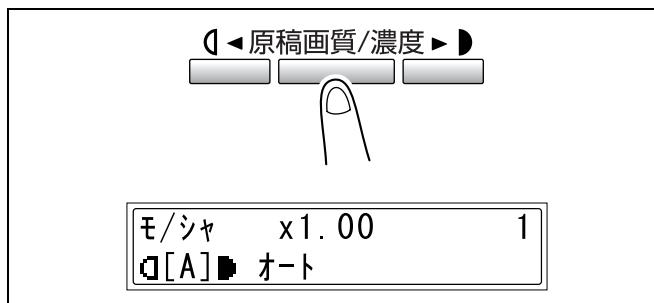
1

原稿をセットします。

2

【原稿画質／濃度】を押し、「モ／シャ [A] (オート)」、「モジ [A] (オート)」、「シャシン」、「モ／シャ」、「モジ」を切り替えます。

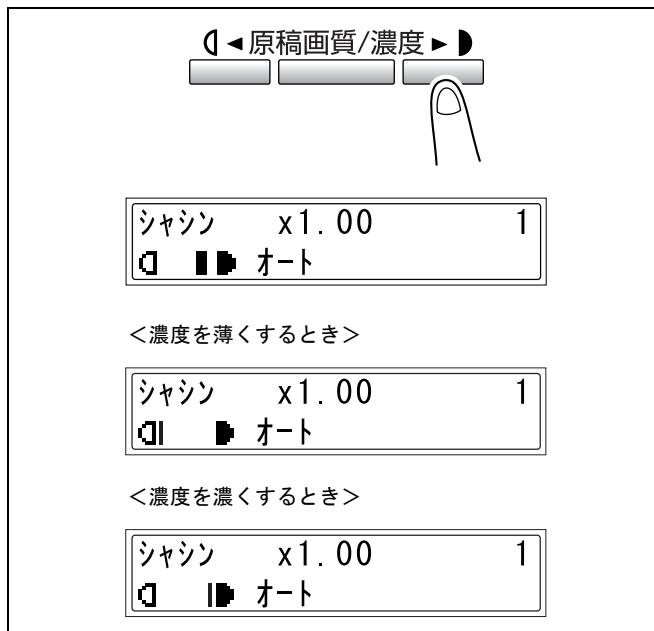
○ ディスプレイ左側の表示で確認してください。



「原稿のセットのしかた」
(p. 3-14) をご覧ください。

3

「シャシン」、「モジ」、「モ／シャ」モードを選択した場合は
【◀】、【▶】を押し、濃度を調整します。



4

必要に応じてその他の項目を設定します。

5

テンキーでコピー部数を設定し、【スタート】を押します。



- ・「用紙の選択のしかた」(p. 4-9)をご覧ください。
- ・「倍率を指定してコピーする」(p. 4-39)をご覧ください。
- ・「一步進んだコピーのとりかた」(p. 5-1)をご覧ください。

4

4.8 割り込んでコピーする

連続コピー、ファクス受信プリント、PC プリント中に【割込み】を押すことにより、急ぎのコピーをとることができます。

■ 割り込み設定のしかた

1

【割込み】を押します。

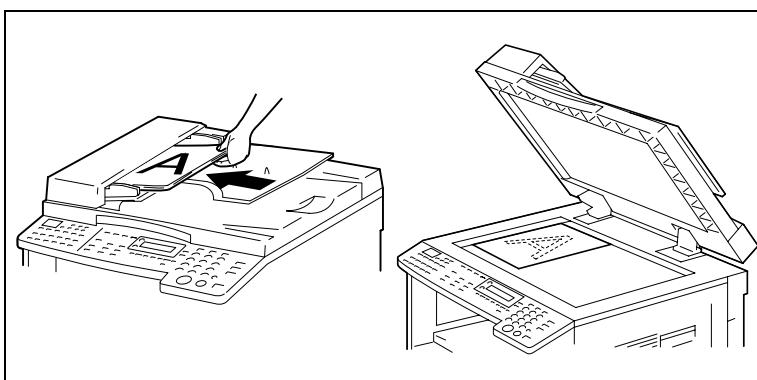
割り込みランプが点灯し、コピー／プリント動作は停止します。



2

原稿を入れ替えます。

○ ファクス受信プリント、PC プリント中は、原稿をセットします。



3

必要に応じてその他の項目を設定します。

4

テンキーでコピー部数を設定し、【スタート】を押します。

割り込みコピーを開始します。

5

割り込みコピー終了後、【割込み】を押します。

割り込みランプが消灯し、割り込み前のモードに戻ります。



割り込み前のコピーモードにより、割り込みコピーができないことがあります。また、割り込み設定中は組み合わせできない機能があります。詳しくは、「おもな機能の組み合わせ一覧表」(p. 12-8)をご覧ください。原稿ガラスを使用して 2in1、4in1 を行っているときは、割り込みコピーはできません。

ひとこと

【割込み】を押すと、パネルの設定は初期モードになります。



- ・「用紙の選択のしかた」(p. 4-9)をご覧ください。
- ・「倍率を指定してコピーする」(p. 4-39)をご覧ください。
- ・「コピー濃度を変更してコピーする」(p. 4-45)をご覧ください。
- ・「一歩進んだコピーのとりかた」(p. 5-1)をご覧ください。

6

- 手順 2 で入れ替えた原稿をセットしなおします。
- ファクス受信プリント、PC プリント中の場合は、手順 7 に進んでください。

7

- 【スタート】を押します。
- 中断したコピー／プリント、ファクスプリント、PC プリントが再開されます。

4

4.9 マシンカウンタを確認する

本機を設置した時点からの累積プリント枚数を、【確認】から確認できます。

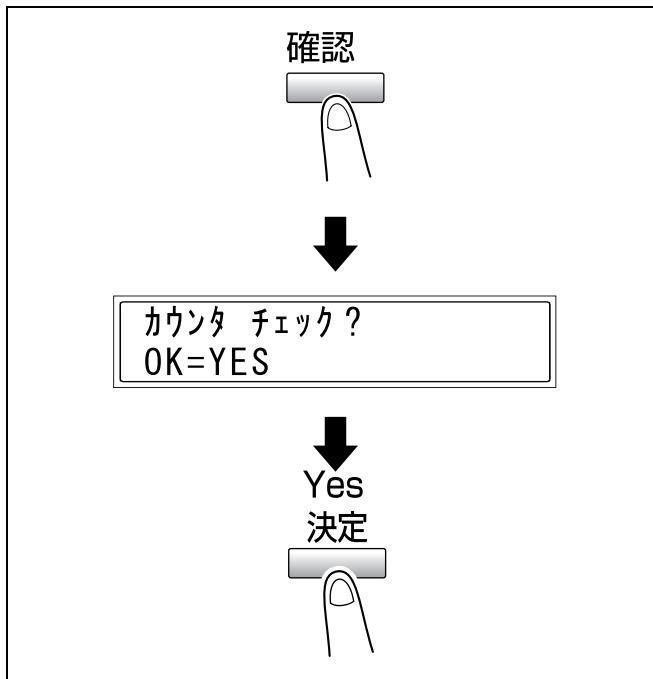
■ マシンカウンタで確認できる項目

マシンカウンタ	内容
トータルカウンタ	本機の設置時からの総プリント枚数が表示されます。
トータルサイズカウンタ	サイズカウントとして設定された用紙サイズの総コピー／プリント枚数が表示されます。(どの用紙サイズをカウントするかはサービス技術者が設定します。)
トータルスキャンカウンタ	本機の設置時からの総読み取り回数が表示されます。 (コピー時の読み取り回数は含みません。)
ソウシソマイスカ	本機の設置時からのファクス送信枚数が表示されます。
ジュシソマイスカ	本機の設置時からのファクス受信枚数が表示されます。

1

【確認】を押し、【Yes】を押します。

マシンカウンタのメニューが表示されます。



2

【▼】、【▲】で各トータルカウント値を確認します。

トータルカウンタ=000000  
チェック シュウリョウ=YES 

トータルサイズカウンタ=000000  
チェック シュウリョウ=YES 

トータルスキャンカウンタ=000000  
チェック シュウリョウ=YES 

ソウシン マイスウ=000000  
チェック シュウリョウ=YES 

ジュシン マイスウ=000000  
チェック シュウリョウ=YES 

3

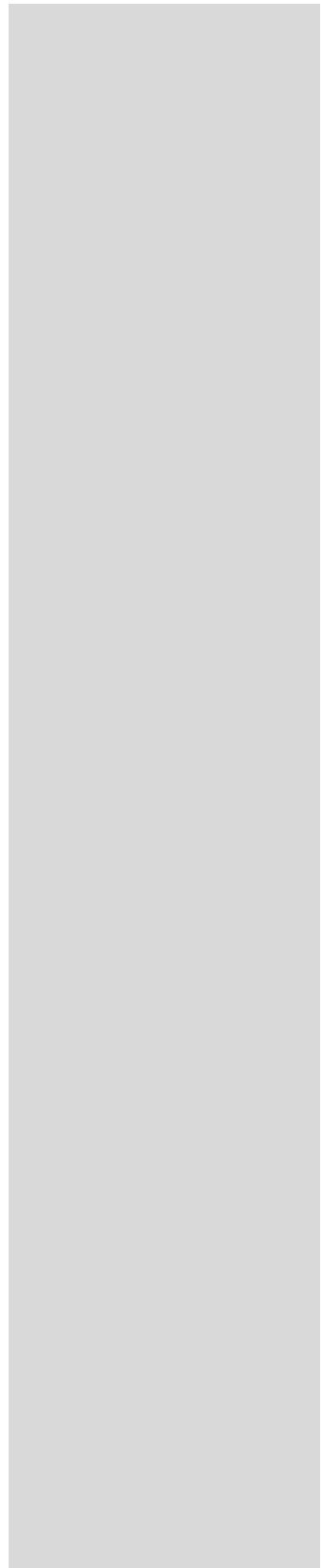
【Yes】を押し、マシンカウンタのメニューに戻ります。

4

【No】を押し、基本画面に戻ります。

4

4.9 マシンカウンタを確認する



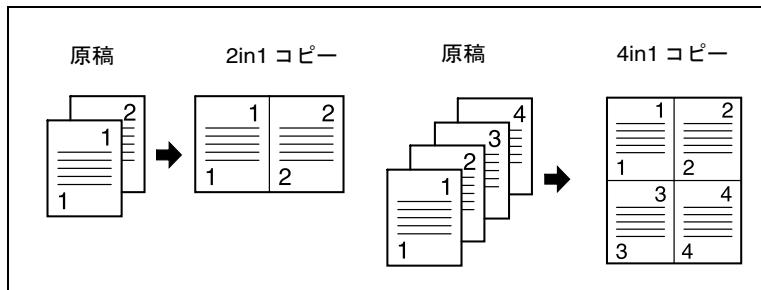
第5章 一歩進んだコピーのとりかた

5

仕上がりの設定や、コピーモードの登録などさまざまなコピーのとりかたについて説明します。

5.1 2in1、4in1 コピーの設定について	5-2
5.2 ブック分割コピーの設定について	5-5
5.3 仕上り設定について（ソート、グループ）	5-7
5.4 原稿の一部を消してコピーする（イレース）	5-12
5.5 白黒反転コピーをする（ネガポジ反転）	5-14
5.6 とじ代をつけてコピーする	5-15
5.7 コピー設定を登録する	5-17
5.8 ID（部門）番号を使ってコピーする	5-19

5.1 2in1、4in1 コピーの設定について



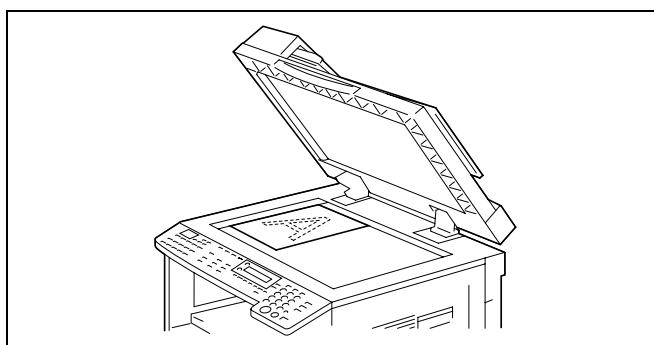
■ 原稿ガラスの場合

1

原稿送り装置を開きます。

2

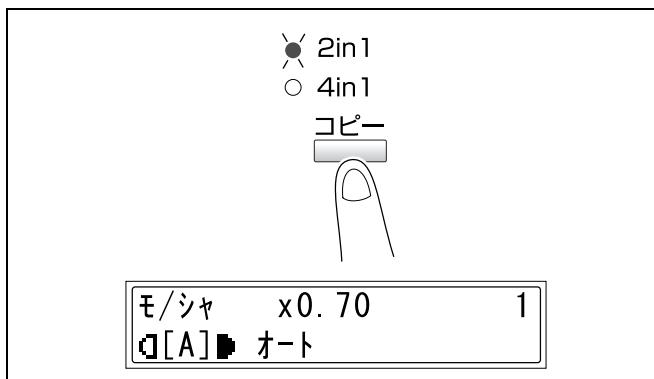
原稿ガラスに原稿をセットします。



3

【コピー】を押し、2in1 または 4in1 を選択します。

2in1 または 4in1 のランプが点灯します。

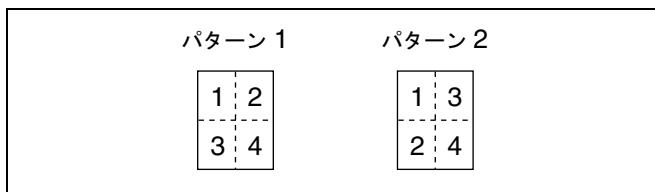


原稿ガラスを使用して
2in1、4in1 コピーを行って
いるときは、割り込みコ
ピーはできません。



「原稿のセットのしかた」
(p. 3-14) をご覧ください。

- 4in1 コピーではコピー順序を下図の2つから選択できます。
工場出荷時の設定は「パターン1」です。



設定のしかたについては
ユーティリティの「4in1
ページ順の設定をする」
(p. 8-51) をご覧ください。

4

必要に応じてその他の項目を設定します。

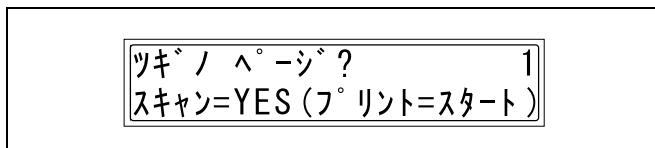
5

テンキーでコピー部数を設定し、【スタート】を押します。

6

次の原稿を原稿ガラスにセットして【Yes】を押します。

- 原稿の枚数分、この操作を繰り返します。
読み込み原稿枚数が表示されます。



- 「コピー／ファクスをとるまえに」(p. 3-1) をご覧ください。
- 「一步進んだコピーのとりかた」(p. 5-1) をご覧ください。



複数部設定した場合は【仕上り】を押し【ソート】を選択してください。

5

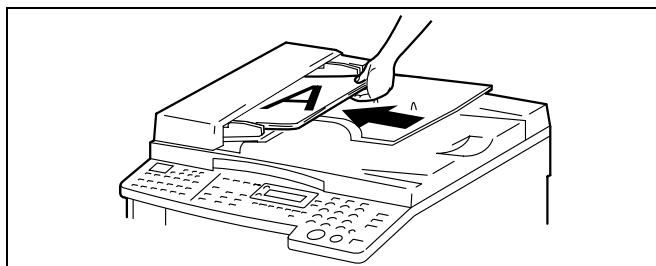
7

すべての原稿のスキャンが終了したら【スタート】を押します。

■ 原稿送り装置の場合

1

原稿送り装置に原稿をセットします。

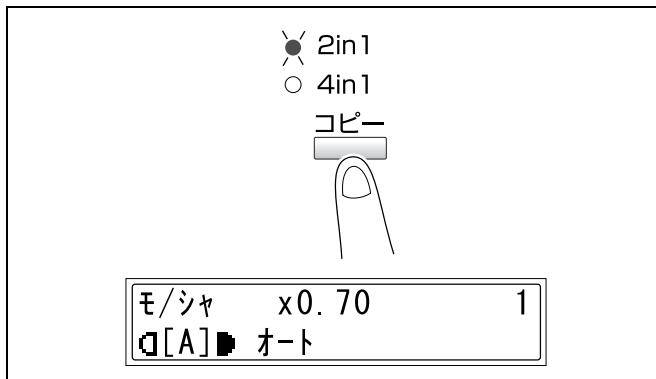


「原稿のセットのしかた」
(p. 3-14) をご覧ください。

2

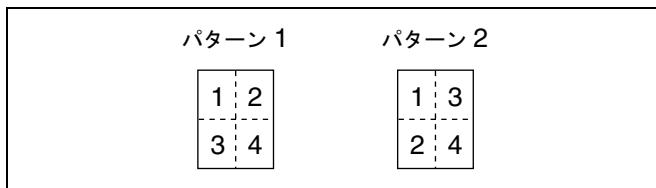
【コピー】を押し、2in1 または 4in1 を選択します。

2in1 または 4in1 のランプが点灯します。



○ 4in1 コピーではコピー順序を下図の 2 つから選択できます。

工場出荷時の設定は「パターン 1」です。



3

必要に応じて他の項目を設定します。

4

テンキーでコピー部数を設定し、【スタート】を押します。

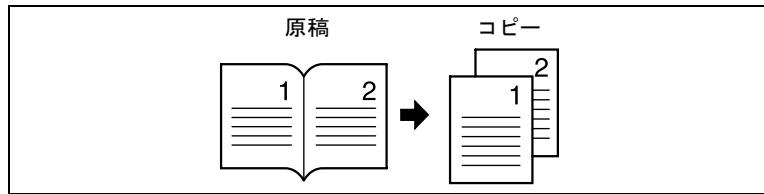


• 設定のしかたについては
ユーティリティの「4in1
ページ順の設定をする」
(p. 8-51) をご覧ください。



• 「コピー／ファクスをとる
まえに」(p. 3-1) をご覧
ください。
• 「一歩進んだコピーのとり
かた」(p. 5-1) をご覧く
ださい。

5.2 ブック分割コピーの設定について



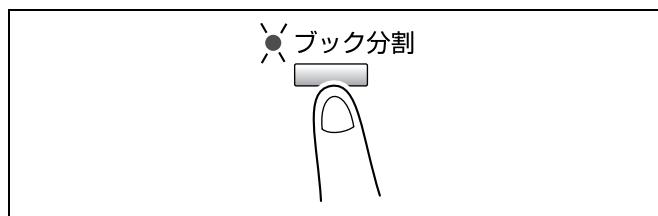
1

原稿をセットします。

2

【ブック分割】を押します。

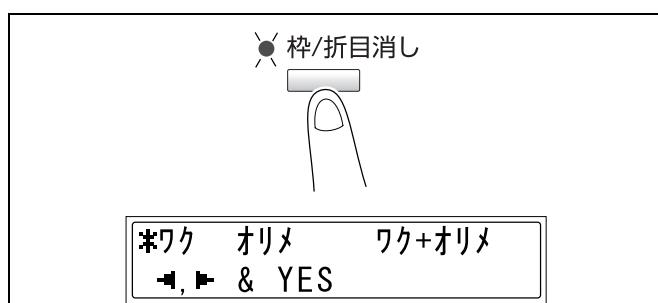
ブック分割ランプが点灯します。



3

原稿の周囲や中央部を消去したいときは【枠／折目消し】を押します。

○ コピーを開始するときは手順 5 に進んでください。



4

【Yes】を押します。

基本画面が表示されます。

5

必要に応じてその他の項目を設定します。

6

テンキーでコピー部数を設定し、【スタート】を押します。



「原稿のセットのしかた」
(p. 3-14) をご覧ください。



詳しく説明します

ユーティリティモードで原稿タイプを変更できます。工場出荷時は、原稿が左と同じに設定されています。右と同じの原稿をコピーする場合は、ユーティリティの「ブックと同じ位置を選択する」(p. 8-43) で設定を変更してください。



枠／折目消しの種類は、次のページの表を参考してください。



詳しく説明します

- ・枠イレース幅（消去する幅）は 5 mm ~ 20 mm の間を 1 mm 単位で設定できます。工場出荷時の設定は 10 mm です。
- ・折目イレース幅は 10 mm 固定です。
- ・枠イレース幅を変更したい場合は、ユーティリティの「イレース幅の調整をする」(p. 8-45) で変更してください。



- ・「コピー／ファクスをとるまえに」(p. 3-1) をご覧ください。
- ・「一歩進んだコピーのとりかた」(p. 5-1) をご覧ください。

5

■ 枠／折目消しの種類について

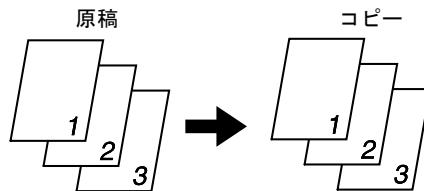
イレースの種類	説明	仕上がり
ワク (ブックフレーム イレース)	原稿の周囲を消去してコピーします。	原稿 コピー 
オリメ (ブックセンター ^イ レース)	原稿のセンターを消去してコピーします。	原稿 コピー 
ワク + オリメ (ブックフレーム + センターイレー ス)	原稿の周囲と中央部を消去してコピーします。	原稿 コピー 

5.3 仕上り設定について（ソート、グループ）

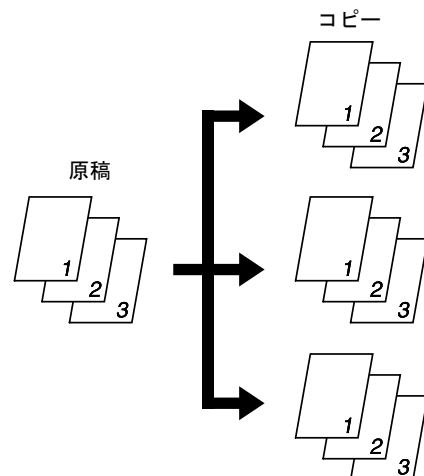
2部以上のコピー／プリントを行うときに、1部ずつをページ順にコピー（ソート）したり、ページごとにまとめてコピー（グループ）したりできます。

■ 仕上りの種類

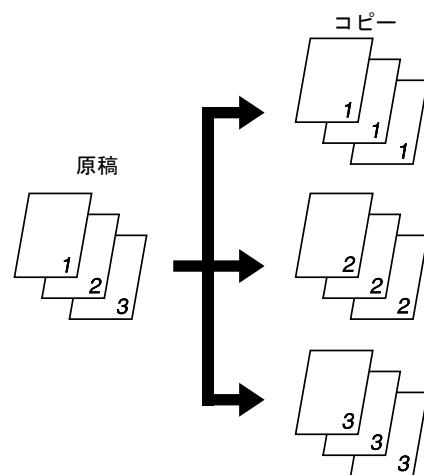
- ノンソート：
仕分けを行わずにコピーします。



- ソート：
複数の原稿を自動的に1部ずつ仕分けをして、コピーします。

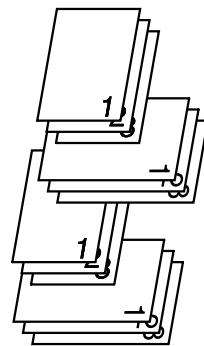


- グループ：
複数枚の原稿をページ単位に仕分けしてコピーします。



- 交互ソート：

1部ごとにタテとヨコの用紙を交互に給紙して仕分けします。

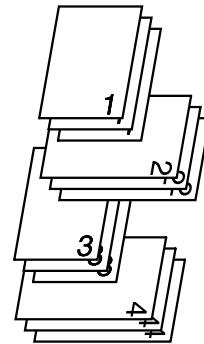


交互に排出する場合は以下の条件が必要です。

- A4 または B5 の用紙を使用する
- サイズと種類の同じ用紙をタテ方向とヨコ方向にセットする
- オート用紙に設定する
- 混載原稿を設定しない
- ユーティリティの「カイン ハイ」メニューで「ON」を設定する (p. 8-52)

- 交互グループ：

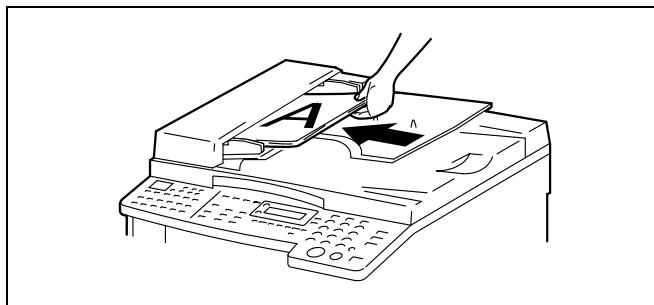
ページごとにタテとヨコの用紙を交互に給紙して仕分けします。



■ 仕上り設定のしかた（原稿送り装置に原稿をセット）

1

原稿送り装置に原稿をセットします。

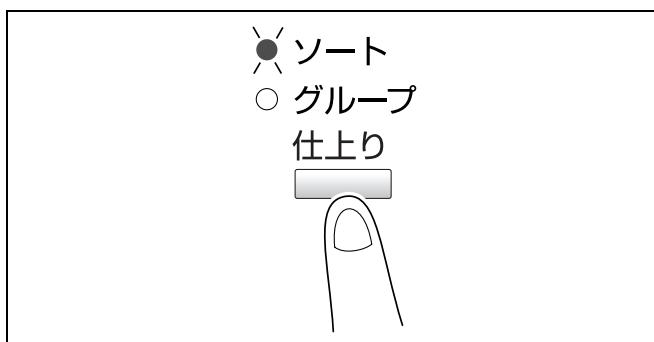


「原稿のセットのしかた」
(p. 3-14) をご覧ください。

2

【仕上り】を押し、ソートまたはグループを選択します。

ソートまたはグループランプが点灯します。



ひとこと

仕上りを設定していない場合、ランプは点灯しません。

3

必要に応じその他の項目を設定します。

4

テンキーでコピー部数を設定し、【スタート】を押します。

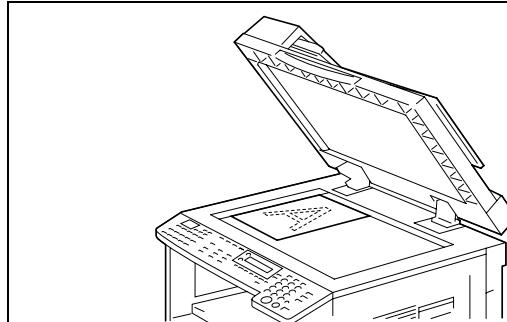


- ・「コピー／ファクスをとるまえに」(p. 3-1) をご覧ください。
- ・「一步進んだコピーのとりかた」(p. 5-1) をご覧ください。

■ 仕上り設定のしかた（原稿ガラスに原稿をセット）

1

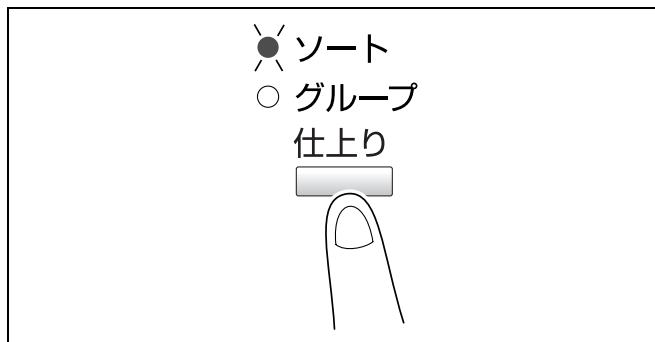
原稿送り装置を開きます。



「原稿のセットのしかた」
(p. 3-14) をご覧ください。

2

原稿ガラスに原稿をセットします。



ひとこと

仕上りを設定していない場合、ランプは点灯しません。

3

【仕上り】を押し、ソートを選択します。

ソートランプが点灯します。

4

必要に応じその他の項目を設定します。

5

テンキーでコピー部数を設定し、【スタート】を押します。



- ・「コピー／ファクスをとるまえに」(p. 3-1) をご覧ください。
- ・「一歩進んだコピーのとりかた」(p. 5-1) をご覧ください。

6

次の原稿を原稿ガラスにセットして【Yes】を押します。

- 原稿の枚数分、この操作を繰り返します。

読み込み原稿枚数が表示されます。

「ツキノヘーション？ 1
スキャン=YES (フリント=スタート)」

7

【スタート】を押します。

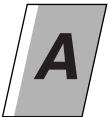
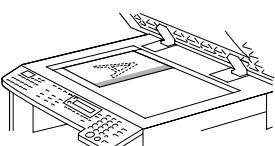
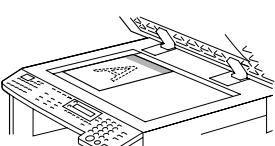
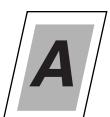
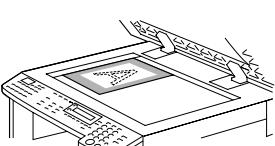
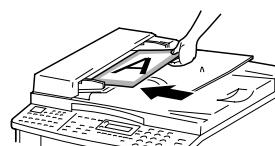
5

5.4 原稿の一部を消してコピーする（イレース）

原稿の縁の汚れなどを消去してコピーできます。

■ イレース位置でのご注意

イレースモードでコピーを行う場合は原稿をセットする方向に注意してください。

仕上がり	原稿ガラス	原稿送り装置
左イレース 		
上イレース 		
枠イレース 		

■ イレース設定のしかた

1

原稿をセットします。

2

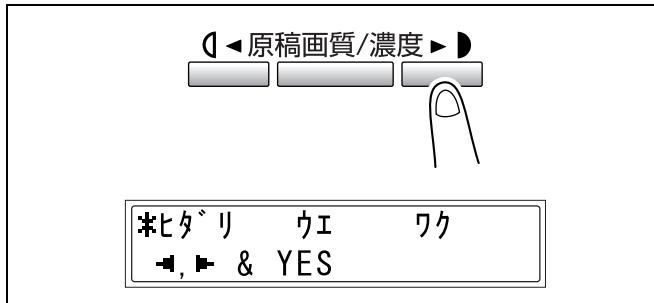
【枠／折目消し】を押します。

枠／折目消しランプが点灯します。



3

【□◀】、【▶□】でイレース位置を「ヒダリ」、「ウエ」、「ワク」から選択します。



4

【Yes】を押します。

基本画面が表示されます。

5

必要に応じその他の項目を設定します。

6

テンキーでコピー部数を設定し、【スタート】を押します。



「原稿のセットのしかた」
(p. 3-14) をご覧ください。

5



詳しく説明します

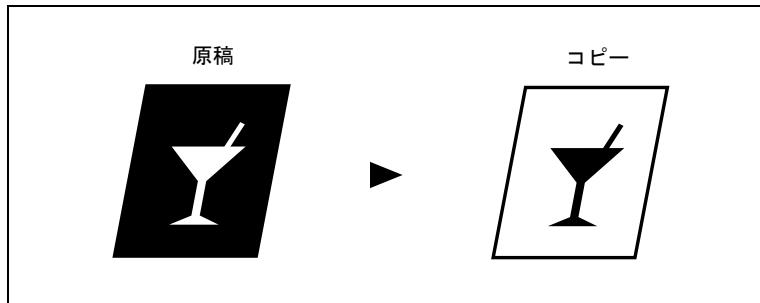
- 左イレース、上イレース、枠イレース幅は、5 mm ~ 20 mm の範囲で 1 mm 単位の設定ができます。工場出荷時の設定は 10 mm です。
- イレース幅を変更したい場合は、ユーティリティの「イレース幅の調整をする」(p. 8-45) をご覧ください。



- 「コピー／ファクスをとるまえに」(p. 3-1) をご覧ください。
- 「一步進んだコピーのとりかた」(p. 5-1) をご覧ください。

5.5 白黒反転コピーをする（ネガポジ反転）

原稿の白色部（下地）と黒色部（文字）を反転してコピーできます。



■ ネガポジ反転の設定のしかた

1

原稿をセットします。

2

【ネガポジ反転】を押します。

ネガポジ反転ランプが点灯します。



3

必要に応じその他の項目を設定します。

4

テンキーでコピー部数を設定し、【スタート】を押します。



「原稿のセットのしかた」
(p. 3-14) をご覧ください。

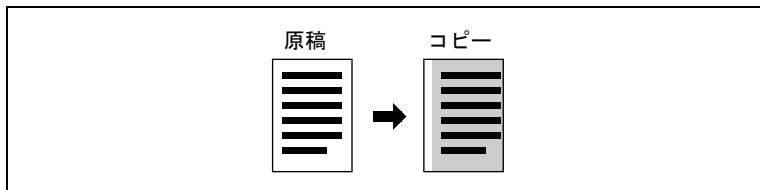


- 「コピー／ファクスをとるまえに」(p. 3-1) をご覧ください。
- 「一歩進んだコピーのとりかた」(p. 5-1) をご覧ください。

5.6 とじ代をつけてコピーする

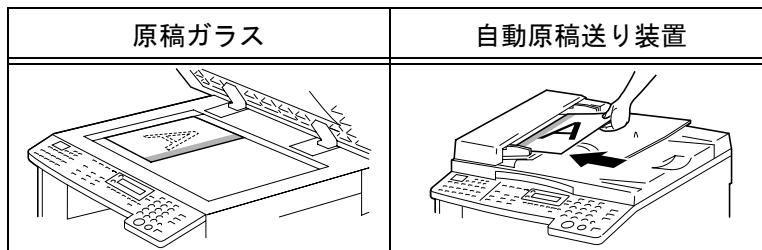
ファイリングしやすいように、用紙にとじ代（余白）をつけてコピーできます。

- 左とじ代：原稿の画像を右方向にずらして（シフトさせて）左側にとじ代をつくりコピーします。



■ とじ代位置のご注意

とじ代をつけてコピーする場合は原稿をセットする方向に注意してください。



■ とじ代の設定のしかた

1

原稿をセットします。

2

【とじ代作成】を押します。

とじ代作成ランプが点灯します。



「原稿のセットのしかた」
(p. 3-14) をご覧ください。



詳しく説明します

- とじ代幅は、0 mm ~ 20 mm の範囲で 1 mm 単位の設定ができます。工場出荷時の設定は 10 mm です。
- とじ代幅を変更したい場合は、ユーティリティモードの「とじ代幅の調整をする」(p. 8-44) をご覧ください。

3

必要に応じその他の項目を設定します。

4

テンキーでコピー部数を設定し、【スタート】を押します。



- ・「コピー／ファクスをとるまえに」(p. 3-1) をご覧ください。
- ・「一歩進んだコピーのとりかた」(p. 5-1) をご覧ください。

5.7 コピー設定を登録する

よく使用するコピーモードを登録しておき、必要に応じて呼び出すことができます。コピー設定は2つまで登録できます。

■ コピー設定の登録のしかた

1

登録するコピーモードを設定します。

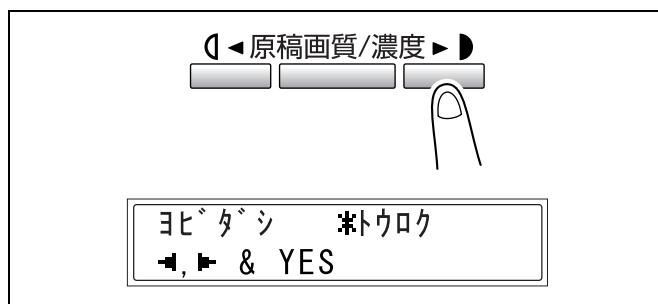
2

【コピー設定 登録／呼出】を押します。



3

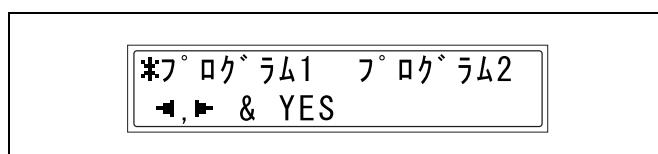
【(◀)、(▶)】で「トウロク」を選択し、【Yes】を押します。



4

【(◀)、(▶)】で登録するプログラム番号を選択し、【Yes】を押します。

現在のコピー設定が登録されます。



ウォームアップ中および割り込みモード中に設定の登録を行うことはできません。



- ・「コピー／ファクスをとるまえに」(p. 3-1)をご覧ください。
- ・「一步進んだコピーのとりかた」(p. 5-1)をご覧ください。

5



登録できる倍率の設定範囲は×0.50～×2.00です。



すでに2種類のコピー設定が登録されている場合、新たにコピー設定の登録を行うと前のコピー設定は消去されます。

■ コピー設定を呼び出してコピーする

1

原稿をセットします。

2

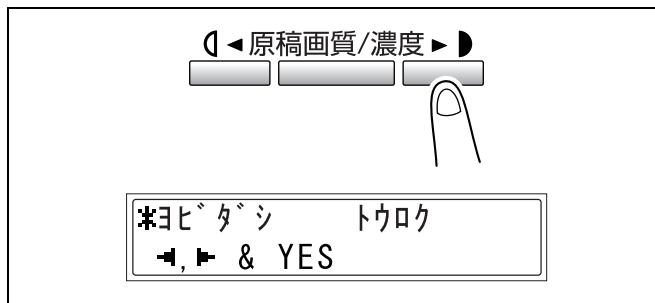
【コピー設定 登録／呼出】を押します。



「原稿のセットのしかた」
(p. 3-14) をご覧ください。

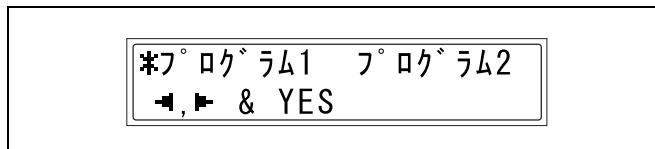
3

【□◀】、【▶◆】で「ヨビダシ」を選択し、【Yes】を押します。



4

【□◀】、【▶◆】で呼び出すプログラム番号を選択し、
【Yes】を押します。



5

【スタート】を押します。

5.8 ID（部門）番号を使ってコピーする

ID（部門）番号を登録しておくと、特定の人だけが本機を使えるように設定したり、部門ごとにコピー枚数を管理したりできます。

ここでは ID（部門）番号を入力し、コピーする方法を説明します。

■ ID（部門）番号の入力のしかた

1

3 衝の ID（部門）番号をテンキーで入力します。

ID=---

ID=***

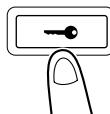
IDキー ヲ オシテクタ^ サイ

2

【ID】を押します。

画面が ID 入力画面から基本画面に切り替わり、コピー可能となります。

ID



3

原稿をセットし、コピーの設定をします。

4

【スタート】を押します。

5

コピーが終了したら、再度【ID】を押します。



詳しく説明します

ID（部門）番号が登録されている場合は、本機を使用する前に ID（部門）番号を入力しないと使用できません。

この機能を使用する場合は、ユーティリティの管理者保守モードで部門管理の設定をしてください。詳しくは p. 8-27 をご覧ください。

ひとこと

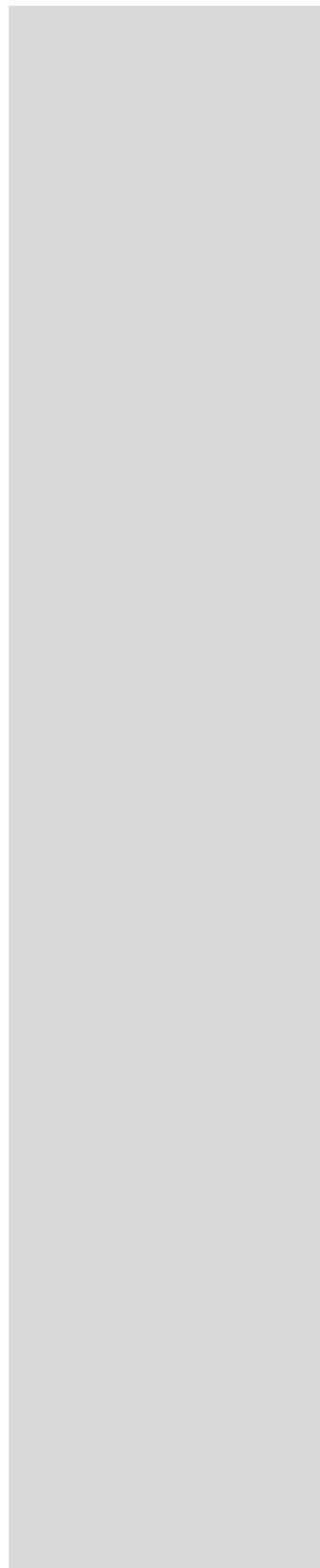
ID（部門）番号を訂正する場合は、【No】を押してから入力しなおしてください。

5



- ・「コピー／ファクスをとるまえに」(p. 3-1) をご覧ください。
- ・「一步進んだコピーのとりかた」(p. 5-1) をご覧ください。

5.8 ID（部門）番号を使ってコピーする





第6章

ファックスの使いかた

6

ファックスの送信方法や受信方法について説明します。

6.1 送信時の操作のながれ	6-2
6.2 原稿をセットする	6-4
6.3 ファックス画質を設定する	6-10
6.4 送信先を指定する	6-11
6.5 原稿読み込み中の動作	6-25
6.6 送信できないときは	6-26
6.7 通話後に送信する（手動送信）	6-27
6.8 送信を中止する	6-28
6.9 通信結果を確認する（レポート／リスト）	6-30
6.10 レポート／リストの種類	6-32
6.11 メモリ送信と即時送信	6-34
6.12 時刻を指定して送信する	6-35
6.13 一括送信	6-37
6.14 受信する	6-38
6.15 電話をかける	6-44
6.16 電話を受ける	6-45

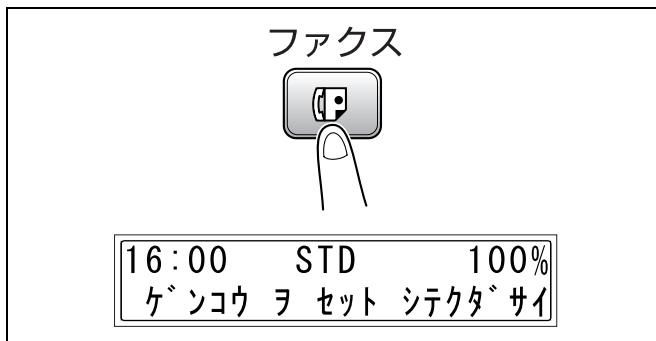
6.1 送信時の操作のながれ

ファクスを送るときの操作の流れを説明します。

1

【ファクス】を押します。

ファクスモードに切替わり、ファクス画面が表示されます。

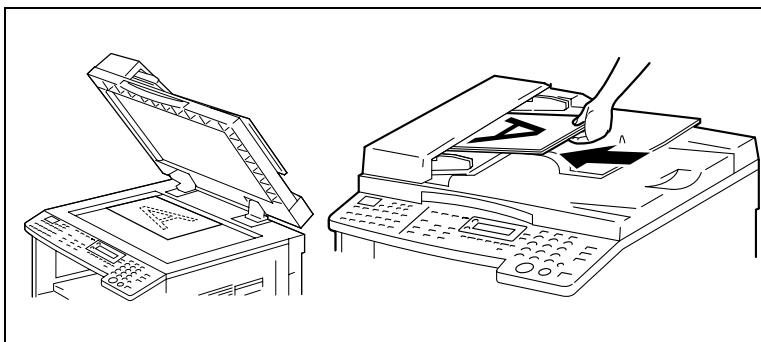


ひとこと

本機はG3ファクスです。本機で送受信できるのは、相手機もG3規格に対応したファクスに限られます。

2

原稿をセットします。



参照

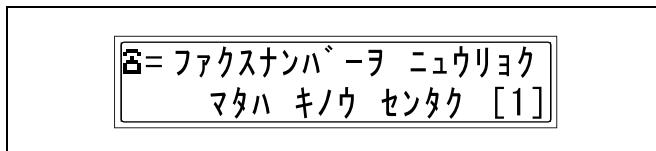
原稿セット方法については「原稿をセットする」(p. 6-4)をご覧ください。

3

画質を設定します。

4

相手先のファクス番号を入力します。



参照

画質については「ファクス画質を設定する」(p. 6-10)をご覧ください。

参照

相手先の指定方法については「送信先を指定する」(p. 6-11)をご覧ください。

5

【スタート】を押し、送信を開始します。

送信が終了すると“ピー”という発信音が鳴ります。

- 送信を途中で中止したい場合は、【ストップ】を押し、表示される画面で【Yes】を押します。



送信できなかったときは、送信結果レポートがプリントされます。詳しくは、「通信結果を確認する（レポート／リスト）」(p. 6-30)をご覧ください。

6

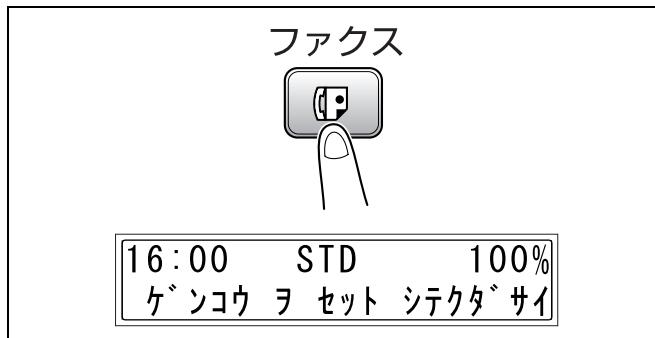
6.2 原稿をセットする

■ 原稿送り装置に原稿をセットする

1

【ファクス】を押します。

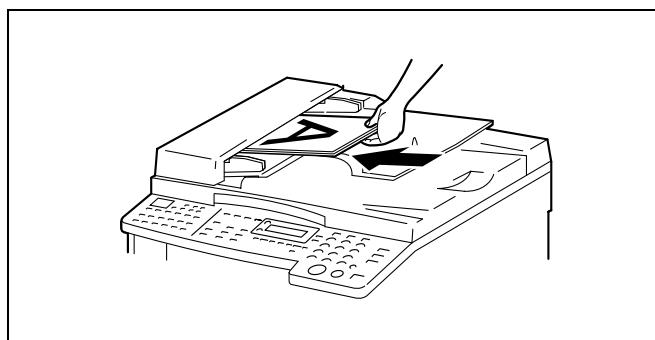
ファクスモードに切替わり、ファクス画面が表示されます。



ステープル針やクリップなどのついた原稿は故障の原因となります。原稿をセットする前に、必ずステープル針やクリップなどを取り外してください。

2

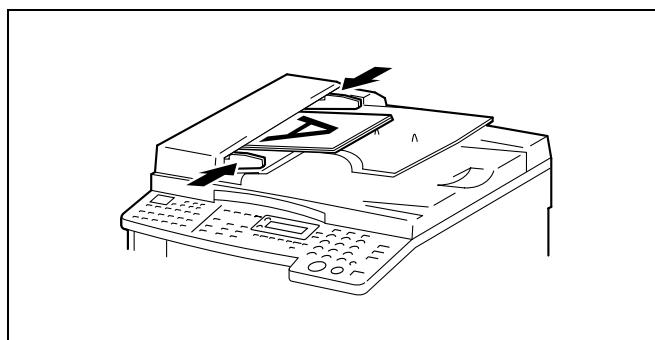
原稿送り装置に読み込む面を上向きにして原稿をセットします。



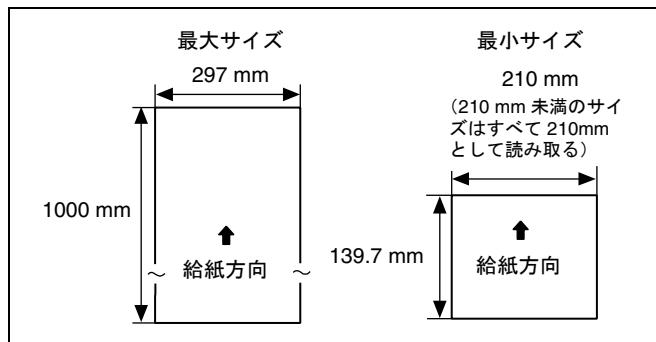
- A3 サイズの普通紙を 50 枚までセットできます。
- 長さが 432 mm 以上の原稿は 1 枚のみセットできます。

3

原稿セットガイドを原稿サイズにあわせます。



- 不定形サイズの原稿は、以下のサイズの原稿まで読み取ることができます。



詳しく説明します

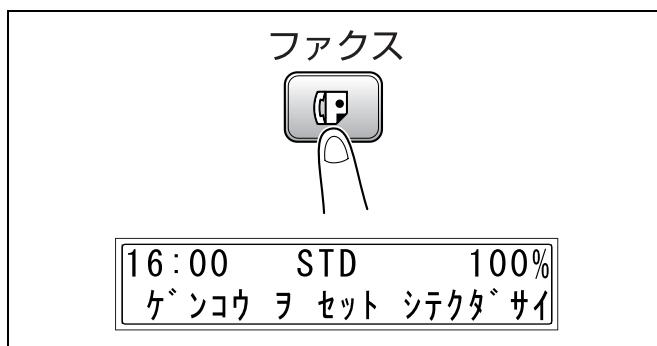
- 読み取られた原稿は、A4□幅、B4□幅、A3□幅のいずれかのサイズ（原稿以上で最も近いサイズ）として送信されます。
- 原稿の長さが1000 mmを越える場合、本機は原稿づまりと判断して読み込み動作を停止します。
- 原稿の周囲2 mmの範囲は、画像の読み取りができません。
- A3幅の原稿をスーパーファインで読み取る場合、原稿の長さは900 mmまで読み取ることができます。
- メモリに受信データ、ポーリング受信データなどがないとき、メモリに一度に読み込める原稿の枚数は、A4標準原稿で約280枚です。オプションの拡張メモリを追加すると、読み込める原稿枚数は最大約1024枚になります。

■ 原稿ガラス上に原稿をセットする

1

【ファクス】を押します。

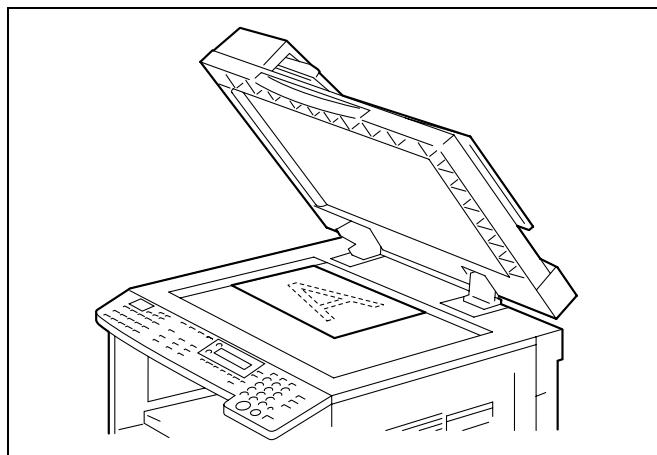
ファクスモードに切替わり、ファクス画面が表示されます。



2

原稿送り装置を開き、読み込む面を下にして原稿をセットします。

○ 原稿台左側と上側にある原稿スケールに合わせて原稿をセットします。

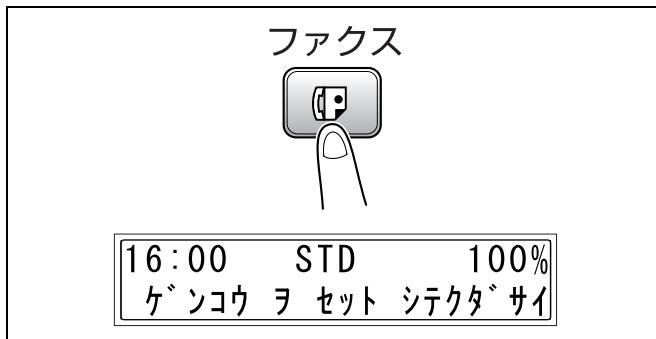


■ 原稿ガラス上にセットした原稿を送信するには

1

【ファクス】を押します。

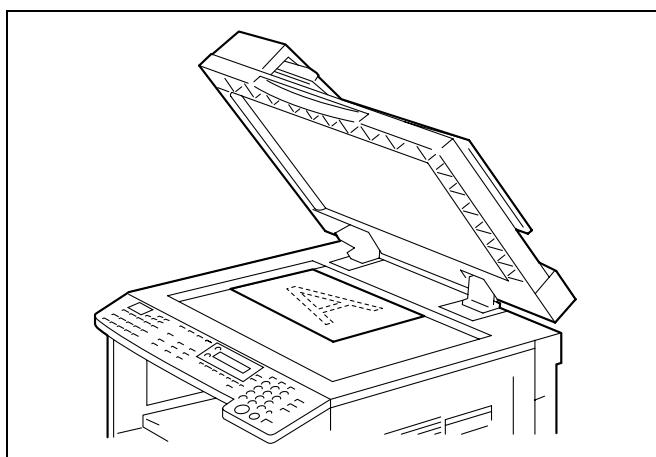
ファクスモードに切替わり、ファクス画面が表示されます。



2

原稿送り装置を開き、読み込む面を下にして原稿をセットします。

- 原稿台左側と上側にある原稿スケールに合わせて原稿をセットします。



3

必要に応じて「画質」を設定します。



画質については「ファクス画質を設定する」(p. 6-10)をご覧ください。

4

テンキーで相手先のファクス番号を入力します。

ひとこと

あらかじめ登録しておいた相手先を指定することもできます。「送信先を指定する」(p. 6-11)をご覧ください。

8=0123456_
SUB=▼ [1]

5

【スタート】を押します。

6

セットした原稿のサイズ以外の読み込み領域を指定する場合、また原稿サイズを自動的に検出できない場合は、【▼】を押します。「マニュアル」を選択し、【Yes】を押してください。

○ 原稿サイズを自動検出するときは、手順7に進みます。

フック ヨミトリ（オート）
ヨミトリ=YES（サイズ=▼）

7

その後、読み込む用紙サイズを選択し、【Yes】を押します。

A4□ *A4□ B4□ A3□
◀, ▶ & YES

8

【Yes】を押します。

原稿が読み込まれます。

ひとこと

次の原稿を読み込む場合は、次の原稿をセットし、【Yes】を押してください。

9

【スタート】を押し、送信を開始します。

- 送信が終了すると“ピー”という発信音が鳴ります。
- 送信を途中で中止するときは、【ストップ】を押し、表示される画面で【Yes】を押します。



詳しく説明します

- メモリに読み込める原稿枚数は、A4 標準原稿で最大 280 枚です。オプションの拡張メモリを追加すると、読み込める原稿枚数は最大 1024 枚になります。



- 読み込まれた文書の送信を取り消したい場合は、「送信予約をキャンセル（削除）する」(p. 6-28)をご覧ください。
- 送信できなかったときは、送信結果レポートがプリントされます。詳しくは、「通信結果を確認する（レポート／リスト）」(p. 6-30)をご覧ください。

6

6.3 ファクス画質を設定する

送信する原稿には細かい文字が多い原稿、精密な図面のある原稿、写真のある原稿など、いろいろあります。以下のように原稿に合わせた画質を指定することで、原稿を鮮明に送信できます。

原稿の内容	画質設定
普通の文字原稿	STD (スタンダード)
小さい文字を含む原稿（新聞など）、精密図を含む原稿	FINE (ファイン)、S/F (スーパーファイン)
写真など濃淡のあるものと文字を含む原稿	「シャシン」+ STD (ハーフトーン+スタンダード)、「シャシン」+ FINE (ハーフトーン+ファイン)
写真など濃淡のあるものを含む原稿	「シャシン」+ FINE (ハーフトーン+ファイン)、「シャシン」+ S/F (ハーフトーン+スーパーファイン)

■ 画質の設定のしかた

1

【ファクス】を押します。

ファクスモードに切替わり、ファクス画面が表示されます。

2

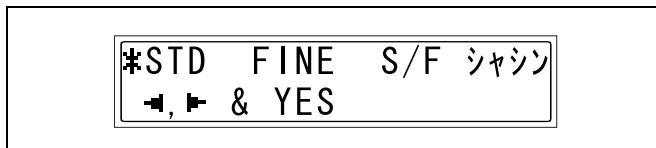
原稿をセットします。

3

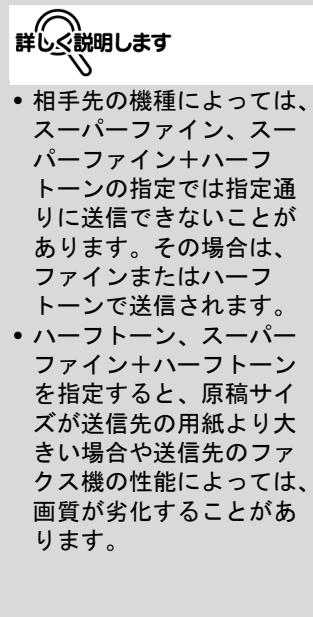
【ファクス画質】を押し、原稿に合わせた画質を選択します。

4

【(◀)】、【(▶)】でファクス画質を選択し、【Yes】を押します。



- 「シャシン」ハーフトーンを選択した場合は、次の画面で「STD」(スタンダード)、「FINE」(ファイン)、「S.FINE」(スーパーファイン)を選択してください。



- 相手先の機種によっては、スーパーファイン、スーパーファイン+ハーフトーンの指定では指定通りに送信できないことがあります。その場合は、ファインまたはハーフトーンで送信されます。
- ハーフトーン、スーパーファイン+ハーフトーンを指定すると、原稿サイズが送信先の用紙より大きい場合や送信先のファクス機の性能によっては、画質が劣化することがあります。

6.4 送信先を指定する

■ 送信先を1か所だけ指定する

送信先を1か所だけ指定する方法には、以下の方法があります。

- ダイヤル入力
- ワンタッチダイヤル
- 短縮ダイヤル
- グループダイヤル
- プログラム
- 電話帳

ここでは、原稿送り装置を使用してファクス送信を行う場合の手順を例に説明します。



詳しく説明します

国際ダイヤル通話を使って海外通信するときは、国際電話番号（001、0061、0041）のあとに続けて国番号と相手先番号を入力すると、ダイヤルの途中で話しつなぎとなり送信できないことがあります。このような場合は、国際電話番号を入力したあとに【リダイヤル／ポーズ】を2回押して、約6秒の空白時間をおいてから残りの電話番号を入力してください。それでも送信できない場合は、手動送信を行ってください。詳しくは、「通話後に送信する（手動送信）」(p. 6-27)をご覧ください。

■ ダイヤル入力

1

【ファクス】を押し、ファクスモードに切替えます。

2

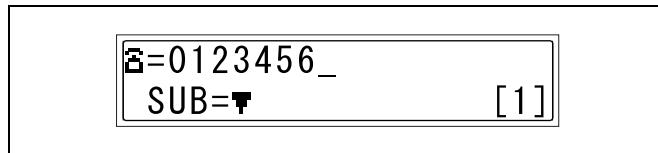
原稿をセットします。

3

必要に応じて「画質」を設定します。

4

テンキーで相手先のファクス番号を入力します。



The image shows a digital display of a fax machine. The screen displays the following information: '0123456' followed by a short horizontal line, 'SUB=' followed by a small square icon, and '[1]' in a box. The entire display is enclosed in a rectangular frame.

5

【スタート】を押します。

読み込み・送信が開始されます。



- ・「原稿をセットする」(p. 6-4)をご覧ください。
- ・画質については「ファクス画質を設定する」(p. 6-10)をご覧ください。
- ・Fコード (SUB、SID) を入力することもできます。「Fコード」(p. 7-2)をご覧ください。



- ・ファクス番号は最大 30 枠まで入力可能です。
- ・入力可能な文字： 数字 (0 ~ 9)、*、#、スペース、ポーズ文字列の入力方法については「文字の入力のしかた」(p. 3-20)をご覧ください。
- ・ファクス番号中に【リダイヤル／ポーズ】を押すと、約 3 秒間の空き時間(ポーズ)を入力できます。ディスプレイには「P」と表示されます。
- ・PBX の通信回線に接続していて、「通信回線を設定する」(p. 3-31) で外線接続番号が登録されている場合、“#”を入力すると、外線接続番号を呼び出すことができます。

■ ワンタッチダイヤル

あらかじめワンタッチダイヤルキーに相手先の番号を登録しておくと、ワンタッチダイヤルキーを押すだけで相手先を指定できます。

1

原稿をセットします。

2

ワンタッチダイヤルキーの【01】～【27】から、送信する相手先のキーを押します。

01	02	03	04	05	06	07	08	09
10	11	12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25	26	27

○ ワンタッチダイヤルキーを間違えて押した場合は、【No】で取り消しができます。

3

必要に応じて「画質」を設定します。

4

【スタート】を押します。

ワンタッチ ダイヤル 01

■=AAA TOKYO
(ソウシン=スタート)

読み込み・送信が開始されます。

○ 送信を途中で中止したい場合は、【ストップ】を押し、表示される画面で【Yes】を押してください。



- ・ワンタッチダイヤルの登録については、「ワンタッチダイヤルを登録する」(p. 9-5)をご覧ください。
- ・「原稿をセットする」(p. 6-4)をご覧ください。



画質については「ファックス画質を設定する」(p. 6-10)をご覧ください。

■ 短縮ダイヤル

あらかじめ短縮ダイヤルに相手先の番号を登録しておくと、短縮番号で相手先を指定して送信できます。

1

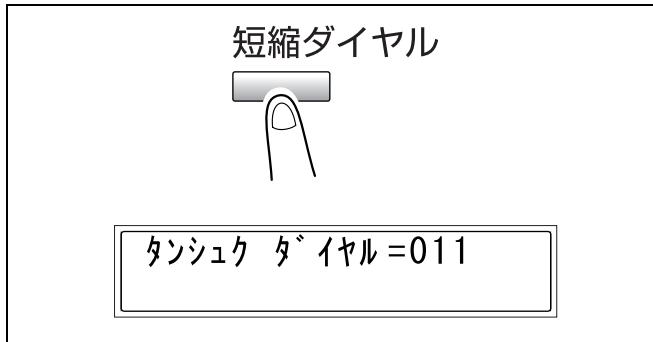
原稿をセットします。

2

必要に応じて「画質」を設定します。

3

【短縮ダイヤル】を押し、テンキーで3桁の短縮番号を入力します。



○ 入力を間違えたときは、【リセット】を押し、最初からやりなおしてください。

4

【スタート】を押します。



読み込み・送信が開始されます。

○ 送信を途中で中止したい場合は、【ストップ】を押し、表示される画面で【Yes】を押してください。



- ・短縮ダイヤルの登録については、「短縮ダイヤルを登録する」(p. 9-10)をご覧ください。
- ・「原稿をセットする」(p. 6-4)をご覧ください。
- ・画質については「ファクス画質を設定する」(p. 6-10)をご覧ください。

■ グループダイヤル

あらかじめワンタッチダイヤルキーにグループ登録しておくと、ワンタッチダイヤルキーを押すだけで登録されている複数の相手先に送信できます。

1

原稿をセットします。

2

必要に応じて「画質」を設定します。

3

ワンタッチダイヤルキーの【01】～【27】から、送信する相手先グループのキーを押します。

グループ ダイヤル 02

○ ワンタッチダイヤルキーを間違えて押してしまった場合は、【No】または【リセット】で取り消しができます。

4

【スタート】を押します。

■=NAGOYA
(ソウシン=スタート)

読み込み・送信が開始されます。

○ 送信を途中で中止したい場合は、【ストップ】を押し、表示される画面で【Yes】を押してください。



- ・ワンタッチダイヤルキーへのグループ登録については、「グループダイヤルを登録する」(p. 9-15)をご覧ください。
- ・「原稿をセットする」(p. 6-4)をご覧ください。
- ・画質については「ファクス画質を設定する」(p. 6-10)をご覧ください。

■ プログラム

あらかじめ相手先の番号と、送受信機能（時刻指定送信やポーリング受信など）をワンタッチダイヤルキーに登録しておくと、ワンタッチダイヤルキーを押すだけでその機能を実行できます。

1

原稿をセットします。

○ ポーリング受信の場合、この手順は不要です。

2

必要に応じて、「画質」を設定します。

○ ポーリング受信の場合、この手順は不要です。

3

ワンタッチダイヤルキーの【24】～【27】から、プログラム登録されているキーを押します。

フ ログ ラム タ デ イヤル 27
ジ ュシ ン ト デ ウホウ

○ ワンタッチダイヤルキーを間違えて押してしまった場合は、【No】または【リセット】で取り消しができます。

4

【スタート】を押します。

名=AAA TOKYO
(ソウシンニスタート)

自動的に、登録されている機能が開始されます。

○ 送信を途中で中止したい場合は、【ストップ】を押し、表示される画面で【Yes】を押してください。



- ・プログラムダイヤルの登録については、「プログラムダイヤルを登録する」(p. 9-19)をご覧ください。
- ・「原稿をセットする」(p. 6-4)をご覧ください。
- ・画質については「ファクス画質を設定する」(p. 6-10)をご覧ください。



時刻指定送信を取り消したい場合は、【機能】を押して「ヨウ キャンセル」で予約を取り消すことができます。詳しくは、「送信予約をキャンセル（削除）する」(p. 6-28)をご覧ください。

■ 電話帳

【電話帳】を押すと、ワンタッチダイヤルと短縮ダイヤルに登録されている内容が表示されます。電話帳から相手先を探して指定し、送信できます。

1

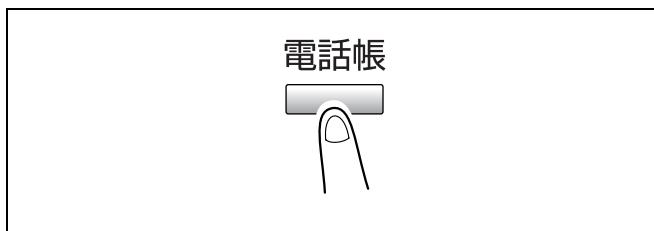
原稿をセットします。

2

必要に応じて「画質」を設定します。

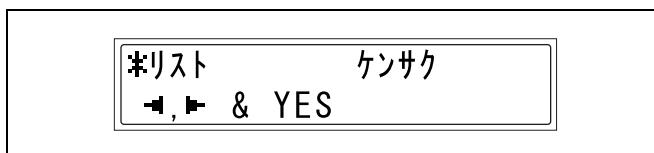
3

【電話帳】を押します。

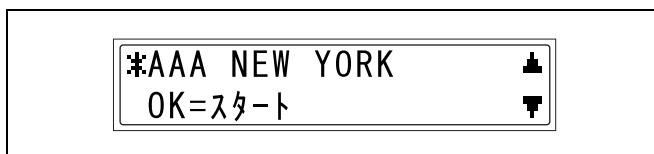


4

【(◀)】、【(▶)】で「リスト」または「ケンサク」を選択し、【Yes】を押します。



○「リスト」を選択：ワンタッチダイヤルと短縮ダイヤルに登録されている内容が表示されます。【▲】、【▼】で相手先を選択します。相手先を選択後、手順 10 に進んでください。



○「ケンサク」を選択：検索文字列を入力する画面が表示されます。手順 5 に進んでください。



- ・「原稿をセットする」(p. 6-4) をご覧ください。
- ・画質については「ファックス画質を設定する」(p. 6-10) をご覧ください。

5

テンキーで相手先の登録名の先頭の何文字かを入力します。

ケンサク->>AAA_
OK=YES [A]

○ ワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルに登録されている登録名を入力します。

6

【Yes】を押します。

- 手順5で入力した文字列ではじまる登録名の数が表示されます。
- 表示された検索結果の中から相手先を指定する場合は、手順9へ進みます。

7

検索結果からさらに絞り込みたいときは、【Yes】を押し、検索文字列の続きを入力します。

ケンサク->>AAA NEW_
OK=YES [A]

8

【Yes】を押します。

9

【▼】、【▲】で相手先を選択します。

AAA NEW(2)
ケンサク=YES (ヒヨウシ=▼▲)

10

【スタート】を押します。

読み込み・送信が開始されます。



文字列の入力のしかたについては、「文字の入力のしかた」(p. 3-20)をご覧ください。

ひとこと

1文字から10文字まで入力できます。

ひとこと

入力した文字列で始まる登録名がワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルに存在しない場合は、(0)が表示された後、検索文字列を入力する画面に戻ります。



詳しく説明します

- 検索結果の中に送信したい相手先の名称がない場合は、【No】を2回押して検索文字列を入力する画面に戻り、検索文字列を入力しなおします。
- 検索結果は、ワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルとして登録された順番で表示されます。

■ チェーンダイヤル

ワンタッチダイヤルキー、短縮ダイヤル、ダイヤル入力、【リダイヤル／ポーズ】を組み合わせて相手先を指定し、ファクス送信できます。

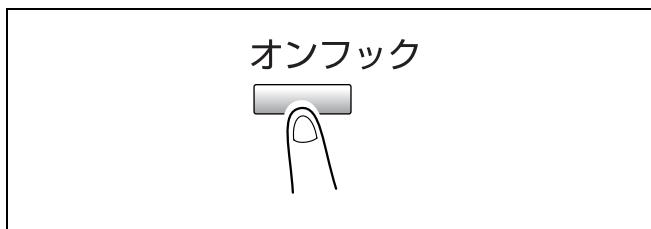
送信先を指定するには次の方法があります。

- ダイヤル入力
- ワンタッチダイヤル
- 短縮ダイヤル
- グループダイヤル
- プログラム
- 電話帳

ここでは、ワンタッチダイヤルキーを使用してからダイヤル入力する方法について説明しています。

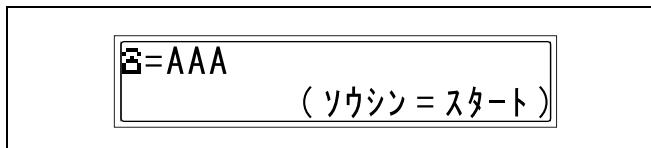
1

【オンフック】を押します。



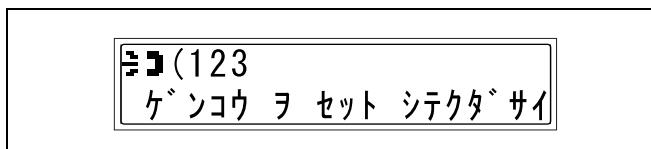
2

送信したい相手先のワンタッチダイヤルキーを押し、【スタート】を押します。



3

テンキーで相手先のファクス番号を入力し原稿をセットします。



4

【スタート】を押します。

自動的に、登録されている機能が開始されます。

- 送信を途中で中止したい場合は、【ストップ】を押し、表示される画面で【Yes】を押してください。

ひとこと

複数の相手先に送信するときは、メモリ送信を使用してください。



「原稿をセットする」(p. 6-4) をご覧ください。

■ 複数の宛先を指定する（順次同報送信）

一度の操作で複数の送信先に原稿を送信することができます。これを順次同報送信とよびます。

複数の送信先を指定するには次の方法があります。

- ダイヤル入力
- ワンタッチダイヤル
- 短縮ダイヤル
- グループダイヤル
- プログラム
- 電話帳

上記の指定方法を組み合わせて指定することもできます。

1

原稿をセットします。

2

必要に応じて「画質」を設定します。

3

【機能】を押します。



4

テンキーの【1】を押します。

「ジュンジ トウホウ」画面が表示されます。

キノウ センタク
キノウキー マタハ 0-8

1 ジュンジ トウホウ

ひとこと

複数の相手先に送信するときは、メモリ送信を使用してください。

詳しく説明します

- 一度に指定できる相手先は最大 243 ヶ所までです。
- ワンタッチダイヤルキーで相手先を選択する場合は、最大 27 ヶ所まで指定できます。
- 短縮ダイヤルで相手先を選択する場合は、最大 200 ヶ所まで指定できます。
- ダイヤル入力で指定できる相手先は最大 16 ヶ所までです。

参照

- 「原稿をセットする」(p. 6-4) をご覧ください。
- 画質については「ファクス画質を設定する」(p. 6-10) をご覧ください。

ひとこと

【機能】を 1 回押して「1 ジュンジ トウホウ」を選択し、【Yes】を押しても表示されます。

5

相手先を指定します。

- ワンタッチダイヤルキーで指定するとき：送信する相手先のワンタッチダイヤルキーを押します。【Yes】を押し、次の相手先を指定します。

No. 001=ワンタッチ タ イヤル01
No. 001=AAA TOKYO OK=YES (カンリョウ=スタート)

- 短縮ダイヤルキーで指定するとき：【短縮ダイヤル】を押し、送信する相手先の短縮番号 3 衔を入力します。【Yes】を押し、次の相手先を指定します。

No. 002=タンシュク 011
No. 002=AAA OSAKA OK=YES (カンリョウ=スタート)

- グループダイヤルキーで指定するとき：送信する相手先グループが登録されているワンタッチダイヤルキーを押します。【Yes】を押し、次の相手先を指定します。
- 電話帳を使って指定するとき：【電話帳】を押し、「リスト」か「ケンサク」のいずれかの方法で相手先を選択します。（「電話帳」(p. 6-17) をご覧ください。）【Yes】を押し、次の相手先を指定します。
- ダイヤル入力で指定するとき：送信したい相手先のファクス番号を入力します。【Yes】を押し、次の相手先を指定します。

No. 001=0123456 SUB=▼ [1]

ひとこと

すべての相手先の指定が終わるまで、以下の手順を繰り返します。

6

ひとこと

相手先を間違えた場合は、【No】を押すと現在の選択が取り消されます。（【Yes】で相手先を決定する前に有効です。）

ひとこと

文字列の入力方法については「文字の入力のしかた」(p. 3-20) をご覧ください。

6.4 送信先を指定する

6

【スタート】を押します。

相手先を確認するかどうかを選択する画面が表示されます。

7

相手先を確認する場合は、【Yes】を押します。

アイテサキ ヲ カクニン シマスカ?
OK=YES (ソウシン=スタート)

○ 相手先を確認しない場合は、手順 9 へ進みます。

8

手順 5 で指定した相手先が、指定した順番にディスプレイに表示されます。相手先を確認し、【Yes】を押します。

No. 001=AAA TOKYO
OK=YES (ケス=NO)

○ すべての相手先の確認が終了すると、「カンリョウ=スタート」が表示されます。

No. 005=_
カンリョウ=スタート [1]

○ ディスプレイに表示されている相手先を削除したいときは、【No】を押します。

No. 001 ショウキョ シマシタ

9

【スタート】を押します。
読み込み・送信が開始されます。



- 相手先すべてに送信されたかどうかを、送信完了後にプリントされる結果レポートで確認できます。
- 送信を途中で中止したい場合は、【ストップ】を押し、表示される画面で【Yes】を押します。この操作を行うと、選択した相手先の指定がすべて解除されます。
- 時刻指定送信を取り消したい場合は、【機能】を押して「ヨウ キャンセル」で取り消し操作を行ってください。詳しくは、「送信予約をキャンセル（削除）する」(p. 6-28)をご覧ください。

6

■ 手動リダイヤル

最後に送信した相手先にもう一度ダイヤルすることをリダイヤルといいます。

1

原稿をセットします。

2

必要に応じて「画質」を設定します。

3

【リダイヤル／ポーズ】を押します。

リダイヤル/
ポーズ



- ・「原稿をセットする」(p. 6-4)をご覧ください。
- ・画質については「ファクス画質を設定する」(p. 6-10)をご覧ください。

最後に送信した相手先のファクス番号が表示されます。

4

【スタート】を押します。

読み込み・送信が開始されます。

6.5 原稿読み込み中の動作

■ メモリオーバーしたときは

送信予約（他のファクス送信ジョブ実行中のファクス送信指示）や時刻指定送信などで、原稿を読み込んでいる途中でメモリ不足になった場合、読み込んだページまでを送信するか、送信をキャンセルするかを選択するメッセージが表示されます。

- キャンセルを選択した場合
それまで読み込んだデータは消去されます。他のファクス送信処理やファクス受信などが終了するのを待ち、メモリ残容量を確認してから再度ファクス送信指示を行ってください。
- 読み込んだページまで送信する場合
メッセージにしたがって、送信指示を行います。メモリ残容量を確認してから再度ファクス送信指示を行ってください。

ひとこと

メモリ残容量が 0% になった場合、それまで読み込んだ送信データは消去されます。

6.6 送信できないときは

ファクス送信時、相手先のファクス機が話し中で応答しない場合や、その他通信上のエラーなどの理由により、ファクス送信が正常に終了しなかったとき、本機は自動的にリダイヤルします。リダイヤルされるまでの間、送信文書はリダイヤル待機の予約文書として扱われます。

リダイヤルの結果、ファクス送信が正常に終了しなかったときは、送信結果レポートがプリントされます。

6.7 通話後に送信する（手動送信）

本機に外付け電話機を接続して電話とファクスを同一回線で使用している場合、相手先と電話で話をしたあとにそのまま原稿を送信できます。

相手先に原稿を送信することを伝えたいときなどに利用します。

1

原稿送り装置に原稿をセットします。

2

必要に応じて「画質」を設定します。

3

受話器を取ります。

- 受話器から発信音“ツー”が聞こえることを確認してください。

＊ツウワチュウ＊

4

相手先を指定します。

- 電話機のダイヤルボタンを使ってダイヤルします。
- 本機の操作パネルより相手先を指定することもできます (p. 6-11)。

5

話をした後、相手先にスタートキーを押してもらいます。

準備ができると“ピー”という音がします。

6

【スタート】を押します。

読み込み・送信が開始されます。

〔 (0123456)
-スタートキー ヲ オシテクタ サイ -

7

受話器を置きます。

- 送信を途中で中止するときは、【ストップ】を押し、表示される画面で【Yes】を押します。



詳しく説明します

- ・手動送信のときは、メモリ送信を使用できません。
- ・相手先が自動受信できる状態（自動着信）になっているときは、相手先が電話に出すに“ピー”という音がします。そのときは話をすることができません。
- ・通話後に送信する場合は、原稿送り装置を使用してください。
- ・手動送信は、本機のTELポートに外付け電話機が接続されている場合に使用できます。
- ・ダイヤル回線をご利用の場合でも、“*”を入力すると、プッシュ回線用の信号を出すことができます。



- ・「原稿をセットする」(p. 6-4)をご覧ください。
- ・画質については「ファクス画質を設定する」(p. 6-10)をご覧ください。

6

ひとこと

受話器を取る代わりに【オシテクタ】を押すと、スピーカー状態になり、上記と同様に手動送信を行うことができます。

6.8 送信を中止する

送信の途中で中止したい場合は、【ストップ】を押し、表示される画面で【Yes】を押します。

■ 送信予約をキャンセル（削除）する

読み込まれた文書が送信待ちのときやリダイヤル待ちのとき、送信を取り消したい場合は、ジョブを削除し、送信をキャンセルします。

1

【機能】を押します。



2

テンキーの【8】を押します。

キノウ センタク
キノウキー マタハ 0-8

8 ヨヤク キャンセル



- 【機能】を8回押して「8 ヨヤク キャンセル」を選択し、【Yes】を押しても表示されます。
- ポーリング送信が蓄積されている場合は、ID入力画面が表示されます。
- メモリ内に送信待ちのジョブがないときは「*ヨヤク ハ アリマセン*」が表示されます。

3

【▼】、【▲】で取り消したい送信ジョブを選択します。

01 [13:25] タイマー
キャンセル=YES (カクニン=■) ▲ ■

02 [:] メモリソウシ
キャンセル=YES (カクニン=■) ▲ ■

送信ジョブの種類は、以下のように表示されます。

表示	内容
メモリウシ	メモリ送信
ドウホウ	順次同報送信
タイマー	時刻指定送信
シンテン	親展送信
POLL-TX	ポーリング送信
POLL-RX	ポーリング受信
チュウケイ	中継指示送信、中継同報送信
テンソウ	ファクス転送

ひとこと

表示されている送信ジョブ内容について送信相手先を確認したいときは、【▶】を押します。確認後【Yes】を押すと、一つ前の画面に戻ります。

4

【Yes】を押し、送信ジョブを削除します。

「ヨウ キャンセル」のメニュー画面が表示されます。

#02 [:] メモリウシ
キャンセル シマシタ

5

続けて予約の削除を行いたい場合は、手順3～4を繰り返します。

6

6.9 通信結果を確認する（レポート／リスト）

送信し終わった原稿、受信した原稿の通信結果情報は、最大 60 件まで記録されます。

■ 通信結果の確認のしかた

1

【確認】を 2 回押します。

「ツウシン ケッカ」が表示されます。



2

【Yes】を押します。

ツウシン ケッカ ?
OK=YES

3

【▼】、【▲】を押して希望する通信結果を表示させ、確認します。

60 (APR. 01 14:25) TX
AAA TOKYO -OK

ツウシン ケッカ レポート
->> スタート



- 通信結果画面では、送信結果は「TX」、受信結果は「RX」と表示されます。
- 通信結果を表示中に【No】を 2 回押すと、確認モードを終了して基本画面が表示されます。
- 通信結果レポートをプリントしたい場合は【スタート】を押します。通信結果レポートをプリント後は基本画面が表示されます。

■ レポート／リストの出力

1

【確認】を3回押します。

レポート出力確認メッセージが表示されます。

確認



2

【Yes】を押します。

レポート？
OK=YES



出力できるレポート／リストのメニューが表示されます。

3

【▼】、【▲】で出力したいレポート／リストを選択し、
【Yes】を押します。

ツウシン ケッカ レポート？
OK=YES



レポート／リストのプリント後は基本画面が表示されます。



- 送受信結果のレポートは、ディスプレイで確認することもできます。通信結果の表示のしかたについては「通信結果の確認のしかた」(p. 6-30)をご覧ください。
- レポート／リストの種類については「レポート／リストの種類」(p. 6-32)をご覧ください。

6.10 レポート／リストの種類



レポート出力には、以下のサイズの用紙を使用できます。

A5 □, B5 □, A4 □/□, B4 □, A3 □

ただし、A5 □、B5 □の用紙にプリントするときは、レポートが複数枚に分かれてプリントされる場合があります。

- 送信結果レポート：

文書番号、相手先、送信日、送信開始時刻、原稿枚数、所要時間、モード、通信結果などをプリントし、確認できます。

SESSION	キ/ウ	No.	ア/行サ/キ	ヒ/ツ/ケ	ジ/コ/ク	ペ/ー/ジ	ツ/ウ/シ/ン/ジ/カ/ン	モ/ー/ド	ケ/ッ/カ
0001	ソウシ/ン	001	AAA NEWYORK 012345678	APR.19	18:00	010	00:02'21"	G3	OK

- 受信結果レポート：

文書番号、相手先、受信日、受信開始時刻、受信枚数、所要時間、モード、通信結果などをプリントし、確認できます。

SESSION	キ/ウ	No.	ア/行サ/キ	ヒ/ツ/ケ	ジ/コ/ク	ペ/ー/ジ	ツ/ウ/シ/ン/ジ/カ/ン	モ/ー/ド	ケ/ッ/カ
0001	ポーリング ジ/ュ/シ/ン	001	AAA TOKYO 098765432	APR.19	18:00	001	00:02'21"	ECM	NG
00A0: ソウシ/ン キャンセル									

- 通信管理レポート：

番号、文書番号、通信日、送受信開始時刻、送信／受信、相手先、送受信枚数、モード、通信結果などをプリントし、確認できます。

60 通信ごとに自動的にプリントするように設定されています。

No.	SESSION	ヒ/ツ/ケ	ジ/コ/ク	TX/RX	ア/行サ/キ	ペ/ー/ジ	ツ/ウ/シ/ン/ジ/カ/ン	モ/ー/ド	ケ/ッ/カ
01	0001	APR.19	16:32	TX---	AAA NEWYORK 012345678	006	00:01'16"	ECM	OK
02	0002	APR.19	18:00	---RX	AAA TOKYO 098765432	001	00:02'21"	ECM	NG
03	0002	APR.19	18:00	---RX	AAA TOKYO 098765432	012	00:02'48"	ECM	OK
04	0003	APR.19	19:12	TX---	HEAD OFFICE 024682468	001	00:00'56"	ECM	OK

- 通信予約リスト：

メモリ内に蓄積されている送信待ちの文書、時刻指定送信の文書、一括送信の文書、ポーリング受信の指定などのリストです。

文書番号、実行待ち機能名、時刻、相手先、原稿枚数などをプリントし、確認できます。

- 予約画像プリント :

メモリ内に蓄積されている送信待ちの文書について、文書番号、実行待ち機能名、相手先、日付、時刻、原稿枚数などを1ページ目の画像の縮小図といっしょにプリントし、確認できます。

- ワンタッチダイヤルリスト :

ワンタッチダイヤルキーに登録した相手先を、ワンタッチダイヤル番号順に並べてプリントし、確認できます。

OT-No.	アドレス	アドレス パンゴウ	ショウサイ		セッテイニチジ
OT-01	AAA NEWYORK	012345678		33.6	JAN.20.2001
OT-02	AAA TOKYO	098765432		14.4	JAN.20.2001
OT-03	HEAD OFFICE	024682468	16:00	33.6	FEB.12.2001
OT-04	NJ OFFICE	0P02345678 SUB:#1234		14.4	FEB.12.2001

- 短縮ダイヤルリスト :

短縮ダイヤルに登録した相手先を、短縮番号順に並べてプリントし、確認できます。

OT-No.	アドレス	アドレス パンゴウ	ショウサイ		セッテイニチジ
SP-001	AMSTERDAM OFFICE	0P09876543		33.6	JAN.20.2001
SP-002	KOREA OFFICE	0P01357913		14.4	JAN.20.2001
SP-003	ABCDEF	024682468		33.6	FEB.12.2001
SP-004	POST OFFICE	0224466880 SUB:#5678		14.4	FEB.12.2001

- キー登録リスト :

ワンタッチダイヤルキーに登録したグループダイヤル、プログラムダイヤルの設定内容を、ワンタッチダイヤル番号順に並べてプリントし、確認できます。

- 中継ボックスリスト :

中継ボックス（10個）の設定状況と設定内容をプリントし、確認できます。

- マシン設定リスト :

現在のマシン設定の内容をプリントし、確認できます。

- 設定確認レポート :

プリンタとしての設定内容をプリントし、確認できます。

- PCL フォントリスト :

イメージコントローラ IC-205（オプション）装着時に有効です。

PCL フォントリストをプリントし、確認できます。

6.11 メモリ送信と即時送信

■ メモリ送信

本機のメモリ送信ランプが点灯しているときは、メモリ送信が設定されています。

メモリ送信では、原稿を読み取り、メモリに蓄積してから、ファクス送信する方法です。メモリ送信の場合は、通信中も次の原稿の送信操作を行うことができます。（送信予約）

ひとこと

工場出荷時の設定はメモリ送信です。



メモリ送信のしかたについては、「送信時の操作のながれ」(p. 6-2)をご覧ください。

■ 即時送信

本機のメモリ送信ランプが消灯しているときは、即時送信が設定されています。

即時送信では、送信状況に合わせて、一枚ずつ原稿を読み込むことができます。大量の原稿を送信する場合でも確実に送信できます。

1

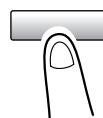
原稿送り装置に原稿をセットします。

2

【メモリ送信】を押します。

メモリ送信ランプが消えます。

メモリ送信



3

必要に応じて「画質」を設定します。

4

相手先を指定します。

5

【スタート】を押します。

読み込み・送信が開始されます。

詳しく説明します

- 送信モードの初期値はメモリ送信に設定されています。通常使う送信モードを即時送信に設定したい場合は、ユーティリティモードで「ユウセン ソウシン モード」を「ソウジ ソウシン」に設定してください。詳しくは、「優先送信モードを設定する」(p. 9-48)をご覧ください。
- 即時送信を指定するときは原稿送り装置を使用してください。原稿ガラスを使って送信することはできません。
- 送信中や受信中に即時送信を指定した場合、送信予約になります。
- 即時送信では、複数の相手先に送信できません。
- 即時送信と時刻指定送信を同時に指定できません。



- 「原稿をセットする」(p. 6-4)をご覧ください。
- 画質については「ファクス画質を設定する」(p. 6-10)をご覧ください。

ひとこと

送信が終了すると、送信モードは初期値の設定に戻ります。

6.12 時刻を指定して送信する

通信の時刻を指定する機能を時刻指定送信と呼びます。深夜や早朝などの電話料金割引時間を利用して通信したいときなど便利です。

1

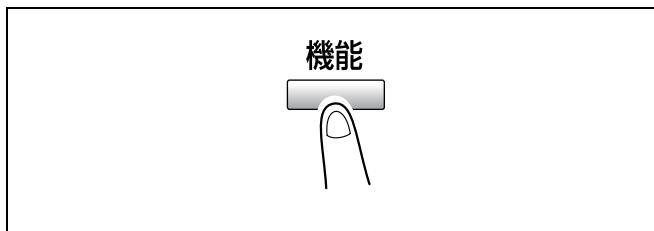
原稿をセットします。

2

必要に応じて「画質」を設定します。

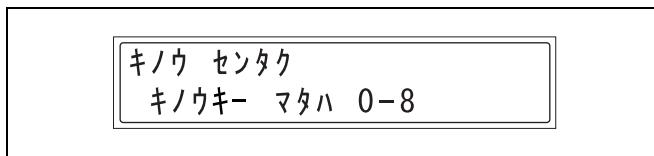
3

【機能】を押します。

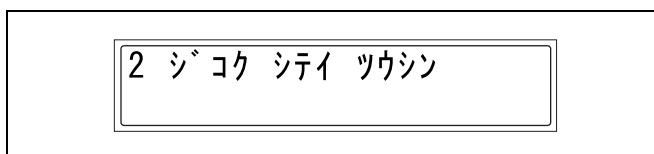


4

テンキーの【2】を押します。



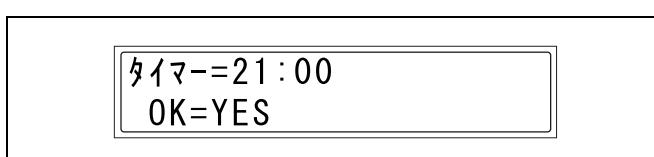
「ジコク シテイ ツウシン」画面が表示されます。



5

テンキーで送信したい時刻を入力し、【Yes】を押します。

○ 時刻を訂正するときは、【No】を押して入力しなおします。



詳しく説明します

- 時刻は24時間制で指定します。
- 現在時刻が正確に登録されていないと、指定した時刻に送信できません。詳しくは、「現在の日付／時刻を設定する」(p. 3-25)をご覧ください。
- 時刻指定送信は、順次同報送信、親展送信、ポーリング受信、中継指示送信と組み合わせて指定できます。
- 時刻指定送信は、即時送信と同時にすることはできません。



- 「原稿をセットする」(p. 6-4)をご覧ください。
- 画質については「ファクス画質を設定する」(p. 6-10)をご覧ください。

ひとこと

【機能】を2回押して「2ジコク シテイ ツウシン」を選択し、【Yes】を押しても表示されます。

6

6

相手先を指定します。

8=0123456_	[1]
SUB=■	



- ・「送信先を指定する」(p. 6-11)をご覧ください。
- ・キャンセルするときは「送信予約をキャンセル(削除)する」(p. 6-28)をご覧ください。

7

【スタート】を押します。

読み込みが開始され、送信待機状態になります。

6.13 一括送信

メモリに登録した複数の原稿を、指定した時刻にまとめて送信できます。あらかじめユーティリティモードで一括送信設定(送信時刻)をワンタッチダイヤルキーに登録しておきます。

1

原稿をセットします。

2

必要に応じて「画質」を設定します。

3

ワンタッチダイヤルキーから、一括送信設定が登録されているキーを押します。



4

【スタート】を押します。

自動的に読み込みが開始され、指定した時刻になると送信されます。



- ワンタッチダイヤルキーへの登録については、「ワンタッチダイヤルを登録する」(p.9-5)をご覧ください。
- 「原稿をセットする」(p. 6-4)をご覧ください。
- 画質については「ファックス画質を設定する」(p. 6-10)をご覧ください。

6

ひとこと

一括送信の送信予約を取り消すには、【機能】を押して「ヨウ キャンセル」で送信ジョブごとに取り消します。詳しくは、「送信予約をキャンセル（削除）する」(p. 6-28)をご覧ください。

6.14 受信する

■ メモリ受信

本機では通常、ファクスが受信されると自動的にプリントされますが、他の人に見られたくない文書などがある場合は、受信した文書をいったんメモリに保管し、メモリ受信設定を「OFF」にしたとき、または指定した時刻にプリントできます。

メモリ受信はユーティリティモードで設定します。設定手順については「メモリ受信モードを設定する」(p. 9-53)をご覧ください。

■ 受信時の用紙サイズ

本機は、受信した原稿を以下の用紙にプリントできます。

A5 □, B5 □, A4 □/□, B4 □, A3 □

■ 受信時の用紙の優先順位

受信した原稿と同じサイズの用紙がセットされている場合、原稿はそのままの大きさ（原寸）でプリントされます。

受信した原稿と同じサイズの用紙がセットされていない場合、以下の優先順位で最適な用紙にプリントします。

1. 受信した原稿と用紙の幅が一致し、原稿の長さが収まる用紙にプリントします。
2. 受信した原稿と用紙の幅が一致し、原稿の長さが収まらないときは分割してプリントします。
3. 受信した原稿と用紙の幅が一致しない場合、ワンサイズ大きな幅の用紙で原稿の長さが収まる用紙にプリントします。
4. 受信した原稿と用紙の幅が一致しない場合、ワンサイズ大きな幅の用紙で原稿の長さが収まらないときは分割してプリントします。

受信サイズ

優先順位	A3 □	B4 □	A4 □	A4 □	B5 □	A5 □
1	A3 □	B4 □	A4 □	A4 □	B5 □	A5 □
2	A4 □ (分割)	B5 □ (分割)	A4 □	A4 □	B4 □	A4 □
3		A3 □	A3 □	A5 □ (分割)	A4 □	A4 □
4		A4 □ (分割)		B4 □	A4 □	B5 □
5				B5 □ (分割)	A3 □	B4 □
6				A3 □		A3 □

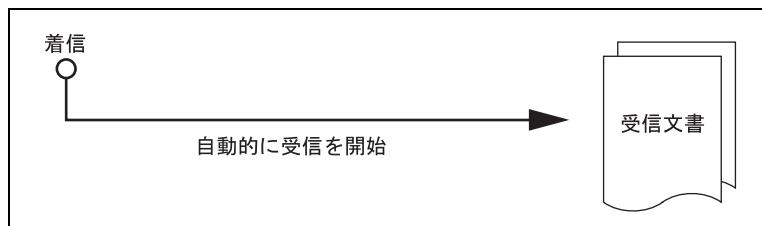


ユーティリティモードの受信設定で縮小プリント“カット”が設定されている場合、用紙サイズに対して原稿の長さが長いときは最大 24 mm までカットされます。ただし、用紙サイズに対して原稿の長さが 24 mm 以上の場合は、“カット”は適用されず分割してプリントされます。詳しくは、「縮小プリントを設定する」(p. 9-57)をご覧ください。

■ 自動受信（ファクス専用モード）

電話回線をファクス専用で使用する場合はこのモードに設定します。

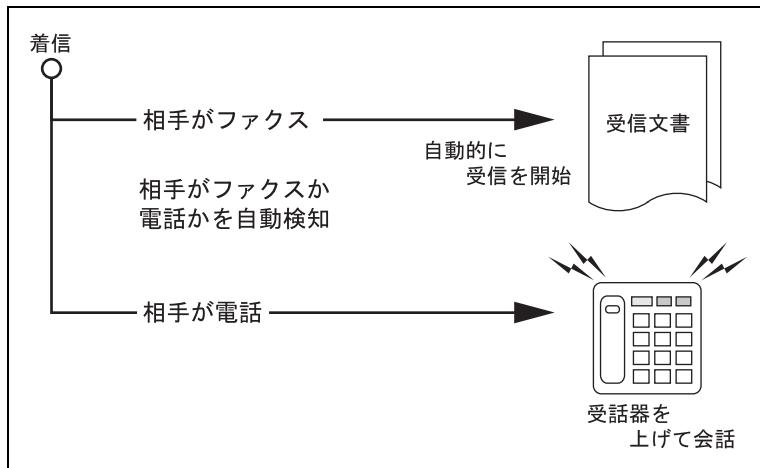
呼出し回数で設定されている回数分の呼出し回数を検知すると、自動的にファクス受信を開始します。



工場出荷時はこのモードが設定されています。詳しくは、「受信モードを設定する」(p. 9-59)をご覧ください。

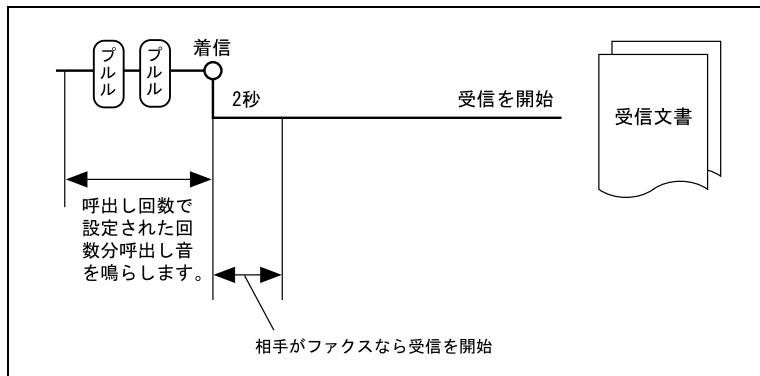
■ 自動受信 (TEL/FAX 自動切替えモード)

本機に外付け電話機を接続して電話とファクスを同一回線で使用する場合はこのモードに設定しておくと便利です。着信後、相手側が電話かファクスかを自動的に検知し音声応答メッセージを流します。



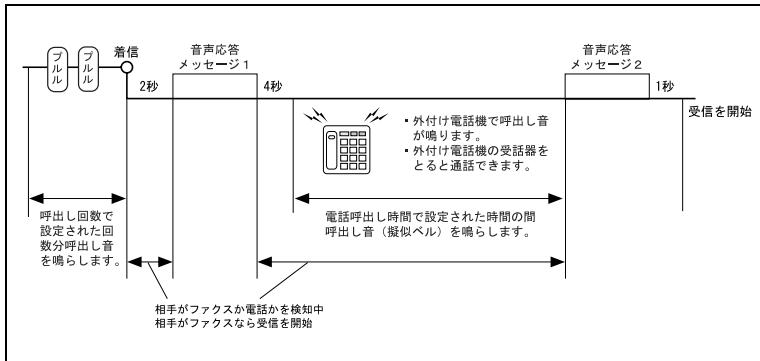
<相手側がファクスのとき>

ファクスを受信した場合、自動的にファクス受信を開始します。



<相手側が電話のとき>

外付け電話機から呼出し音が鳴ります。呼出し音が鳴っている間に外付け電話機の受話器をとると通話できます。相手側（送信側）には音声応答メッセージが聞こえています。



原則

TEL/FAX 自動切替えは、本機の外付け電話機接続コネクタに電話機が接続されている場合に使用できます。

受信設定で手動受信を設定している場合は、TEL/FAX 自動切替えは設定できません。

詳しく説明します

- 音声応答メッセージには以下のメッセージが流れます。

音声応答メッセージ1

(約 6 秒間) : 「電話の方はしばらくお待ちください。ファクスの方はスタートボタンを押してください。」

音声応答メッセージ2

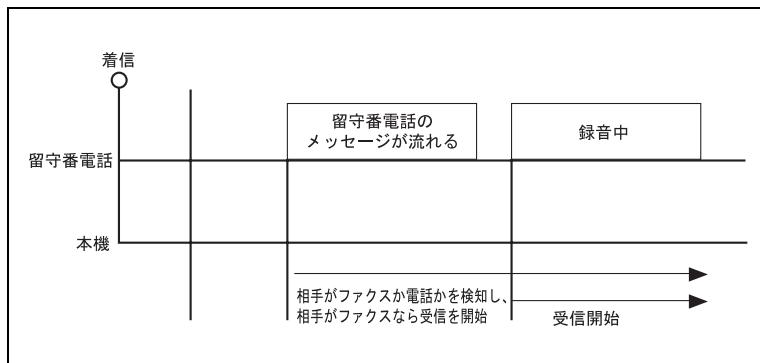
(約 4 秒間) : 「ただいま近くにおりません。ファクスに切り替えます。」

- 外付け電話の受話器を上げたとき、「ピー」という音が聞こえたり、無音の場合、相手はファクスです。リモート受信番号を指定すると受信できます。
- 相手側が電話のとき、音声応答メッセージ2が流れ始めてから相手側に電話を切られた場合、通信エラーとなります。通信エラーを解除するには、ファクスモードにて【リセット】を押してください。
- 工場出荷時の TEL/FAX 自動切替えは「OFF」に設定されています。TEL/FAX 自動切替えを「ON」に設定して下さい。詳しくは、「TEL/FAX 切替えを設定する」(p. 9-68)をご覧ください。
- 工場出荷時の電話呼出し時間は「20 秒」に設定されています。詳しくは、「電話呼び出し時間を設定する」(p. 9-69)をご覧ください。

■ 留守番電話

本機では外付け電話機の留守番電話機能を使うことができます。相手がファクスのときは、ファクス受信に自動的に切替わり、受信が開始されます。

相手が電話のときは、送信側に対して留守番電話のメッセージが流れます。



ひとこと

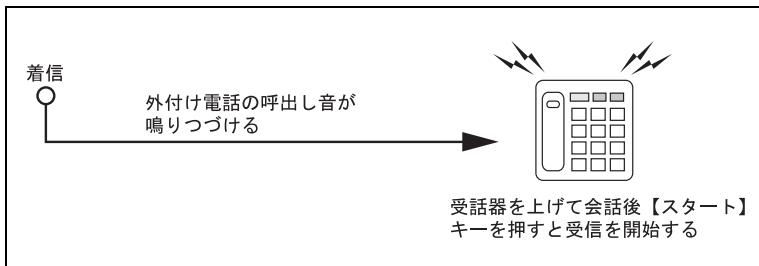
工場出荷時の留守番電話接続は「OFF」に設定されています。

参照

- 留守番電話を接続する場合には、ユーティリティモードで「ルスピントンワセツリック」を「ON」に設定してください。詳しくは、「留守番電話接続を設定する」(p. 9-70)をご覧ください。

■ 手動受信

本機に外付け電話機を接続して電話とファクスを同一回線で使用していて、おもに電話として使用する場合、このモードに設定しておくと便利です。相手と話をした後そのまま電話を切らずにファクス文書を受信できます。



ひとこと

転送受信を「ON」に設定している場合、外付け電話機からの操作でファクス受信できます。詳しくは、「転送受信を設定する」(p. 9-64)をご覧ください。

■ 原則

手動受信は、本機の外付け電話機接続コネクタに電話機が接続されている場合に使用できます。

手動受信を行う場合は、ユーティリティモードで受信モードを手動に設定してください。詳しくは、「受信モードを設定する」(p. 9-59)をご覧ください。

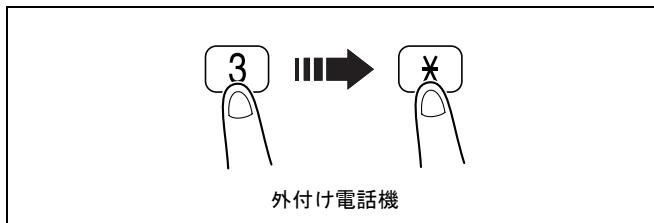
1

呼び出し音が鳴ったら受話器を取り、相手と話をします。

2

話が終わり、受話器から“ポー・ポー・ポー・・・”という音がしたら、【スタート】を押します。
受信が開始されます。

- 転送受信を行う場合、外付け電話機から電話を切らずに [3]、[*] (転送受信番号) を押すと本機はファクス受信に切替わります。
- 転送受信番号入力時、[3] の後に [*] を必ず押してください。



3

受話器を戻します。受信が終わると“ピー”と鳴ります。

詳しく説明します

- 相手先が自動送信に設定されている場合、“ポー・ポー・ポー・・・”という音がしない場合があります。
- 外付け電話機で着信したあと、ファクス受信に切替えることもできます（転送受信）が、転送受信の機能を使う場合、外付け電話機にはプッシュ信号を送出できる電話機をご使用ください。
- 転送受信番号は工場出荷時は [3] に設定されています。転送受信番号を変更する場合は「転送受信を設定する」(p. 9-64)をご覧ください。

6.15 電話をかける

本機では外付け電話機を接続することにより、電話機として使用することができます。

1

受話器をとります。

受話器から発信音“ツー”が聞こえることを確認してください。

2

相手先をダイヤルします。

3

相手に電話がかかったら、通話します。

4

通話が終了したら、受話器を戻します。

6.16 電話を受ける

外付け電話を接続している場合の電話の受け方を説明します。
受信モードが「シドウ」または、受信モードが「ゾドウ」でTEL/FAX切替えが「ON」設定の場合に電話をうけることができます。

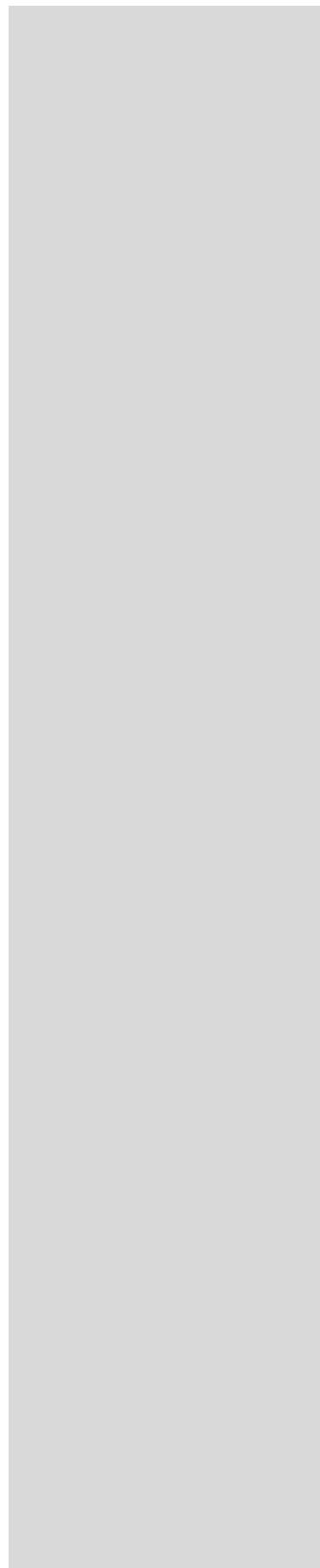
1

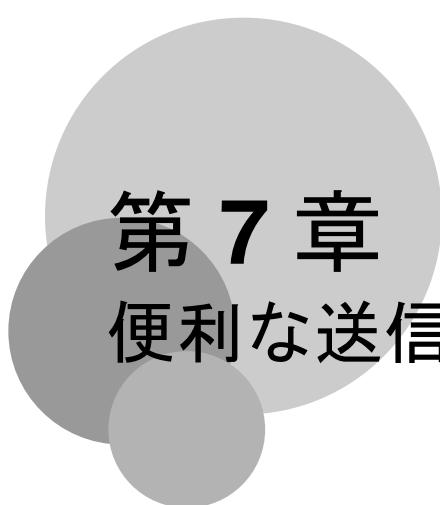
電話の呼び出し音が鳴ったら、受話器を上げて通話します。

2

通話が終了したら、受話器を戻します。

6





第7章 便利な送信と受信

知っていると便利なファクスの送信方法や受信方法について説明します。

7.1 Fコード	7-2
7.2 親展通信	7-5
7.3 ポーリング送信	7-9
7.4 ポーリング受信	7-13
7.5 中継指示送信	7-16
7.6 中継同報送信	7-18
7.7 転送	7-19

7.1 F コード

本機は、情報通信ネットワーク産業協会が定めた F コード通信に対応しています。

F コードとは、ITU-T（国際電気通信連合）の G3 規格で制定された SUB（サブアドレス）、SEP（セレクティブポーリング）、「SID」「PWD」（パスワード）などを使用したメールボックス機能です。

F コードはテンキーで利用状況に合わせて次のように設定します。

F コード	内容
SUB	F コードを用いて送信する場合に設定します。20 衔まで入力できます。
PASSWORD (SID)	パスワードを使用して通信相手を制限する場合に指定します。20 衔まで入力できます。
POLL ID (SEP)	相手先に用意されている原稿を受信側から電話をかけて送信させるときに指定します。



- F コード機能は、F コード機能を搭載しているファクス機のみ使用できます。設定をおこなう前に、両方の機器が F コード機能に対応しているか確認してください。

- ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルにあらかじめ F コード (SUB、SID) を登録している場合は、F コード通信をすることができます。

- F コード対応機同士で親展通信が可能です。

■ ファクス送信時に F コードを指定する

ファクス番号を直接テンキーで入力する際に、F コードを指定できます。

1

テンキーで相手先のファクス番号を入力します。

8=0123456_
SUB=▼ [1]

2

【▼】を押しテンキーで SUB（サブアドレス）を入力します。

SUB=9876_
SID=▼ (ソウシン=スタート)

- 数値を訂正するときは、【No】を押して入力します。
- SID を入力する場合は手順 3 に進んでください。
- SID を入力しない場合は手順 4 に進んでください。

3

【▼】を押し、テンキーで SID を入力します。

SID=5555_
(ソウシン=スタート)

○ 数値を訂正するときは、【No】を押して入力しなおします。

4

【スタート】を押します。
読み込み・送信が開始されます。

7

■ 相手先登録時に F コードを指定する

ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルを登録する際に、F コードを指定します。

1

テンキーで相手先のファクス番号を入力します。

■=0123456_
SUB=■ [1]

2

【▼】を押しテンキーで SUB (サブアドレス) を入力します。

SUB=1234_
OK=YES (SID=■)

- 数値を訂正するときは、【No】を押して入力しなおします。
- SID を入力する場合は手順 3 に進んでください。
- SID を入力しない場合は手順 4 に進んでください。

3

【▼】を押し、テンキーで SID を入力します。

SID=5678_
OK=YES

- 数値を訂正するときは、【No】を押して入力しなおします。

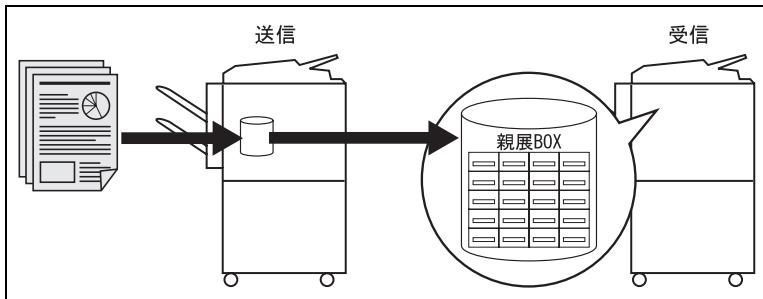
4

【Yes】を押します。

引き続き、その他の登録内容を指定します。

7.2 親展通信

親展通信とは、特定の人との間で送受信したい原稿を、親展ボックスを使って通信する機能です。送受信にはボックス ID が必要なため、他の人に見られたくない文書でも安全にファックスでやりとりできます。

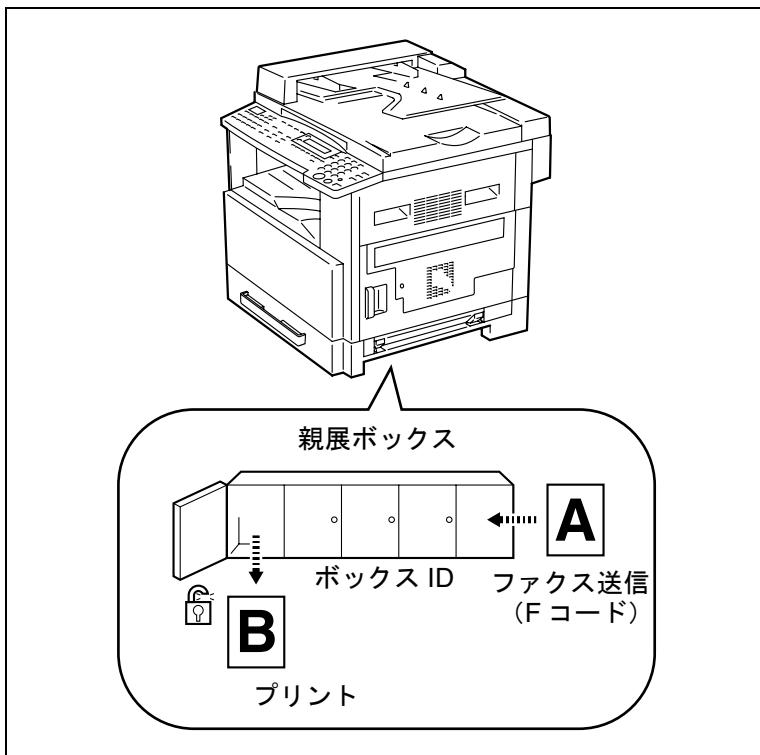


相手機の親展ボックス宛に原稿を送ることを親展送信、自局の親展ボックスに原稿を受信することを親展受信と呼びます。

ここでは、親展送信をする手順、親展ボックス内の受信文書をプリントする手順、親展ボックス内の受信文書を削除する手順についてそれぞれ説明します。

■ メールボックス（親展ボックス）の作成

ユーティリティモードのファックス登録において、メールボックスを設定すると、メールボックスを利用できます。詳しくは、「親展受信」(p. 7-8) をご覧ください。



- 本機内には、5 個までメールボックスを設定することができます。詳しくは、「親展ボックスの登録をする」(p. 9-35) をご覧ください。
- ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルに、あらかじめ相手先の F コードを登録しておくと、相手先に F コード通信をすることができます。詳しくは、「親展送信」(p. 7-6) をご覧ください。

■ 親展送信

相手先の親展ボックス宛に送信する機能です。
重要な書類を特定の人に送信したいときなどに利用します。

1

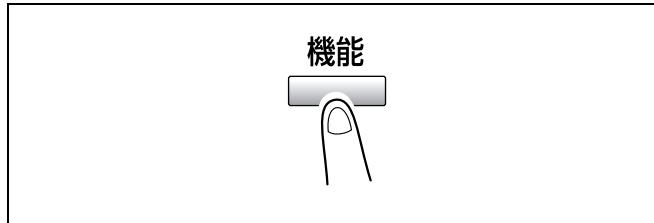
原稿をセットします。

2

必要に応じて「画質」を設定します。

3

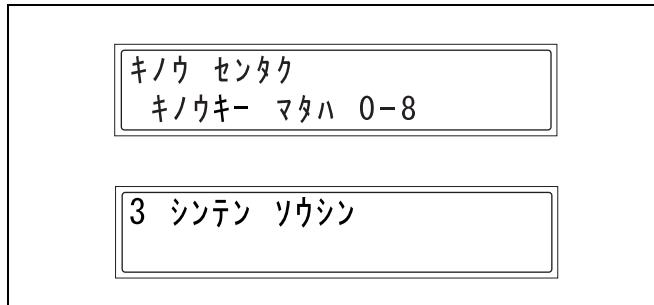
【機能】を押します。



4

テンキーの【3】を押します。

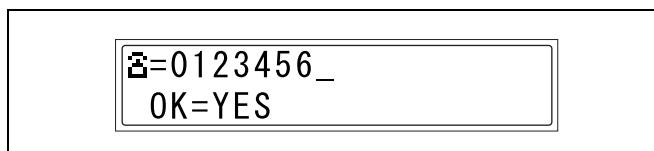
「シンテン ソウシン」画面が表示されます。



5

相手先を指定し、【Yes】を押します。

ボックス ID 入力画面が表示されます。



- ・親展送信は、F コード通信に対応した機能です。F コードに対応している機種を、親展送信の相手先に指定できます。
- ・相手先の指定と親展ボックスの設定を行う必要があります。
- ・相手先でファクス文書を確認するには、ボックス ID の入力が必要です。



- ・「原稿をセットする」(p. 6-4) をご覧ください。
- ・画質については「ファクス画質を設定する」(p. 6-10) をご覧ください。

ひとこと

【機能】を 3 回押して「3 シンテン ソウシン」を選択し、【Yes】を押しても表示されます。



「送信先を指定する」(p. 6-11) をご覧ください。

6

テンキーでボックス ID を入力します。

ボックス ID=1234
OK=YES

- 数値を訂正するときは、【No】を押して入力します。

7

【Yes】を押します。

8

テンキーでパスワードを入力します。

ハﾟスワード=5678
(ソウシン=スタート)

- 数値を訂正したいときは、【No】を押して入力します。

9

【スタート】を押します。

読み込み・送信が開始されます。



- 相手先の親展ボックスに登録されているボックス ID (SUB) (20 衝以内) を入力します。
- ボックス ID で使用できる文字は、0 ~ 9、*、# のみです。
- ワンタッチダイヤルキー や短縮番号に登録されている相手先を指定したとき、登録内容に SUB (サブアドレス) が含まれる場合は SUB が表示されます。必要に応じて数値を変更します。
- 相手先の親展ボックスにパスワードが設定されている場合、パスワード (20 衝以内) を入力します。
- パスワードで使用できる文字は 0 ~ 9、*、# のみです。

7

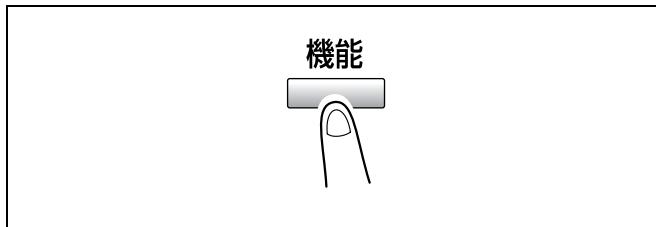
■ 親展受信

相手先が指定したボックス ID、パスワードと本機に登録してあるボックス ID、パスワードが一致したときのみ受信することができる機能です。

ここでは親展受信した文書をプリントする手順を説明します。

1

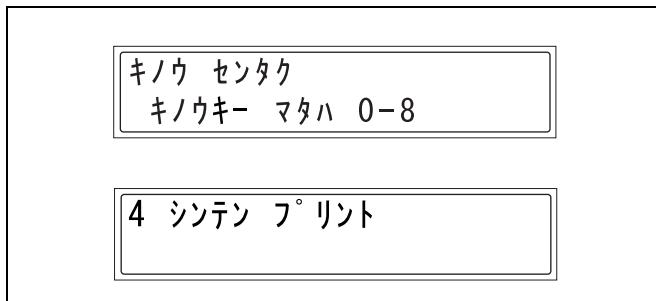
【機能】を押します。



2

テンキーの【4】を押します。

「シンテン プリント」画面が表示されます。

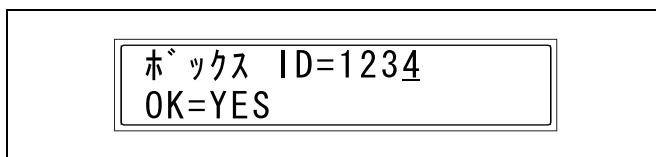


ひとこと

または、【機能】を4回押して「4 シンテン プリント」を選択し、【Yes】を押しても表示されます。

3

テンキーでボックス ID (4桁) を入力し、【Yes】を押します。



○ 数値を訂正するときは、【No】を押して入力しなおします。

7.3 ポーリング送信

ポーリング送信とは、受信側からのポーリング指示で原稿を送信するために、あらかじめメモリに原稿を蓄積しておく機能です。

ポーリング送信を設定した原稿は、メールボックス（親展ボックス）のポーリング送信ボックスに蓄えられ、受信側からのポーリング指示で送信が開始されます。

ここでは、ポーリング送信ボックスを使ったポーリング送信について説明します。

1

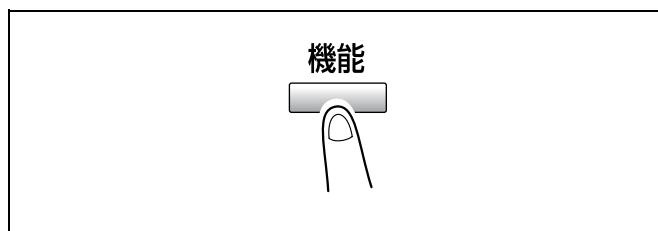
原稿をセットします。

2

必要に応じて「画質」を設定します。

3

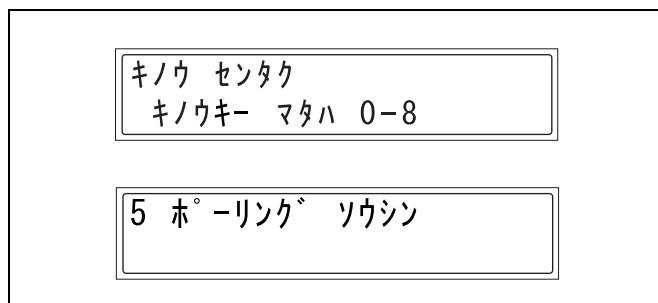
【機能】を押します。



4

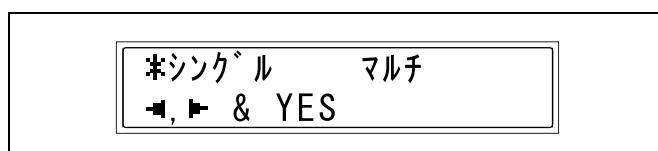
テンキーの【5】を押します。

「ポーリング ソウシン」画面が表示されます。



5

【(◀)、【▶】】で「シングル」または「マルチ」を選択し、【Yes】を押します。



○ ポーリング送信要求に1回のみ対応してメモリ内の原稿を削除する場合は、「シングル」を選択します。



詳しく説明します

- ・ポーリング送信は、Fコード通信に対応した機能です。
- ・ポーリング送信の登録は30件までできます。
- ・メモリがいっぱいのときは、ポーリング送信の設定はできません。
- ・ポーリング送信では、通話料金が相手先の負担となります。



- ・「原稿をセットする」(p. 6-4)をご覧ください。
- ・画質については「ファックス画質を設定する」(p. 6-10)をご覧ください。

7

ひとこと

【機能】を5回押して「5 ポーリング ソウシン」を選択し、【Yes】を押しても表示されます。

- ポーリング送信要求に複数回対応したい場合は、「マルチ」を選択します。メモリ内の原稿は、予約キャンセルで削除するまで保存されます。

6

- テンキーでポーリング ID (4 衔) を入力し、【Yes】を押します。

POLL ID=1234
OK=YES

- 数値を訂正するときは、【No】を押して入力しなおします。



詳しく説明します

- ポーリング ID を設定しない場合は、手順 8 へ進みます。
- ポーリング ID は、0000 ~ 9999 の任意の数値を設定します。
- 登録するポーリング送信が 1 ジョブの場合は、ポーリング ID、パスワードを設定しなくても登録できます。

7

- テンキーでパスワード (4 衔) を入力します。

ハ°スワード° =5678
(ソウシン = スタート)

- 数値を訂正するときは、【No】を押して入力しなおします。
- パスワードを設定しない場合は、手順 8 に進んでください。

ひとこと

パスワードは、0000 ~ 9999 の任意の数値を設定します。

8

- 【スタート】を押します。

読み込みが開始され、待機状態になります。



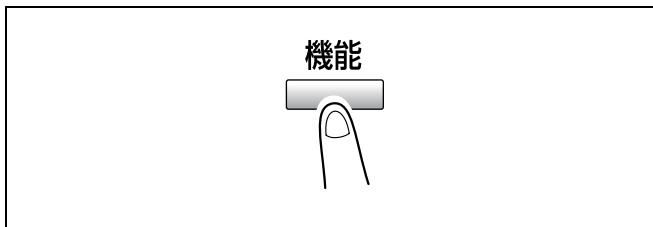
詳しく説明します

- 読み込み中、途中で登録を中止したい場合は、【トップ】を押し、表示される画面で【Yes】を押します。
- ポーリング送信を削除したい場合は、【機能】を押して「ヨウ キャンセル」で取り消すことができます。詳しくは、「送信予約をキャンセル（削除）する」(p. 6-28) をご覧ください。

■ ポーリング送信した文書を削除する

1

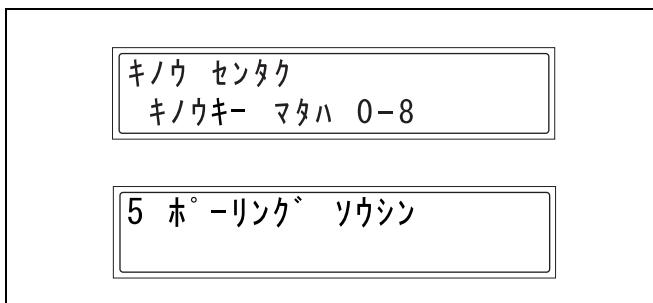
【機能】を押します。



2

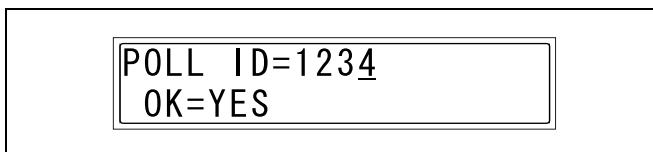
テンキーの【5】を押します。

「**ポーリング ソウシン**」画面が表示されます。



3

テンキーでポーリング ID を入力し、【Yes】を押します。



○ 数値を訂正するときは、【No】を押して入力しなおします。

ひとこと

【機能】を 5 回押して「5 ポーリング ソウシン」を選択し、【Yes】を押しても表示されます。

7

4

【No】を押すと、メモリ内にあるポーリング送信用の原稿が削除されます。

トウロクスミテス！ホジシマスカ？
ホジ=YES (ケス=NO)

ホーリングケンコウヲケシマシタ

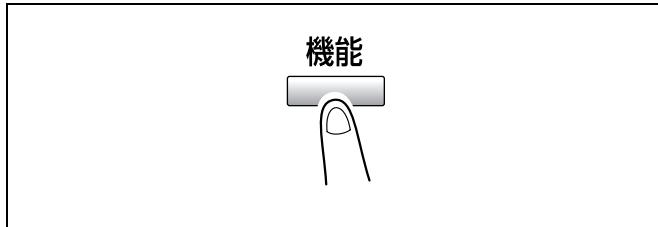
- ポーリング送信設定を保持したいときは、【Yes】を押します。

7.4 ポーリング受信

ポーリング受信とは、送信側にセットされている原稿や、ポーリング送信予約された原稿を受信側からの指示で送信させる機能です。電話料金を受信側で負担したいときなどに便利です。

1

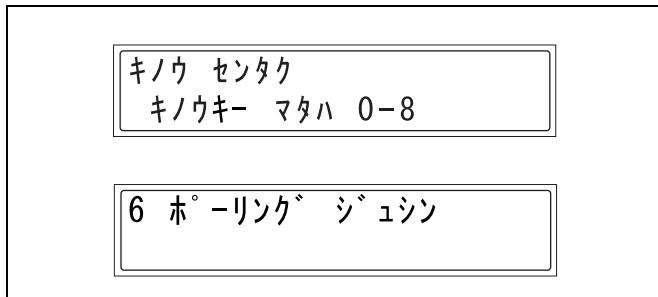
【機能】を押します。



2

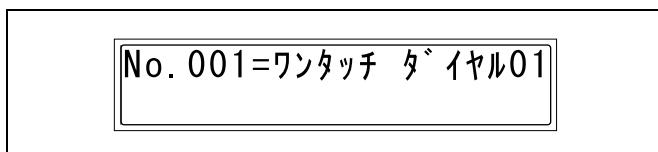
テンキーの【6】を押します。

「ポーリング ジュシン」画面が表示されます。



3

相手先を指定します。



4

ポーリング ID、パスワードを入力する場合は、【▼】を押します。



詳しく説明します

- 相手先は最大で 243ヶ所まで指定できます。
- ワンタッチダイヤルキーで相手先を選択する場合は、最大 27ヶ所まで指定できます。
- 短縮ダイヤルで相手先を選択する場合は、最大 200ヶ所まで指定できます。
- ダイヤル入力で指定できる相手先は最大 16ヶ所までです。
- ポーリング受信は、F コードに対応した機能です。

ひとこと

【機能】を 6 回押して「6 ポーリング ジュシン」を選択し、【Yes】を押しても表示されます。

7



相手先を指定する方法については「複数の宛先を指定する（順次同報送信）」(p. 6-20) の手順 5 をご覧ください。

- ポーリング ID、パスワードの入力の必要がない場合は【Yes】を押し、手順 7 へ進みます。

5

- テンキーでポーリング ID（20 桁以内）を入力し、【Yes】を押します。

POLL ID=1111_
OK=YES

- 数値を訂正するときは、【No】を押して入力しなおします。

6

- テンキーでパスワード（20 桁以内）を入力し、【Yes】を押します。

ハ°スワード°=2222_
OK=YES

- 数値を訂正するときは、【No】を押して入力しなおします。

7

- 複数の相手先を指定する場合は、手順 3～6 を繰り返します。

No. 002=_
(カンリョウ = スタート)

- 他の相手先の指定がない場合は、手順 8 へ進みます。

8

- 【スタート】を押します。

相手先を確認するかどうかを選択する画面が表示されます。

9

- 相手先を確認する場合は、【Yes】を押します。

アイテサキ ヲ カクニン シマスカ?
OK=YES (シュシン = スタート)

- 相手先を確認しない場合は、手順 11 へ進みます。

10

手順3で指定した相手先が、指定した順番にディスプレイに表示されます。
相手先を確認し、【Yes】を押します。

No. 001=AAA TOKYO
OK=YES (ケス=NO)

No. 001 ショウキョ シマシタ

No. 002=
(カソリヨウ=スタート)

- ディスプレイに表示されている相手先を削除したいときは、【No】を押します。
- 最後まで確認すると、「カソリヨウ=スタート」が表示されます。

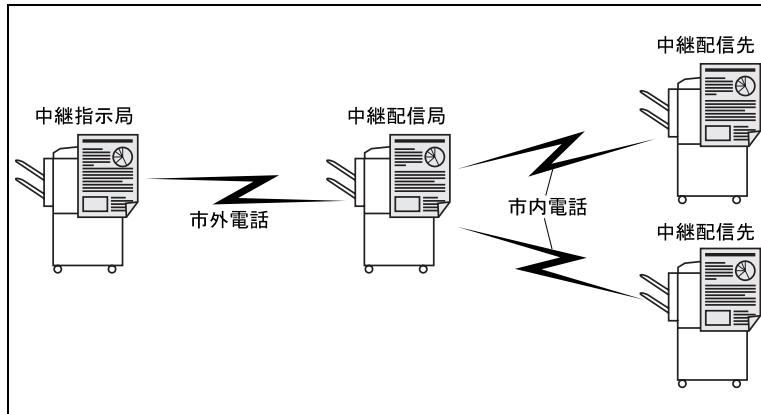
11

【スタート】を押します。

7

7.5 中継指示送信

中継依頼とは、いったん中継配信局に原稿を送信し、中継配信局から送信先に同報する機能です。遠方の相手先への同報が頻繁に発生する場合には、中継配信局と中継配信先を地域別にグループ化しておくことにより、全体の通信コストを削減することができます。



- 中継指示送信は、F コード通信に対応した機種です。
- 中継局は中継同報送信に対応している機種を中継局に指定してください。本機種は中継局に指定できます。
- 中継指示送信と親機送信を同時にを行うことはできません。
- 中継指示送信を指定するには、あらかじめ中継ボックス ID を中継局で登録しておく必要があります。詳しくは、「中継ボックスの登録をする」(p. 9-39)をご覧ください。

1

原稿をセットします。

2

必要に応じて「画質」を設定します。

3

【機能】を押します。

4

テンキーの【7】を押します。

「チュケイ シジ ソウシン」画面が表示されます。

キノウ センタク
キノウキー マタハ 0-8

7 チュケイ シジ ソウシン



- 「原稿をセットする」(p. 6-4)をご覧ください。
- 画質については「ファックス画質を設定する」(p. 6-10)をご覧ください。

ひとこと

【機能】を 7 回押して「7 チュケイ シジ ソウシン」を選択し、【Yes】を押しても表示されます。

5

中継局を指定し、【Yes】を押します。

呑=0123456_
OK=YES



中継先を指定する方法については「送信先を指定する」(p. 6-11)をご覧ください。

6

テンキーで中継ボックス ID を入力します。

チュウケイ ボックス ID=1234_
OK=YES

○ 数値を訂正するときは、【No】を押して入力しなおします。

7

【Yes】を押します。

パスワード入力画面が表示されます。

8

テンキーでパスワードを入力します。

ハﾟスワード=5678_
(ソウシン=スタート)

○ 数値を訂正したいときは、【No】を押して入力しなおします。

9

【スタート】を押します。

読み込み・送信が開始されます。

7



詳しく説明します

- 中継局に登録されている中継ボックス ID (20 桁以内) を入力します。
- 中継ボックス ID で使用できる文字は 0 ~ 9、*、# のみです。



詳しく説明します

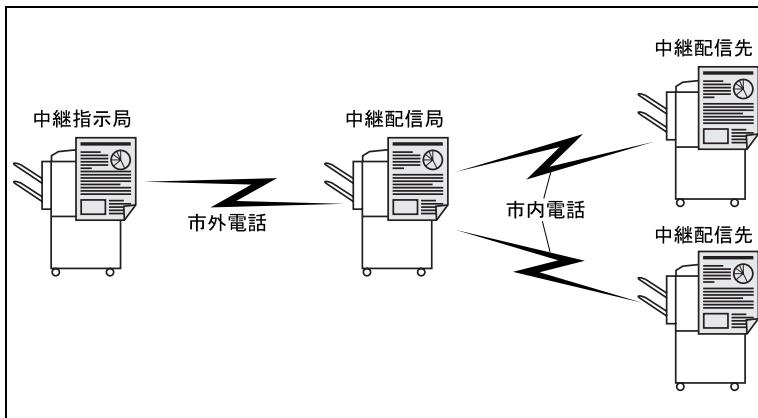
- 中継局にパスワードが設定されている場合、パスワード (20 桁以内) を入力します。
- パスワードで使用できる文字は 0 ~ 9、*、# のみです。

7.6 中継同報送信

■ 中継配信局

本機は中継配信局に設定することもできます。

本機が中継局に指定された場合、他のファクス（中継指示局）からの送信原稿をいったん本機で受信し、複数の相手先（受信局）に原稿を送信することができます。



中継同報送信を行うには、あらかじめ中継ボックスを登録しておく必要があります。中継ボックスは最大 10 個まで指定できます。中継ボックスの登録方法については「中継ボックスの登録をする」(p. 9-39) をご覧ください。

参照

- 中継局として機能するには、あらかじめ中継ボックス ID (4 衔) を登録しておく必要があります。詳しくは、「中継ボックスの登録をする」(p. 9-39) をご覧ください。
- 中継同報送信を行うには、あらかじめ受信局（最終宛先）を中継ボックスに登録しておく必要があります。詳しくは、「中継ボックスの登録をする」(p. 9-39) をご覧ください。

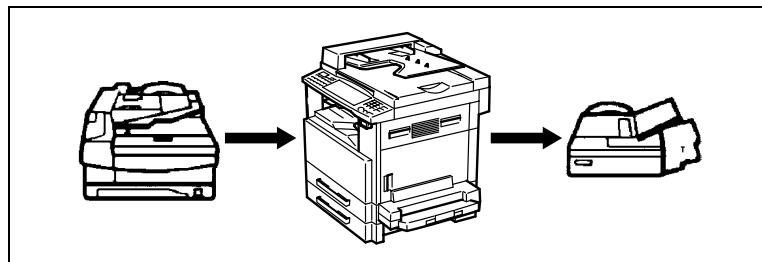
詳しく説明します

- 中継同報送信は、F コード通信に対応した機能です。
- 中継ボックス ID と親展ボックス ID で同じ値を登録することはできません。
- ワンタッチダイヤルキー、短縮ダイヤル、グループダイヤルで相手先を選択する場合は、最大 50ヶ所まで指定できます。
- 中継局で受信した文書はプリントされます。

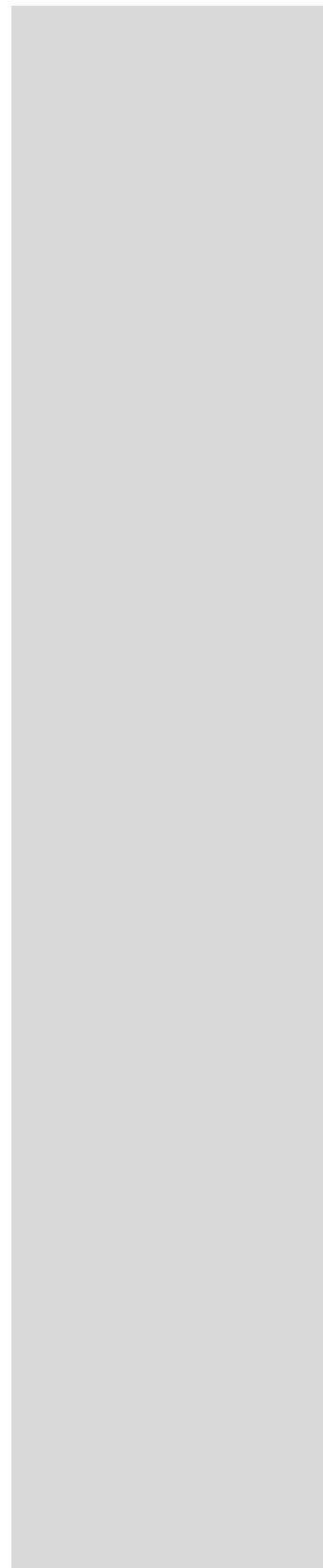
7.7 転送

転送とは、受信文書が本機で指定した相手先に送信される機能です。

転送先には、ファックス番号、E メールアドレスを設定できます。



- 転送先の設定方法については、「転送設定を指定する」(p. 9-60) をご覧ください。
- E メールアドレスへ転送するには、オプションのスキャナユニット SU-502 が必要です。
- 転送受信した文書を消去するときは「送信予約をキャンセル（削除）する」(p. 6-28) をご覧ください。





第8章

ユーティリティ／コピー設定

ユーティリティモードで設定ができるコピー／プリント機能の項目について説明します。

8.1 ユーティリティモード	8-2
8.2 ユーティリティ／コピー設定一覧	8-3
8.3 本体設定	8-4
8.4 トレイ設定	8-15
8.5 ユーザー保守モード	8-22
8.6 管理者保守モード	8-24
8.7 コピー設定	8-36

8.1 ユーティリティモード

ユーティリティモードには、16 のメニューがあります。

No.	名称	説明
1	ホンタイ セッティ	本機の動作環境に関する設定を行います。
2	トレイ セッティ	第 1 トレイにセットされている用紙のサイズと種類を指定します。また、トレイごとに自動トレイ切替えの設定を行うことができます。
3	ユーザー ホシュ	機能低下を防ぐための保守動作を実行できます。
4	カンリシャ ホシュ	管理者が部門ごとに管理するための設定やリモートモニタの設定を行います。
5	コピ- セッティ 1	各コピー機能の初期設定を指定します。
6	コピ- セッティ 2	
7	ファクス トウウ	各ファクス機能の初期設定を指定します。
8	ソウシン セッティ	送信操作の初期設定を指定します。
9	ジュシン セッティ	受信操作の初期設定を指定します。
10	ツウシン セッティ	通信環境の初期設定を指定します。
11	レポート セッティ	各レポート機能の初期設定を指定します。
12	ユーザー データ トウウ	ユーチャーデータ登録の設定を行います。
13	ネットワーク セッティ	オプションのネットワークカード NC-502 が装着されている場合のみ設定できます。詳しくは、ネットワークカード NC-502 のユーザーズガイドをご覧ください。
14	メール セッティ 1	オプションのスキャナユニット SU-502 が装着されている場合のみ設定できます。詳しくは、スキャナユニット SU-502 のユーザーズガイドをご覧ください。
15	メール セッティ 2	
16	スキャン セッティ	



オプションの装着状態によって、設定できない項目があります。設定できない項目を選択すると、エラーメッセージが表示されます。



「ユーザー ホシュ」以外のユーティリティは LSD (Local Setup Diagnostic) から設定を行うこともできます。詳しくは「LSD について」(p. 12-18) をご覧ください。

8.2 ユーティリティ／コピー設定一覧

※ 太字は工場出荷時の設定を示します。

メニュー	サブメニュー	設定項目
1 ホンタイ セッティ	オートリセット	ON (0.5/1/2/3/4/5、初期値： 1)/OFF
	スリーブ モード	タイマー=1-240 min (初期値： 15)
	オート パワー オフ	ON (タイマー=15-240 min) / OFF
	ガシツ (ADF)	モード 1 / モード 2
	ガシツ (ゲンコウガラス)	モード 1 / モード 2
	ブリント ノウト	ウスイ～コイ (5 段階) 
	LCD コントラスト	ウスイ～コイ (4 段階) 
	ゲンコ センタク	二ホンコ
	ブザー オンリヨウ	オオキイ / チイサイ / OFF
2 トレイ セッティ	メトリック / インチ	(各トレイ) インチ / メトリック
	トレイ 1 ヨウシ	フツウシ / OHP / アツガミ / フウトウ・ハガキ、 オート / フリーサイズ
	トクシュ	フツウシ / サイセイシ / センヨウシ
3 ユーザー ホシュ	ドラムドライ	—
	トナー ホキュウ	—
4 カンリシャホシュ	オート パワー オフ	キンシ / キヨカ
	ブーモンカンリ	ブーモンカンリ モード (ON / OFF) ID トウロク ブーモンペツ トータル カウント (ヒヨウシ / ショウキヨ)
	リモートモニタ	ゲンティ / フルアクセス / OFF
	5 コピー セッティ 1	ユウセン ヨウシ 1ST/2ND/3RD/4TH/5TH/マルチザシ ユウセン ノウト / シヤシン モジ / シヤシン / モ / シヤ ノウト レベル (オート) ウスイ～コイ (3 段階)  ノウト レベル (マニュアル) ウスイ～コイ (9 段階)  ブック トジイチ ヒタリ / ミギ トジシロ セッティ ハハ = 0-20 (mm) (初期値 10 mm) ワク / オリメケン セッティ ヒタリ / ウエ / ワク (ハハ = 5-20 (mm)) (初期値 10 mm) ショウサイズ ゲンコウ キンシ / キヨカ
6 コピー セッティ 2	ユウセン コンサイゲンコウ	ON / OFF
	ユウセン APS/AMS	APS/AMS / シュドウ
	ユウセン ソート	OFF / ソート / グループ
	4IN1 ハイブリッド	パターン1 / パターン2
	カイテン ハイシ	ON / OFF



「ユーザーホシュ」以外のユーティリティは LSD (Local Setup Diagnostic) から設定を行うこともできます。詳しくは「LSDについて」(p. 12-18)をご覧ください。

8.3 本体設定

本体設定では以下の項目の設定を変更できます。

〈本体設定の項目〉

No.	ホンタイ セッティ	内容
1	オートリセット	コピー終了後または最後のキー操作後、オートリセット機能がはたらくまでの時間を設定できます。オートリセットにより自動的に初期モードに戻り、基本画面が表示されます。 <ul style="list-style-type: none">工場出荷時の設定は1分です。
2	スリーブ [®] モード	本機を操作しなくなつてから節電状態になるまでの時間を設定できます。 <ul style="list-style-type: none">工場出荷時の設定は15分です。
3	オートパワー オフ	本機を操作しなくなつてからオートパワーオフするまでの時間を設定できます。 <ul style="list-style-type: none">工場出荷時の設定は「OFF」です。
4	ガシツ (ADF)	オプションの原稿送り装置を使用する場合の画質レベルを設定できます。 モード1：コピー濃度を薄めにし、コピーの汚れを抑える場合に選択します。 モード2：原稿と同じ濃度でコピーする場合に選択します。 <ul style="list-style-type: none">工場出荷時の設定は「モード1」です。
5	ガシツ (ゲンコウガラス)	原稿ガラスにセットしてコピーする場合の画質レベルを設定できます。 モード1：原稿と同じ濃度でコピーする場合に選択します。 モード2：コピー濃度を薄めにし、コピーの汚れを抑える場合に選択します。 <ul style="list-style-type: none">工場出荷時の設定は「モード1」です。
6	プリント ノウト [®]	出力時の濃度レベルを5段階で設定できます。 <ul style="list-style-type: none">工場出荷時の設定は（□□□□□）です。
7	LCD コントラスト	LCDディスプレイの明るさを調整できます。 <ul style="list-style-type: none">工場出荷時の設定は（□□□□□）です。
8	ゲンゴ [®] センタク	画面表示時の言語を選択できます。本機では「ニホンゴ」のみ有効です。
9	ブザー オンリヨウ	キーを押したときのキータッチ音やアラーム音の音量を設定できます。 <ul style="list-style-type: none">工場出荷時は「チサイ」です。
0	ショキ モード	電源をONにしたときや、オートリセット時のモード（コピーモードまたはファクスモード）を選択できます。 <ul style="list-style-type: none">工場出荷時の設定は「コピー」です。



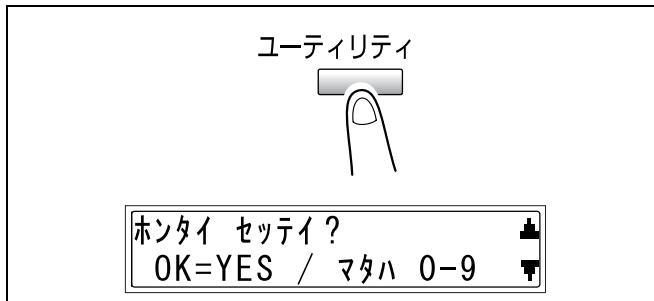
ユーティリティはLSD
(Local Setup Diagnostic)から設定を行うこともできます。詳しくは「LSDについて」(p. 12-18)をご覧ください。

■ 本体設定メニューを選択する

1

【ユーティリティ】を押します。

「ホンタイ セッティ？」が表示されます。



2

テンキーの【1】～【0】を押し、本体設定メニューを選択します。

○ 本体設定メニューは以下のとおりです。

- 1 オートリセット
- 2 スリーブ モード
- 3 オートパワー オフ
- 4 ガシツ (ADF)
- 5 ガシツ (ゲンコウガラス)
- 6 プリント ノウド
- 7 LCD コントラスト
- 8 ゲンコ センタク
- 9 プザー オンリョウ
- 0 ショキ モード



本体設定の操作を途中で取りやめるときは、【No】を押します。ディスプレイに「セッティヲ キャンセル シマスカ？」が表示されたら、【Yes】を押すと設定操作を中止できます。

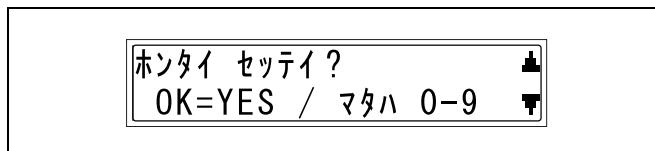
ひとこと

本機の画面で表示できる言語は日本語のみです。
「ゲンコ センタク」メニューでは表示言語を変更できません。

■ オートリセット設定を変更する

1

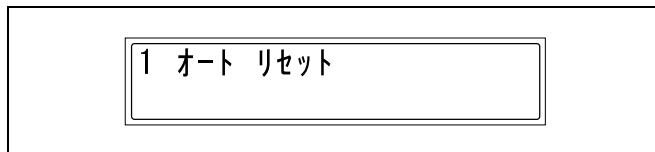
本体設定メニューを選択します。



「本体設定メニューを選択する」(p. 8-5)をご覧ください。

2

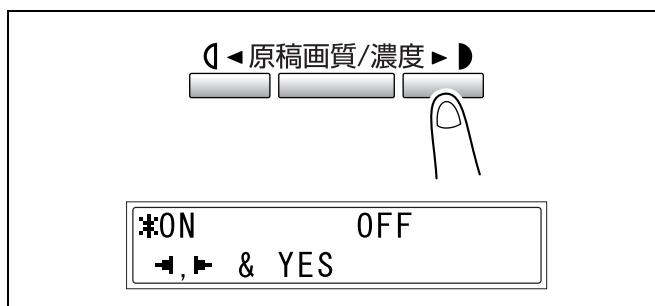
テンキーの【1】を押し、「オートリセット」を選択します。



3

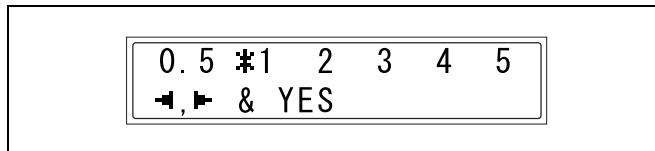
【(◀)、(▶)】で「ON」か「OFF」を選択し、【Yes】を押します。

- 「OFF」を選択すると、本体設定メニューに戻ります。



4

【(◀)、(▶)】で「0.5」、「1」、「2」、「3」、「4」、「5」のいずれかを選択し、【Yes】を押します。



本体設定メニューに戻ります。

■ 低電力（スリープ）設定を変更する

1

本体設定メニューを選択します。

ホンタイ セッティ ?
OK=YES / マタハ 0-9

2

テンキーの【2】を押し、「スリープ モード」を選択します。

2 スリープ モード

3

テンキーで、スリープ機能が有効になるまでの時間を入力し、【Yes】を押します。

タイマー= 15min(1-240)
OK=YES

本体設定メニューに戻ります。



「本体設定メニューを選択する」(p. 8-5) をご覧ください。



- タイマーは、1分～240分の間で設定します。
- 数値を訂正したい場合は、【No】を押して入力します。

8

■ オートパワーオフ設定を変更する

管理者保守メニューでオートパワーオフを「キョウ」に設定した場合の手順と「キンシ」に設定した場合の手順を説明します。

1

本体設定メニューを選択します。

ボンタイ セッティ?
OK=YES / マタハ 0-9

2

テンキーの【3】を押し、「オートパワーオフ」を選択します。

- 管理者保守メニューでオートパワーオフ設定が「キンシ」に設定されているときは、手順4へ進んでください。

3 オート ハ° ウー オフ

3

【□◀】、【▶□】で「ON」を選択し、【Yes】を押します。

□◀原稿画質/濃度 ▶□



*ON OFF
◀, ▶ & YES

4

テンキーでオートパワーオフ機能が有効になるまでの時間を入力し、【Yes】を押します。

タイマー= 30min(15-240)
OK=YES

本体設定メニューに戻ります。

ひとこと

オートパワーオフ機能で電源がOFFになるとコピー／プリント／ファクス送受信できません。コピー／プリント／ファクス送受信をするときは電源をONにしてください。



「本体設定メニューを選択する」(p. 8-5)をご覧ください。

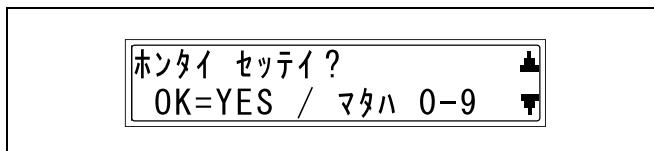


- ・タイマーは、15分～240分の間で設定します。
- ・数値を訂正したい場合は、【No】を押して入力しないでください。

■ 原稿送り装置使用時の画質を変更する

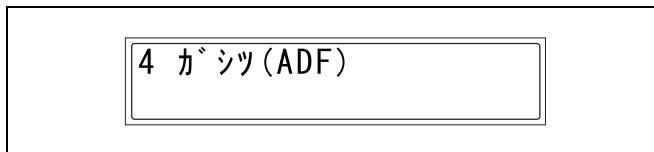
1

本体設定メニューを選択します。



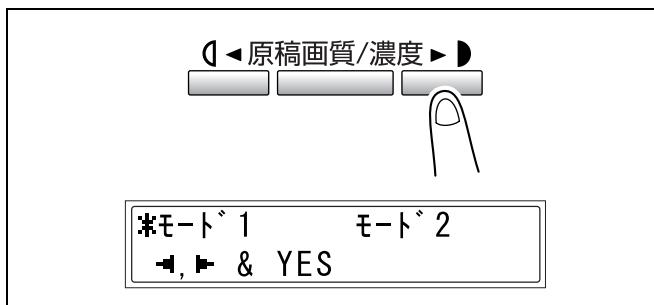
2

テンキーの【4】を押し、「ガシツ (ADF)」を選択します。



3

【(◀)、(▶)】で「モード 1」か「モード 2」を選択し、
【Yes】を押します。



本体設定メニューに戻ります。



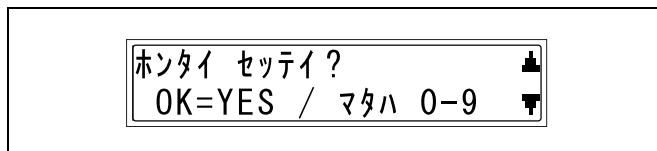
「本体設定メニューを選択する」(p. 8-5) をご覧ください。

8

■ 原稿ガラス使用時の画質を変更する

1

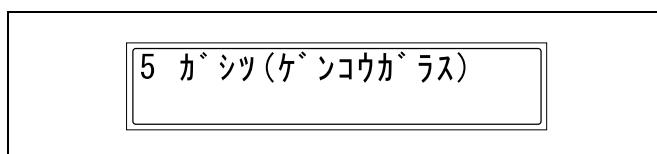
本体設定メニューを選択します。



「本体設定メニューを選択する」(p. 8-5)をご覧ください。

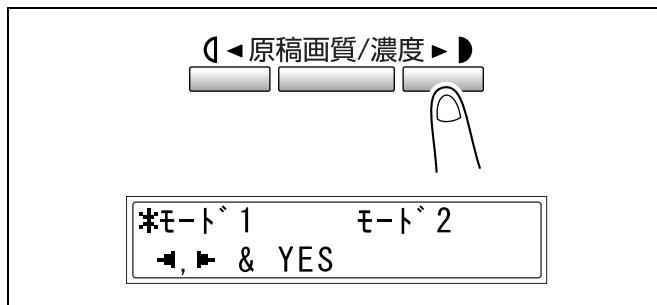
2

テンキーの【5】を押し、「ガシツ(ゲンコウガラス)」を選択します。



3

【□◀】、【▶□】で「モード1」か「モード2」を選択し、
【Yes】を押します。

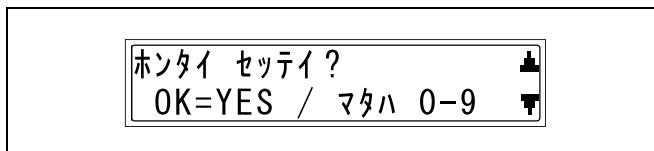


本体設定メニューに戻ります。

■ 濃度を変更する

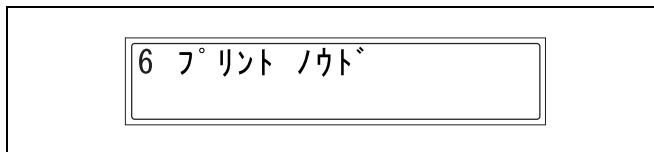
1

本体設定メニューを選択します。



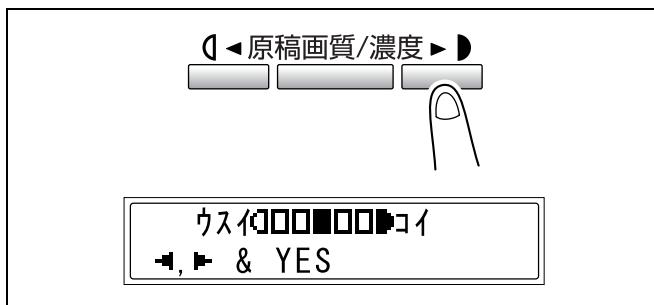
2

テンキーの【6】を押し、「プリントノウド」を選択します。



3

【□◀】、【▶□】で「ウスイ」～「コイ」の5段階から選択し、【Yes】を押します。



本体設定メニューに戻ります。



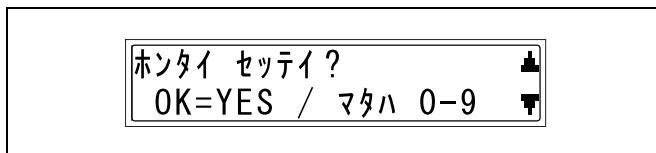
「本体設定メニューを選択する」(p. 8-5) をご覧ください。

8

■ LCD コントラストを変更する

1

本体設定メニューを選択します。



「本体設定メニューを選択する」(p. 8-5)をご覧ください。

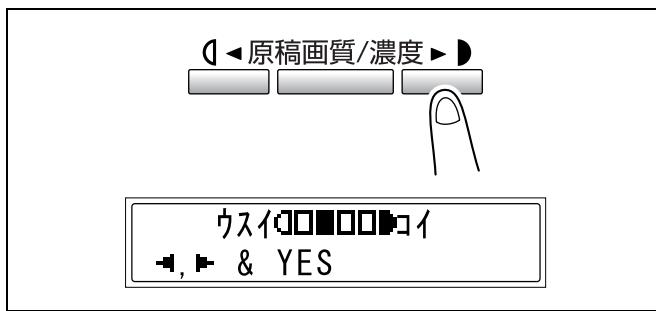
2

テンキーの【7】を押し、「LCD コントラスト」を選択します。



3

【(◀)】、【(▶)】で「ウスイ」～「コイ」の4段階から選択し、【Yes】を押します。

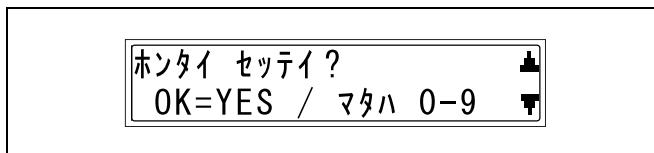


本体設定メニューに戻ります。

■ ブザー音量

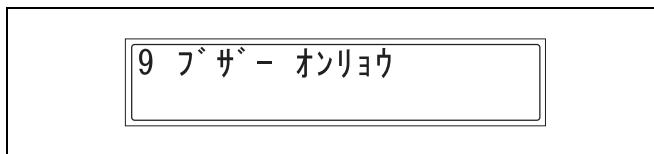
1

本体設定メニューを選択します。



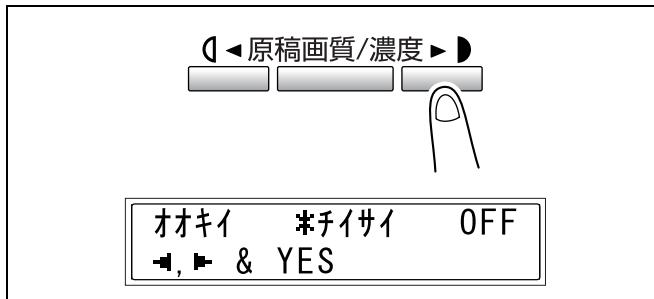
2

テンキーの【9】を押し、「ブザーオンリョウ」を選択します。



3

【◀】、【▶】で「オキイ」、「チサイ」、「OFF」から選択し、【Yes】を押します。



本体設定メニューに戻ります。



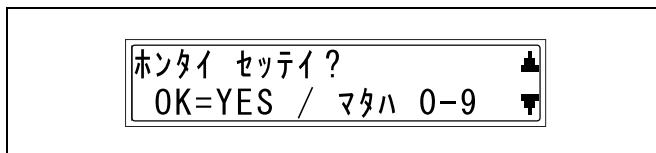
「本体設定メニューを選択する」(p. 8-5) をご覧ください。

8

■ 初期モードを変更する

1

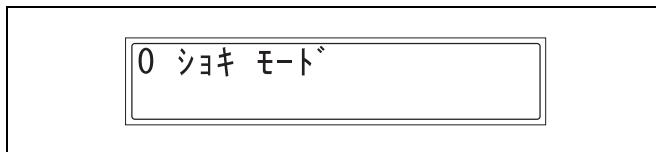
本体設定メニューを選択します。



「本体設定メニューを選択する」(p. 8-5)をご覧ください。

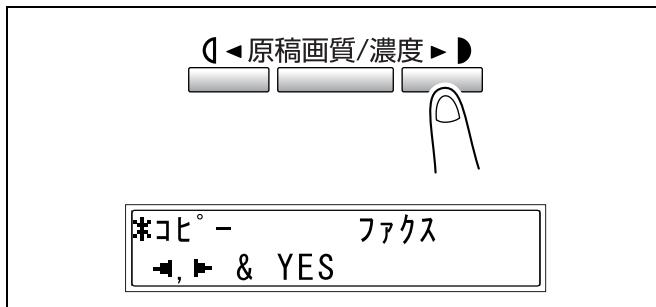
2

テンキーの【0】を押し、「ショキ モード」を選択します。



3

【(◀)】、【(▶)】で「コピー」か「ファックス」を選択し、
【Yes】を押します。



本体設定メニューに戻ります。

8.4 トレイ設定

トレイ設定では各トレイに関する設定を変更できます。

＜トレイ設定の項目＞

No.	トレイ セッティ	内容
1	メトリック / インチ	<p>各トレイごとに、用紙サイズのタイプを設定します。A4、B5などのセンチ系用紙（メトリックサイズ）か、Letterなどのインチ系用紙かを選択します。適切に設定しておかないと、用紙サイズが自動検出されません。</p> <p>トレイが「インチ」に設定されている場合は、そのトレイにセットされている用紙はファクスモードでは使用できません。</p> <ul style="list-style-type: none">工場出荷時の設定は「メトリック」です。
2	トレイ1 ヨウシ	<p>第1トレイにセットする用紙の種類（普通紙、OHP フィルム、厚紙、封筒）と、自動検出（オート）かサイズ入力（フリーサイズ）かを設定します。用紙サイズを「フリーサイズ」に設定したときは、用紙サイズを入力します。</p> <p>「ヨウシ」「オート」以外の設定を選択すると、第1トレイにセットされた用紙は、ファクスモードでは使用できません。</p> <ul style="list-style-type: none">工場出荷時の設定は「ヨウシ」・「オート」です。
3	トクシュシ	<p>使用する用紙の種類にあわせて、各トレイをオート用紙選択／オートトレイチェンジの対象とするかしないかを設定できます。用紙の種類（「ヨウシ」、「サセイシ」、「センヨウシ」）に応じてオート用紙選択／オートトレイチェンジの組み合わせが選択できます。</p> <p>特殊紙をトレイにセットした場合は、「ヨウシ」、「センヨウシ」、「サセイシ」の設定が必要です。</p> <p>「ヨウシ」：オート用紙選択可能、オートトレイチェンジ可能</p> <p>「サセイシ」：オート用紙選択不可、オートトレイチェンジ可能</p> <p>「センヨウシ」：オート用紙選択不可、オートトレイチェンジ不可</p> <ul style="list-style-type: none">工場出荷時の設定は「ヨウシ」です。



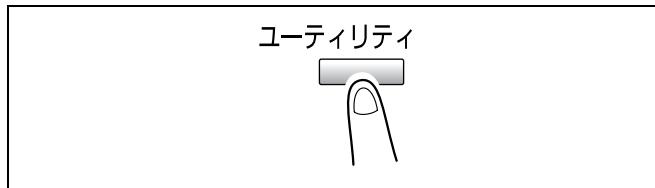
ユーティリティは LSD (Local Setup Diagnostic) から設定を行うこともできます。詳しくは「LSDについて」(p. 12-18) をご覧ください。

■ トレイ設定メニューを選択する

1

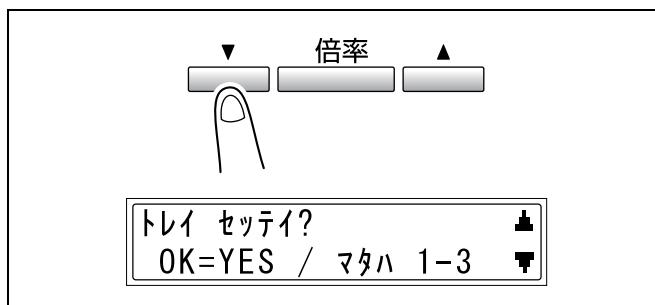
【ユーティリティ】を押します。

「ホンタイ セッティ？」が表示されます。



2

【▼】を1回押し、「トレイ セッティ？」を選択します。



3

テンキーの【1】～【3】を押し、トレイ設定メニューを選択します。

○ トレイ設定メニューは以下のとおりです。

- 1 メトリック / インチ
- 2 トレイ 1 ヨウシ
- 3 トクショウ

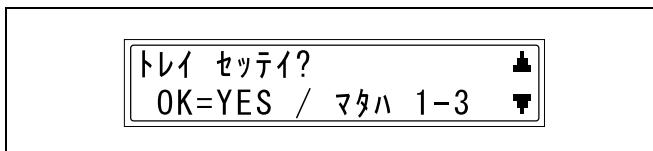


トレイ設定の操作を途中でやめるときは、【No】を押します。「セッティヲキャンセルシマスか？」のメッセージが表示されたら、【Yes】を押すと設定操作を中止できます。

■ 用紙サイズ自動検出の設定をする

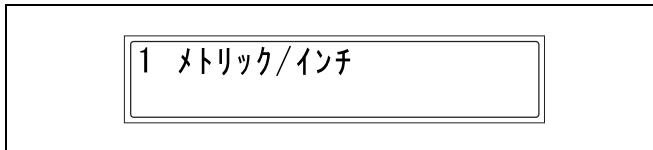
1

トレイ設定メニューを選択します。



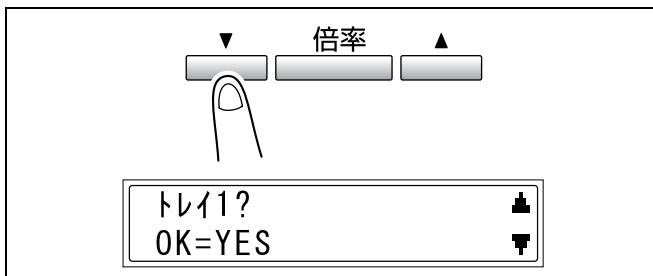
2

テンキーの【1】を押し、「メトリック / インチ」を選択します。



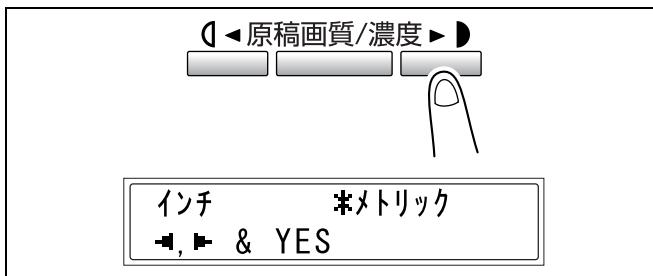
3

【▼】、【▲】でトレイを選択し、【Yes】を押します。



4

【◀】、【▶】で「メトリック」か「インチ」を選択し、
【Yes】を押します。



トレイ設定メニューに戻ります。



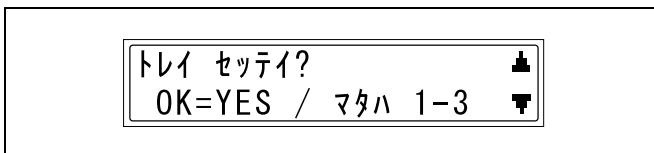
「トレイ設定メニューを選択する」(p. 8-16) をご覧ください。

8

■ 第1トレイ用紙の設定をする

1

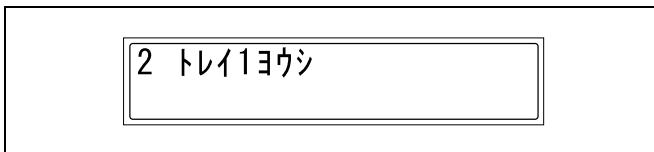
トレイ設定メニューを選択します。



「トレイ設定メニューを選択する」(p. 8-16) をご覧ください。

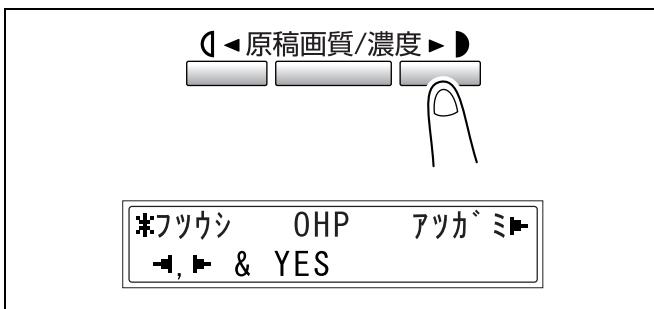
2

テンキーの【2】を押し、「トレイ1ヨウシ」を選択します。



3

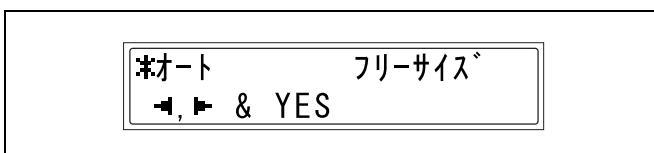
【(◀)】、【(▶)】で「フツウシ」、「OHP」、「アツガミ」、「カトウ・ハガキ」のいずれかを選択し、【Yes】を押します。



4

【(◀)】、【(▶)】で「オート」か「フリーサイズ」を選択し、【Yes】を押します。

- 「オート」を選択すると、トレイ設定メニューに戻ります。
- 「フリーサイズ」を選択すると、サイズ設定画面が表示されます。



5

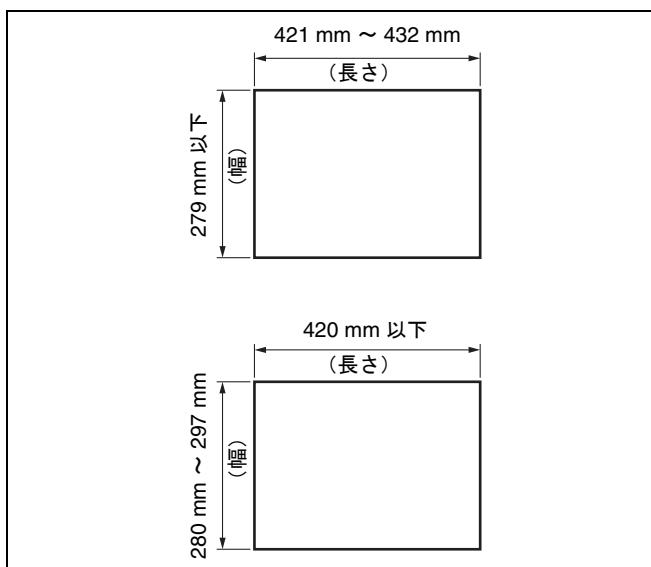
テンキーで用紙の長さ (mm) を入力し、【Yes】を押します。

ヨコ=210(140-432) ヨコ
OK=YES タテ□ア*

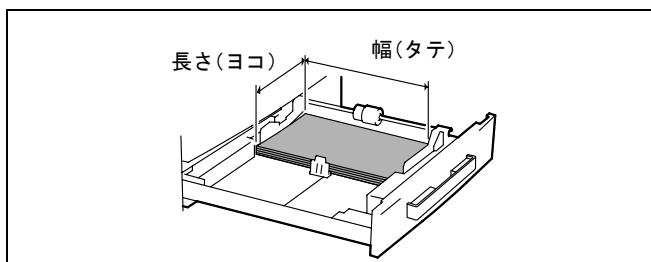
- 用紙の長さを 421 mm ~ 432 mm に設定する場合、幅は 279 mm 以下に設定してください。
用紙の幅を 280 mm ~ 297 mm に設定する場合、長さは 420 mm 以下に設定してください。

詳しく説明します

- 140 mm ~ 432 mm の範囲で設定します。
- 数値を訂正する場合は、【No】を押して入力しないでください。



- 用紙の幅および長さは、下図を参照し、間違えないように入力してください。



8

6

テンキーで用紙の幅 (mm) を入力します。

タテ=297 (90-297) ヨコ
OK=YES タテ□アメ



- 90 mm ~ 297 mm の範囲で設定します。
- 数値を訂正する場合は、【No】を押して入力しないでください。

7

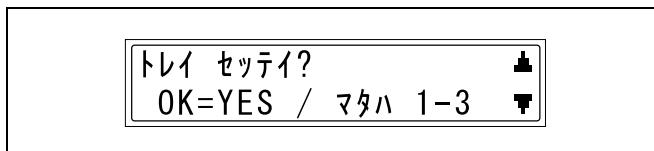
【Yes】を押します。

トレイ設定メニューに戻ります。

■ トレイの特殊紙設定をする

1

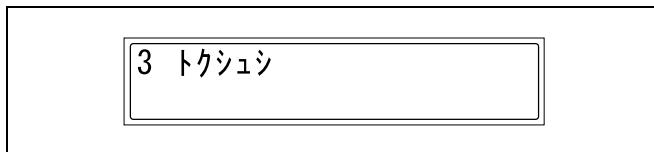
トレイ設定メニューを選択します。



「トレイ設定メニューを選択する」(p. 8-16) をご覧ください。

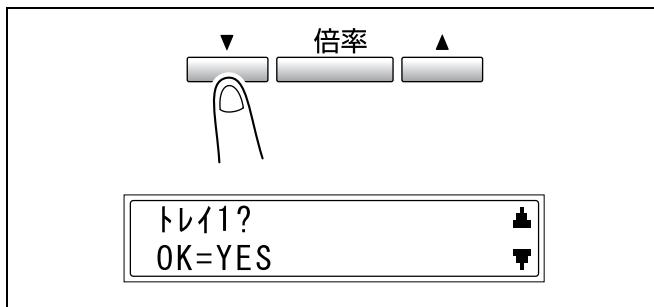
2

テンキーの【3】を押し、「トクシ」を選択します。



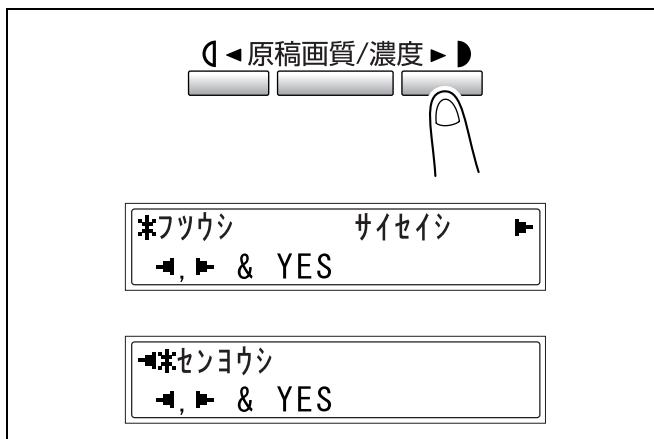
3

【▼】、【▲】でトレイを選択し、【Yes】を押します。



4

【□◀】、【□▶】で「フツウシ」、「サイセイシ」、「センヨウシ」を選択し、【Yes】を押します。



トレイ設定メニューに戻ります。

8

8.5 ユーザー保守モード

ユーザー保守モードでは本機の機能低下を防ぐための保守動作を実行できます。

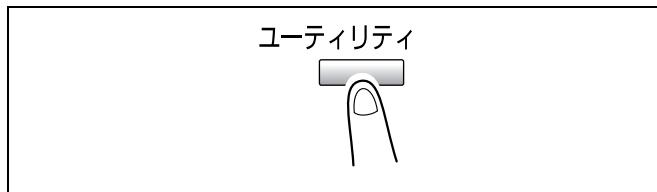
＜ユーザー保守モードの項目＞

No.	ユーザー ホシュ	内容
1	ドラムドライ	室内温度が急激に変化した場合（とくに冬場の暖房使用時など）や湿度が高い場合に、本機内部の感光体の表面に結露が発生し、画像が不鮮明になってしまうことがあります。このような場合は、結露を除去するためにドラムドライ（露とり）機能を使用します。ドラムドライが終了するまで、約3分かかります。
2	トナー ホキュウ	黒い部分の多い原稿（写真など）やネガポジ反転コピーなどを多量にコピー／プリントした場合、トナーの自動供給機能が追いつかず、一時的に濃度が薄くなってしまうことがあります。このような場合に強制トナー補給機能を使うと、すぐにもとの濃度に戻すことができます。

■ ドラムドライ（露とり）

1

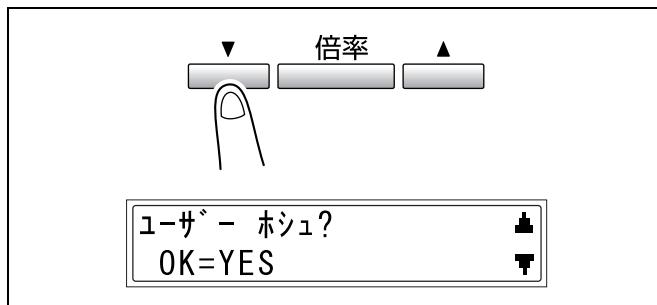
【ユーティリティ】を押します。



「ポンタイ セッテイ？」が表示されます。

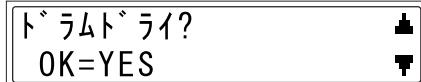
2

【▼】を2回押して「ユーザー ホシュ？」を選択し、【Yes】を押します。



3

【▼】、【▲】で「ドラムドライ?」を選択し、【Yes】を押します。



ドラムドライが開始され、基本画面に戻ります。

■ トナー補給

1

【ユーティリティ】を押します。

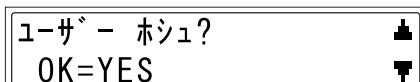
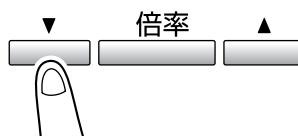
ユーティリティ



「ポンタイ セッティ?」が表示されます。

2

【▼】を2回押して「ユーザ - ホシュ?」を選択し、【Yes】を押します。



3

【▼】、【▲】で「トナー ホキュウ?」を選択し、【Yes】を押します。



トナー補給が開始され、基本画面に戻ります。

必ず守ってください

トナー補給中に電源をOFFにしたり、本機の前カバーを開けたりしないでください。

ひとこと

トナーの濃度が十分である場合は、トナー補給は行われません。

8

8.6 管理者保守モード

管理者保守モードは、本機を管理する方が使いになるモードです。管理者保守モードを選択した場合、管理者番号を入力する必要があります。

＜管理者保守モードの項目＞

No.	カソリシャ ホシ	内容
1	オト パワーオフ	オートパワーオフしない設定を許可するか、禁止するかを選択できます。 <ul style="list-style-type: none">工場出荷時の設定は「キカ」（許可する）です。
2	ブモン カソリ	部門ごとに管理するための設定をします。20部門まで管理できます。 <ul style="list-style-type: none">部門管理をする／しない部門番号の登録部門番号の変更／削除部門別トータルカウンタ表示／カウンタクリア部門別トータルカウンタのオールクリア
3	リモート モニタ	リモートモニタ機能の設定をします。リモートモニタ機能とは、サービス技術者がサービスセンターから本機にアクセスし、本機の状態を確認する機能です。 <ul style="list-style-type: none">工場出荷時の設定は「ケンテイ」です。詳しくは担当サービス技術者にお問い合わせください。

ひとこと

管理者番号の登録と設定について、サービス実施店にお問い合わせください。



本機を管理する方は、管理者番号を忘れないでください。

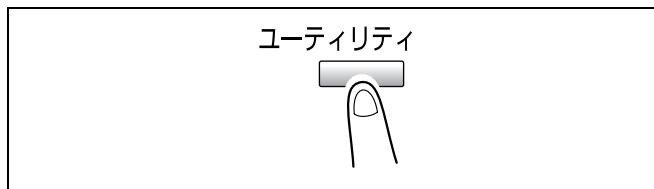


ユーティリティは LSD (Local Setup Diagnostic) から設定を行うこともできます。詳しくは「LSDについて」(p. 12-18) をご覧ください。

■ 管理者保守メニューを選択する

1

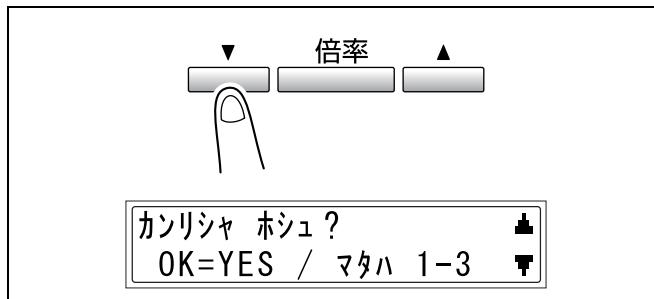
【ユーティリティ】を押します。



「ホンタイ セッテイ？」が表示されます。

2

【▼】を3回押し、「カソリシャ ホシ？」を選択します。



3

テンキーの【1】～【3】を押し、管理者保守メニューを選択します。

- 管理者保守メニューは以下のとおりです。

- 1 オート パワー オフ
- 2 ブ モン カンリ
- 3 リモート モニタ

4

テンキーで管理者番号（6桁）を入力し【Yes】を押します。

カソリシヤ No.=＊＊＊＊＊＊
OK=YES



- ・数値を訂正するときは、【No】を押して入力します。
- ・管理者保守モードの操作を途中でやめるときは、【No】を押します。ディスプレイに「セッティ フ キヤンセル シマスカ？」が表示されたら、【Yes】を押すと設定操作を中止できます。

■ オートパワーオフしない設定をする

1

管理者保守メニューを選択します。

カソリシヤ ホシュ?
OK=YES / マタハ 1-3



「管理者保守メニューを選択する」(p. 8-24)をご覧ください。

2

テンキーの【1】を押し、「オート パワー オフ」を選択します。

3

テンキーで管理者番号（6桁）を入力し【Yes】を押します。

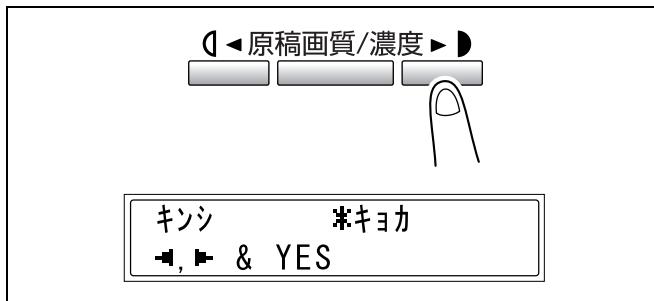
「オート パワー オフ」が表示されます。

1 オート パワー オフ

8

4

【(◀)、(▶)】で「キヨカ」を選択し、【Yes】を押します。



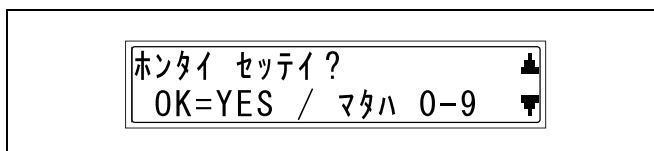
ひとこと

オートパワーオフメニューを「キンシ」に設定するとオートパワーオフ機能が有効になります。電源がOFFになるとコピー／プリント／ファクス送受信できません。コピー／プリント／ファクス送受信をするときは、電源をONにしてください。

管理者保守メニューに戻ります。

5

本体設定メニューを選択します。



参照

「本体設定メニューを選択する」(p. 8-5) ご覧ください。

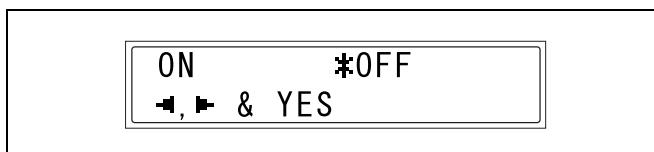
6

テンキーの【3】を押し、「オートパワーオフ」を選択します。



7

【(◀)、(▶)】で「OFF」を選択し、【Yes】を押します。

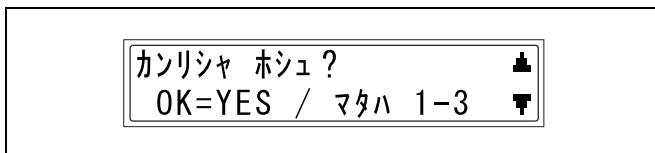


本体設定メニューに戻ります。

■ ID (部門) 管理の設定をする

1

管理者保守メニューを選択します。



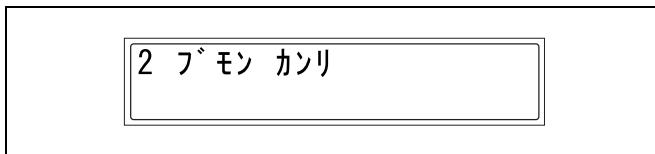
2

テンキーの【2】を押し、「フ'モン カンリ」を選択します。

3

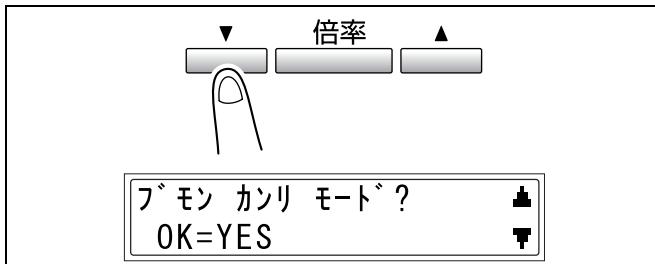
テンキーで管理者番号（6桁）を入力し【Yes】を押します。

「フ'モン カンリ」が表示されます。



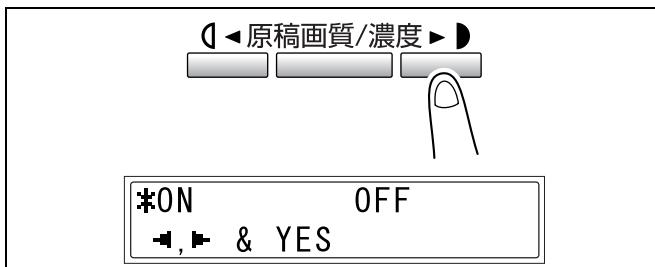
4

【▼】、【▲】で「フ'モン カンリ モード？」を選択し、【Yes】を押します。



5

【◀】、【▶】で「ON」か「OFF」を選択し、【Yes】を押します。



「フ'モン カンリ モード？」に戻ります。



「管理者保守メニューを選択する」(p. 8-24) をご覧ください。

8

■ ID（部門）を登録する

1

管理者保守メニューを選択します。



「管理者保守メニューを選択する」(p. 8-24) をご覧ください。

2

テンキーの【2】を押し、「フモン カンリ」を選択します。

3

テンキーで管理者番号（6桁）を入力し【Yes】を押します。

「フモン カンリ」が表示されます。

4

【▼】、【▲】で「ID トウロク？」を選択し、【Yes】を押します。

5

テンキーで、登録する ID（部門）番号を入力し、【Yes】を押します。

ID（部門）番号が登録されると、次の ID（部門）番号を入力する画面が表示され、続けて登録できます。



- ID（部門）番号は3桁で設定します。
- 数値を訂正する場合は、【No】を押してテンキーで入力しなおします。

6

ID（部門）番号の登録が終了したら、【No】を押します。

ID=---
(トウロクカンリョウ=NO)

ひとこと

ID（部門）番号の登録が 20 部門をこえた場合、「20 プ'モン ヲ コエマシタ」のメッセージが表示されます。

「ID トウロク？」に戻ります。

■ ID（部門）を変更／削除する

1

管理者保守メニューを選択します。

カンリシャ ホシュ?
OK=YES / マタハ 1-3

参照

「管理者保守メニューを選択する」(p. 8-24) をご覧ください。

2

テンキーの【2】を押し、「プ'モン カンリ」を選択します。

3

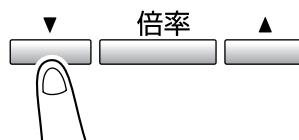
テンキーで管理者番号（6桁）を入力し【Yes】を押します。

「プ'モン カンリ」が表示されます。

2 プ'モン カンリ

4

【▼】、【▲】で「ID トウロク？」を選択し、【Yes】を押します。



ID トウロク?
OK=YES

8

5

テンキーで変更／削除したい ID（部門）番号を入力し、【Yes】を押します。

ID=123
OK=YES



- ID（部門）番号は 3 衔で設定します。
- 数値を訂正する場合は、【No】を押して入力しないでください。

保持するかどうかの確認メッセージが表示されます。

6

ID（部門）番号を変更／削除する場合は【No】を押します。

トウロクスミテス！ ホシシマスカ？
OK=YES (ヘンシュウ/ケス=NO)



現在の設定を保持する場合は【Yes】を押します。

7

【◀】、【▶】で「ヘンシュウ」か「ショウキヨ」を選択し、【Yes】を押します。

- 「ヘンシュウ」を選択すると、ID（部門）番号の編集画面が表示されます。
- 「ショウキヨ」を選択すると、選択した ID（部門）番号を消去します。（「ID xxx ショウキヨ シマタ」が表示されます。）続けて変更／削除できます。（手順 5 へ戻ってください）

◀ 原稿画質/濃度 ▶
↑
*ヘンシュウ ショウキヨ
◀, ▶ & YES

8

テンキーで新しい ID（部門）番号を入力（上書き）します。

ID=223	
OK=YES	(ケス=NO)

9

【Yes】を押します。

「ID xxx ヘンシュ シマシタ」と表示した後、次のID（部門）番号を入力する画面を表示し、続けて変更／削除できます。

10

ID（部門）番号の変更／削除が終了したら、【No】を押します。

The display shows a text input field with 'ID=---' and a message below it: '(トウロクカンリヨウ=NO)'. The text is enclosed in a rectangular border.

「ID トウロク？」に戻ります。

■ ID（部門）別カウンタ表示／カウンタクリア

1

管理者保守メニューを選択します。

The display shows a text input field with 'カソリシャ ホシュ?' and a message below it: 'OK=YES / マタハ 1-3'. The text is enclosed in a rectangular border.

2

テンキーの【2】を押し、「フモン カソリ」を選択します。

3

テンキーで管理者番号（6桁）を入力し【Yes】を押します。

「フモン カソリ」が表示されます。

The display shows a text input field with '2 フモン カソリ'. The text is enclosed in a rectangular border.

4

【▼】、【▲】で「フモンベツ トータル カウンタ？」を選択し、【Yes】を押します。

The display shows a text input field with '倍率' and 'フモンベツ トータル カウンタ?'. Below the text is a small diagram of a hand pointing to a button. The text is enclosed in a rectangular border.



入力したID（部門）番号がすでに登録されている場合は、「ステニ トウロク サレテイマス」と表示されます。【No】を押して値を消去し、別のID（部門）番号を入力しなおしてください。

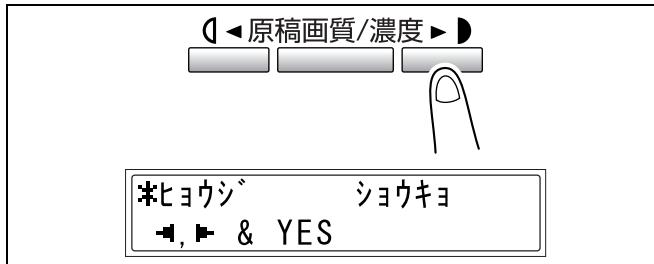


「管理者保守メニューを選択する」(p. 8-24)をご覧ください。

8

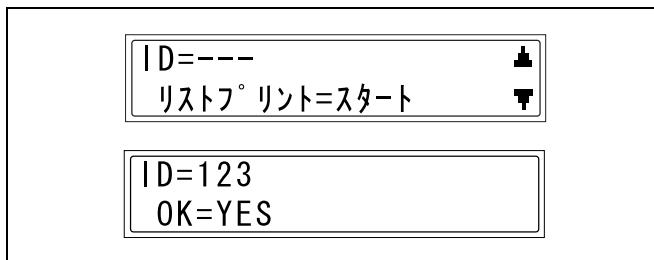
5

【D◀】、【▶D】で「ヒョウジ」を選択し、【Yes】を押します。



6

【▼】、【▲】でカウンタを確認したい ID (部門) 番号を選択し、【Yes】を押します。



選択した ID (部門) のトータルカウンタが表示されます。

ひとこと

テンキーで ID (部門) 番号を入力することもできます。



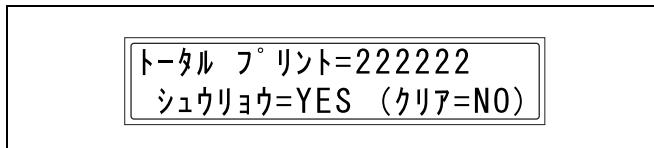
- 「リストフ。リント=スタート」が表示されているときに【スタート】を押すと、ブモンカンリストが印刷されます。
- ID (部門) 別カウンタをクリアする場合は、カウンタをクリアしたい ID (部門) 番号を表示させます。



カウンタをクリアしないで終了する場合は、【Yes】を押します。ID (部門) カウンタメニューに戻ります。

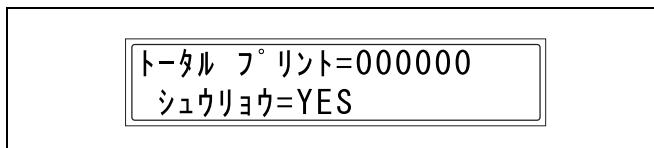
7

カウンタをクリアする場合は、【No】を押します。



8

カウンタをクリア後、【Yes】を押します。



ID (部門) カウンタメニューに戻ります。



カウンタクリア直後、カウンタ値を元に戻したい場合は、【割込み】を押します。

■ ID (部門) 別トータルカウンタのオールクリア

1

管理者保守メニューを選択します。

カソリシヤ ホシュ?
OK=YES / マタハ 1-3

2

テンキーの【2】を押し、「フモン カリ」を選択します。

3

テンキーで管理者番号（6桁）を入力し【Yes】を押します。

「フモン カリ」が表示されます。

2 フモン カリ

4

【▼】、【▲】で「フモンベツ トータル カウンタ?」を選択し、【Yes】を押します。

▼ 倍率 ▲

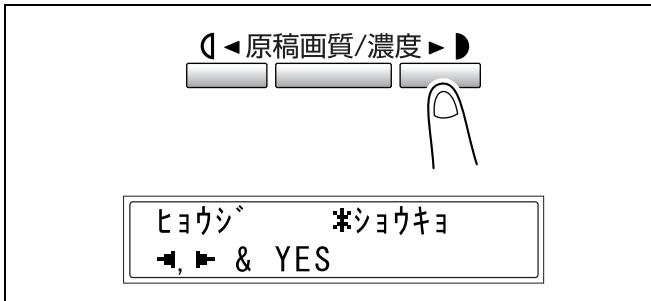
フモンベツ トータル カウンタ?
OK=YES



「管理者保守メニューを選択する」(p. 8-24) をご覧ください。

5

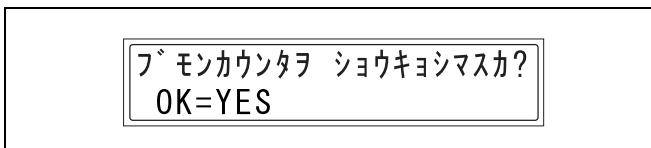
【D◀】、【▶D】で「ショウキヨ」を選択し、【Yes】を押します。



消去を確認するメッセージが表示されます。

6

【Yes】を押します。



「フ モン カウンタ ショウキヨ シマシタ」と表示された後、ID（部門）カウンタメニューに戻ります。

■ リモートモニタの設定をする

1

管理者保守メニューを表示させます。

カソリシャ ホシュ?	▲
OK=YES / マタハ 1-3	▼

2

テンキーの【3】を押し、「リモート モニタ」を選択します。

3 リモート モニタ

○ テンキーで管理者番号（6桁）を入力し、【Yes】を押します。

3

【◀】、【▶】で「ゲンティ」、「フルアクセス」、「OFF」のいずれかを選択し、【Yes】を押します。

*ゲンティ フルアクセス OFF
◀, ▶ & YES

○ 「ゲンティ」または「OFF」を選択すると、管理者保守メニューに戻ります。
 ○ 「フルアクセス」を選択すると、パスワードを入力する画面が表示されます。

4

テンキーでパスワード（4桁）を入力し、【Yes】を押します。

ハ°スワード° =2222
OK=YES

管理者保守メニューに戻ります。



「管理者保守メニューを選択する」(p. 8-24) をご覧ください。

8



数値を訂正するときは、
 【No】を押して入力しなおします。

8.7 コピー設定

電源を入れたときまたは【リセット】を押したときの設定を初期モードと呼びます。コピー設定では、各種コピー機能の初期モードの設定を変更できます。

＜コピー設定の項目（コピーセッティ1）＞

No.	コピー セッティ 1	内容
1	ユウセン ヨウシ	オート倍率選択時、優先的に選択されるトレイを設定できます。 • 工場出荷時の設定は「1ST」です。
2	ユウセン ノウド / シヤシン	電源 ON 時やリセット時の濃度を「モジ」、「シャシン」、「モ / シヤ」の中から設定できます。 • 工場出荷時の設定は「モ / シヤ」です。
3	ノウド レベル (オート)	オート濃度モード時の濃度レベル設定を「ウスイ」～「コイ」の3段階から設定できます。 • 工場出荷時の設定は  です。
4	ノウド レベル (マニュアル)	マニュアル濃度モード時の濃度レベル設定を「ウスイ」～「コイ」の9段階から設定できます。 • 工場出荷時の設定は  です。
5	ブック トジ 仔	ブック原稿を読み込む場合に、最初に読み込むページが左ページ（左とじ）か右ページ（右とじ）かを設定できます。 • 工場出荷時の設定は「ヒダリ」です。
6	トジ シロ セッティ	用紙にとじ代（余白）つくるとコピーするときのとじ代の幅を 0 mm ~ 20 mm の範囲（1 mm 単位）で設定できます。 • 工場出荷時の設定は 10 mm です。
7	ワカ / オリメシ セッティ	枠／折目消しコピー時、左、上、枠のイレース幅をそれぞれ 5 mm ~ 20 mm の範囲（1 mm 単位）で設定できます。 • 工場出荷時の設定は、「ヒダリ」、「カエ」、「ワカ」イレースともに 10 mm です。
8	ショウサイズ ゲンコウ	用紙サイズが自動検出されない小さな原稿をセットした場合にコピー禁止するか許可するかを設定できます。 • 工場出荷時の設定は「キシ」です。



ユーティリティは LSD
(Local Setup Diagnostic)
から設定を行なうこともでき
ます。詳しくは「LSDにつ
いて」(p. 12-18)をご覧く
ださい。

<コピー設定の項目（コピー セッティ 2）>

No.	コピー セッティ 2	内容
1	ユウセン コンサイゲンコウ	電源 ON 時やリセット時に混載原稿モードを選択するかどうかを設定できます。 • 工場出荷時の設定は「OFF」です。
2	ユウセン APS/AMS	電源 ON 時やリセット時にオート用紙、オート倍率を選択するかどうかを設定できます。 • 工場出荷時の設定は「APS」（オート用紙）です。
3	ユウセン ソート	電源 ON 時やリセット時に優先される仕上げモードを「OFF」、「ソート」、「ケループ」の中から設定できます。 • 工場出荷時の設定は「OFF」です。
4	4IN1 ページ ジュン	4in1 モードでのコピー順序を以下の 2 つから設定できます。 パターン 1  パターン 2  • 工場出荷時の設定は「パターン 1」です。
5	カイン ハイシ	交互排紙の条件が満たされている場合に、交互排紙するかしないかを設定できます。 • 工場出荷時の設定は「ON」です。

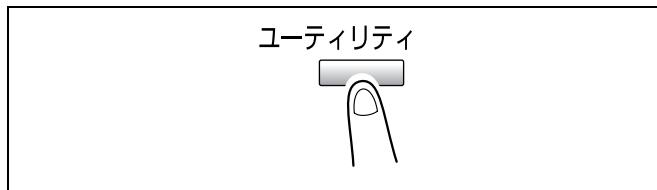


ユーティリティは LSD
(Local Setup Diagnostic)
から設定を行うこともできます。詳しくは「LSDについて」(p. 12-18) をご覧ください。

■ コピー設定 1 メニューを選択する

1

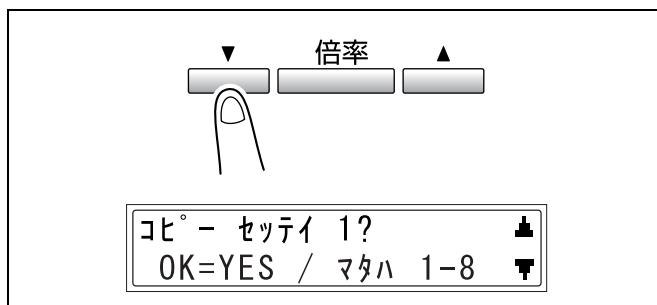
【ユーティリティ】を押します。



「ポンタイ セッティ？」が表示されます。

2

【▼】を4回押し、「コピー セッティ 1?」を選択します。



3

テンキーの【1】～【8】を押し、設定メニューから選択します。

○ コピー設定 1 メニューは以下のとおりです。

- 1 ユウセン ヨウシ
- 2 ユウセン ノウド / シヤシン
- 3 ノウド レベル (オート)
- 4 ノウド レベル (マニュアル)
- 5 プ'ック トジ イチ
- 6 トジ シロ セッティ
- 7 ワク / オリメケン セッティ
- 8 ショウサイズ ゲンコウ



コピー設定 1 モードの操作を途中でやめるときは、
【No】を押します。ディスプレイに「セッティ ヲ キヤンセル
シマスカ？」が表示されたら、
【Yes】を押します。

■ 優先用紙の設定をする

1

コピー設定 1 メニューを選択します。

コピ° - セッティ 1?
OK=YES / マタハ 1-8

2

テンキーの【1】を押し、「ユウセン ヨウシ」を選択します。

1 ユウセン ヨウシ

3

【□◀】、【▶□】で用紙サイズまたはトレイを選択し、
【Yes】を押します。

○ 以下のトレイから選択します。

第1トレイ、第2トレイ、第3トレイ、第4トレイ、
第5トレイ、マルチ手差しトレイ

◀ 原稿画質/濃度 ▶



*1ST 2ND 3RD 4TH
◀, ▶ & YES

○ マルチ手差しトレイを装着しているときは下の画面が表示されます。

◀ 5TH *マルチサシ
◀, ▶ & YES

コピー設定 1 メニューに戻ります。



「コピー設定 1 メニューを選択する」(p. 8-38) をご覧ください。

ひとこと

優先用紙に設定したトレイと同じサイズ、種類の用紙をセットしたトレイが複数ある場合に、これらのトレイの用紙をすべて使いきると、優先用紙設定をしていないトレイに用紙を補給するようメッセージが表示されることがあります。

そのときは画面の表示にしたがって用紙を補給してください。

8

■ 優先濃度の設定をする

1

コピー設定 1 メニューを選択します。

コピ- セッティ 1?
OK=YES / マタハ 1-8



「コピー設定 1 メニューを選択する」(p. 8-38) をご覧ください。

2

テンキーの【2】を押し、「ユウセン ノウド / シャシン」を選択します。

2 ユウセン ノウド / シャシン

3

【(◀)、(▶)】で「モジ」、「シャシン」、「モ / シャ」のいずれかを選択し、【Yes】を押します。

◀ 原稿画質/濃度 ▶

モジ シャシン *モ/シャ
◀, ▶ & YES

- 「モジ」または「モ / シャ」を選択した場合は、「オート」、「マニュアル」選択画面が表示されます。【(◀)、(▶)】で「オート」または「マニュアル」を選択し、【Yes】を押します。

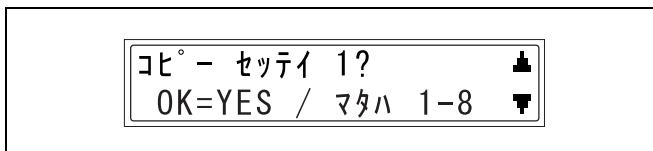
*オート マニュアル
◀, ▶ & YES

コピー設定 1 メニューに戻ります。

■ 優先濃度レベル（オート）の設定をする

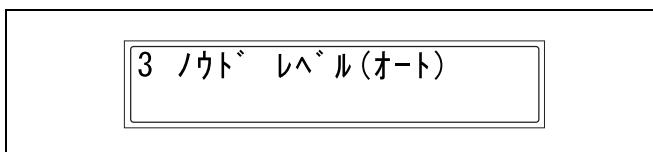
1

コピー設定 1 メニューを選択します。



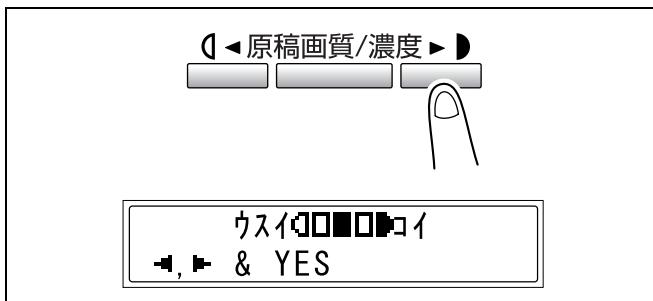
2

テンキーの【3】を押し、「ノウド レベル（オート）」を選択します。



3

【◀】、【▶】で「ウスイ」～「コイ」の3段階から選択し、【Yes】を押します。



コピー設定 1 メニューに戻ります。



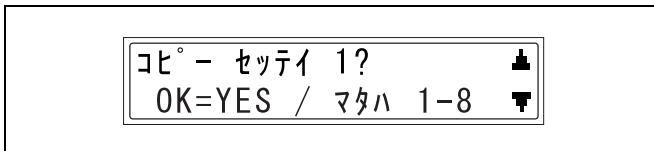
「コピー設定 1 メニューを選択する」(p. 8-38) をご覧ください。

8

■ 優先濃度レベル（マニュアル）の設定をする

1

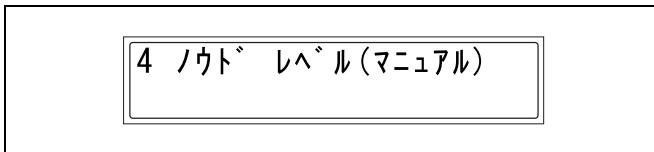
コピー設定1メニューを選択します。



「コピー設定1メニューを選択する」(p. 8-38)をご覧ください。

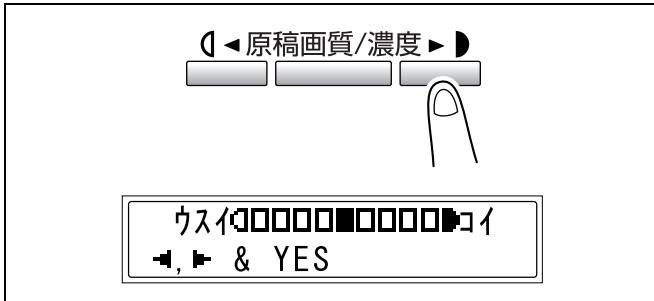
2

テンキーの【4】を押し、「ノウド レベル（マニュアル）」を選択します。



3

【(◀)、(▶)】で「ウスイ」～「コイ」の9段階から選択し、【Yes】を押します。

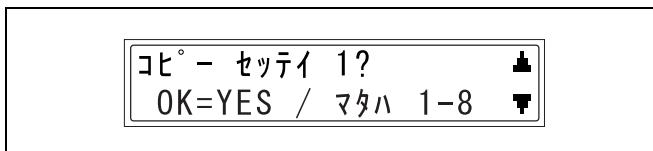


コピー設定1メニューに戻ります。

■ ブックとじ位置を選択する

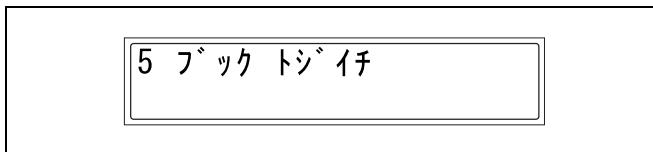
1

コピー設定 1 メニューを選択します。



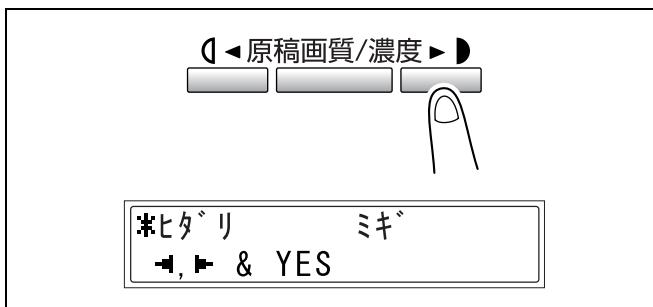
2

テンキーの【5】を押し、「ブック トジ 仔」を選択します。



3

【D◀】、【▶D】で「ヒダリ」か「ミキ」を選択し、【Yes】を押します。



コピー設定 1 メニューに戻ります。



「コピー設定 1 メニューを選択する」(p. 8-38) をご覧ください。

8

■ とじ代幅の調整をする

1

コピー設定 1 メニューを選択します。

コピ° - セッティ 1?
OK=YES / マタハ 1-8

2

テンキーの【6】を押し、「トジシロ セッティ」を選択します。

6 トジシロ セッティ

3

テンキーでとじ代幅を入力し、【Yes】を押します。

ハハ° =10mm (0-20)
OK=YES

コピー設定 1 メニューに戻ります。



「コピー設定 1 メニューを選択する」(p. 8-38) をご覧ください。



詳しく説明します

- とじ代幅は 0 mm ~ 20 mm の範囲で設定します。
- 数値を訂正したい場合は、【No】を押し、テンキーで入力しなおします。

■ イレース幅の調整をする

1

コピー設定 1 メニューを選択します。

コピ° - セッティ 1?
OK=YES / マタハ 1-8



「コピー設定 1 メニューを選択する」(p. 8-38) をご覧ください。

2

テンキーの【7】を押し、「ワク / オリメケシ セッティ」を選択します。

7 ワク/オリメケシ セッティ

3

【□◀】、【▶□】で「ヒダリ」、「ウエ」、「ワク」のいずれかを選択し、【Yes】を押します。

□◀原稿画質/濃度▶□



*ヒダリ ウエ ワク
◀, ▶ & YES

8

4

テンキーでイレース幅を入力し、【Yes】を押します。

ハハ° = 10mm (5-20)
OK=YES



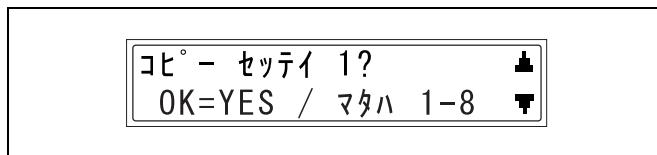
- ・イレース幅は 5 mm ~ 20 mm の範囲で設定します。
- ・数値を訂正したい場合は、【No】を押し、テンキーで入力しなおします。

コピー設定 1 メニューに戻ります。

■ 小サイズ原稿の設定をする

1

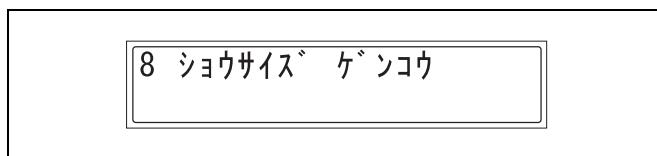
コピー設定 1 メニューを選択します。



「コピー設定 1 メニューを選択する」(p. 8-38) をご覧ください。

2

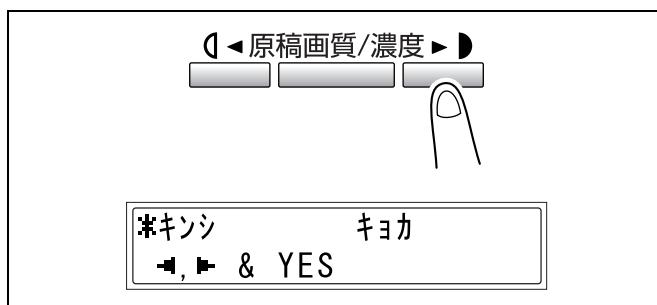
テンキーの【8】を押し、「ショウサイズ ゲンコウ」を選択します。



3

【(◀】、【▶】】で「キンシ」または「キヨカ」を選択し、【Yes】を押します。

○「キヨカ」を選択した場合は、検出不可能な原稿をセットしたときに、優先用紙を使用してコピーされます。



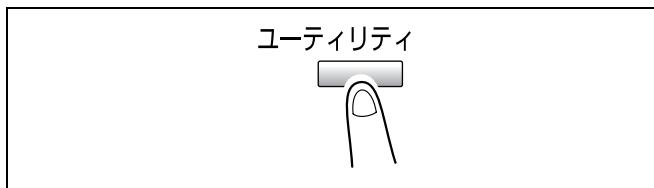
コピー設定 1 メニューに戻ります。

■ コピー設定 2 メニューを選択する

1

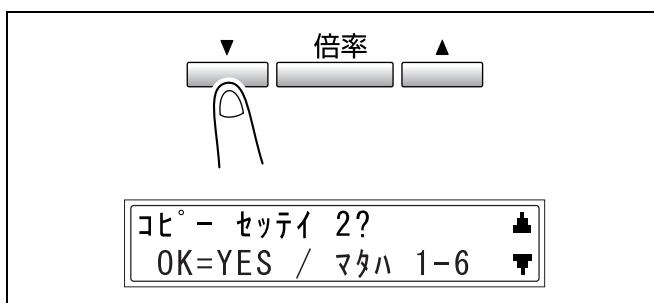
【ユーティリティ】を押します。

「ポンタイ セッティ？」が表示されます。



2

【▼】を5回押し、「コピーセッティ 2?」を選択します。



3

テンキーの【1】～【5】を押し、設定メニューから選択します。

○ コピー設定 2 メニューは以下のとおりです。

- 1 ユウセン コンサイゲンコウ
- 2 ユウセン APS/AMS
- 3 ユウセン ソート
- 4 4IN1 ページジュン
- 5 カイテン ハイシ

8

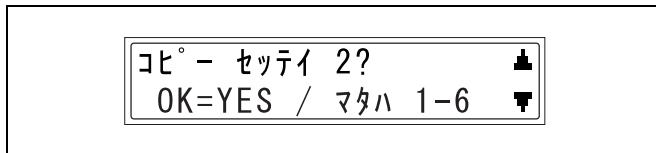
詳しく説明します

コピー設定 2 モードの操作を途中でやめるときは、【No】を押します。ディスプレイに「セッティヲ キャンセルシマスか？」が表示されたら、【Yes】を押します。

■ 優先混載原稿の設定をする

1

コピー設定 2 メニューを選択します。



「コピー設定 2 メニューを選択する」(p. 8-47) をご覧ください。

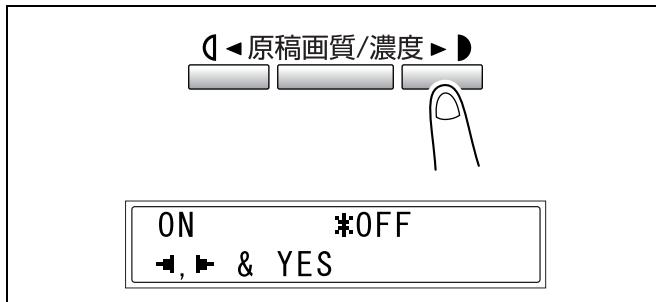
2

テンキーの【1】を押し、「ユウセン コンサイケンコウ」を選択します。



3

【□◀】、【▶□】で「ON」か「OFF」を選択し、【Yes】を押します。

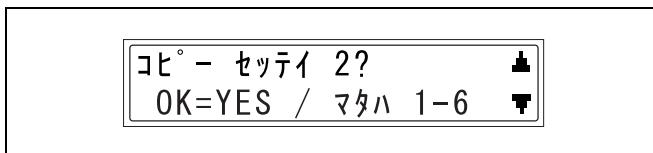


コピー設定 2 メニューに戻ります。

■ 優先自動選択の設定をする

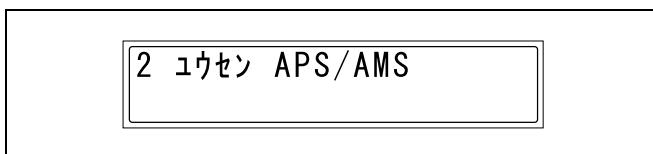
1

コピー設定 2 メニューを選択します。



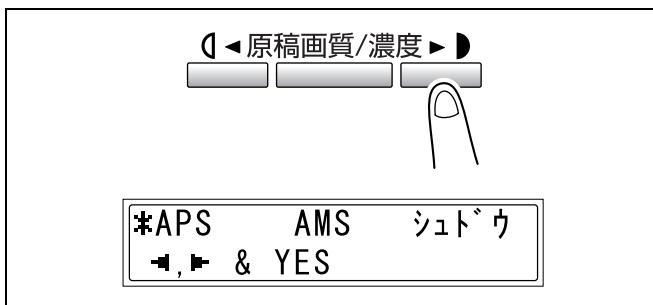
2

テンキーの【2】を押し、「ユウセン APS/AMS」を選択します。



3

【◀】、【▶】で「APS」（オート用紙）、「AMS」（オート倍率）、「シュドウ」のいずれかを選択し、【Yes】を押します。



コピー設定 2 メニューに戻ります。



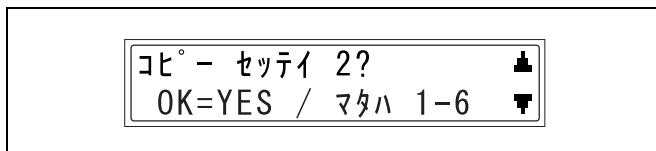
「コピー設定 2 メニューを選択する」(p. 8-47) をご覧ください。

8

■ 優先ソートの設定をする

1

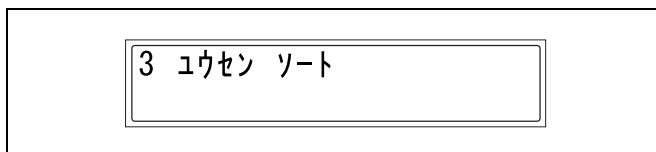
コピー設定2メニューを選択します。



「コピー設定2メニューを選択する」(p. 8-47)をご覧ください。

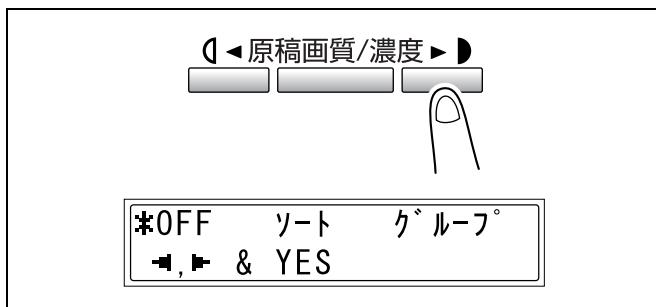
2

テンキーの【3】を押し、「ユウセンソート」を選択します。



3

【(◀)】、【(▶)】で「OFF」、「ソート」、「グループ」のいずれかを選択し、【Yes】を押します。

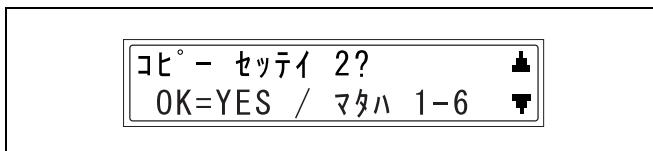


コピー設定2メニューに戻ります。

■ 4in1 ページ順の設定をする

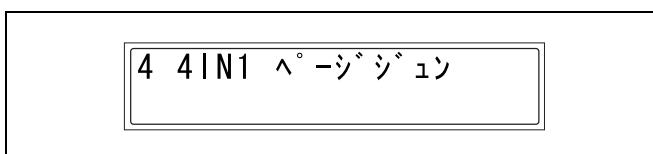
1

コピー設定 2 メニューを選択します。



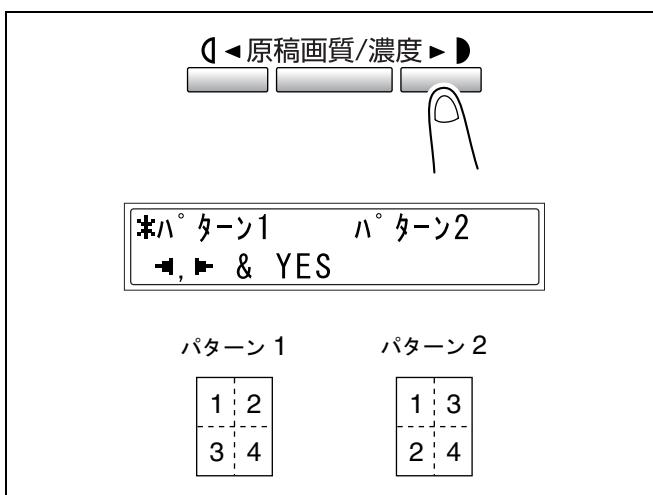
2

テンキーの【4】を押し、「4IN1 ページ順」を選択します。



3

【◀】、【▶】で「パターン1」か「パターン2」を選択し、【Yes】を押します。



コピー設定 2 メニューに戻ります。



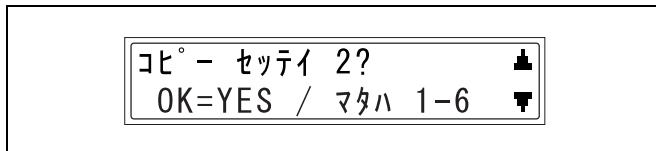
「コピー設定 2 メニューを選択する」(p. 8-47) をご覧ください。

8

■ 交互排紙の設定をする

1

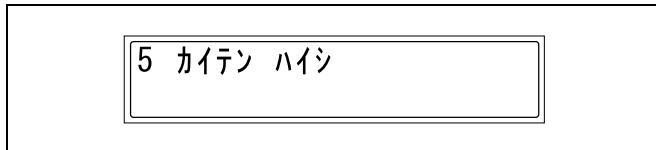
コピー設定 2 メニューを選択します。



「コピー設定 2 メニューを選択する」(p. 8-47) をご覧ください。

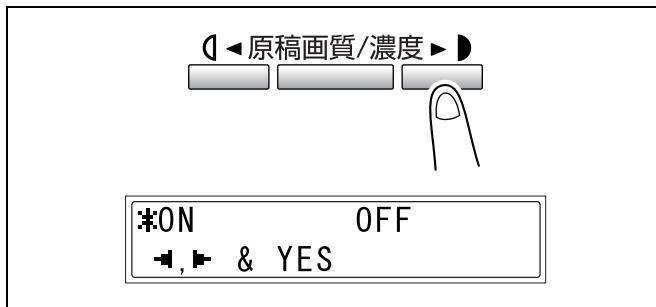
2

テンキーの【5】を押し、「カイテン ハイシ」を選択します。



3

【(◀)】、【(▶)】で「ON」か「OFF」を選択し、【Yes】を押します。



コピー設定 2 メニューに戻ります。



第9章

ユーティリティ／ファクス設定

ユーティリティモードで設定ができるファクス機能の項目について説明します。

9.1 ユーティリティモード	9-2
9.2 ファクス登録	9-3
9.3 送信設定	9-43
9.4 受信設定	9-50
9.5 通信設定	9-65
9.6 レポート出力設定	9-71

9.1 ユーティリティモード

ユーティリティモードには、16 のメニューがあります。

No.	名称	説明
1	ホンタイ セッティ	「第 8 章 ユーティリティ／コピー設定」をご覧ください。
2	トレイ セッティ	「第 8 章 ユーティリティ／コピー設定」をご覧ください。
3	ユーザ－ ホシュ	「第 8 章 ユーティリティ／コピー設定」をご覧ください。
4	カントリシャ ホシュ	「第 8 章 ユーティリティ／コピー設定」をご覧ください。
5	コピ－ セッティ 1	「第 8 章 ユーティリティ／コピー設定」をご覧ください。
6	コピ－ セッティ 2	「第 8 章 ユーティリティ／コピー設定」をご覧ください。
7	ファクス トウロク	各ファクス機能の初期設定を指定します。
8	ソウシン セッティ	送信操作の初期設定を指定します。
9	ジュシング セッティ	受信操作の初期設定を指定します。
10	ツウシン セッティ	通信環境の初期設定を指定します。
11	レポート セッティ	各レポート機能の初期設定を指定します。
12	ユーザ－ データ トウロク	ユーザーデータ登録の設定を行います。
13	ネットワーク セッティ	オプションのネットワークカード NC-502 が装着されている場合のみ設定できます。詳しくは、ネットワークカード NC-502 のユーザーズガイドをご覧ください。
14	メール セッティ 1	オプションのスキャナユニット SU-502 が装着されている場合のみ設定できます。詳しくは、スキャナユニット SU-502 のユーザーズガイドをご覧ください。
15	メール セッティ 2	
16	スキャン セッティ	



オプションの装着状態によって、設定できない項目があります。設定できない項目を選択すると、エラーメッセージが表示されます。



- ・「ユーザ－データ トウロク」については、「最初に必要な登録と設定の確認」(p. 3-24)をご覧ください。
- ・ユーティリティは LSD (Local Setup Diagnostic) から設定を行うこともできます。詳しくは「LSD について」(p. 12-18) をご覧ください。

9.2 ファクス登録

ここでは、本機の持っているファクス機能を十分に活用していくために役立つ、各種の登録項目について説明します。

<ファクス登録の項目>

No.	ファクス トウロウ	内容
1	ワンタッチ ダイヤル	ワンタッチダイヤルキーに相手先を登録しておくと、テンキーで電話番号を指定しなくても簡単かつ正確に相手先を指定できます。27局まで登録できます。頻繁に送信する相手先を登録しておくと便利です。
2	テンショク ダイヤル	短縮ダイヤルに相手先を登録しておくと、テンキーで電話番号を指定しなくとも簡単かつ正確に相手先を指定できます。200局まで登録できます。
3	グルーフ ダイヤル	ひとつのワンタッチダイヤルキーに最大50局をグルーブとして登録できます。同じ原稿を複数の決まった相手先に頻繁に送信する場合にグループダイヤルを登録しておくと便利です。
4	ブロード ダイヤル	ワンタッチダイヤルキーに相手先の番号と、送受信機能（時刻指定送信やポーリング受信など）を登録しておくと、ワンタッチダイヤルキーを押すだけでその機能を実行できます。
5	イカツリウシ	相手先が登録済みのワンタッチダイヤルキーについて、一括送信設定（送信時刻）をし、複数の原稿をメモリに登録しておくと、指定した時刻にまとめて送信できます。
6	シンテン ボックス	本機で指定したボックスIDと相手先が送信してくれるボックスIDが一致したときのみ親展ボックスに受信できる「親展受信」を行う場合、あらかじめボックスIDを設定しておきます。
7	チュケイ ボックス	他のファクス（中継指示局）からの原稿をいったん本機（中継局）で受信し、本機から複数の相手先（受信局）に原稿を送信する場合、あらかじめ中継ボックスを設定しておきます。



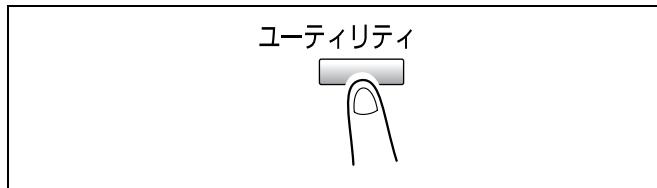
- ユーティリティはLSD (Local Setup Diagnostic) から設定を行うこともできます。設定できるのは、1～3の項目です。詳しくは「LSDについて」(p. 12-18)をご覧ください。
- オプションのネットワークカード NC-502 およびスキャナユニット SU-502 を装着すると、ネットワークツール PageScope Web Connection から設定を行うこともできます。設定できるのは、1～3の項目です。詳しくは、「PageScope Web Connectionについて」(p. 12-14)をご覧ください。

■ ファクス登録を選択する

1

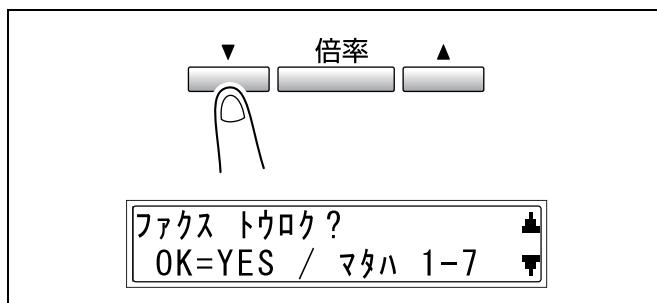
【ユーティリティ】を押します。

「ホンタイ セッティ？」が表示されます。



2

【▼】を6回押し、「ファクス トウロク？」を選択します。



3

テンキーの【1】～【7】を押し、ファクス登録メニューを選択します。

○ ファクス登録メニューは以下のとおりです。

- 1 ワンタッチ ダイヤル
- 2 タンショク ダイヤル
- 3 グループ ダイヤル
- 4 プログラム ダイヤル
- 5 イックツ ソウシン
- 6 シンテン ホックス
- 7 チュウケイ ホックス



ファクス登録の操作を途中で取りやめたいときは、
【No】を押します。「トウロク チュウケイ シマセ？」のメッセージ
が表示されたら、【Yes】を押すと、登録／変更／削除
の操作を中止できます。

■ ワンタッチダイヤルを登録する

ワンタッチダイヤルキーに相手先を登録しておくと、テンキーでファクス番号を入力しなくても簡単かつ正確に相手先を指定できます。

相手先は 27 局まで登録できます。

1

ファクス登録メニューを表示させます。

ファクス トウロク?
OK=YES / マタハ 1-7

2

テンキーの【1】を押し、「ワンタッチ ダイヤル」を選択します。

1 ワンタッチ ダイヤル

3

登録したいワンタッチダイヤルキーを押します。

トウロク スル キー ヲ センタクー

4

相手先名を入力します。

NAME=AAA TOKYO_
OK=YES [A]

5

【Yes】を押します。



ワンタッチダイヤルキーに登録した内容のリストをプリントできます。詳しくは、「レポート／リストの出力」(p. 6-31) をご覧ください。



「ファクス登録を選択する」(p. 9-4) をご覧ください。

9



文字列の入力方法については「文字の入力のしかた」(p. 3-20) をご覧ください。



相手先名は 20 衔まで入力できます。

6

テンキーで相手先のファクス番号を入力します。

■ 0123456_
SUB=▼ [1]

- SUB を入力する場合は手順 7 へ。
- SUB を入力しない場合は、ファクス番号を入力した後手順 9 へ。



ファクス番号は 30 衔まで入力できます。



- 文字列の入力方法については「文字の入力のしかた」(p. 3-20) をご覧ください。
- F コード (SUB、SID) については「F コード」(p. 7-2) をご覧ください。

7

【▼】を押しテンキーで SUB (サブアドレス) を入力します。

■ SUB=1234_
OK=YES (SID=▼)

- SID を入力する場合は手順 8 へ。
- SID を入力しない場合は手順 9 へ。



SUB は 20 衔まで入力できます。

8

【▼】を押し、テンキーで SID を入力します。

■ SID=5678_
OK=YES



SID は 20 衔まで入力できます。

9

【Yes】を押します。

10

【□◀】、【▶▷】で通信速度を選択します。

ツウシン ソクト^ド セッティ

*33.6 14.4 9.6
◀, ▶ & YES

11

【Yes】を押します。

設定内容が登録されます。引き続きワンタッチダイヤルに登録する場合は、手順3～11を繰り返します。

12

【No】を押して登録を終了します。

トウロク スル キー ヲ センタクー
(トウロクカンリョウ=NO)

ファクス登録メニューに戻ります。

9

■ ワンタッチダイヤルを変更／削除する

1

ファクス登録メニューを表示させます。

ファクス トウロク?
OK=YES / マタハ 1-7

2

テンキーの【1】を押し、「ワンタッチダイヤル」を選択します。

1 ワンタッチ ダイヤル

3

変更または削除したいワンタッチダイヤルキーを押します。

-トウロク スル キー ヲ センタク-

4

【No】を押します。

トウロクスミテス! ホジシマスカ?
OK=YES (エンシュウ/ケス=NO)

○ グループダイヤル、プログラムダイヤルが登録されているワンタッチダイヤルキーを指定した場合、以下のメッセージが表示されます。【No】を押すと登録内容が削除され、ファクス登録メニューに戻ります。

トウロクスミテス! グループ
ホジ=YES (ケス=NO)

トウロクスミテス! プログラム
ホジ=YES (ケス=NO)

ひとこと

一括送信が設定されているワンタッチダイヤルキーを変更した場合は、一括送信時刻の設定は無効になります。一括送信の設定をしなおしてください。



「ファクス登録を選択する」(p. 9-4) をご覧ください。



グループダイヤル、プログラムダイヤルの登録内容の変更のしかたについては「グループダイヤルを登録する」(p. 9-15)、「プログラムダイヤルを登録する」(p. 9-19) をご覧ください。

5

- 【**〔◀〕**、**〔▶〕**】で「ヘンシュウ」または「ショウキヨ」を選択し、【Yes】を押します。

*ヘンシュウ ショウキヨ
◀, ▶ & YES

- 「ヘンシュウ」を選択した場合、相手先名が表示されます。(手順 6 へ)
- 「ショウキヨ」を選択した場合、ワンタッチダイヤルキーの登録内容が削除され、ワンタッチダイヤルキー選択画面に戻ります。

詳しく説明します

- ・編集しようとしたワンタッチダイヤルキーが、グループダイヤル、プログラムダイヤル内で登録されている場合、グループダイヤル、プログラムダイヤル内の該当する登録を残すかどうか確認するメッセージが表示されます。
【Yes】を押すと、プログラムダイヤル、グループダイヤル内の該当する登録が変更されます。
【No】を押すと、プログラムダイヤル、グループダイヤル内の該当する登録は削除されます。
- ・削除したワンタッチダイヤルキーが、グループダイヤル、プログラムダイヤル内で登録されている場合、グループダイヤル、プログラムダイヤル内の該当する登録は自動的に削除されます。

6

相手先名、ファクス番号、Fコード (SUB、SID)、通信速度を変更します。

NAME=AAA TOKYO
OK=YES [A]

7

変更が終了したら【Yes】を押します。

引き続き他のワンタッチダイヤルキーを変更する場合は、手順 3 ~ 7 を繰り返します。

8

【No】を押します。

ートウロク スル キー ヲ センタクー
(トウロクカンリョウ=NO)

ファクス登録メニューに戻ります。

9

参照

- ・ファクス番号の変更のしかたについては「文字の入力のしかた」(p. 3-20)をご覧ください。
- ・Fコード (SUB、SID)、通信速度の変更のしかたについては「ワンタッチダイヤルを登録する」(p. 9-5) の手順 6 ~ 10をご覧ください。

■ 短縮ダイヤルを登録する

短縮ダイヤルに相手先を登録しておくと、テンキーでファクス番号を入力しなくても簡単かつ正確に相手先を指定できます。

相手先は 200 局 (001 ~ 200) まで登録できます。

1

ファクス登録メニューを表示させます。



「ファクス登録を選択する」
(p. 9-4) をご覧ください。

2

テンキーの【2】を押し、「タンショク ダ イヤル」を選択します。

3

テンキーで登録したい短縮番号 3 衔を入力します。
(例 : 011)

4

相手先名を入力します。



文字列の入力方法については
「文字の入力のしかた」
(p. 3-20) をご覧ください。



詳しく述べます
相手先名は 20 衔まで入力
できます。

5

【Yes】を押します。

6

テンキーで相手先のファクス番号を入力します。

【**0123456**】
SUB=▼ [1]



ファクス番号は 30 衝まで入力できます。



- 文字列の入力方法については「文字の入力のしかた」(p. 3-20)をご覧ください。
- F コード (SUB、SID) については、「F コード」(p. 7-2)をご覧ください。

7

【▼】を押し、テンキーで SUB (サブアドレス) を入力します。

SUB=1234_
OK=YES (SID=▼)



SUB は 20 衝まで入力できます。

8

【▼】を押し、テンキーで SID を入力します。

SID=5678_
OK=YES



SID は 20 衝まで入力できます。

9

【Yes】を押します。

10

【◀】、【▶】で通信速度を選択します。

ツウシン ソクト セッティ

*33.6 14.4 9.6
◀, ▶ & YES

9

11

【Yes】を押します。

設定内容が登録されます。
引き続き短縮ダイヤルに登録する場合は、手順 3 ~ 11
を繰り返します。

12

【No】を押して登録を終了します。

タンシュク タﾞ イヤル=_
(トウロクカンリョウ=NO)

ファクス登録メニューに戻ります。

■ 短縮ダイヤルを変更／削除する

1

ファクス登録メニューを表示させます。



「ファクス登録を選択する」
(p. 9-4) をご覧ください。

2

テンキーの【2】を押し、「タンシュク ダ イヤル」を選択します。

2 タンシュク ダ イヤル

3

テンキーで、変更または削除したい短縮番号を入力します。

タンシュク ダ イヤル=011

4

【No】を押します。

トウロクスミテス！ ホシシマスカ？
OK=YES (ヘンシュウ/ケス=NO)

9

5

【(◀)、(▶)】で「ヘンシュウ」または「ショウキヨ」を選択し、【Yes】を押します。

ヘンシュウ	ショウキヨ
◀, ▶ & YES	

- 「ヘンシュウ」を選択すると、相手先名が表示されます。(手順 6 へ)
- 「ショウキヨ」を選択すると、短縮番号の登録内容が削除され、短縮番号入力画面に戻ります。



• 編集しようとした短縮番号が、グループダイヤル、プログラムダイヤル内で登録されている場合、グループダイヤル、プログラムダイヤル内の該当する登録を残すかどうか確認するメッセージが表示されます。

【Yes】を押すと、プログラムダイヤル、グループダイヤル内の該当する登録が変更されます。

【No】を押すと、プログラムダイヤル、グループダイヤル内の該当する登録は削除されます。

• 削除した短縮番号が、グループダイヤル、プログラムダイヤル内で登録されている場合、グループダイヤル、プログラムダイヤル内の該当する登録は自動的に削除されます。

6

相手先名、ファクス番号、F コード (SUB、SID)、通信速度を変更します。

NAME=AAA TOKYO	
OK=YES	[A]



• 変更のしかたについては「文字の入力のしかた」(p. 3-20)をご覧ください。

• F コード (SUB、SID)、通信速度の変更のしかたについては「ワンタッチダイヤルを登録する」(p. 9-5) の手順 6 ~ 10 をご覧ください。

7

変更が終了したら【Yes】を押します。

引き続き他の短縮番号を変更する場合は、手順 3 ~ 7 を繰り返します。

8

【No】を押します。

タンシュク タﾞ イヤル=_ (トウロクカンリョウ=NO)

ファクス登録メニューに戻ります。

■ グループダイヤルを登録する

ひとつのワンタッチダイヤルキーに最大 50 局をグループとして登録できます。同じ原稿を複数の決まった相手先に頻繁に送信する場合にグループダイヤルを登録しておくと便利です。

1

ファクス登録メニューを表示させます。



「ファクス登録を選択する」(p. 9-4) をご覧ください。

2

テンキーの【3】を押し、「グループ ダイヤル」を選択します。

3 グループ ダイヤル

3

登録したいワンタッチダイヤルキーを押します。

トウロク スル キー ヲ センタキー

4

グループ名を入力し、【Yes】を押します。

グループ メイ=GROUP 1
OK=YES [A]



文字列の入力方法については「文字の入力のしかた」(p. 3-20) をご覧ください。



グループ名は 20 衔まで入力できます。



現在表示されている指定について取り消したいときは、【No】を押して指定しなおしてください。

5

ワンタッチダイヤルキー、短縮ダイヤルキーで相手先を指定します。

No. 001=ワンタッチ 01

9

6

【Yes】を押し、次の相手先を指定します。

No. 001=グ ルーフ° 1
OK=YES (カソリヨウ=スタート)

○ すべての相手先の指定が終わるまで、手順5～6を繰り返します。

詳しく説明します

- ひとつのグループダイヤルにつき 50 局まで登録できます。
- グループダイヤルの中に、グループダイヤルとして登録されているワンタッチダイヤルキーを指定できます。その場合、指定したワンタッチダイヤルキー（グループダイヤル）中に登録されている局数が追加されます。

7

相手先の指定が終了したら【スタート】を押します。

No. 005=_
(カソリヨウ=スタート)

設定内容が登録されます。引き続きグループダイヤルを登録する場合は、手順3～7を繰り返します。

8

【No】を押して登録を終了します。

一トウロク スル キー ヲ センタクー
(トウロクカソリヨウ=NO)

ファクス登録メニューに戻ります。

■ グループダイヤルを変更／削除する

1

ファクス登録メニューを表示させます。



「ファクス登録を選択する」
(p. 9-4) をご覧ください。

2

テンキーの【3】を押し、「グループ ダイヤル」を選択します。

3 グループ ダイヤル

3

変更または削除したいワンタッチダイヤルキーを押します。

トウロク スル キー ヲ センタクー

4

【No】を押します。

トウロクスミテス！ ホシシマスカ？
OK=YES (ヘンシュウ/ケス=NO)

5

【◀】、【▶】で「ヘンシュウ」または「ショウキヨ」を選択し、【Yes】を押します。

ヘンシュウ ショウキヨ
◀, ▶ & YES

- 「ヘンシュウ」を選択すると、グループ名が表示されます。(手順 6 へ)
- 「ショウキヨ」を選択すると、グループダイヤルの登録内容が削除され、ワンタッチダイヤルキー選択画面に戻ります。

9

6

グループ名を変更したい場合はグループ名を変更し、【Yes】を押します。

グループ メイ=AAA TOKYO	[A]
OK=YES	



文字列の変更のしかたについては「文字の入力のしかた」(p. 3-20)をご覧ください。

ワンタッチダイヤル名が登録番号順に表示されます。

7

表示中の登録内容を削除したいときは【No】を押します。

表示中の登録内容を残すときは【Yes】を押します。

No. 001=AAA TOKYO	
OK=YES	(ケス=NO)

次のワンタッチダイヤル名が表示されます。

8

変更が終了したら【スタート】を押します。

No. 005=_	
(カンリョウ=スタート)	

引き続き他のグループダイヤルを変更する場合は、手順3～8を繰り返します。

9

【No】を押します。

一トウロク スル キー ヲ センタクー	
(トウロクカンリョウ=NO)	

ファクス登録メニューに戻ります。

■ プログラムダイヤルを登録する

ワンタッチダイヤルキーに相手先の番号と、送受信機能を登録しておくと、ワンタッチダイヤルキーを押すだけでその機能を実行できます。

＜登録できる送受信機能＞

- 順次同報送信
- 時刻指定送信
- 親展送信
- ポーリング受信
- 中継指示送信

1

ファクス登録メニューを表示させます。

2

テンキーの【4】を押し、「フ ロ グ ラ ム ダ イ ャ ル」を選択します。

3

ワンタッチダイヤルキー【24】～【27】の中から登録したいキーを押します。



「ファクス登録を選択する」
(p. 9-4) をご覧ください。

9

4

テンキーの【1】～【3】、【6】、【7】を押し、機能を選択します。

キノウ センタク
キノウキ- 1/2/3/6/7

○ 選択できる機能：

- 1 ジュンジ ドウホウ
- 2 ジコク テイツウシ
- 3 シンテン ツウシ
- 6 ポーリング ジュシ
- 7 チュウケイ ジツウシ

5

各機能の設定手順にしたがって操作します。

- 「複数の宛先を指定する（順次同報送信）」(p. 6-20)
- 「時刻を指定して送信する」(p. 6-35)
- 「親展送信」(p. 7-6)
- 「中継指示送信」(p. 7-16)
- 「ポーリング受信」(p. 7-13)

設定内容が登録されます。

6

引き続きプログラムダイヤルを登録する場合は、手順3～5を繰り返します。

7

【No】を押して登録を終了します。

トウロク スル キー ヲ センタク
(トウロクカンリョウ=NO)

ファクス登録メニューに戻ります。

■ 順次同報送信プログラムを変更／削除する

1

ファクス登録メニューを表示させます。

Fax Tukuro?
OK=YES / Mataha 1-7

2

テンキーの【4】を押し、「フロログラムダイヤル」を選択します。

4 フロログラムダイヤル

3

ワンタッチダイヤルキー【24】～【27】の中から、変更または削除したい順次同報送信プログラムが登録されているキーを押します。

-Tukuro! Suru Keyo Sentaku

4

【No】を押します。

トロクスミテス! ホシシマスカ?
OK=YES (エンシュウ/ケス=NO)

5

【◀】、【▶】で「エンシュウ」または「ショウキヨ」を選択し、【Yes】を押します。

*エンシュウ ショウキヨ
◀, ▶ & YES

- 「エンシュウ」を選択すると、登録されている相手先が順番に表示されます。(手順 6 へ)
- 「ショウキヨ」を選択すると、プログラムダイヤルの登録内容が削除され、ワンタッチダイヤルキー選択画面に戻ります。



「ファクス登録を選択する」
(p. 9-4) をご覧ください。

9

6

表示中の相手先を削除したいときは【No】を押します。

表示中の相手先を残すときは【Yes】を押します。

No. 001=AAA TOKYO
OK=YES (ケス=NO)

次の相手先が表示されます。

7

変更が終了したら【スタート】を押します。

No. 005=_
カソリヨウ=スタート [1]

引き続き他のプログラムダイヤルを登録／変更できます。

8

相手先を確認するときは、【Yes】を押します。

アイテサキ ヲ カクニン シマスカ？
OK=YES (カソリヨウ=スタート)

- 相手先を確認したあとは、【スタート】を押してください。
- 相手先を確認しないときは、【スタート】を押してください。

9

【No】を押します。

一トウロク スル キー ヲ センタクー
(トウロクカソリヨウ=NO)

ファクス登録メニューに戻ります。

■ 時刻指定送信プログラムを変更／削除する

1

ファクス登録メニューを表示させます。



「ファクス登録を選択する」
(p. 9-4) をご覧ください。

ファクス トウロク?
OK=YES / マタハ 1-7

2

テンキーの【4】を押し、「フロログラムダイヤル」を選択します。

4 フロログラムダイヤル

3

ワンタッチダイヤルキー【24】～【27】の中から、変更または削除したい時刻指定送信プログラムが登録されているキーを押します。

トウロクスルキー ニ センタク

4

【No】を押します。

トウロクスミテス! ホシシマスカ?
OK=YES (ヘンシュウ/ケス=NO)

5

【◀】、【▶】で「ヘンシュウ」または「ショウキヨ」を選択し、【Yes】を押します。

*ヘンシュウ ショウキヨ
◀, ▶ & YES

- 「ヘンシュウ」を選択すると、登録されている送信指定時刻が表示されます。(手順 6 へ)
- 「ショウキヨ」を選択すると、プログラムダイヤルの登録内容が削除され、ワンタッチダイヤルキー選択画面に戻ります。

9

6

送信指定時刻を変更するときは【No】を押し、テンキーで時刻を入力しなおします。

タイマー=21:00
OK=YES (ケス=NO)

○ 送信指定時刻を変更しないときは【Yes】を押します。

相手先が表示されます。

7

相手先を変更するときは【No】を押し、ワンタッチダイヤルキー、短縮ダイヤル、ダイヤル入力により指定しなおします。

番号=0123456
OK=YES (ケス=NO)



必要に応じて、Fコード(SUB、SID)を入力します。詳しくは、「Fコード」(p. 7-2)をご覧ください。

8

【Yes】を押します。

引き続き他のプログラムダイヤルを登録／変更できます。

9

【No】を押します。

一トウロク スル キー ヲ センタクー
(トウロクカンリョウ=NO)

ファクス登録メニューに戻ります。

■ 親展送信プログラムを変更／削除する

1

ファクス登録メニューを表示させます。



「ファクス登録を選択する」
(p. 9-4) をご覧ください。

ファクス トウロク?
OK=YES / マタハ 1-7

2

テンキーの【4】を押し、「フログラムダイヤル」を選択します。

4 フログラムダイヤル

3

ワンタッチダイヤルキー【24】～【27】の中から、変更または削除したい親展送信プログラムが登録されているキーを押します。

トウロクスルキー ニ センタク

4

【No】を押します。

トウロクスミテス! ホシシマスカ?
OK=YES (ヘンシュウ/ケス=NO)

5

【◀】、【▶】で「ヘンシュウ」または「ショウキヨ」を選択し、【Yes】を押します。

*ヘンシュウ ショウキヨ
◀, ▶ & YES

- 「ヘンシュウ」を選択すると、登録されている相手先が表示されます。(手順 6 へ)
- 「ショウキヨ」を選択すると、プログラムダイヤルの登録内容が削除され、ワンタッチダイヤルキー選択画面に戻ります。

9

6

相手先を変更するときは【No】を押し、ワンタッチダイヤルキー、短縮ダイヤル、ダイヤル入力により指定しなおします。

番=0123456
OK=YES (ケス=NO)

7

【Yes】を押します。

ボックス ID が表示されます。

8

ボックス ID を変更するときは【No】を押し、テンキーでボックス ID を入力しなおします。

ボックス ID=1234
OK=YES (ケス=NO)

9

【Yes】を押します。

パスワードが表示されます。

10

パスワードを変更するときは【No】を押し、テンキーでパスワードを入力しなおします。

ハ°スワード°=5678
OK=YES (ケス=NO)

11

【Yes】を押します。

引き続き他のプログラムダイヤルを登録／変更できます。

12

【No】を押します。

ートウロク スル キー ヲ センタクー
(トウロクカンリョウ=NO)

ファクス登録メニューに戻ります。

■ ポーリング受信プログラムを変更／削除する

1

ファクス登録メニューを表示させます。

ファクス トウロク?
OK=YES / マタハ 1-7

2

テンキーの【4】を押し、「フログラムダイヤル」を選択します。

4 フログラムダイヤル

3

ワンタッチダイヤルキー【24】～【27】の中から、変更または削除したいポーリング受信プログラムが登録されているキーを押します。

トウロク スル キー ノ センタク

4

【No】を押します。

トウロクスミテス! ホシシマスカ?
OK=YES (エンシュウ/ケス=NO)

5

【◀】、【▶】で「エンシュウ」または「ショウキヨ」を選択し、【Yes】を押します。

*エンシュウ ショウキヨ
◀, ▶ & YES

- 「エンシュウ」を選択すると、登録されている相手先が順番に表示されます。(手順 6 へ)
- 「ショウキヨ」を選択すると、プログラムダイヤルの登録内容が削除され、ワンタッチダイヤルキー選択画面に戻ります。



「ファクス登録を選択する」
(p. 9-4) をご覧ください。

9

6

表示中の相手先を削除したいときは【No】を押します。

表示中の相手先を残すときは【Yes】を押します。

詳しく説明します

相手先を追加するには、「カソリヨウニスタート」が表示されている画面にてワンタッヂダイヤルキー、短縮ダイヤル、ダイヤル入力により相手先を指定します。

No. 001=AAA TOKYO
OK=YES (ケス=NO)

次の相手先が表示されます。

7

変更が終了したら【スタート】を押します。

No. 005=_
(カソリヨウニスタート)

引き続き他のプログラムダイヤルを登録／変更できます。

8

相手先を確認するときは、【Yes】を押します。

アイテサキ ヲ カクニン シマスカ?
OK=YES (カソリヨウニスタート)

- 相手先を確認したあとは、【スタート】を押してください。
- 相手先を確認しないときは、【スタート】を押してください。

9

【No】を押します。

一トウロク スル キー ヲ センタクー
(トウロクカソリヨウ=NO)

ファクス登録メニューに戻ります。

■ 中継指示送信プログラムを変更／削除する

1

ファクス登録メニューを表示させます。

Fax Tukuro?
OK=YES / Mataha 1-7

2

テンキーの【4】を押し、「フログラムダイヤル」を選択します。

4 フログラムダイヤル

3

ワンタッチダイヤルキー【24】～【27】の中から、変更または削除したい中継指示送信プログラムが登録されているキーを押します。

-Tukuro! Suru Keyo Sentaku-

4

【No】を押します。

トロクスミテス! ホシシマスカ?
OK=YES (エンシュウ/ケス=NO)

5

【◀】、【▶】で「エンシュウ」または「ショウキヨ」を選択し、【Yes】を押します。

*エンシュウ ショウキヨ
◀, ▶ & YES

- 「エンシュウ」を選択すると、登録されている相手先が表示されます。(手順 6 へ)
- 「ショウキヨ」を選択すると、プログラムダイヤルの登録内容が削除され、ワンタッチダイヤルキー選択画面に戻ります。



「ファクス登録を選択する」
(p. 9-4) をご覧ください。

9

6

相手先を変更するときは【No】を押し、ワンタッチダイヤルキー、短縮ダイヤル、ダイヤル入力により指定しなおします。

■=0123456
OK=YES (ケス=NO)

7

【Yes】を押します。

中継ボックス ID が表示されます。

8

中継ボックス ID を変更するときは【No】を押し、テンキーでボックス ID を入力しなおします。

チュウケイ ボックス ID=1234
OK=YES (ケス=NO)

9

【Yes】を押します。

パスワードが表示されます。

10

パスワードを変更するときは【No】を押し、テンキーでパスワードを入力しなおします。

ハ°スワード°=5678
OK=YES (ケス=NO)

11

【Yes】を押します。

引き続き他のプログラムダイヤルを登録／変更できます。

12

【No】を押します。

ートウロク スル キー ヲ センタクー
(トウロクカンリョウ=NO)

ファクス登録メニューに戻ります。

■ 一括送信の登録をする

相手先が登録済みのワンタッチダイヤルキーについて、一括送信設定（送信時刻）をし、複数の原稿をメモリに登録しておくと、指定した時刻にまとめて送信できます。

1

ファクス登録メニューを表示させます。

ファクス トウロク?
OK=YES / マタハ 1-7

2

テンキーの【5】を押し、「イッカツ ソウシン」を選択します。

5 イッカツ ソウシン

3

送信したい相手先が登録されているワンタッチダイヤルキーを押します。

トウロク スル キー ヲ センタクー

送信時刻を指定する画面が表示されます。

ひとこと

あらかじめ一括送信する相手先のファクス番号をワンタッチダイヤルキーに登録しておいてください。



「ファクス登録を選択する」(p. 9-4) をご覧ください。

9

- グループダイヤルやプログラムダイヤルが登録されているワンタッチダイヤルキー、または何も登録されていないワンタッチダイヤルキーを押すと、エラーメッセージが表示されます。

トウロクスミテス！ グループ

トウロクスミテス！ プログラム

トウロク サレティマセン！

ファクスナンバー-テハ アリマセン

4

テンキーで送信したい時刻を入力し、【Yes】を押します。

ソウシン ジコク=15:30
OK=YES

5

【No】を押します。

-トウロク スル キーヲ センタク-
(トウロクカンリョウ=NO)

ファクス登録メニューに戻ります。

■ 一括送信設定を変更する

1

ファクス登録メニューを表示させます。



「ファクス登録を選択する」
(p. 9-4) をご覧ください。

2

テンキーの【5】を押し、「イッカツ ソウシン」を選択します。

5 イッカツ ソウシン

3

変更したい一括送信設定が登録されているワンタッチダイヤルキーを押します。

ートロク スル キー ヲ センタクー

4

【No】を押し、テンキーで送信時刻を入力しなおします。

ソウシン シ ヲク = 15:30
OK=YES (ケス=NO)

5

変更が終了したら【Yes】を押します。

ソウシン シ ヲク = 06:00
OK=YES (ケス=NO)

6

【No】を押します。

ートロク スル キー ヲ センタクー
(トロクカンリョウ=NO)

ファクス登録メニューに戻ります。

9

■ 一括送信設定を削除する

1

ファクス登録メニューを表示させます。

Fax トウロク?
OK=YES / マタハ 1-7



「ファクス登録を選択する」
(p. 9-4) をご覧ください。

2

テンキーの【5】を押し、「イッカツ ソウシン」を選択します。

5 イッカツ ソウシン

3

削除したい一括送信設定が登録されているワンタッチダイヤルキーを押しします。

トウロク スル キー ヲ センタク-

4

【No】を押します。

ソウシン ジ コク=15:30
OK=YES (ケス=NO)

一括送信設定を削除するかどうかの確認画面が表示されます。

5

【Yes】を押します。

ソウシン ジ コク=_ :
セッティ キャンセル=YES

ワンタッチダイヤルキー選択画面に戻ります。

■ 親展ボックスの登録をする

本機で指定したボックス ID と相手先が送信してくるボックス ID が一致したときのみ親展ボックスに受信できる「親展受信」を行う場合、あらかじめボックス ID を設定しておきます。

1

ファクス登録メニューを表示させます。

ファクス トウロウ?
OK=YES / マタハ 1-7

2

テンキーの【6】を押し、「シンテン ボックス」を選択します。

6 シンテン ボックス

3

テンキーで親展ボックス番号を指定します。

ボックス No.=
1-5 カラ センタク

4

テンキーでボックス ID (4 衍) を入力し、【Yes】を押します。

ボックス 5 ID=1234
OK=YES

ひとこと

親展ボックス ID と中継ボックス ID で同じ値を登録することはできません。



「ファクス登録を選択する」(p. 9-4) をご覧ください。

9

ひとこと

親展ボックス番号は、1 ~ 5 のいずれかを指定します。



- ボックス ID は、0000 ~ 9999 の範囲で指定できます。
- ボックス ID を訂正したい場合は、【No】を押して入力しなおします。

5

テンキーでパスワード（4桁）を入力し、【Yes】を押します。

ハ°スワード° =5678
OK=YES

○ パスワードを登録しない場合は、何も入力せずに【Yes】を押します。

ファクス登録メニューに戻ります。

詳しく説明します

- パスワードは、0000～9999の範囲で指定できます。
- パスワードを訂正したい場合は、【No】を押して入力しなおします。

■ 親展ボックスの設定を削除する

1

ファクス登録メニューを表示させます。



「ファクス登録を選択する」
(p. 9-4) をご覧ください。

2

テンキーの【6】を押し、「シンテン ボックス」を選択します。

6 シンテン ボックス

3

テンキーで削除したい親展ボックス番号を指定します。

ボックス No. =
1-5 カラ センタク

4

【No】を押します。

トロクス ミテス！ ホジシマスカ？
ホジ =YES (ケス =NO)

ボックス ID を入力する画面が表示されます。

5

テンキーで登録されているボックス ID (4桁) を入力し、【Yes】を押します。

ボックス5 ID=1234
OK=YES

指定した親展ボックスが削除されます。

9



数値を訂正するときは、
【No】を押して入力しなおします。

6

【リセット】を押します。

ホ^ー ックス No. =
1-5 カラ センタク

基本画面に戻ります。

■ 中継ボックスの登録をする

他のファクス（中継指示局）からの原稿を、本機が中継局として受信し、複数の相手先（受信局）にその原稿を送信する場合、あらかじめ中継ボックス IDなどを設定しておきます。

1

ファクス登録メニューを表示させます。

ファクス トウロク?
OK=YES / マタハ 1-7

2

テンキーの【7】を押し、「チュウケイ ボックス」を選択します。

7 チュウケイ ボックス

3

テンキーで中継ボックス番号を指定します。

チュウケイ ボックス No. =
0-9 カラ センタク

ひとこと

- 中継ボックス ID と親展ボックス ID で同じ値を登録することはできません。
- 本機（中継局）から中継結果レポートを返信するように指定することができます。返信先には、中継指示局（あるいは他の送信先）のファクス番号をワンタッチダイヤルキー、短縮番号、ダイヤル入力で指定できます。相手先をワンタッチダイヤルキー、または短縮番号で指定する場合は、あらかじめ、返信先のファクス番号をワンタッチダイヤルキー、または短縮番号に登録しておいてください。



「ファクス登録を選択する」
(p. 9-4) をご覧ください。

9

ひとこと

中継ボックス番号は、0 ~ 9 のいずれかを指定します。

4

テンキーで中継ボックス ID (4 桁) を入力し、【Yes】を押します。

チュウケイ ホーックス 5 ID=1234
OK=YES



- 中継ボックス ID は、0000～9999 の範囲で指定できます。
- 中継ボックス ID を訂正したい場合は、【No】を押して入力しなおします。

5

テンキーでパスワード (4 桁) を入力し、【Yes】を押します。

ハーッワード =5678
OK=YES



- パスワードは、0000～9999 の範囲で指定できます。
- パスワードを訂正したい場合は、【No】を押して入力しなおします。

6

中継結果レポートを返信する場合は、返信先が登録されているワンタッチダイヤルキー、または短縮番号を指定し、【Yes】を押します。

レホーット=タンシュク 001
OK=YES

レホーット=AAA OSAKA
OK=YES

受信局を指定する画面が表示されます。

7

ワンタッチダイヤルキー、短縮ダイヤル、ダイヤル入力により受信局を指定し、【Yes】を押します。

No. 001=ワンタッチ 01

No. 001=AAA TOKYO
OK=YES (カンリョウ=スタート)

詳しく説明します

- 現在表示されている相手先を取り消したい場合は【No】を押します。

○ 受信局として 50 まで相手先を指定できます。すべての受信局を指定し終わるまで、この手順を繰り返します。

8

すべての受信局の指定が終わったら、【スタート】を押します。

No. 005=_
(カンリョウ=スタート)

ファクス登録メニューに戻ります。

9

■ 中継ボックス設定を削除する

1

ファクス登録メニューを表示させます。

Fax トウロク?
OK=YES / マタハ 1-7



「ファクス登録を選択する」
(p. 9-4) をご覧ください。

2

テンキーの【7】を押し、「チュウケイ ボックス」を選択します。

7 チュウケイ ボックス

3

テンキーで削除したい中継ボックス番号を指定します。

チュウケイ ボックス No.=
0-9 カラ センタク

4

【No】を押します。

トウロクスミテス! ホジシマスカ?
ホジ=YES (ケス=NO)

指定した中継ボックスが削除されます。

引き続き他の中継ボックス番号を削除したい場合は、
手順 3～4 を繰り返します。

5

【リセット】を押します。

チュウケイ ボックス No.=
0-9 カラ センタク

基本画面に戻ります。

9.3 送信設定

ファクス通信でのいろいろな送信機能の設定ができます。

＜送信設定の項目＞

No.	ソウシン セッティ	内容
1	ヨミトリ ノド	原稿を読み取るときの濃度設定の初期値を、「ウスケ」～「コク」の5段階から選択できます。用紙の色（下地）が濃いときは「ウスケ」側に、文字が薄いときや文字に色がついているときは「コク」側に調整してください。
2	ガシツ	原稿を読み取るときの画質（解像度）設定の初期値を、「STD（スタンダード）」、「FINE（ファイン）」、「SF（スーパーファイン）」、「シャシン（ハーフトーン）+ STD（スタンダード）」、「シャシン（ハーフトーン）+ FINE（ファイン）」、「シャシン（ハーフトーン）+ SF（スーパーファイン）」の中から選択できます。 <ul style="list-style-type: none">工場出荷時の設定は「STD（スタンダード）」です。
3	ユウセン ソウシン モード	送信のしかたの初期値を、「メモリソウシン」、「ソクジソウシン」から選択できます。 <ul style="list-style-type: none">工場出荷時の設定は「メモリソウシン」です。
4	ヘッダー	送信時にヘッダー（送信日時、発信元名称、発信元ファクス番号など）を付けるかどうかの初期値を、「ON」、「OFF」から選択できます。 <ul style="list-style-type: none">工場出荷時の設定は「ON」です。



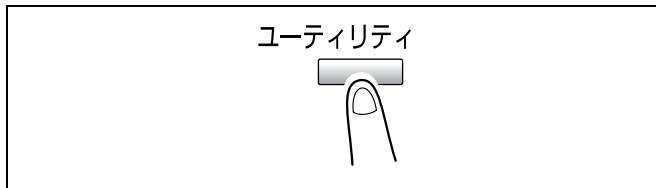
- ユーティリティはLSD (Local Setup Diagnostic) から設定を行うこともできます。詳しくは「LSDについて」(p. 12-18)をご覧ください。
- オプションのネットワークカード NC-502 およびスキャナユニット SU-502 を装着すると、ネットワークツール PageScope Web Connection から設定を行うこともできます。詳しくは、「PageScope Web Connectionについて」(p. 12-14)をご覧ください。

■ 送信設定メニューを選択する

1

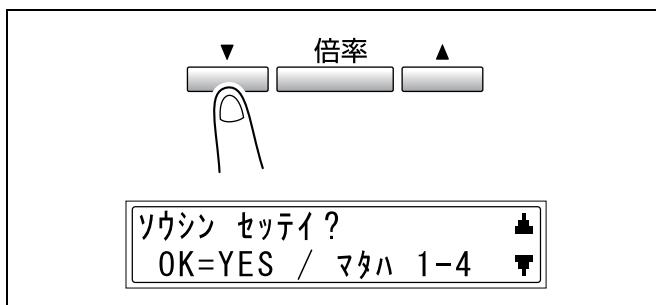
【ユーティリティ】を押します。

「ホンタイ セッティ？」が表示されます。



2

【▼】を7回押し、「ソウシン セッティ？」を選択します。



3

テンキーの【1】～【4】を押し、送信設定メニューを選択します。

○ 送信設定メニューは以下のとおりです。

- 1 ヨミトリ ノウド
- 2 ガシツ
- 3 ユウセン ソウシン モード
- 4 ヘッタ

詳しく説明します

送信設定の操作を途中で取りやめたいときは、【No】を押します。「セッティヲ チュウジマズ？」のメッセージが表示されたら、【Yes】を押すと、登録／変更の操作を中止できます。

■ 読み取り濃度を設定する

1

送信設定メニューを表示させます。

リウシン セッティ?
OK=YES / マタハ 1-4

2

テンキーの【1】を押し、「ヨミトリ ノウト」を選択します。

1 ヨミトリ ノウト

3

【D◀】、【▶D】で「ウスク」～「コク」の間 5 段階から選択し、【Yes】を押します。

ウスク D □ □ □ □ □ コク
◀, ▶ & YES

送信設定メニューに戻ります。



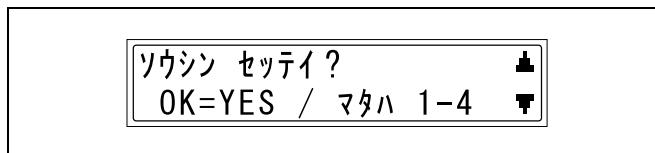
「送信設定メニューを選択する」(p. 9-44) をご覧ください。

9

■ 画質を設定する

1

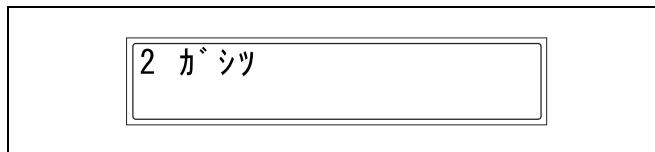
送信設定メニューを表示させます。



「送信設定メニューを選択する」(p. 9-44) をご覧ください。

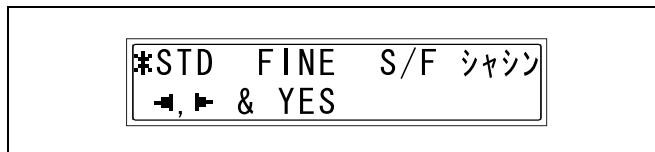
2

テンキーの【2】を押し、「ガシツ」を選択します。



3

【(◀)】、【(▶)】で解像度を選択し、【Yes】を押します。



- 画質の種類は、以下のように表示されます。
 - STD: スタンダード
 - FINE: ファイン
 - S/F: スーパーファイン
 - シャシン: ハーフトーン
- 「シャシン」を選択すると、詳細を設定する画面が表示されます。(手順 4 へ)
- 「シャシン」以外を選択すると、送信設定メニューに戻ります。

4

【**◀**】、【**▶**】でハーフトーンの設定を選択し、
【**Yes**】を押します。

*STD	FINE	S. FINE
◀, ▶	&	YES

○ ハーフトーンの種類は、以下のように表示されます。

STD: スタンダード

FINE: フайн

S. FINE: スーパーフайн

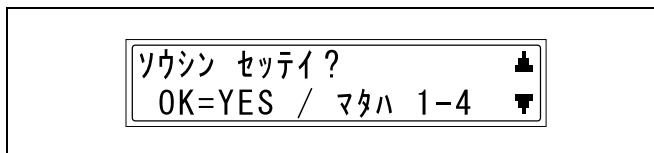
送信設定メニューに戻ります。

9

■ 優先送信モードを設定する

1

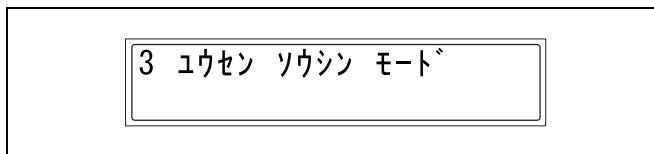
送信設定メニューを表示させます。



「送信設定メニューを選択する」(p. 9-44) をご覧ください。

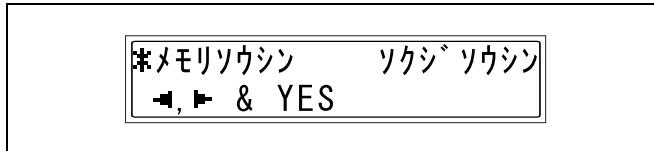
2

テンキーの【3】を押し、「ユウセン ソウシン モード」を選択します。



3

【□◀】、【▶▶】で「メモリソウシン」または「ソクシソウシン」を選択し、【Yes】を押します。



送信設定メニューに戻ります。

■ ヘッダープリントを設定する

1

送信設定メニューを表示させます。

2

テンキーの【4】を押し、「ヘッダー」を選択します。

3

【(◀)、(▶)】で「ON」または「OFF」を選択し、
【Yes】を押します。

送信設定メニューに戻ります。



「送信設定メニューを選択する」(p. 9-44) をご覧ください。

9

9.4 受信設定

ファクス通信でのいろいろな受信機能の設定ができます。

〈受信設定の項目〉

No.	ファクス トウロウ	内容
1	メモリ ジュシソ モード	<p>メモリ受信をする（「ON」）かしない（「OFF」）かを選択できます。他の人に見られたくない文書などがある場合は、受信した文書をいったんメモリに保管し、メモリ受信設定を「OFF」にしたとき、または指定した時刻にプリントできます。</p> <p>メモリ受信の開始時刻、終了時刻、解除のためのパスワードを設定します。開始時刻、終了時刻の設定は、メモリ受信モードを解除するまで毎日有効となります。</p> <ul style="list-style-type: none">工場出荷時の設定は「OFF」です。
2	ヨピタシ カイスカ	何回着信音が鳴ってから自動着信するかを1回～16回の間で設定できます。
3	シュクショウ プリント	<p>記録紙のサイズより長い文書を受信した場合のプリント処理を、縮小する（「ON」）、分割する（「OFF」）、切り捨てる（「カット」）から選択できます。「カット」は最大24mmカットされます。ただし、24mm以上長い文章が送信された場合は、「カット」の設定は適用されません。この場合、文書は分割されます。</p> <ul style="list-style-type: none">工場出荷時の設定は「ON」です。
4	ジュシソ プリント	<p>受信時に、すべての原稿の受信を完了した後にプリントを開始する（「ジュシソ」）か、1枚目の原稿を受信した時点でプリントを開始する（「ジュシソチウ」）かを選択できます。</p> <ul style="list-style-type: none">工場出荷時の設定は「ジュシソ」です。
5	ジュシソ モード	<p>自動着信する（「ゾドウ」）か手動受信する（「シドウ」）かを選択できます。</p> <p>自動着信：設定された回数着信音が鳴ってから自動的に受信動作が開始されます。</p> <p>手動受信：着信音が鳴っても自動的にファクスには切替わりません。外付け電話機の受話器をあげる、または【オンフック】を押すと回線がつながり、【スタート】を押すと受信動作が開始されます。</p> <ul style="list-style-type: none">工場出荷時の設定は「ゾドウ」です。



- ユーティリティは LSD (Local Setup Diagnostic) から設定を行うこともできます。設定できるのは、1～3の項目です。詳しくは「LSDについて」(p. 12-18)をご覧ください。
- オプションのネットワークカード NC-502 およびスキャナユニット SU-502 を装着すると、ネットワークツール PageScope Web Connection から設定を行うこともできます。設定できるのは、1～3の項目です。詳しくは、「PageScope Web Connectionについて」(p. 12-14)をご覧ください。

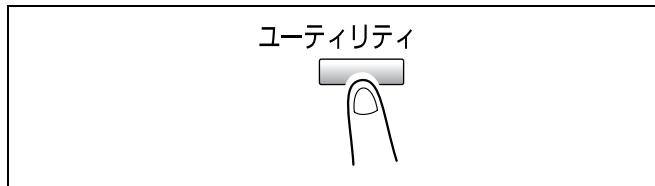
No.	ファクス トウロウ	内容
6	テンソウ	<p>受信した原稿を転送するかどうかを選択できます。</p> <p>転送する（「ON」）：受信した原稿を指定したファクス番号、Eメールアドレスに転送します。</p> <p>転送＆プリント（「ON（プリント）」）：受信した原稿を指定したファクス番号、Eメールアドレスに転送すると同時に、本機でプリントします。</p> <p>転送しない（「OFF」）：転送しません。</p> <ul style="list-style-type: none"> 工場出荷時の設定は「OFF」です。 <p>※ Eメールアドレスへ転送するには、オプションのスキャナユニット SU-502 が必要です。</p>
7	フッター	<p>受信した原稿の後端に、着信情報（受信日時、ページ数など）をプリントするかしないかを選択できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 工場出荷時の設定は「OFF」です。
8	トレイ セッティ	<p>受信原稿をプリントするときや、通信レポートをプリントするときに給紙可能なトレイを選択できます。（給紙を禁止するトレイを指定することができます。）</p>
9	クローズド ネットワーク	<p>発信元ファクス番号が本機のワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルで登録されているファクス番号ではない場合に、ファクスを受信するかしないかを選択できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 工場出荷時の設定は「OFF」です。
0	テンソウ ジュン	<p>外付け電話機のダイヤルから電話を切らずにファクス受信するかしないかを選択できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 工場出荷時の設定は「OFF」です。

■ 受信設定メニューを選択する

1

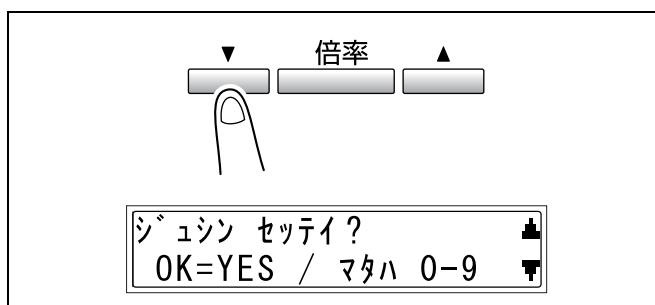
【ユーティリティ】を押します。

「ホンタイ セッティ？」が表示されます。



2

【▼】を8回押し、「ジュシン セッティ？」を選択します。



3

テンキーの【0】～【9】を押し、受信設定メニューを選択します。

○ 受信設定メニューは以下のとおりです。

- 1 メモリ ジュシン モード
- 2 ヨビダシ カイスウ
- 3 シュクショウ プリント
- 4 ジュシン プリント
- 5 ジュシン モード
- 6 テンソウ
- 7 フッター
- 8 トレイ セッティ
- 9 クローズド ネットワーク
- 0 テンソウ ジュシン

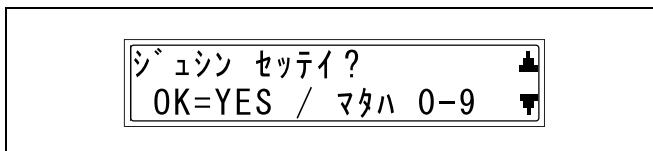


- 受信設定の操作を途中で取りやめたいときは、【No】を押します。「セッティ ヲ チュウシ シマカ？」のメッセージが表示されたら、【Yes】を押すと、登録／変更の操作を中止できます。
- 受信設定メニューを終了するときは、【リセット】を押します。基本画面に戻ります。

■ メモリ受信モードを設定する

1

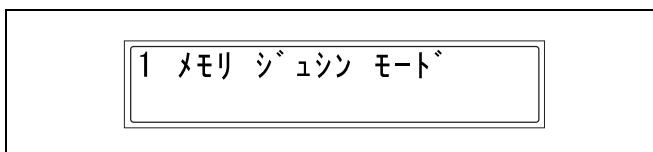
受信設定メニューを表示させます。



リュシン セッティ ?
OK=YES / マタハ 0-9

2

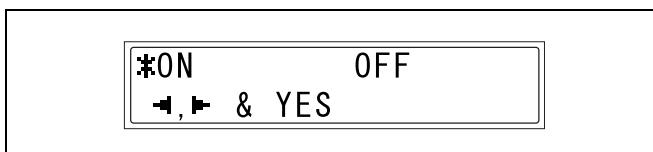
テンキーの【1】を押し、「メモリ リュシン モード」を選択します。



1 メモリ リュシン モード

3

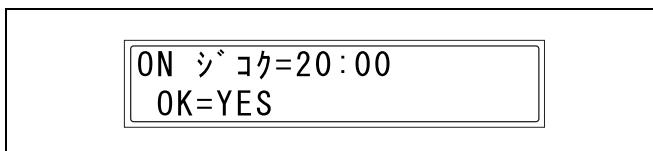
【◀】、【▶】で「ON」を選択し、【Yes】を押します。



*ON OFF
◀, ▶ & YES

4

テンキーでメモリ受信開始時刻を入力し、【Yes】を押します。

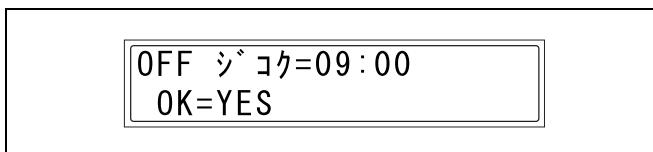


ON シコク=20:00
OK=YES

○「ON」に設定した時点から手動で解除するまでメモリ受信をする場合は、開始時刻を入力しないで【Yes】を押します。(手順 6 へ)

5

テンキーでメモリ受信終了時刻を入力し、【Yes】を押します。



OFF シコク=09:00
OK=YES



「受信設定メニューを選択する」(p. 9-52) をご覧ください。

9

6

メモリ受信を解除するときのパスワード（4桁）をテンキーで指定し、【Yes】を押します。

ハ°スワート° =5678
OK=YES

○ パスワードを設定しないときは、何も入力せずに【Yes】を押します。

受信設定メニューに戻ります。

■ メモリ受信モードを解除する

メモリ受信モードは終了時刻になると自動的に解除され、受信原稿がプリントされます。終了時刻が設定されていない場合や、終了時刻以前に解除したい場合は、以下の手順で解除します。

1

受信設定メニューを表示させます。

2

テンキーの【1】を押し、「メモリ ジュシン モード」を選択します。

3

【 \leftarrow 】、【 \rightarrow 】で「OFF」を選択し、【Yes】を押します。

- パスワードが設定されているときは、手順4へ。
- パスワードが設定されていないときは、メモリ内の受信原稿がプリントされ、受信設定メニューに戻ります。

4

テンキーでパスワード（4桁）を入力し、【Yes】を押します。

メモリ内の受信原稿がプリントされ、受信設定メニューに戻ります。



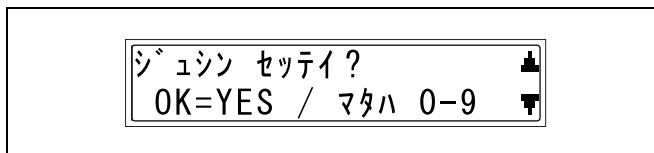
「受信設定メニューを選択する」(p. 9-52) をご覧ください。

9

■呼び出し回数を設定する

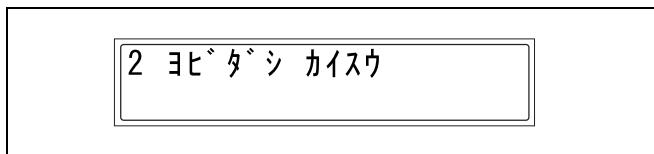
1

受信設定メニューを表示させます。



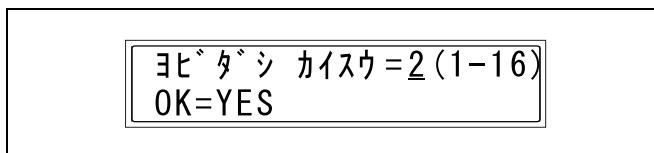
2

テンキーの【2】を押し、「ヨビダシ カイスウ」を選択します。



3

テンキーで呼び出し回数を入力し、【Yes】を押します。



受信設定メニューに戻ります。



「受信設定メニューを選択する」(p. 9-52) をご覧ください。

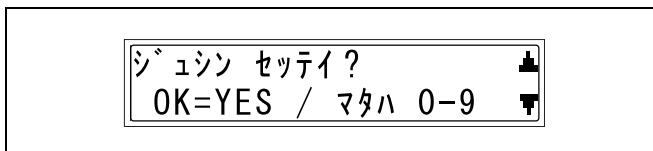


呼び出し回数は1回～16回の範囲で設定します。

■ 縮小プリントを設定する

1

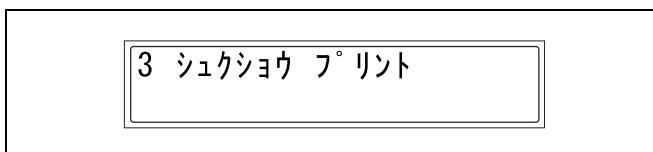
受信設定メニューを表示させます。



ジ ュシン セッティ ?
OK=YES / マタハ 0-9

2

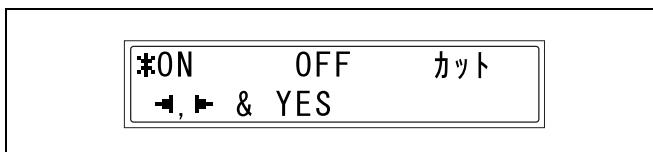
テンキーの【3】を押し、「シュクショウ プリント」を選択します。



3 シュクショウ プリント

3

【◀】、【▶】で「ON」(縮小する)、「OFF」(分割する)、「カット」(切り捨てる)のいずれかを選択し、【Yes】を押します。



*ON OFF カット
◀, ▶ & YES

受信設定メニューに戻ります。



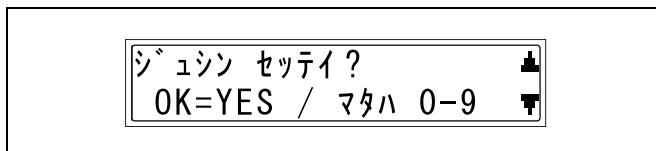
「受信設定メニューを選択する」(p. 9-52) をご覧ください。

9

■ 受信プリント設定を指定する

1

受信設定メニューを表示させます。



ジ ュシン セッティ?
OK=YES / マタハ 0-9



「受信設定メニューを選択する」(p. 9-52) をご覧ください。

2

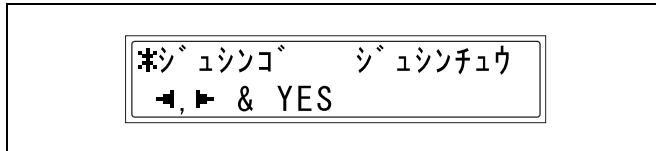
テンキーの【4】を押し、「ジ ュシン プ リント」を選択します。



4 ジ ュシン プ リント

3

【□◀】、【▶□】で「ジ ュシンコ」または「ジ ュシンチュウ」を選択し、【Yes】を押します。



*ジ ュシンコ ジ ュシンチュウ
◀, ▶ & YES

受信設定メニューに戻ります。

■ 受信モードを設定する

1

受信設定メニューを表示させます。

2

テンキーの【5】を押し、「ジ ュシン モード」を選択します。

3

【□◀】、【▶□】で「ジドウ」または「シドウ」を選択し、【Yes】を押します。

受信設定メニューに戻ります。



「受信設定メニューを選択する」(p. 9-52) をご覧ください。

9

■ 転送設定を指定する

1

受信設定メニューを表示させます。



「受信設定メニューを選択する」(p. 9-52) をご覧ください。

2

テンキーの【6】を押し、「テンソウ」を選択します。

3

【(◀)】、【(▶)】で「ON」、「ON(プリント)」、「OFF」のいずれかを選択し、【Yes】を押します。

- 「ON」または「ON(プリント)」を選択すると、転送先を指定する画面が表示されます。(手順 4 へ)
- 「OFF」を選択すると、受信設定メニューに戻ります。

4

ワンタッチダイヤルキー、短縮ダイヤル、ダイヤル入力により転送先のファックス番号を指定し、【Yes】を押します。

受信設定メニューに戻ります。

ひとこと

オプションのスキャナユニット SU-502 を装着している場合、転送先として E メールアドレスを指定できます。

詳しくはスキャナユニット SU-502 のユーザーズガイドをご覧ください。

■ フッタープリントを設定する

1

受信設定メニューを表示させます。

2

テンキーの【7】を押し、「フッタ」を選択します。

3

【(◀)、(▶)】で「ON」または「OFF」を選択し、
【Yes】を押します。

受信設定メニューに戻ります。



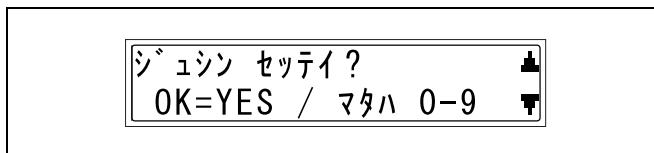
「受信設定メニューを選択する」(p. 9-52) をご覧ください。

9

■ トレイ選択を設定する

1

受信設定メニューを表示させます。



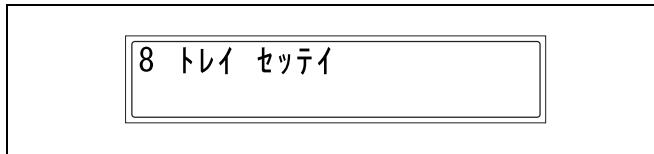
リューション セッティ?
OK=YES / マタハ 0-9



「受信設定メニューを選択する」(p. 9-52) をご覧ください。

2

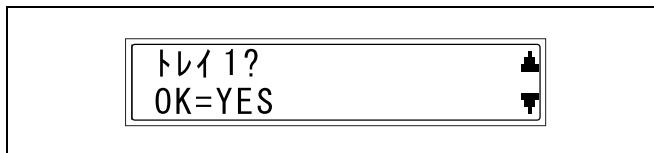
テンキーの【8】を押し、「トレイ セッティ」を選択します。



8 トレイ セッティ

3

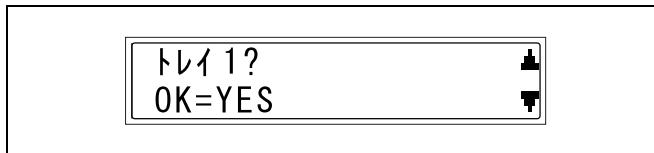
【(◀)】、【(▶)】でトレイを選択し、【Yes】を押します。



トレイ 1?
OK=YES

4

【(◀)】、【(▶)】で「キンシ」か「キヨカ」を選択し、【Yes】を押します。



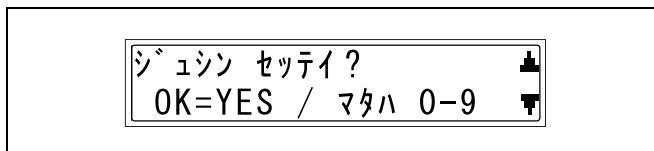
トレイ 1?
OK=YES

受信設定メニューに戻ります。

■ クローズドネットワークを設定する

1

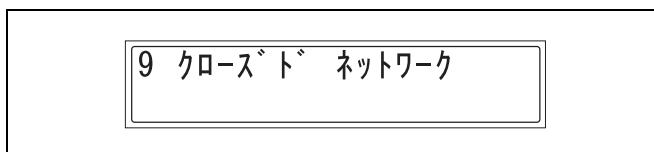
受信設定メニューを表示させます。



リュシン セッティ ?
OK=YES / マタハ 0-9

2

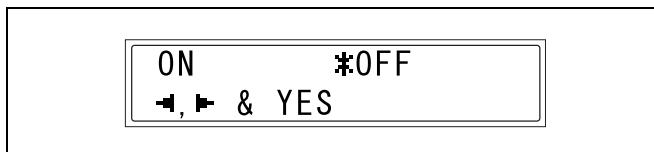
テンキーの【9】を押し、「クローズド ネットワーク」を選択します。



9 クローズド ネットワーク

3

【◀】、【▶】で「ON」または「OFF」を選択し、
【Yes】を押します



ON *OFF
◀, ▶ & YES

受信設定メニューに戻ります。



「受信設定メニューを選択する」(p. 9-52) をご覧ください。

9

■ 転送受信を設定する

1

受信設定メニューを表示させます。

ジ ュン セッティ?
OK=YES / マタハ 0-9



「受信設定メニューを選択する」(p. 9-52) をご覧ください。

2

テンキーの【0】を押し、「テンソウ ジュシン」を選択します。

0 テンソウ ジュシン

3

【(◀)】、【(▶)】で「ON」を選択し、【Yes】を押します。

*ON
OFF
←, → & YES



転送受信番号は 0 ~ 9 のいずれかを指定します。

4

テンキーで転送受信番号を指定します。

テンソウ ジュシン NO.=3 (0-9)
OK=YES

5

【Yes】を押します。

受信設定メニューに戻ります。

9.5 通信設定

ファクス通信に関する設定をします。

＜通信設定の項目＞

No.	ファクス トウトウ	内容
1	トーン / パルス	回線種別を設定します。ご使用の電話回線の種別と本機の設定を合わせないと送信できません。ご使用の電話回線の種別をご確認のうえ、回線種別を設定してください。
2	モニタ オンリヨウ	通信中のラインモニタ音の音量を「オハイ」、「チハイ」、「OFF」から選択できます。 • 工場出荷時は「チハイ」です。
3	PSTN/PBX	接続している通信回線が、「PSTN（公衆網電話線）」または「PBX（構内電話交換機）」かを設定します。 「PBX」の場合、外線接続（または内線接続）のダイヤル番号を登録します。
4	TEL/FAX キリカイ	着信後、音声応答メッセージを流して自動的に電話着信とファクス受信を切替える機能です。電話機を接続した場合に設定します。 受信設定での受信モードは「ジドウ」に設定します。 • 工場出荷時は「OFF」です。
5	デンソ ヨヒダシ ジカン	電話の呼び出し時間（秒）を設定します。 TEL/FAX 切替えが「ON」の場合に設定が有効になります。 • 工場出荷時は「20」です。
6	ルスパン テンソ セツゾウ	電話機の留守番電話機能を使う場合に設定します。 受信設定での受信モードは「ジドウ」に設定します。 TEL/FAX 切替えは「OFF」に設定してください。 • 工場出荷時は「OFF」です。



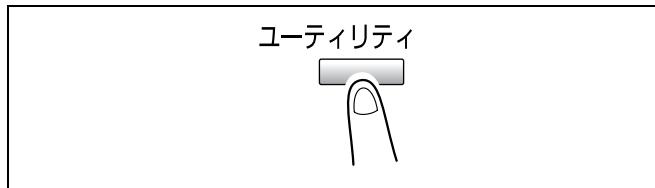
- ユーティリティは LSD (Local Setup Diagnostic) から設定を行うこともできます。詳しくは「LSDについて」(p. 12-18)をご覧ください。
- オプションのネットワークカード NC-502 およびスキャナユニット SU-502 を装着すると、ネットワークツール PageScope Web Connection から設定を行うこともできます。詳しくは、「PageScope Web Connectionについて」(p. 12-14)をご覧ください。
- 「トーン／パルス」、「PSTN／PBX」の設定のしかたについては、「回線種別を設定する」(p. 3-29)、「通信回線を設定する」(p. 3-31)をご覧ください。

■ 通信設定メニューを選択する

1

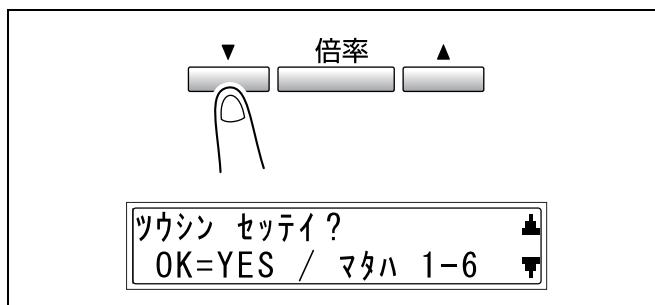
【ユーティリティ】を押します。

「ホンタイ セッティ？」が表示されます。



2

【▼】を9回押し、「ツウシン セッティ？」を設定します。



3

テンキーの【1】～【6】を押し、通信設定メニューを選択します。

○ 通信設定メニューは以下のとおりです。

- 1 トーン / パルス
- 2 モニタ オンリョウ
- 3 PSTN/PBX
- 4 TEL/FAX キリカエ
- 5 デンソワ ヨヒ・タシ・ジ・カン
- 6 ルスパンデンソワ セツゾク



- 通信設定の操作を途中で取りやめたいときは、【No】を押します。「セッティ ヲ チュウシ シマカ？」のメッセージが表示されたら、【Yes】を押すと、設定／変更の操作を中止できます。
- 通信設定メニューを終了するときは、【リセット】を押します。基本画面に戻ります。

■ モニタ音量を設定する

1

通信設定メニューを表示させます。

ツウシン セッティ?
OK=YES / マタハ 1-6

2

テンキーの【2】を押し、「モニタ オンリョウ」を選択します。

2 モニタ オンリョウ

モニタ音量を選択する画面が表示されます。

3

【◀】、【▶】で「オキイ」、「チサイ」、「OFF」のいずれかを選択し、【Yes】を押します。

オキイ *チサイ OFF
◀, ▶ & YES

通信設定メニューに戻ります。



「通信設定メニューを選択する」(p. 9-66) をご覧ください。

9

■ TEL/FAX 切替えを設定する

1

通信設定メニューを表示させます。

2

テンキーの【4】を押し、「TEL/FAX キリカエ」を選択します。

3

【□◀】、【▶□】で「ON」または「OFF」を選択し、
【Yes】を押します。



「通信設定メニューを選択する」(p. 9-66) をご覧ください。

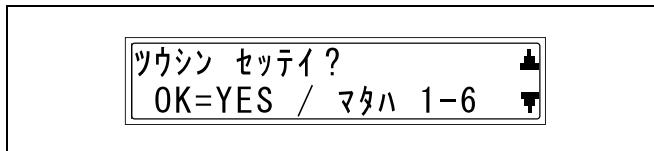


受信設定での受信モードは「ジドウ」に設定します。詳しくは、「受信モードを設定する」(p. 9-59) をご覧ください。

■ 電話呼び出し時間を設定する

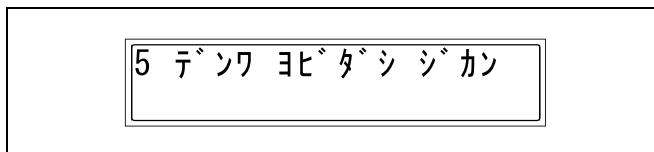
1

通信設定メニューを表示させます。



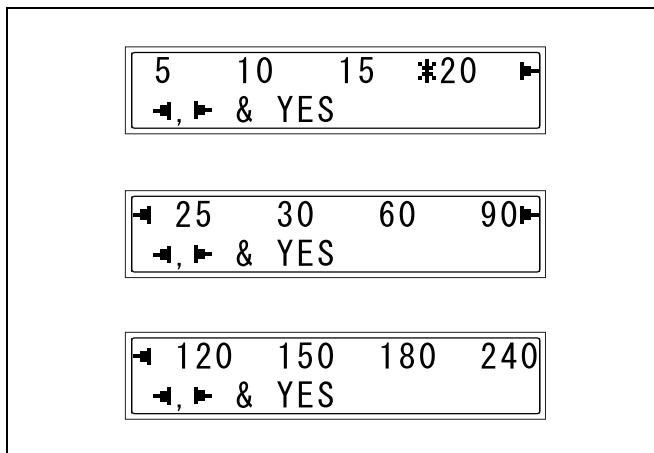
2

テンキーの【5】を押し、「テンワ ヨビタシジカン」を選択します。



3

【□◀】、【▶□】で選択します。




「通信設定メニューを選択する」(p. 9-66) をご覧ください。



- 電話呼び出し時間は 5 秒～240 秒の間で設定します。
- TEL/FAX 切替えが「ON」の場合に設定が有効になります。

9

■ 留守番電話接続を設定する

1

通信設定メニューを表示させます。

2

テンキーの【6】を押し、「ルスハンテンワ セツツク」を選択します。

3

【(◀)】、【(▶)】で「ON」または「OFF」を選択し、
【Yes】を押します。

通信設定メニューに戻ります。



「通信設定メニューを選択する」(p. 9-66) をご覧ください。



- 受信設定での受信モードは「ジドゥ」に設定します。詳しくは、「受信モードを設定する」(p. 9-59) をご覧ください。
- 通信設定でのTEL/FAXモードは「OFF」に設定します。詳しくは、「TEL/FAX 切替えを設定する」(p. 9-68) をご覧ください。

9.6 レポート出力設定

ファクス通信に関する各種レポートの自動出力設定をします。

＜レポート出力設定の項目＞

No.	ファクス トウロウ	内容
1	ツウシン カッカリレポート	60 通信ごとに、送受信の結果をレポート形式で出力できます。60 通信に達した時点で自動的にレポートを出力するかどうかを選択します。 • 工場出荷時の設定は「ON」です。
2	ヨウル レポート	順次同報送信やポーリング受信などで複数の相手先との通信を設定した場合、予約内容をレポート形式で出力できます。自動的にレポートを出力するかどうかを選択します。 • 工場出荷時の設定は「OFF」です。
3	ツウシン ケッカレポート	送信終了後、送信結果をレポート形式で出力できます。自動的にレポートを出力するかどうかを選択します。 • 工場出荷時の設定は「OFF」です。
4	ジュンシン ケッカレポート	親機受信終了後、自動的にレポートを出力するかどうかを選択します。(通常の受信が正常に完了しなかった場合は、この設定に関係なくレポートが出力されます。) • 工場出荷時の設定は「OFF」です。



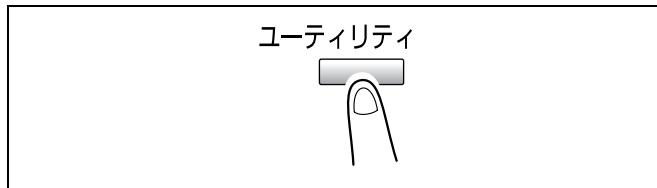
- ユーティリティは LSD (Local Setup Diagnostic) から設定を行うこともできます。詳しくは「LSDについて」(p. 12-18) をご覧ください。
- オプションのネットワークカード NC-502 およびスキャナユニット SU-502 を装着すると、ネットワークツール PageScope Web Connection から設定を行うこともできます。詳しくは、「PageScope Web Connectionについて」(p. 12-14) をご覧ください。

■ レポート出力設定メニューを選択する

1

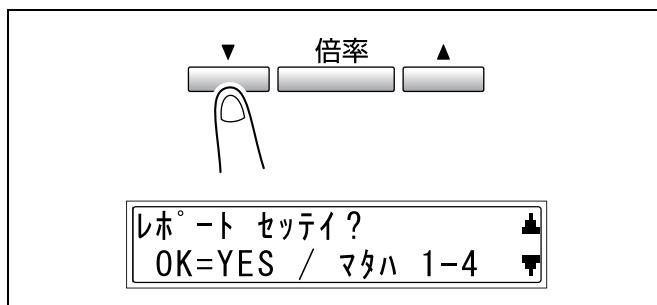
【ユーティリティ】を押します。

「ホンタイ セッティ?」が表示されます。



2

【▼】を10回押し、「レポート セッティ?」を設定します。



3

テンキーの【1】～【4】を押し、レポート出力設定メニューを選択します。

○ レポート出力設定メニューは以下のとおりです。

- 1 ツウシン カンリレポート
- 2 ヨヤク レポート
- 3 ツウシン ケッカレポート
- 4 ジュシン ケッカレポート

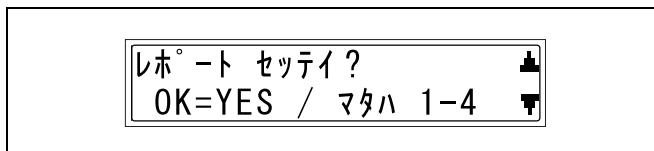


- レポート出力設定の操作を途中で取りやめたいときは、【No】を押します。 「セッティ ヲ チュウシ シマヌ?」のメッセージが表示されたら、【Yes】を押すと、設定／変更の操作を中止できます。
- レポート出力設定メニューを終了するときは、【リセット】を押します。 基本画面に戻ります。

■ 通信管理レポートの自動出力を選択する

1

レポート出力設定メニューを表示させます。



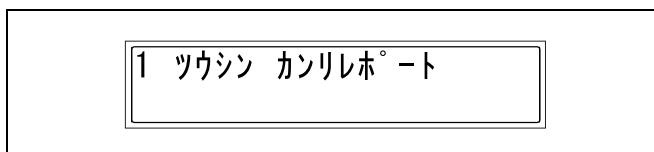
レポート セッティ ?
OK=YES / マタハ 1-4



「レポート出力設定メニューを選択する」(p. 9-72)をご覧ください。

2

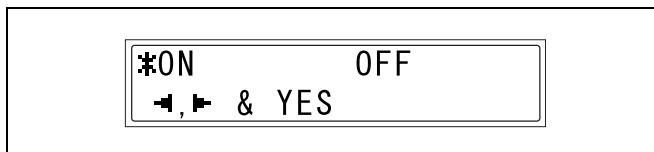
テンキーの【1】を押し、「ツウシン カンリ レポート」を選択します。



1 ツウシン カンリレポート

3

【◀】、【▶】で「ON」または「OFF」を選択し、
【Yes】を押します。



*ON OFF
◀, ▶ & YES

レポート出力設定メニューに戻ります。

9

■ 予約レポートの自動出力を選択する

1

レポート出力設定メニューを表示させます。

レポート セッティ?
OK=YES / マタハ 1-4



「レポート出力設定メニューを選択する」(p. 9-72)をご覧ください。

2

テンキーの【2】を押し、「ヨウ レポート」を選択します。

2 ヨウ レポート

3

【(◀)】、【(▶)】で「ON」または「OFF」を選択し、
【Yes】を押します。

ON *OFF
◀, ▶ & YES

レポート出力設定メニューに戻ります。

■ 送信結果レポートの自動出力を選択する

1

レポート出力設定メニューを表示させます。

レポート セッティ?
OK=YES / マタハ 1-4



「レポート出力設定メニューを選択する」(p. 9-72)をご覧ください。

2

テンキーの【3】を押し、「ツウシン ケッカ レポート」を選択します。

3 ツウシン ケッカ レポート

3

【◀】、【▶】で「ON」または「OFF」を選択し、
【Yes】を押します。

ON *OFF
◀, ▶ & YES

レポート出力設定メニューに戻ります。

9

■ 受信結果レポートの自動出力を選択する

1

レポート出力設定メニューを表示させます。

レポート セッティ?
OK=YES / マタハ 1-4



「レポート出力設定メニューを選択する」(p. 9-72) をご覧ください。

2

テンキーの【4】を押し、「ジュシン ケッカレポート」を選択します。

4 ジュシン ケッカレポート

3

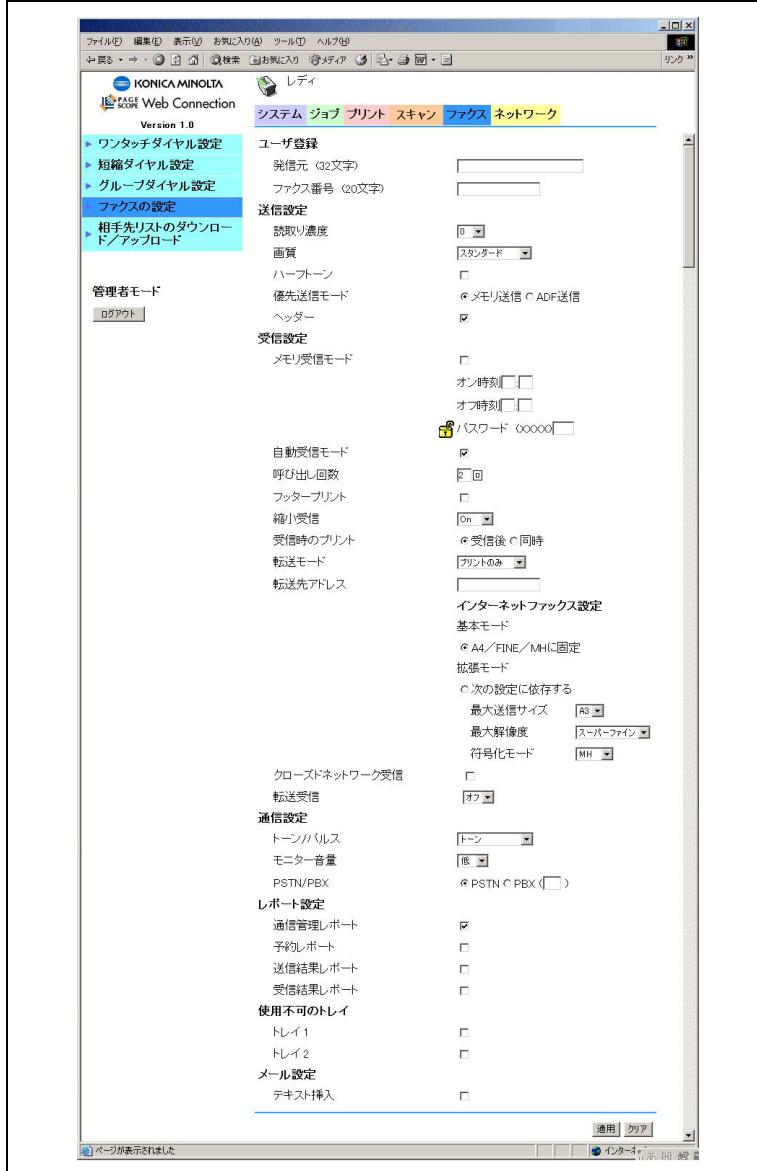
【↖ ↘】、【▶▶】で「ON」または「OFF」を選択し、
【Yes】を押します。

ON *OFF
↖, ↘ & YES

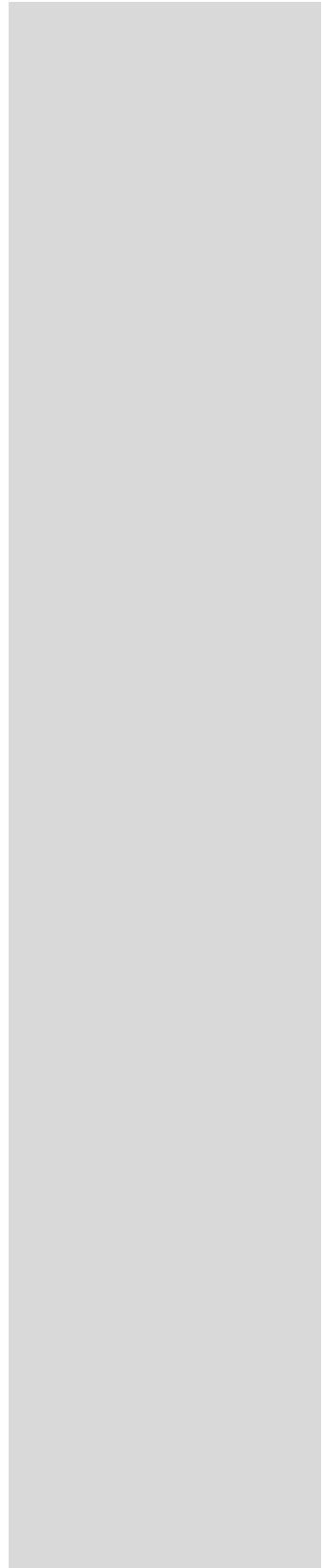
レポート出力設定メニューに戻ります。

■ PageScope Web Connection の設定画面

PageScope Web Connection の管理者モードにログインすると、各種ファクス設定の確認や変更を行うことができます。詳しくは、「PageScope Web Connectionについて」(p. 12-14)をご覧ください。



※イメージコントローラ IC-205（オプション）装着時の画面です。



第 10 章

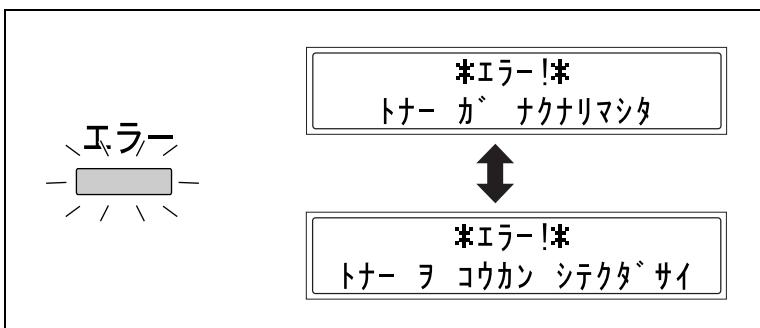
こんなメッセージが 表示されたら

トナー交換などのメッセージが表示されたときの処置のしかたについて説明します。

10.1 「トナー ガ ナクナリマシタ」と表示されたら	10-2
10.2 「ヨウシ ガ ツマリマシタ」が表示されたら	10-5
10.3 「ゲンコウ ガ ツマリマシタ」が表示されたら	10-14
10.4 主なメッセージと処置のしかた	10-17

10.1「トナー ガ ナクナリマシタ」と表示されたら

トナーが残り少なくなると以下のメッセージが表示されます。
メッセージが表示されたら、新しいトナーボトルと交換してください。

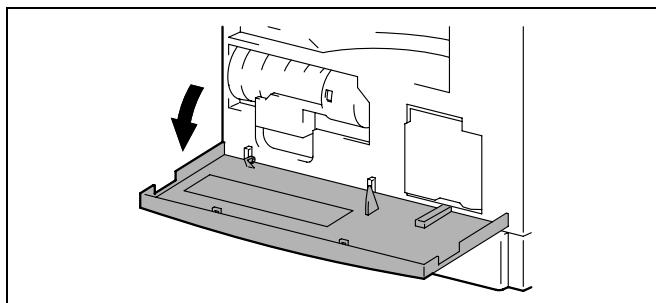


トナーボトルは、必ず本機専用のトナーボトルを使用してください。それ以外のトナーボトルを使用すると故障の原因となります。詳しくはサービス実施店にお尋ねください。

■ トナー補給のしかた

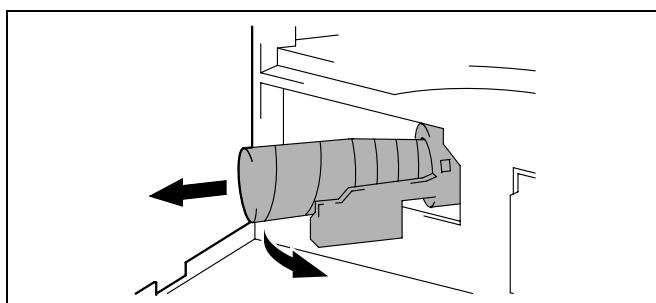
1

前カバーを開きます。



2

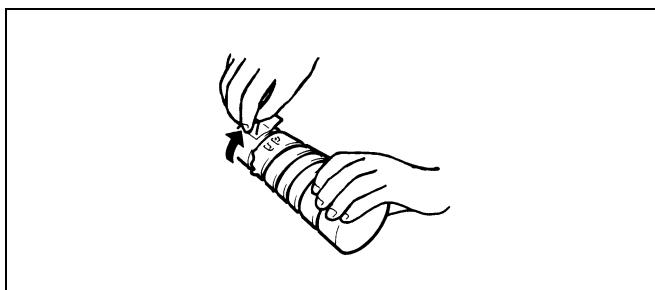
トナーボトルホルダーを手前に開き、トナーボトルを引き抜きます。



使用済みのトナーボトルはサービス実施店が回収します。捨てずに個装箱にいれて保管してください。

3

新しいトナー ボトルのシール部を上に向けてから、手前方向にゆっくりシールをはがします。

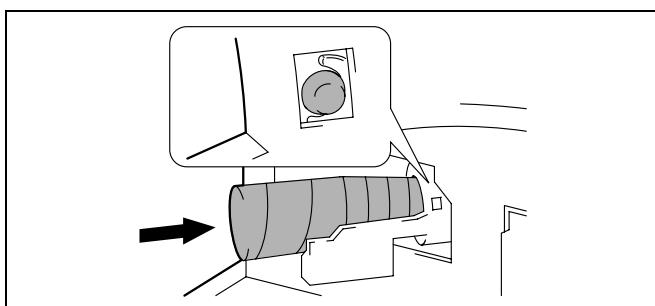


シールをはがすときは、トナーが吹き出るおそれがあるので、ゆっくりはがしてください。

4

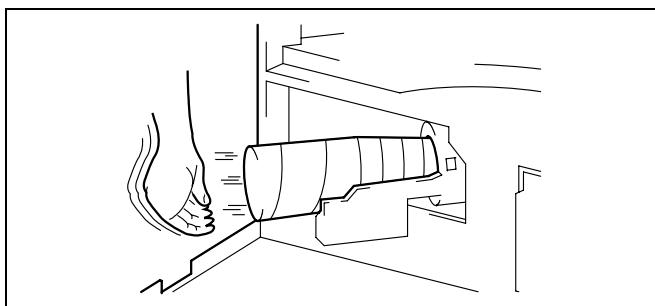
トナー ボトルの UP 表示部を上に向けて、トナー ボトル ホルダーに差し込みます。

- 下図のように、トナー ボトルの凸部をトナー ボトル ホルダーの凹部にしっかりと差し込んでください。



5

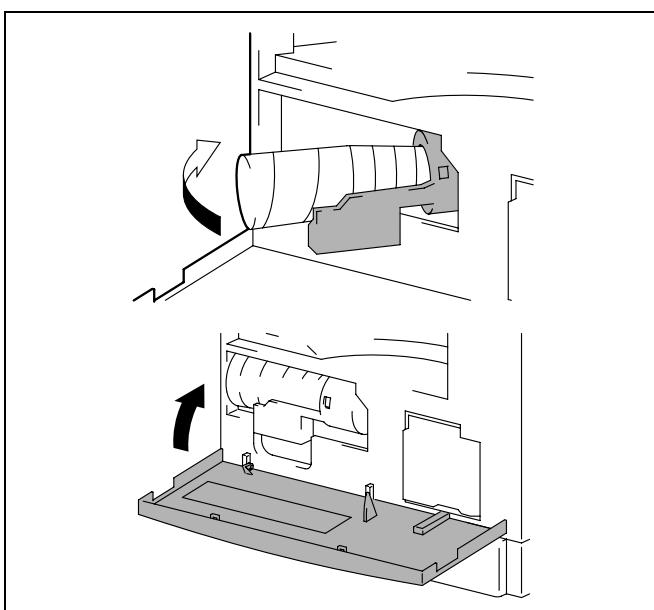
トナー ボトルの底を軽く 3 回～4 回たたきます。



10

6

トナー ボトル ホルダーを閉じ、前カバーを閉じます。



ひとこと

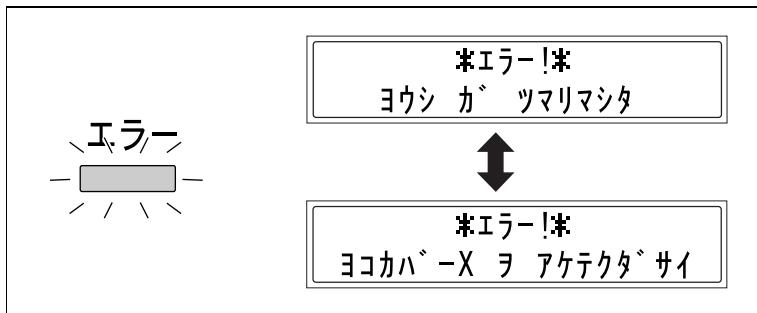
前カバーを閉じると、自動的にトナー補給を開始します。

詳しく説明します

トナー ボトルの交換直後でコピーが薄い場合は、ユーティリティモードで“トナー補給”を行ってください。詳しくは「トナー補給」(p. 8-23)をご覧ください。

10.2「ヨウシ ガ ツマリマシタ」が表示されたら

コピー／プリント中に紙づまりがおこった場合、以下のメッセージを表示し、コピー／プリントは停止されます。



紙づまりの場所を示すメッセージが、ディスプレイ下行に表示されます。

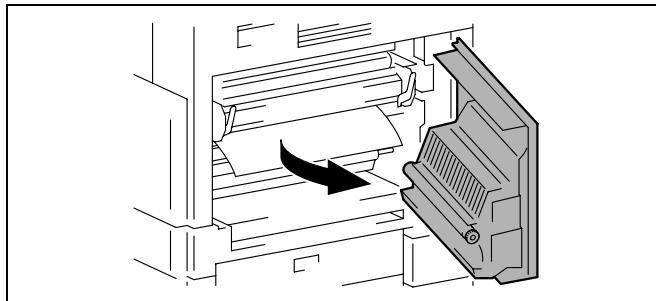
メッセージ	紙づまりの場所
ヨコカバー 1 ヨアケテクダサイ	<ul style="list-style-type: none">マルチ手差しトレイ (p. 10-12)本機内部、第 1 トレイ (p. 10-6)
ヨコカバー 2 ヨアケテクダサイ	第 2 トレイ (p. 10-10)
ヨコカバー 3 ヨアケテクダサイ	第 3 トレイ (p. 10-10)
ヨコカバー 4 ヨアケテクダサイ	第 4 トレイ (p. 10-10)
ヨコカバー 5 ヨアケテクダサイ	第 5 トレイ (p. 10-10)

以下の手順にしたがって、紙づまりした用紙をすべて取り除いてください。

■ 本機内部／第1トレイでの紙づまり処理のしかた

1

本機の横カバーを開きます。

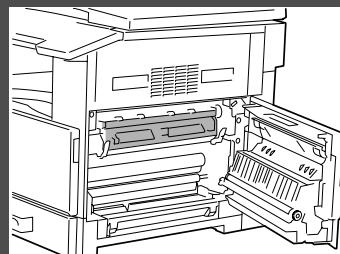


!**注意**



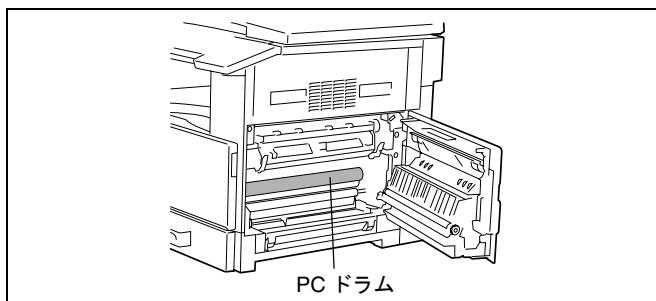
定着部周辺は高温になっています。

やけどの原因となりますので、手順内で説明している部分以外には手を触れないでください。高温部分に手などが触ってしまった場合は、すぐに冷たい水で冷やし、医師にご相談ください。



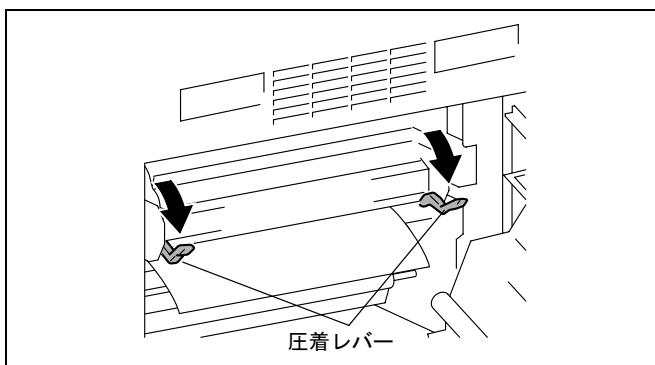
○ PC ドラムの表面に触ると、コピー画質が低下する可能性があります。

PC ドラムの表面に触れないように注意してください。



2

定着部の圧着レバーを解除します。

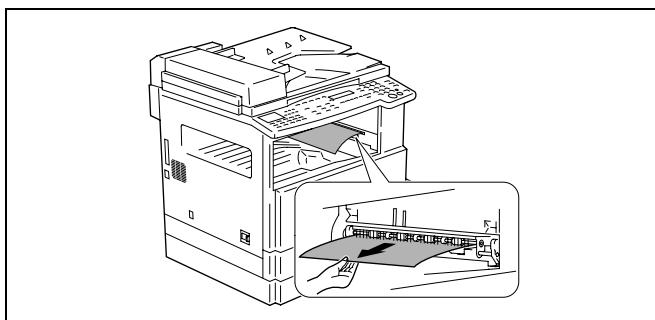


必ず守ってください

圧着レバーの解除は、レバーのグリーン部を持って行ってください。

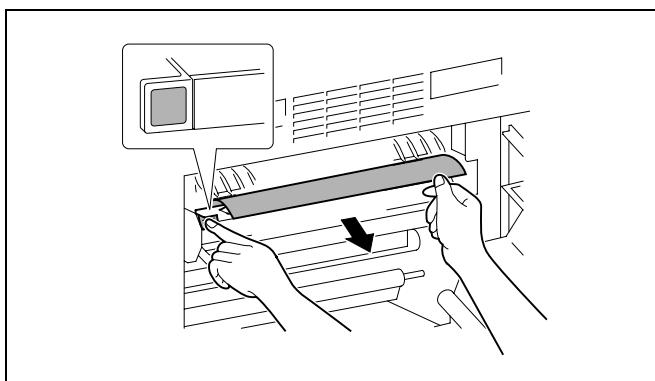
3

用紙をゆっくり引き抜きます。



4

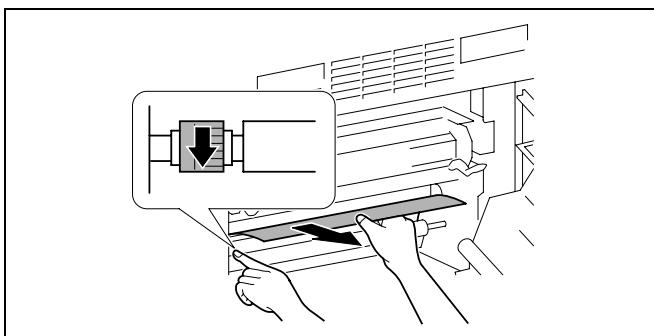
ガイド板を押し下げながら、用紙をゆっくり引き抜きます。



10

5

ローラー部のツマミを矢印方向に回しながら、用紙を
ゆっくり引き抜きます。

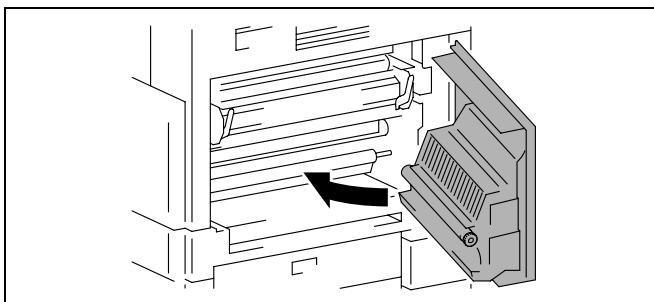


必ず守ってください

- ローラーを回すときは、必ずグリーンのツマミを回してください。
- PC ドラムの表面に触れないように注意してください。

6

本機の横カバーを閉じます。

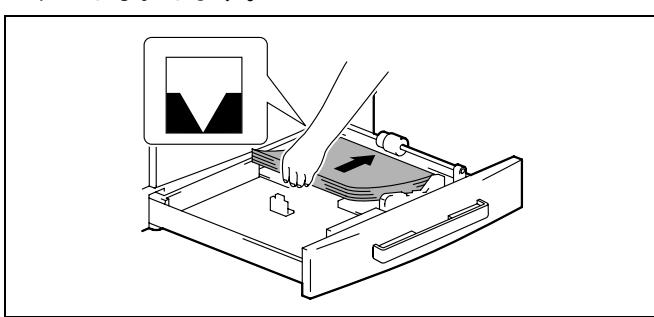


7

第 1 トレイを引き出します。

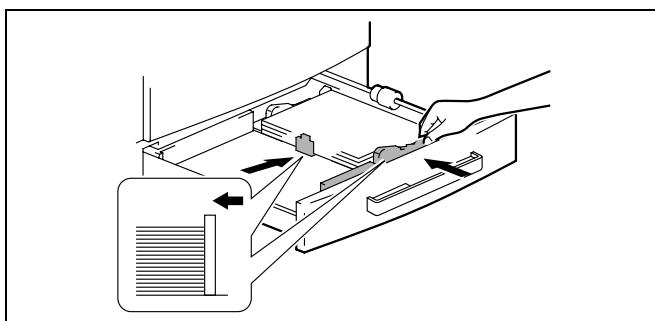
8

トレイ内に残っている用紙を取り出し、再度用紙を
セットしなおします。



9

用紙サイズにあわせ、ガイド板を調整します。

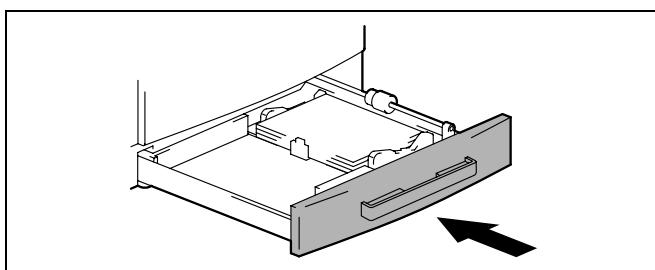


必ず守ってください

ガイド板は必ず用紙の端面にあわせてください。

10

第1トレイをもとに戻します。

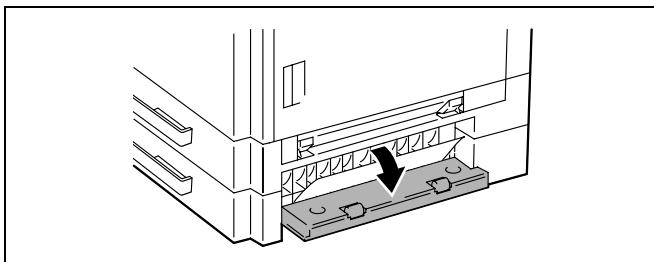


10

■ 第2/第3/第4/第5トレイ(オプション)での紙
づまり処理のしかた

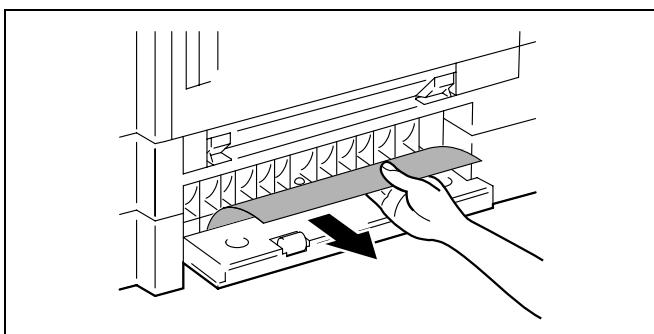
1

横力バーを開きます。



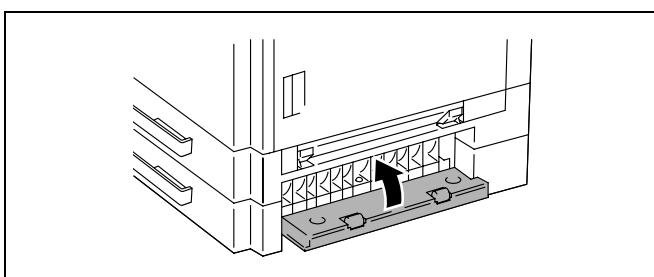
2

用紙をゆっくり引き抜きます。



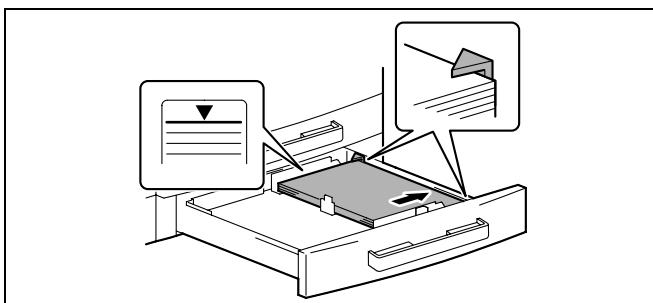
3

横力バーを閉じます。



4

トレイ内に残っている用紙を取り出し、再度用紙をセットしなおします。

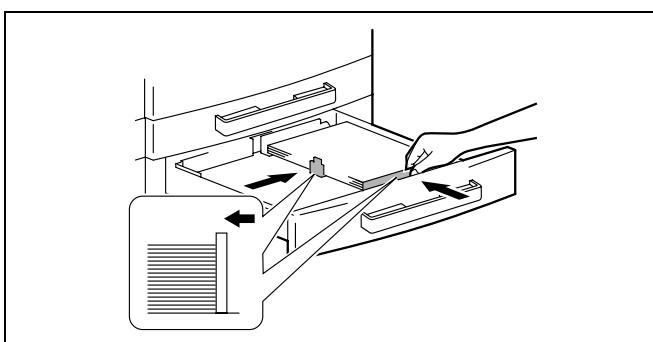


必ず守ってください

用紙は▼マークをこえない
ように、ツメの下にセット
してください。

5

用紙のサイズに合わせ、ガイド板を調整します。

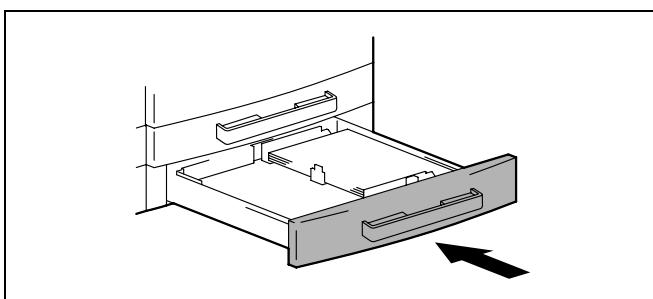


必ず守ってください

ガイド板は、必ず用紙の端
面にあわせてください。

6

トレイをもとに戻します。

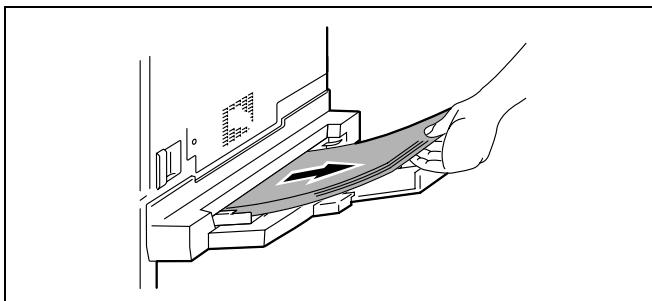


10

■ マルチ手差しトレイ（オプション）での紙づまり処理のしかた

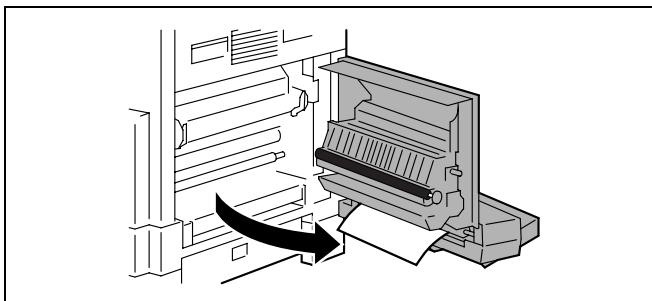
1

マルチ手差しトレイ上の用紙を取り除きます。



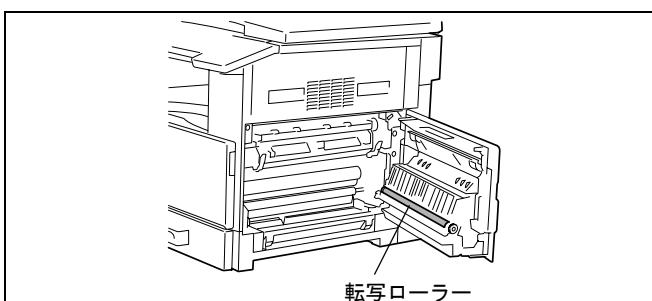
2

本機の横カバーを開きます。



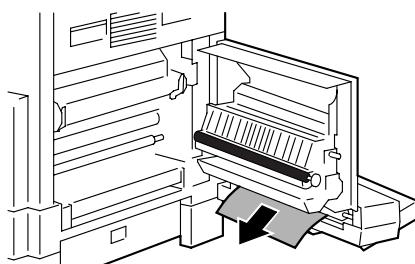
○ 転写ローラーの表面に触れると、コピー画質が低下する可能性があります。

転写ローラーの表面に触れないように注意してください。



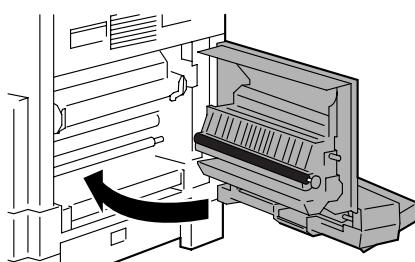
3

用紙をゆっくり引き抜きます。



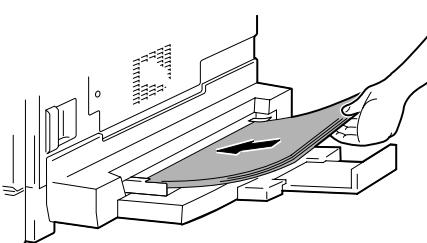
4

本機の横カバーを閉じます。



5

マルチ手差しトレイに用紙をセットしなおします。

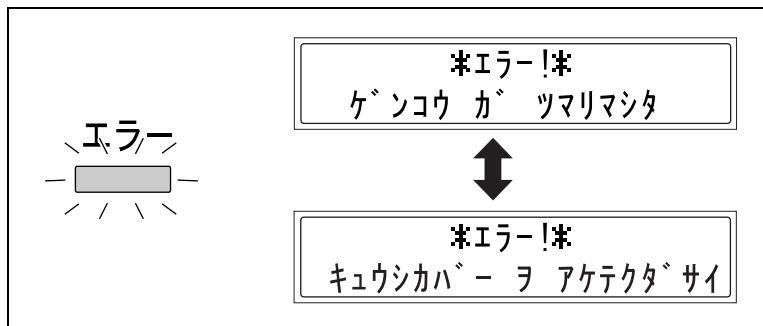


10

10.3「ゲンコウ ガ ツマリマシタ」が表示されたら

原稿を給紙中に紙づまりがおこった場合、以下のメッセージを表示し、原稿の読み取りは停止されます。

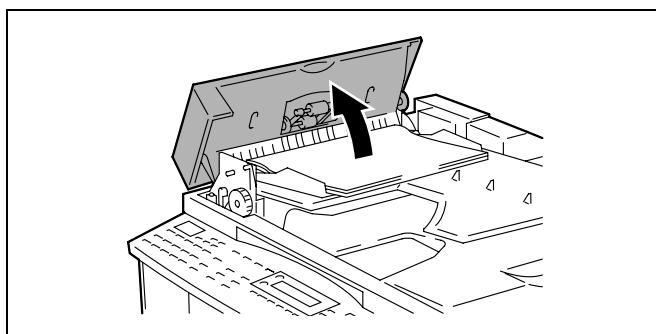
以下の手順にしたがって、紙づまりした用紙を取り除いてください。



■ 原稿送り装置での紙づまり処理のしかた

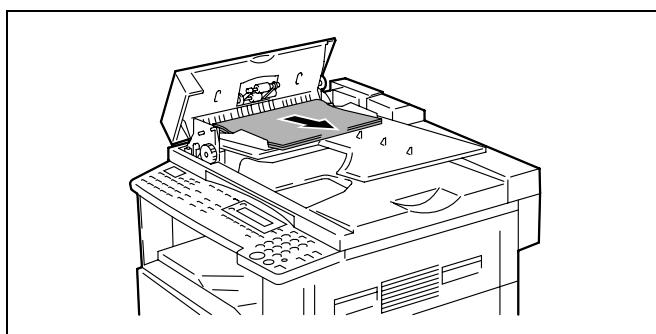
1

給紙カバーを開きます。



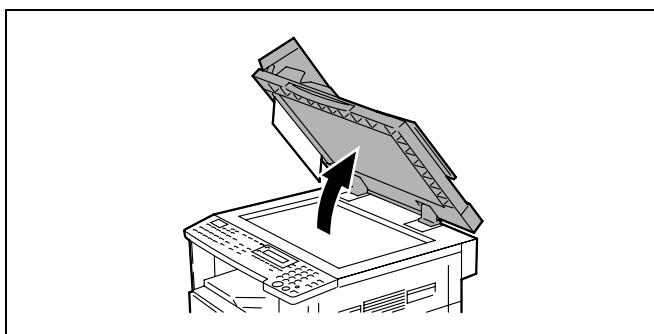
2

原稿給紙トレイの原稿を取り除きます。



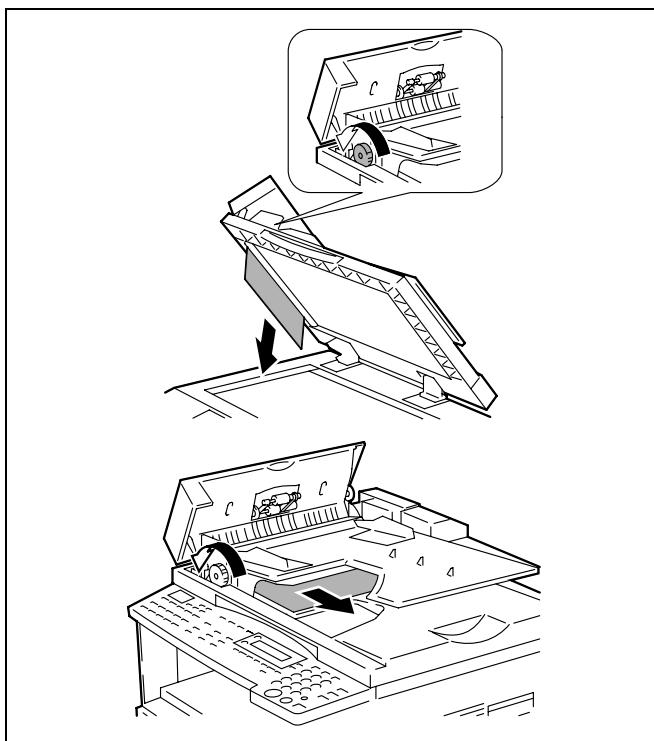
3

原稿送り装置を開きます。



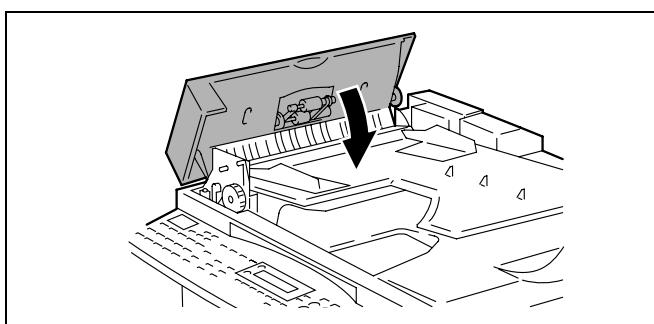
4

原稿送り装置のツマミを矢印方向に回しながら、原稿をゆっくり引き抜きます。



5

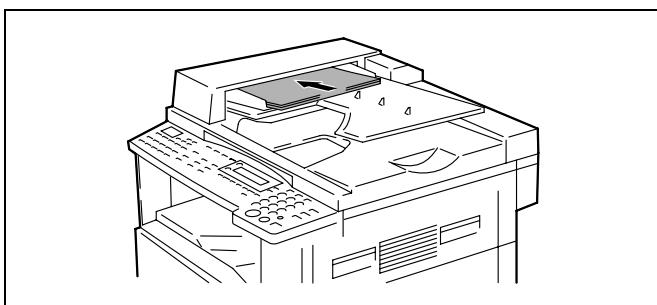
原稿送り装置、給紙カバーを閉じます。



10

6

手順 2 で取り除いた原稿をもとに戻します。



 詳しく説明します

ディスプレイに「ゲンコウトレイ
ニ x マイモード シテ スタートキー ヲ
オシケタサイ」と表示された場合
は、紙づまりをおこした
原稿をもとに戻してください。

10.4 主なメッセージと処置のしかた

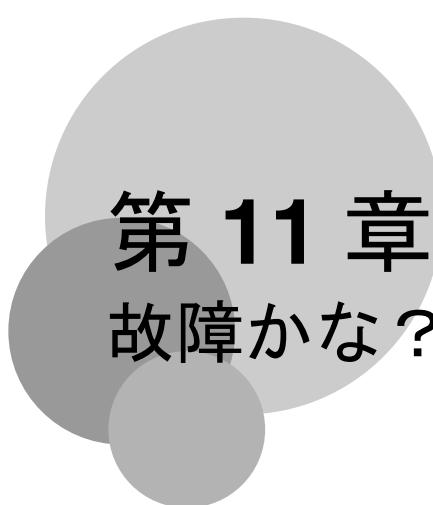
メッセージ	原因	処置のしかた
ヨウシ ガ ツマリマシタ ◆ (交互表示) ヨコカバー X ヲ アケテクダ サイ	本機内部で紙づまりをおこしています。	表示されている箇所のカバーを開いて紙づまりした用紙を取り除いてください。「ヨウシ ガ ツマリマシタ」が表示されたら」(p. 10-5)
	本機内部で紙づまり用紙の取り忘れがあります。	表示されている箇所のカバーを開いて再度紙づまりした用紙を取り除いてください。「ヨウシ ガ ツマリマシタ」が表示されたら」(p. 10-5)
ゲンコウ ガ ツマリマシタ ◆ (交互表示) キュウシ カバー ヲ アケテクダ サイ	原稿送り装置内部で紙づまりをおこしています。 原稿送り装置内部で紙づまり用紙の取り忘れがあります。	表示されている箇所のカバーを開いて紙づまりした用紙を取り除いてください。「ゲンコウ ガ ツマリマシタ」が表示されたら」(p. 10-14)
	* テザ シトレイ ノ ヨウシ ヲ トリノゾ イテ クダ サイ *	シングル手差しトレイに用紙が残っています。
マエカバー ガ アイライマス ◆ (交互表示) マエカバー ヲ シメテクダ サイ	本機の前カバーが開いているか、確実にセットされていません。	本機の前カバーを確実に閉じてください。
	ゲンコウオサエ ガ アイライマス ◆ (交互表示) ゲンコウオサエ ヲ シメテクダ サイ	原稿送り装置に原稿がセットされていて原稿送り装置が開いています。
キュウシ カバー ガ アイライマス ◆ (交互表示) キュウシ カバー ヲ シメテクダ サイ	原稿送り装置の給紙カバーが開いています。	給紙カバーを確実に閉じてください。
	トナー ガ ナカナリマシタ ◆ (交互表示) トナー ヲ コウカン シテクダ サイ	トナーがなくなりました。 コピー／プリントができません。
ヨウシ ガ アリマセン ◆ (交互表示) ヨウシ ヲ ホキュウ (#XXX)	選択しているトレイの用紙がなくなりました。 “#”はトレイを、“XXX”は用紙サイズを示します。	表示されているトレイに表示されているサイズの用紙をセットしてください。
	ゲンコウ ヲ セット シテクダ サイ	原稿送り装置を使用して行うコピー機能 (2in1 コピー、混載原稿コピーなど) の開始時、原稿送り装置に原稿がセットされていません。または、原稿送り装置が開いています。
ゲンコウ ヲ トリノゾ イテクダ サイ	割り込みコピーで、ブック分割コピー以外のコピーの開始時、割り込む前のコピー原稿が原稿送り装置に残っています。	原稿送り装置から原稿を取り除いてください。

メッセージ	原因	処置のしかた
モ/シャ x1.00 ①[A]#XXX: ヨウシナシ	1 (コピー設定中) 選択しているトレイに用紙がありません。 “#”はトレイを、“XXX”は用紙サイズを示します。	表示されているトレイに表示されているサイズの用紙をセットするか、【サイズ】を押して別の用紙サイズを選択してください。
サイ行キ ヨウシ ガ アリマセン ◆ (交互表示) ヨウシ ヲ カキユウ (#XXX)	• コピーの途中で、選択したトレイの用紙サイズが変更されました。 • オート用紙選択モードでの混載原稿コピー時、最適なサイズの用紙がありません。 “#”はトレイを、“XXX”は用紙サイズを示します。	表示されているサイズの用紙をセットするか、【サイズ】を押して別の用紙サイズを選択してください。
ヨウシ ヲ センタク テ キマセン	オート用紙選択モードでのコピー時、最適なサイズの用紙がありません。	適切なサイズの用紙をセットするか、【サイズ】を押して別の用紙サイズを選択してください。
バ イリツ ヲ センタク テ キマセン	オート倍率選択モードでのコピー時、原稿サイズと用紙サイズの組み合わせによる倍率が $\times 0.5 \sim \times 2.0$ の範囲外です。	適切なサイズの用紙をセットするか、【▼】、【▲】で倍率を選択してください。
ヨウシ サイズ エラー ◆ (交互表示) ヨウシ ヲ カキニン (#XXX)	トレイにセットした用紙がサイズエラーです。 “#”はトレイを、“XXX”は用紙サイズを示します。	ペーパーフィーダーユニットの場合、セットした用紙を取り除き「用紙のセットのしかた」(p. 3-8)の手順にしたがって用紙をセットしてください。不定形サイズの場合は「ラベル用紙にコピーする」(p. 4-27)をごらんください。 手差しトレイの場合、セットした用紙を取り除き「手差しトレイに普通紙をセットする」(p. 4-14)の手順にしたがって用紙をセットしてください。不定形サイズの場合には「手差しコピーのとりかた(シングル手差しトレイ)」(p. 4-19)をごらんください。
メモリ フック テス ◆ (交互表示) ナニカ キー ヲ オシテクタ サイ	スキャナで読み込んだ画像データがメモリオーバーをおこしています。	操作パネル上のいづれかのキーを押してください。または、メインスイッチを一度OFFにして、再度ONにしてください。(読み込んだデータはすべて消去されます。)
プリント メモリ フック テス	PC から受信した画像データがメモリオーバーをおこしています。	操作パネル上のいづれかのキーを押してください。または、メインスイッチを一度OFFにして、再度ONにしてください。(受信した画像データはすべて消去されます。)
ハイストレイ ヨウリヨウ オバー ◆ (交互表示) ヨウシ ヲ トリハゾ 行 ク サイ	オプションのセパレータを装着している場合、上段排出トレイの用紙が最大積載量に達したため、コピー／プリントができません。	セパレータの上段排出トレイから用紙を取り除いてください。

メッセージ	原因	処置のしかた
ハイストレイ トウ エラー ◆ (交互表示) ナカ キ ヲ オシテクダ サイ	オプションのセパレータを装着している場合、電源 ON 時・コピー／プリント開始時に、セパレータの上、下段排出トレイ上で用紙が容量オーバーをおこしています。	セパレータの上、下段排出トレイから用紙を取り除き、操作パネル上のいずれかのキーを押してください。
サービスマニレンラク (M1)	メンテナンス時期がきました。	担当のサービス実施店へ連絡してください。
サービスマニレンラク (M2)	感光体ユニットの交換時期がきました。	担当のサービス実施店へ連絡してください。
キーカウンタ ヲ セットシテクダ サイ	キーカウンタがセットされています。	キーカウンタをセットしてください。
マシントラブル ◆ (交互表示) (C#####)	本機内部でトラブルが発生しました。	本機のメインスイッチを一度 OFF にして、再度 ON にしてください。それでもエラー表示される場合は、担当のサービス実施店へ連絡してください。
ダイヤル テ キマセン (交互表示) カイセン ヲ カクニン シテクダ サイ	<ul style="list-style-type: none"> 回線種別、通信回線が正しく設定されていません。 回線コードが正しくセットされていません。 	<ul style="list-style-type: none"> 回線種別、通信回線を確認し、ユーティリティモードで設定しなおしてください。 回線コードを正しくセットしてください。
* ツウシン エラー * (#####)	<ul style="list-style-type: none"> 本機内部でのトラブルなどにより通信ができませんでした。 相手先ファクスの都合により通信ができませんでした。 	通信結果を確認してください。
* ツウシン テ キマセンテ シタ *	相手先の回線が話し中、応答なしなどの理由により、リダイヤルがすべて失敗しました。	相手先の回線状態を確認し、再度送信を行ってください。
* メモリーフリク / ツウシン キャンセル *	ファクス送信時、画像データがメモリオーバーをおこしてしまいました。	<ul style="list-style-type: none"> メモリに保存されている受信データを取り出してください。 即時送信でファクス送信してください。
* メモリーフリク / ジュシン キャンセル *	ファクス受信時、画像データがメモリオーバーをおこしてしまいました。	メモリに保存されている受信データを取り出してください。
* ジュワキ ガ アガッテイマス *	接続している電話機の受話器があがっています。	接続している電話機の受話器を置いてください。
モ/シャ × 1.00 1 D[A]#XXX: ファクスエラー	コピーモードでの操作中にファクスエラーがおきました。	【ファクス】を押して、エラーの状態を確認し、適切な処置を行ってください。
モ/シャ × 1.00 1 D[A]#XXX: ツウシンエラー	コピーモードでの操作中にファクス送信エラーがおきました。	【ファクス】を押して、エラーの状態を確認し、適切な処置を行ってください。

10.4 主なメッセージと処置のしかた

メッセージ	原因	処置のしかた
シバラク オマチカタ サイ! PC セツゾク チュウ	LSD、RSD、または PageScope Web Connection の管理者モードに本機がアクセス中です。	<ul style="list-style-type: none">• PageScope Web Connection からログアウトしてください。• LSD を切断してください。• 600 秒間何も操作が行われないと、基本画面に戻ります。• RSD 通信はサービス技術者が行いますので、サービス技術者にお尋ねください。



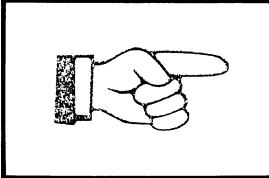
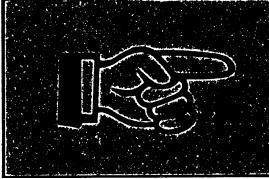
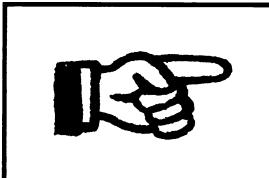
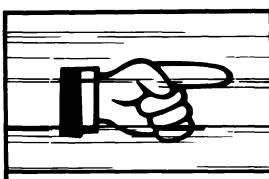
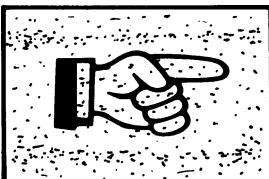
第 11 章

故障かな？ と思ったら

さまざまなトラブルの処置のしかたについて説明します。

11.1 こんなコピーが出てきたら	11-2
11.2 コピー機が動作しない	11-4
11.3 ファクスがうまく動作しない	11-5

11.1 こんなコピーが出てきたら

コピーの状態	おもな原因	処置のしかた
コピーがうすい/色がうすい 	コピー濃度の設定が、“ウスイ”になっていませんか？	コピー濃度調整キー（コイ▶）を使って、好みのコピー濃度でコピーしてください。（p. 4-45）
	用紙が湿気をおびていませんか？	用紙を新しいものに交換してください。（p. 3-8）
コピーがこい/色がこい 	コピー濃度の設定が、“コイ”になっていませんか？	コピー濃度調整キー（ウスイ◀）を使って、好みのコピー濃度でコピーしてください。（p. 4-45）
	原稿が原稿ガラスから浮き上がりませんか？	原稿が原稿ガラスに密着するようセットしてください。（p. 3-15）
コピーがにじむまたはボケる 	用紙が湿気をおびていませんか？	用紙を新しいものに交換してください。（p. 3-8）
	原稿が原稿ガラスから浮き上がりませんか？	原稿が原稿ガラスに密着するようセットしてください。（p. 3-15）
コピーにスジが現れる 	原稿ガラスが汚れていませんか？	原稿ガラスを柔らかな布で空拭きしてください。（p. 12-6）
	原稿押さえパッドが汚れていますか？	柔らかな布に中性洗剤をつけ、原稿押さえパッドを清掃してください。（p. 12-6）
	第2原図、OHPフィルムなどの透明度の高い原稿を使っていませんか？	原稿の上に白紙を重ねてコピーしてください。（p. 3-16）
コピーの全体が汚れる 	両面原稿を使っていませんか？	うすい紙の両面原稿だと、裏面の原稿内容が透けて、おもての原稿に写ってしまうことがあります。コピー濃度調整キー（ウスイ◀）を使ってコピーの下地レベルをうすくしてください。（p. 4-45）
	感光体ユニットの寿命です。	サービス実施店へご連絡ください。

コピーの状態	おもな原因	処置のしかた
コピーの周りが汚れる	原稿押さえパッドが汚れていますか？	柔らかな布に中性洗剤をつけ、原稿押さえパッドを清掃してください。(p. 12-6)
	原稿サイズより大きな用紙を選択していませんか？ (等倍 ×1.00 コピー時)	原稿と同じサイズの用紙を選択してください。(p. 4-9) もしくは、オート倍率モードを使い、用紙に合わせたコピー倍率で、拡大コピーをしてください。(p. 4-40)
	原稿サイズと用紙の向きが違っていますか？ (等倍 ×1.00 コピー時)	原稿と同じサイズの用紙を選択してください。もしくは、原稿と同じ向きに用紙をセットしなおしてください。
	用紙サイズにあった縮小コピー倍率が選択されていますか？ (マニュアル縮小コピー時)	用紙サイズにあったコピー倍率を選択してください。(p. 4-41) もしくは、オート倍率選択モードを使い、用紙に合わせたコピー倍率で、縮小コピーをしてください。(p. 4-40)
コピーの画像が傾いている。	原稿が正しくセットされていますか？	原稿を原稿スケールに、正しくセットしてください。(p. 3-15) 原稿を原稿送り装置にセットし、原稿セットガイドを原稿サイズに正しくあわせてください。(p. 3-14)
	原稿送り装置に適した原稿がセットされていますか？	原稿送り装置を開き、原稿を原稿スケールに正しくセットしてください。(p. 3-15)
	用紙ガイド板がきちんと用紙に合わせてありますか？	用紙端面にきちんと用紙ガイド板を合わせてください。
	カールの大きい用紙がトレイにセットされていますか？	用紙のカールを手でおとすしてトレイにセットしなおしてください。

11.2 コピー機が動作しない

コピー機の状態	おもな原因	処置のしかた
操作パネルに何も表示されない。	【スタート】だけがグリーン点灯していますか？	低電力（スリープ）モードが設定されています。 操作パネル上のいずれかのキーを押して低電力モードを解除してください。(p. 2-20)
	オートパワーオフモードがはたらいていませんか？	メインスイッチを ON にしなおしてください。(p. 2-19)
【スタート】がグリーン色に点灯しない。	ID（部門）番号を入力しましたか？ 	“ID（部門）番号の入力のしかた”的手順にしたがって番号を入力してください。(p. 5-19)
【スタート】を押してもコピーできない。	操作パネル上の【エラー】ランプが点灯していませんか？	ディスプレイを見て、表示ごとの処置のしかたにしたがって対処してください。
	メインスイッチを ON にした直後でコピー機が準備中です。	メインスイッチを ON にしてからコピーできるまでに約 30 秒かかります。 しばらくお待ちください。
コピー mode が設定できない。	【割込み】が点灯していませんか？ 	割り込みコピー mode が設定されています。【割込み】を押し、モードを解除してください。(p. 4-48)
本機の電源が入らない。	電源コードが、コンセントから抜けていませんか？	電源コードのプラグを差し込みなおしてください。
	本機を設置してある場所のブレーカーが OFF になっていませんか？	ブレーカーを ON にしてください。

11.3 ファクスがうまく動作しない

■ うまく送信できない

ファクスの状態	おもな原因	処置のしかた
原稿が読み込まれない。	原稿が厚すぎませんか？	原稿を原稿ガラスにセットして送信してください。(p. 6-6)
	原稿が薄すぎる、小さすぎませんか？	原稿を原稿ガラスにセットして送信してください。(p. 6-6)
	原稿ガラスが汚れていませんか？	原稿ガラスを柔らかな布でから拭きしてください。
原稿が斜めに読み込まれる。	原稿セットガイドが原稿の幅に合っていますか？	原稿セットガイドを原稿の幅に合わせてください。(p. 6-4)
相手先で受信した画像が不鮮明な場合。	原稿が正しくセットされていますか？	原稿を正しくセットしてください。(p. 6-4)
	原稿ガラスが汚れていませんか？	原稿ガラスを柔らかな布でから拭きしてください。
	原稿の文字が薄くありませんか？	読み取り濃度を設定してください。(p. 9-45)
	回線状態か、相手先ファクスに問題がありませんか？	本機でコピーをとって確認してください。コピーの画像が鮮明な場合は、もう一度送信しなおしてください。
相手先で受信した画像が白紙になる。	原稿の送信したい面を下にして原稿をセットしていませんか？(原稿送り装置使用時)	原稿の送信したい面を上にして原稿をセットし、もう一度送信しなおしてください。(p. 6-4)
自動送信できない。	番号が間違っていませんか？	番号を確認してください。
	電話専用の番号にかけていませんか？	番号を確認してください。
	相手先に原因がありませんか？(用紙切れ、自動受信できない設定になっている、電源が入っていない等)	相手先に確認してください。

■ うまく受信できない

ファクスの状態	おもな原因	処置のしかた
受信した画像が鮮明でない。	指定の用紙を使用していますか？	指定の用紙を使用してください。
	用紙が湿気をおびていませんか？	用紙を新しいものに交換してください。
	トナーはありますか？	新しいトナーボトルをセットしてください。
	回線状態か、相手先のファクスに問題がありませんか？	本機でコピーをとって確認してください。コピーの画像が鮮明なときは、相手先にもう一度送信しなおしてもらってください。
受信した用紙が白紙になる。	トナーはありますか？	新しいトナーボトルをセットしてください。
	相手先が原稿を裏表逆にセットしていませんか？	相手先に確認してください。
自動着信されない。	手動受信に設定されていませんか？	自動着信に設定してください。 (p. 9-59)
	メモリがいっぱいになっていますか？	用紙がなくなっているときは用紙を補給し、メモリに蓄積されている文書をプリントしてください。
	メッセージが表示されていませんか？	表示にしたがい、メッセージを解除してください。
受信した用紙に黒いスジが入る。	回線状態か、相手先のファクスに問題がありませんか？	本機でコピーをとって確認してください。コピーの画像が鮮明なときは、相手先にもう一度送信しなおしてもらってください。

■ うまく電話できない

ファクスの状態	おもな原因	処置のしかた
外付け電話機から何も聞こえない。	電話機のコードが本機に接続されていますか？	電話機のコードを本機に接続してください。
	回線コードが本機に接続されていますか？	回線コードを本機に接続してください。
	通信中のとき。	通信が終了してから、もう一度確認してください。
ダイヤルしても呼び出し音が聞こえない。	回線種別が正しく設定されていますか？	回線種別を正しく設定しなおしてください。(p. 3-29)
オフックダイヤルのときに相手の声が聞きとりにくい。	モニタ音量が小さくなっていますか？	モニタ音量を大きくしてください。(p. 9-67)
電話の呼び出しぶル音が小さい（大きい）。	外付け電話機の呼び出し音量が小さく（大きく）なっていますか？	外付け電話機の呼び出し音量を調整してください。

11.3 ファクスがうまく動作しない



第 12 章

その他

本機の仕様や、日頃のお手入れについて説明します。

12.1 おもな仕様	12-2
12.2 日常のお手入れ	12-6
12.3 おもな機能の組み合わせ一覧表	12-8
12.4 コピー用紙サイズとコピー倍率一覧表	12-9
12.5 消耗品について	12-12
12.6 保守サービスについて	12-13
12.7 PageScope Web Connection について	12-14
12.8 LSD について	12-18
12.9 用語一覧	12-37
12.10 索引	12-39

12.1 おもな仕様

■ 本機 bizhub 162f

仕様	
形式	デスクトップ
原稿台方式	固定式
感光体	OPC
複写方式	乾式レーザー電子写真方式
現像方式	HMT 方式
定着方式	ヒートローラ定着方式
解像度	600 dpi × 600 dpi
複写原稿	種類：シート、ブック、立体物 サイズ：最大 A3 □、Ledger □ (11 × 17 □) 重量：3 kg
複写紙種類	普通紙 (60 g/m ² ~ 90 g/m ²)、再生紙 (60 g/m ² ~ 90 g/m ²) 特殊紙：厚紙 (91 g/m ² ~ 157 g/m ²)、OHP フィルム、官製はがき、ラベル用紙、封筒 ※特殊紙は第 1 トレイ、手差しトレイのみ使用可
複写紙サイズ	<第 1 トレイ> メトリック系： A3 □、B4 □、A4 □/□、B5 □/□、A5 □/□ インチ系： Ledger □ (11 × 17 □)、11 × 14 □、 Legal □ (8-1/2 × 14 □)、Letter □/□ (8-1/2 × 11 □/□)、 Invoice □/□ (5-1/2 × 8-1/2 □/□) <手差しトレイ> 幅：90 mm ~ 297 mm、長さ：140 mm ~ 432 mm
用紙積載量	<第 1 トレイ> 普通紙、再生紙：250 枚 特殊紙（厚紙、OHP フィルム、官製はがき、ラベル用紙）：20 枚 封筒：10 枚 <手差しトレイ> 普通紙、再生紙、特殊紙：1 枚
ウォームアップタイム	30 秒以下（室温 23 °C）
ファーストコピータイム	7 秒以下（原稿ガラス、第 1 トレイ使用時） 11 秒以下（DF-502、第 1 トレイ使用時）
複写速度（毎分）	7 枚（A3 □） 13 枚（A4 □） 16 枚（A4 □） 18 枚（B5 □）
複写倍率	等倍：×1.00 拡大：×1.22、×1.41、×2.00、×4.00 縮小：×0.81、×0.70、×0.50、×0.25 ズーム：×0.25 ~ ×4.00 (0.01 ステップ)
連続複写枚数	1 ~ 99 枚
濃度調整	オート濃度、マニュアル濃度

仕様	
画像欠損	先端 4 mm、後端 4 mm、奥側 4 mm、手前側 4 mm
電源	100 V、10.0 A、50/60 Hz 共用
最大消費電力	1000 W 以下
大きさ	幅 599 mm × 奥行 620 mm × 高さ 487 mm
質量	38 kg
標準メモリ	コピー側 : 32 MB (最大 96 MB まで増設可能)
直流抵抗値	290 Ω (データターミナル 204 Ω)
メモリバックアップ用電池	ニッケル水素電池 (電圧 4.8 V、容量 280 mAh)

■ ファクス仕様

仕様	
電送モード	G3
適用回線	一般加入電話回線、NCC 各回線
結合方式	直接結合 (モジュラージャック使用)
伝送速度	33.6 / 31.2 / 28.8 / 26.4 / 24.0 / 21.6 / 19.2 / 16.8 / 14.4 / 12.0 / 9.6 / 7.2 / 4.8 / 2.4 kbps (自動切替え)
電送時間	3 秒 *
走査線密度	8 dot/mm × 3.85/7.7/15.4 line/mm、 16 dot/mm × 15.4 line/mm**
原稿サイズ	最大 A3 □ 長尺原稿 (最大 1000 mm) 可
記録紙サイズ	A3 □、B4 □、A4 □/□、B5 □、A5 □
メモリ読み込み可能枚数	標準 (5 MB) 時 : 280 枚 メモリ増設 (64 MB) 時 : 1024 枚 ※ A4 標準原稿の場合
帯域圧縮方式	MH / MR / MMR / JBIG

* A4 サイズ 700 字程度の原稿を標準的画質 (8 dot/mm × 3.85 line/mm) で高速モード (33.6 kbps) で送信したときの速さです。これは、画像情報のみの電送時間で通信の制御時間は含まれていません。なお、実際の通信時間は原稿の内容、相手機種、回線の状態により異なります。

** 原稿送り装置での即時送信のみサポートします。

■ 自動原稿送り装置 DF-502

仕様	
原稿通紙モード	標準モード：片面原稿 混載原稿モード：片面原稿
原稿種類	標準モード：普通紙 (50 g/m ² ~ 110 g/m ²) 混載原稿モード：普通紙 (60 g/m ² ~ 90 g/m ²)
原稿サイズ	標準モード：A3 □、B4 □、A4 □/□、B5 □/□、A5 □/□ 混載原稿モード：A3 □ と A4 □、B4 □ と B5 □ の混載
原稿積載量	最大 50 枚 (80 g/m ²)
最大消費電力	36 W 以下
大きさ	幅 598 mm × 奥行 483 mm × 高さ 102 mm
質量	6.3 kg

■ ペーパーフィーダーユニット PF-502

仕様	
用紙種類	普通紙 (60 g/m ² ~ 90 g/m ²)、再生紙 (60 g/m ² ~ 90 g/m ²)
用紙サイズ	メトリック系： A3 □、B4 □、A4 □/□、B5 □/□、A5 □ インチ系： Ledger □ (11 × 17 □)、11 × 14 □、 Legal □ (8-1/2 × 14 □)、Letter □/□ (8-1/2 × 11 □/□)、 Invoice □ (5-1/2 × 8-1/2 □)
収容枚数	250 枚
最大消費電力	9 W 以下
大きさ	幅 590 mm × 奥行 558 mm × 高さ 108 mm
質量	5.5 kg

■ セパレータ JS-503

仕様	
用紙種類	普通紙 (60 g/m ² ~ 90 g/m ²)、再生紙 特殊紙：厚紙 (91 g/m ² ~ 157 g/m ²)、OHP フィルム、官製はがき、ラベル用紙、封筒
用紙積載量	<上段トレイ> 普通紙、再生紙：A4 100 枚、A4 以外 50 枚 (高さ 22 mm まで) 特殊紙：10 枚 <下段トレイ> 普通紙、再生紙：A4 150 枚、A4 以外 75 枚 特殊紙：20 枚
最大消費電力	24 W 以下

■ マルチ手差し給紙ユニット MB-501

仕様	
用紙種類	普通紙 (60 g/m ² ~ 90 g/m ²)、再生紙 (60 g/m ² ~ 90 g/m ²) 特殊紙：厚紙 (91 g/m ² ~ 157 g/m ²)、OHP フィルム、官製はがき、ラベル用紙、封筒
用紙サイズ	A3 □、B4 □、A4 □/□、B5 □/□、A5 □/□ (幅：90 mm ~ 297 mm、長さ：140 mm ~ 432 mm)
収容枚数	普通紙、再生紙：100 枚 特殊紙 (厚紙、OHP フィルム、官製はがき、ラベル用紙)：20 枚 封筒：10 枚
最大消費電力	9 W 以下
大きさ	幅 (最大) 439 mm × 奥行 435 mm × 高さ 137 mm
質量	3.1 kg

12.2 日常のお手入れ

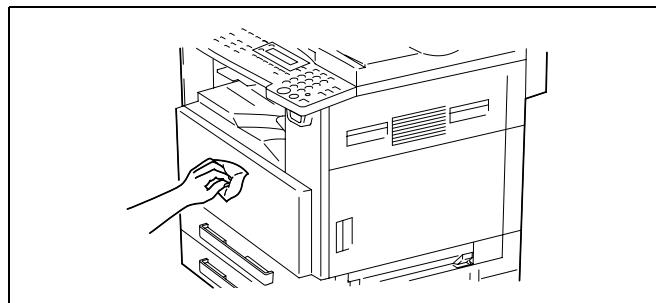
ここでは各部の清掃のしかたについて説明します。



清掃時は必ず本機のメインスイッチを OFF にしてください。

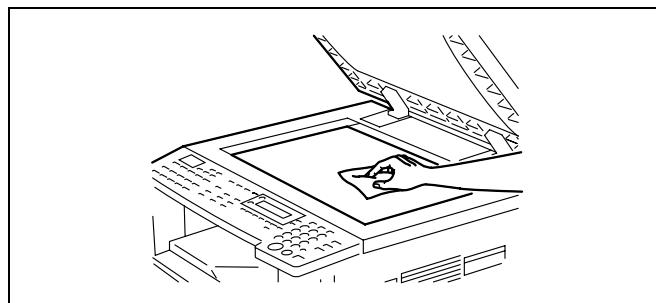
■ 外装カバー

柔らかな布に家庭用中性洗剤をつけ、外装カバーの表面の汚れを拭き取ります。



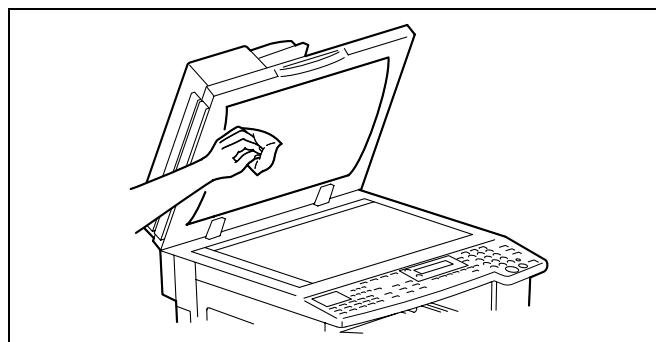
■ 原稿ガラス

柔らかな布で原稿ガラス表面をから拭きし、汚れを拭き取ります。



■ 原稿押さえパッド

柔らかな布にアルコールを付け、原稿押さえパッド表面の汚れを拭き取ります。

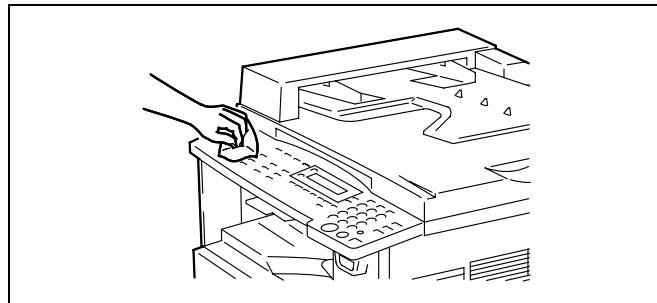


■ 操作パネル

柔らかな布で操作パネルの表面をから拭きし、汚れを拭き取ります。



操作キーを傷める恐れがあるため、家庭用中性洗剤、ガラスクリーナーなどは使用しないでください。



12.3 おもな機能の組み合わせ一覧表

■ おもな機能の組み合わせ一覧表

		後設定										先設定											
		紙	オート用紙選択	オート用紙選択	マニュアル用紙選択	マニュアル用紙選択	シングル手差し	シングル手差し	マルチ手差し	マルチ手差し	濃度設定	オート倍率	オート倍率	固定倍率	ズーム倍率	ズーム倍率	画面	画面	原稿	原稿	イレース	仕上げ	
		紙	/	/	/	/	/	/	/	/		/	/	/	/	/	モード	モード	原稿	原稿	左	左	
		紙	×	×	×	×	×	×	×	×		×	×	×	×	×	モード	モード	原稿	原稿	上	上	
		紙	-	-	-	-	-	-	-	-		-	-	-	-	-	モード	モード	原稿	原稿	折目	折目	
		紙															モード	モード	原稿	原稿	ノンゾート	ノンゾート	
		紙															モード	モード	原稿	原稿	ソート	ソート	
		紙															モード	モード	原稿	原稿	グループ	グループ	
		紙															モード	モード	原稿	原稿	ネガポジジ反转	ネガポジジ反转	
		紙															モード	モード	原稿	原稿	割込み	割込み	

機能の組み合わせ条件

- : 機能を組み合わせることができます。
 - × : 同時設定できません。先設定モードは解除されます。
 - : 同時設定できません。後設定モードは受け付けません。
 - ＼ : 機能を組み合わせることはできません。
 - (1) : 自動用紙選択は機能しません。
 - (2) : ブック分割とソート、グループは同時設定できます。
- 仕上りの設定に関わらず出力結果は同じです。

12.4 コピー用紙サイズとコピー倍率一覧表

■ コピー用紙サイズ

名称 (センチサイズ)	大きさ (センチ)	大きさ (インチ)
A3	297 mm × 420 mm	11-3/4 × 16-1/2
A4	210 mm × 297 mm	8-1/4 × 11-3/4
A5	148 mm × 210 mm	5-3/4 × 8-1/4
A6	105 mm × 148 mm	4-1/4 × 5-3/4
B4	257 mm × 364 mm	10 × 14-1/4
B5	182 mm × 257 mm	7-1/4 × 10
B6	128 mm × 182 mm	5 × 7-1/4
はがき POSTCARD	100 mm × 148 mm	4 × 5-3/4

名称 (インチサイズ)		大きさ (インチ)	大きさ (センチ)
LEDGER		11 × 17	279 mm × 432 mm
11 × 14		11 × 14	279 mm × 356 mm
COMPUTER		10-1/8 × 14	257 mm × 356 mm
10 × 14		10 × 14	254 mm × 356 mm
9-1/4 × 14		9-1/4 × 14	236 mm × 356 mm
LEGAL		8-1/2 × 14	216 mm × 356 mm
FOOL SCAP	GOVERNMENT LEGAL	8-1/2 × 13	216 mm × 330 mm
FOOL SCAP		8 × 13	203 mm × 330 mm
FOOL SCAP		8-2/3 × 13	220 mm × 330 mm
FOOL SCAP	FOLIO	8-1/4 × 13	210 mm × 330 mm
8-1/4 × 11-3/4		8-1/4 × 11-3/4	210 mm × 301 mm
LETTER		8-1/2 × 11	216 mm × 279 mm
GOVERNMENT LETTER		8 × 10-1/2	203 mm × 267 mm
QUARTO		8 × 10	203 mm × 254 mm
STATEMENT	INVOICE	5-1/2 × 8-1/2	140 mm × 216 mm

■ コピー倍率

センチサイズ		
原稿サイズ	コピー用紙	コピー倍率
A3 297 mm × 420 mm 11-3/4 × 16-1/2	A4	× 0.70
	A5	× 0.50
	B4	× 0.86
	B5	× 0.61
A4 210 mm × 297 mm 8-1/4 × 11-3/4	A5	× 0.70
	A6	× 0.50
	B5	× 0.86
	B6	× 0.61
	A3	× 1.41
	B4	× 1.22
A5 148 mm × 210 mm 5-3/4 × 8-1/4	A6	× 0.70
	B6	× 0.86
	A4	× 1.41
	A3	× 2.00
	B4	× 1.73
	B5	× 1.22
A6 105 mm × 148 mm 4-1/4 × 5-3/4	A4	× 2.00
	A5	× 1.41
	B5	× 1.73
	B6	× 1.22
B4 257 mm × 364 mm 10 × 14-1/4	A4	× 0.81
	A5	× 0.57
	B5	× 0.70
	B6	× 0.50
	A3	× 1.15
B5 182 mm × 257 mm 7-1/4 × 10	A5	× 0.81
	A6	× 0.57
	B6	× 0.70
	A3	× 1.63
	A4	× 1.15
	B4	× 1.41
B6 128 mm × 182 mm 5 × 7-1/4	A6	× 0.81
	A4	× 1.64
	A5	× 1.15
	B4	× 2.00
	B5	× 1.41

インチサイズ		
原稿サイズ	コピー用紙	コピー倍率
11 × 17 279.4 mm × 431.8 mm	11 × 14	× 0.82
	Legal	× 0.77
	Foolscap	× 0.75
	Letter	× 0.64
	Invoice	× 0.50
11 × 15 279.4 mm × 381 mm	11 × 14	× 0.93
	Legal	× 0.77
	Foolscap	× 0.75
	Letter	× 0.73
	Invoice	× 0.50
11 × 14 279.4 mm × 355.6 mm	Legal	× 0.77
	Foolscap	× 0.77
	Letter	× 0.77
	Invoice	× 0.50
Legal 8-1/2 × 14 215.9 mm × 355.6 mm	Foolscap	× 0.92
	Letter	× 0.78
	Invoice	× 0.60
	11 × 17	× 1.21
Foolscap 8-1/2 × 13 215.9 mm × 330.2 mm	Letter	× 0.84
	Invoice	× 0.65
	11 × 17	× 1.30
	11 × 14	× 1.07
Letter 8-1/2 × 11 215.9 mm × 279.4 mm	Invoice	× 0.64
	11 × 17	× 1.29
	11 × 14	× 1.27
Invoice 5-1/2 × 8-1/2 139.7 mm × 215.9 mm	11 × 17	× 2.00
	11 × 14	× 1.64
	Legal	× 1.54
	Foolscap	× 1.50
	Letter	× 1.29

コピー倍率 = コピー用紙サイズ ÷ 原稿サイズ

1 inch = 25.4 mm

1 mm = 0.0394 inch

12.5 消耗品について

本機を維持するには以下のような消耗品が必要です。

コピー品質を最良に保つため、指定の消耗品の使用をおすすめいたします。

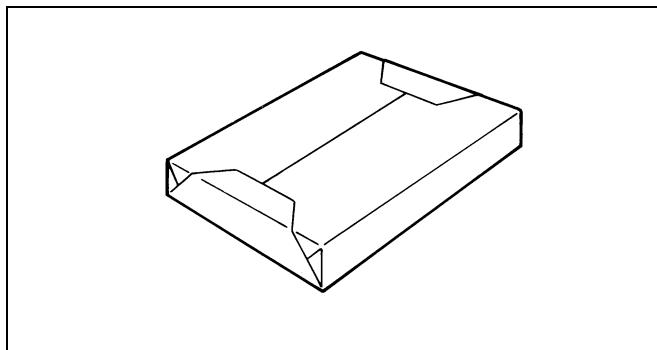
また、これらの消耗品の購入、問い合わせにつきましては、販売各社一覧表をご覧いただき最寄りの販売店にご連絡ください。

■ コピー用紙

普通紙の他に、再生紙、OHP フィルムなどがあります。



包みから取り出したコピー用紙は湿気を避けるためポリ袋に入れ、冷暗所にて保管してください。

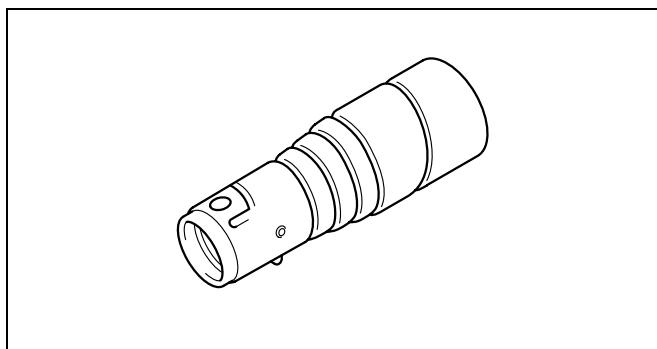


■ トナー ボトル

トナーとは、文字や線を記録する黒い粉末です。



- 本機専用のトナー／トナー ボトルを使用してください。
- 使用済みのトナー ボトルはサービス実施店で回収しますので、捨てずに保管しておいてください。



12.6 保守サービスについて

本機には以下の保守サービスシステムがあります。

- コピーキットシステム

本機専用のコピーキットをご購入いただきますと、弊社が機械の性能を維持する為の保守サービスをご提供し、感光体、現像剤をお貸しするシステムです。専門のサービス技術者を派遣し、点検、整備および交換を行います。

- スポットシステム

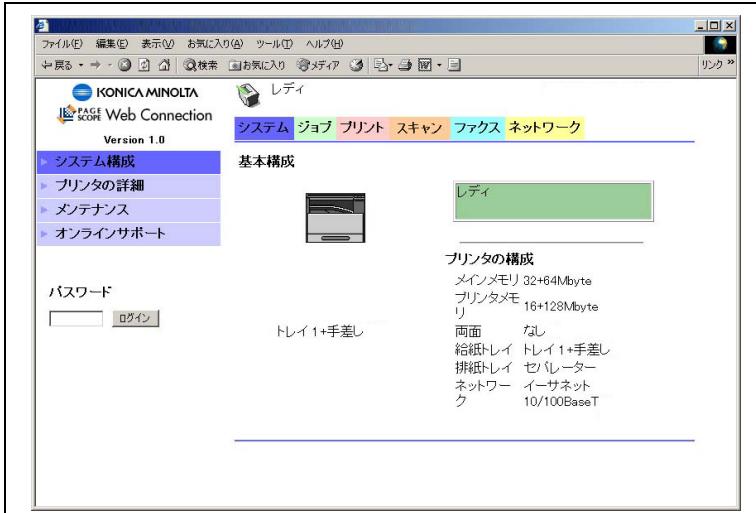
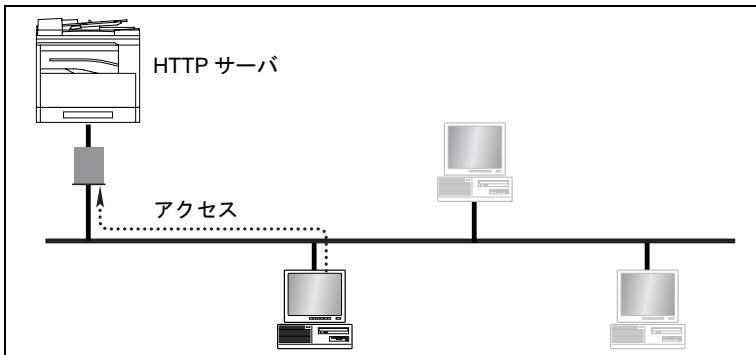
機械の保守サービスと、感光体、現像剤、トナー、部品その他関連商品の供給をお客様のご要請の都度、有料でお引き受けするシステムです。

尚、保守サービスの為に必要な補修用性能部品（機械の性能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は複写機の製造中止後 7 年間です。

12.7 PageScope Web Connectionについて

■ PageScope Web Connectionとは？

PageScope Web Connectionは、ネットワークインターフェースカードに内蔵されているHTTPサーバが提供する、デバイス管理用のユーティリティ・プログラムです。このユーティリティは、Webブラウザを通して、本体とネットワークカードを遠隔管理するために使用します。



※オプションのイメージコントローラ IC-205、拡張メモリ EM-101、拡張メモリ EM-102、セパレータ JS-503 装着時の画面です。

PageScope Web Connectionを使って、例えば、次のようなことができます。

- 設定の変更
 - ネットワーク設定の変更
 - ファックス設定の変更

● 本機の状態の遠隔監視

本機のトレイの状態、消耗品の情報、プリントのトータルカウントなどを確認できます。

プリント中、プリント待機状態など、ジョブの状況確認ができます。(管理者モードにログインすれば、ジョブを削除することができます。)

■ 動作環境

PageScope Web Connection は以下の環境で使用できます。

OS	Windows 95 (OSR 2.5)、Windows 98、Windows 98 SE、Windows Me、Windows NT 4.0、Windows 2000、Windows XP
Web ブラウザ	Microsoft Internet Explorer 4.0 以降 Netscape Navigator 4 以降

■ アクセスのしかた

PageScope Web Connection へは、Web ブラウザを使用して直接アクセスします。

1

お使いの Web ブラウザを起動します。

2

アドレス欄に本機の IP アドレスを入力し、[Enter] キーを押します。

http://<本機の IP アドレス>/

○ (例) 本機の IP アドレスが 192.168.0.100 の場合は、
以下のように入力します。

http://192.168.0.100/

3

PageScope Web Connection の画面が表示されます。

ひとこと

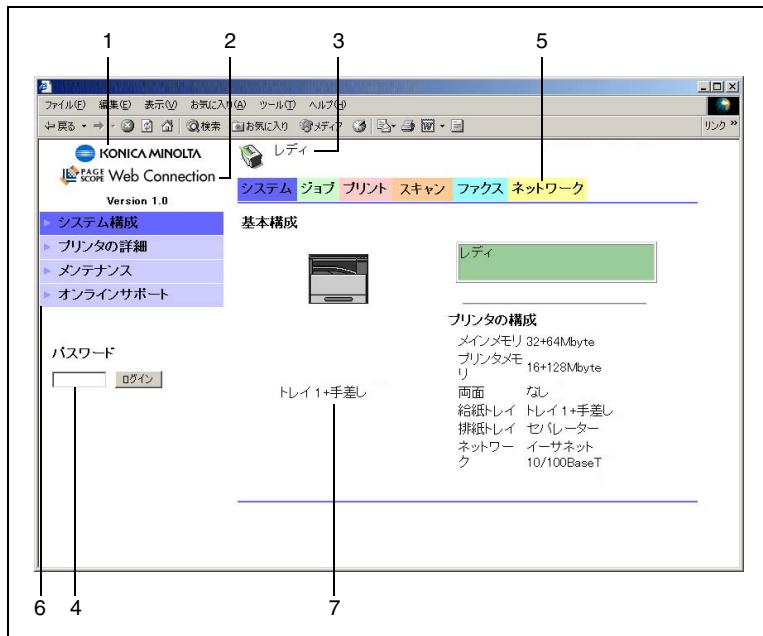
PageScope Web Connection を使用するには、事前に本体操作パネルで IP アドレスを設定しておく必要があります。

詳しく説明します

PageScope Web Connection は、インターネットの Web ページと同様に操作します。画面内のリンクをクリックしてリンク先へジャンプしたり、[戻る] または [進む] ボタンをクリックして表示を前後に進めたりすることができます。

■ 画面の説明

PageScope Web Connection にアクセスすると、以下の画面が表示されます。



※オプションのイメージコントローラ IC-205、拡張メモリ EM-101、拡張メモリ EM-102、セパレータ JS-503 装着時の画面です。

No.	名称	説明
1	ロゴ	クリックすると、メーカーの Web サイトにジャンプします。
2	ロゴ	クリックすると、PageScope ソフトウェアの Web サイトにジャンプします。
3	ステータス表示	本機の現在の状況が表示されます。
4	管理者用パスワード	パスワードを入力すると管理者モードにログインできます。
5	タブ	各種設定のカテゴリを選択します。
6	メニュー	設定項目または表示する情報を選択します。
7	情報・設定の表示	メニューで選択している項目の内容が表示されます。

ひとこと

本書に掲載されている画面イメージは、実際のものと異なる場合があります。また、画面は予告なく変更することがありますのでご了承ください。

■ 管理者モードへのログインのしかた

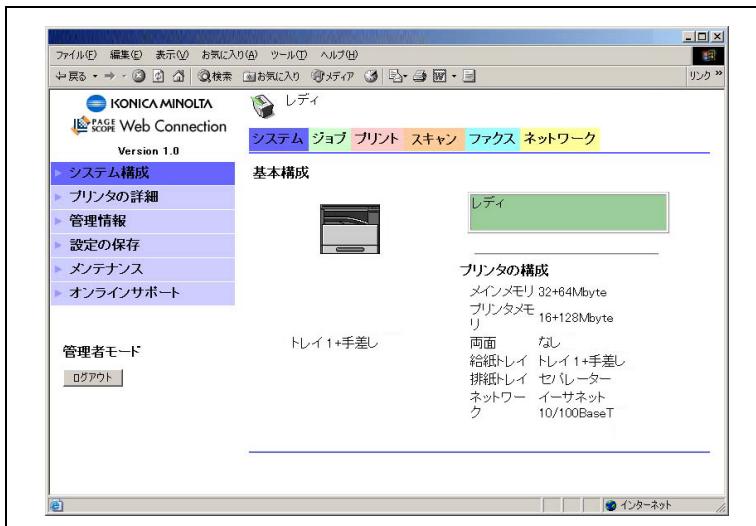
PageScope Web Connection では、管理者でないと変更できない設定があります。それらの設定項目は、管理者モードにログインしたときのみ表示されます。

1

画面の左側にある「パスワード」ボックスに、管理者用パスワードを入力します。

2

[ログイン] ボタンをクリックして、管理者モードにログインします。



※オプションのイメージコントローラ IC-205、拡張メモリ EM-101、拡張メモリ EM-102、セパレータ JS-503 装着時の画面です。

3

ログアウトするときは、[ログアウト] ボタンをクリックします。



管理者モードで PageScope Web Connection にログインしているときは、本体を使用できません。



管理者モードへのログイン
パスワードの初期値は
「sysadm」です。
管理者用パスワードは、管
理者モードで必ず変更して
おいてください。

ひとこと

何も操作を行わない状態で
10 分間経過すると、
PageScope Web Connection では自動的にロ
グアウトします。

12

■ LSD とは

LSD とは Local Setup for Diagnostic のことで、このソフトをインストールした PC を本機に接続すると、PC から本機の設定を変更したり、カウンタの確認やマシンの状態を確認したりすることができます。

LSD を使って、以下のようなことができます。

- 本機のワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、グループの登録内容を PC に保存
- 本機のワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、グループの登録内容を変更
- 本機のユーティリティメニューの設定
- トータルカウンタの確認
- コンフィギュレーションページの確認

■ LSD の動作環境

LSD を PC にインストールするには以下の環境が必要です。

オペレーティングシステム	Windows 98 Second Edition、Windows Me、Windows 2000、Windows XP
CPU	Pentium II 以上
メモリ	OS が推奨するメモリ容量 OS および使用するアプリケーションにおいて、メモリリソースが十分であること。
ハードディスク 空き容量	100 MB 以上
Web ブラウザ	Internet Explorer Ver 5.0 以降

ひとこと

USB ケーブルは A タイプ (4 ピンオス) -B タイプ (4 ピンオス) のものを使用してください。USB ケーブルは 3 m 以下をおすすめいたします。

接続に使用するインターフェイス

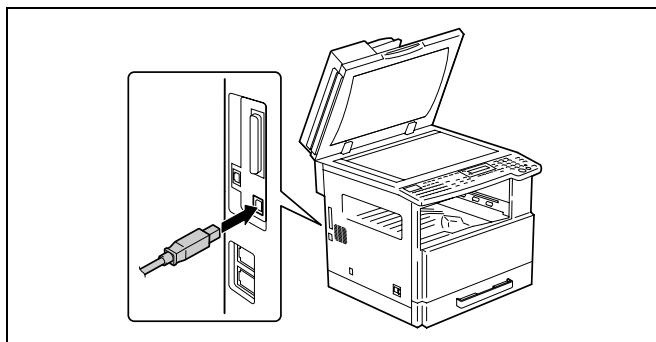
- USB インターフェース、USB ケーブル

■ セットアップの流れ

LSD を使用する前に本機とパソコンを接続し、LSD を PC へインストールする必要があります。

1

本機とパソコンを接続します。



2

本機同梱の TWAIN ドライバ、プリンタ ドライバをインストールします。

3

パソコンに LSD をインストールします。



インストール手順については、プリンタ ドライバ、TWAIN ドライバのマニュアルをごらんください。



インストール手順については、「LSD のインストール」(p. 12-20) をごらんください。

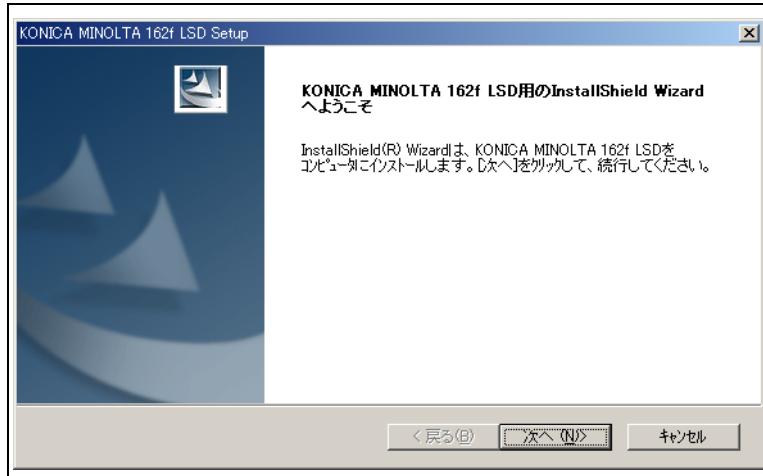
■ LSD のインストール

1

LSD\Setup.exe をダブルクリックします。

2

インストーラが起動します。

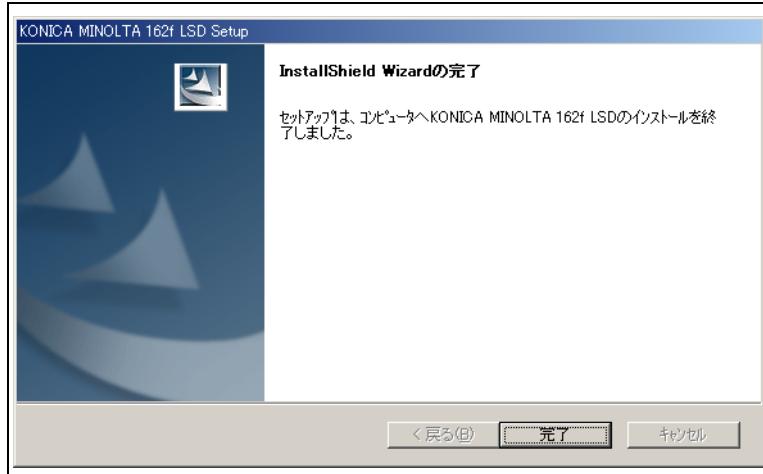


3

[次へ] をクリックし、画面のメッセージにしたがって操作します。

4

LSD のインストール終了メッセージが表示されたら [完了] をクリックします。

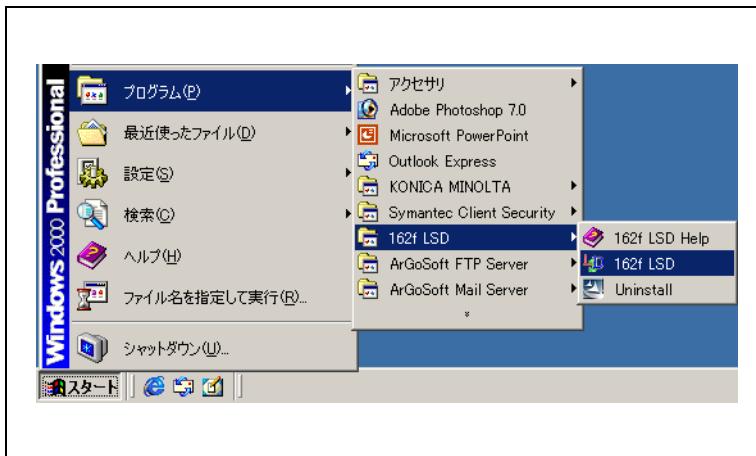


LSD のインストールが完了しました。

■ LSD を起動する

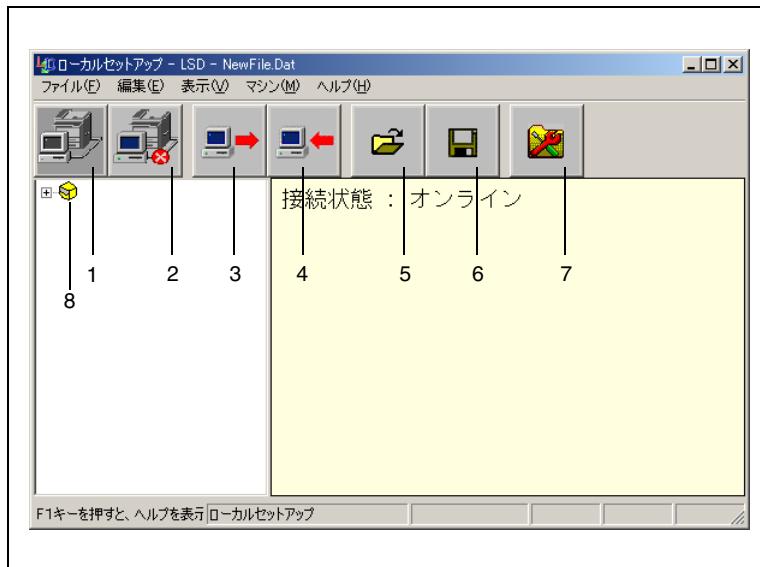
1

[スタート] – [プログラム] – [162f LSD] をクリックします。



LSD 画面が表示されます。

■ LSD 画面について



No.	名称	説明
1	接続アイコン	LSD と本機を接続します。
2	切断アイコン	LSD と本機の接続を切断します。
3	アップロードアイコン	設定ファイルを本機に送信します。
4	ダウンロードアイコン	本機の設定を PC に送信します。
5	開くアイコン	設定ファイルを開きます。
6	上書き保存アイコン	設定ファイルを上書きします。
7	ユーティリティ設定アイコン	ユーティリティ設定画面を表示します。
8	本機アイコン	本機アイコン  をクリックすると、本機のワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、グループを表示します。

■ 本機と接続する

1

 をクリックします。

LSD と本機が接続されると「接続状態：オンライン」と表示されます。

ひとこと

「マシン」メニュー - 「接続」をクリックしても接続できます。

詳しく説明します

LSD で操作しているときは、本機操作パネルから操作できません。

■ 本機から登録内容をダウンロードする

1

 をクリックします。

■ ワンタッチダイヤルに登録する

1

本機アイコン  をクリックし、ワンタッチダイヤルをクリックします。

2

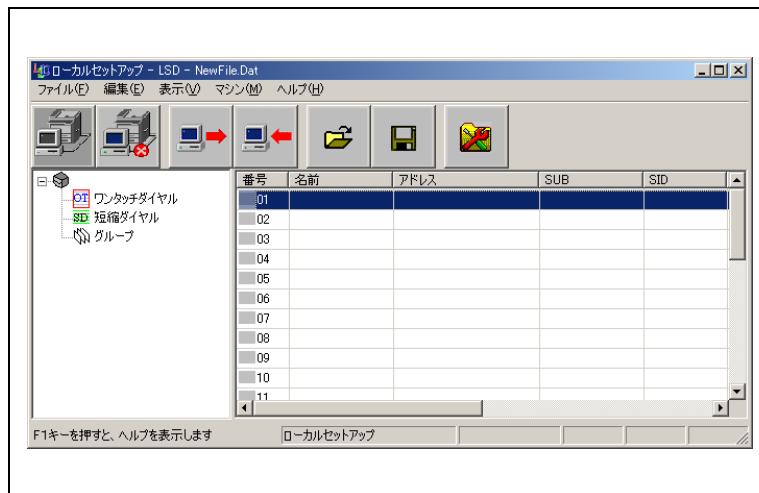
表示されたリストから登録したい番号をダブルクリックします。

ひとこと

「マシン」メニュー - 「ダウンロード」をクリックしてもダウンロードできます。

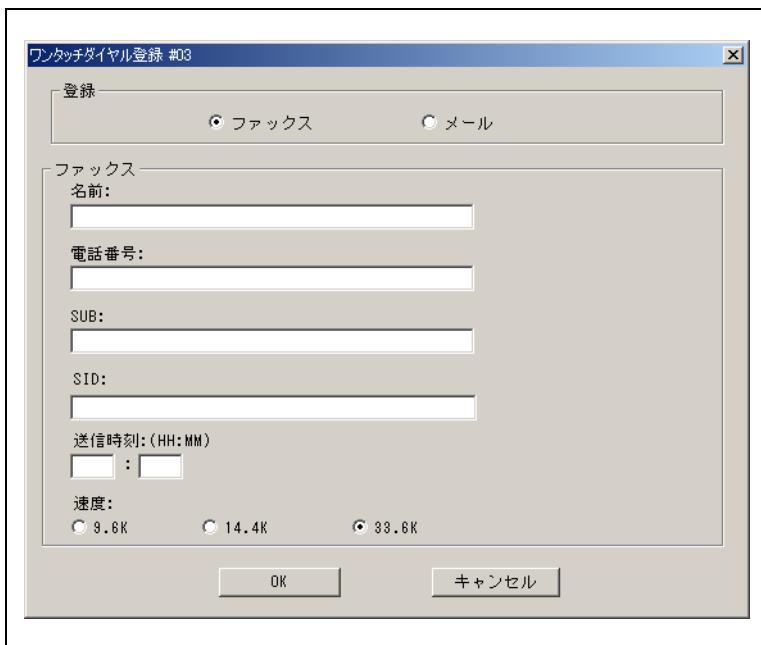
詳しく説明します

ワンタッチダイヤルには、27 の宛先を登録できます。



3

ワンタッチダイヤル登録画面で、必要な項目を入力します。



詳しく説明します

入力できる文字は半角カタカナ、半角数字、半角アルファベットのみです。

4

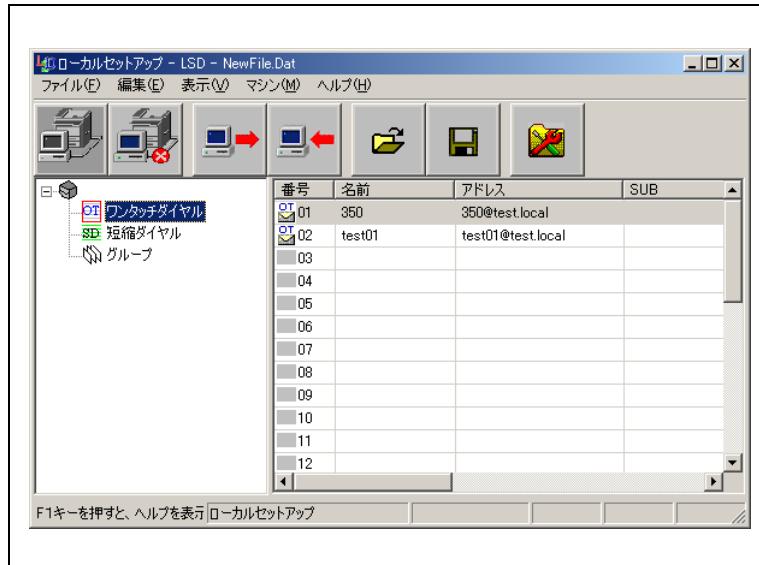
[OK] をクリックします。

ワンタッチダイヤルの登録が完了しました。

■ ワンタッチダイヤルを編集する

1

- 本機アイコン  をクリックし、ワンタッチダイヤルをクリックします。
- すでに登録されているワンタッチダイヤルを選択し、設定内容を変更できます。



登録内容を編集するときに、「編集」メニューから「切り取り」、「コピー」、「貼り付け」、「削除」を選択できます。

12

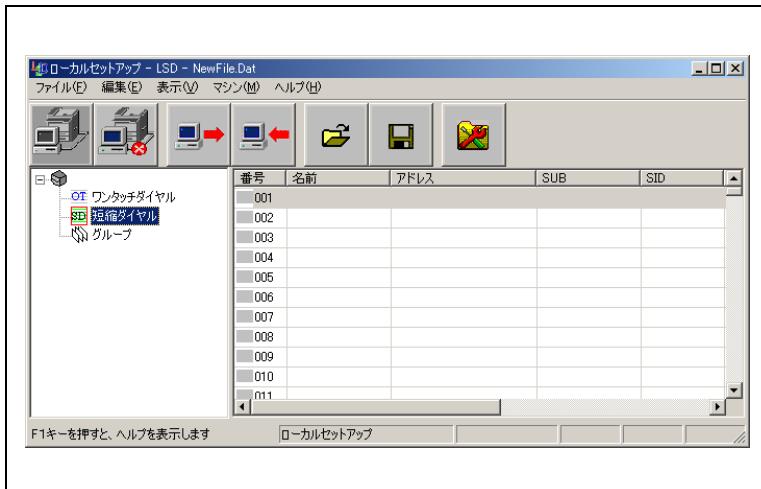
■ 短縮ダイヤルに登録する

1

本機アイコン  をクリックし、短縮ダイヤルをクリックします。

2

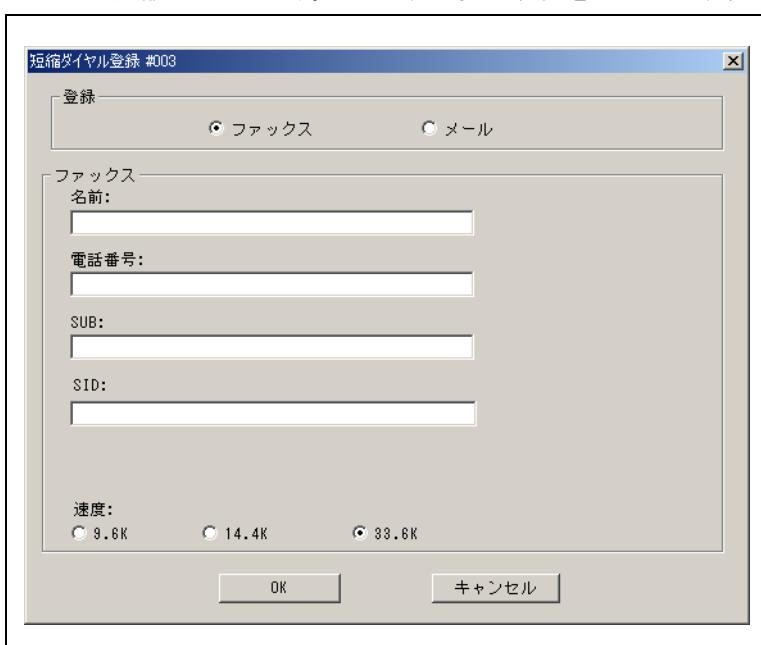
表示されたリストから登録したい番号をダブルクリックします。



短縮ダイヤルには、200の宛先を登録できます。

3

短縮ダイヤル登録画面で、必要な項目を入力します。



入力できる文字は半角カタカナ、半角数字、半角アルファベットのみです。

4

[OK] をクリックします。

短縮ダイヤルの登録が完了しました。

12

■ 短縮ダイヤルを編集する

1

- 本機アイコン  をクリックし、短縮ダイヤルをクリックします。
- すでに登録されている短縮ダイヤルを選択し、設定内容を変更できます。



登録内容を編集するときに、「編集」メニューから「切り取り」、「コピー」、「貼り付け」、「削除」を選択できます。

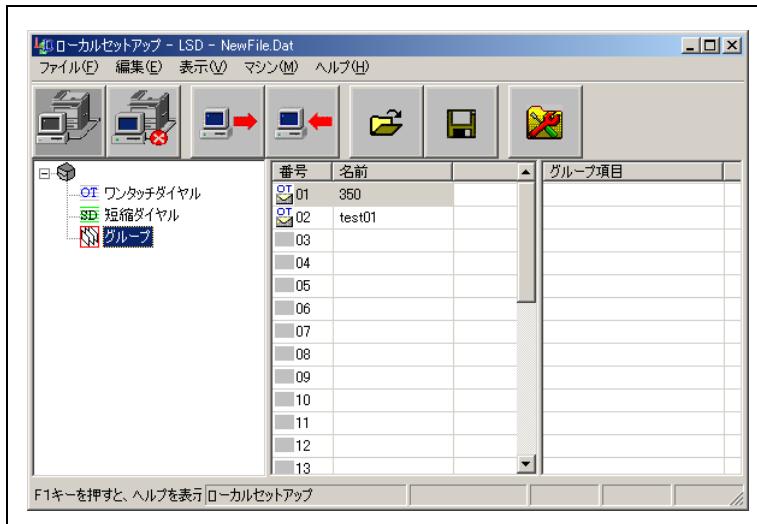
■ グループに登録する

1

本機アイコン  をクリックし、グループをクリックします。

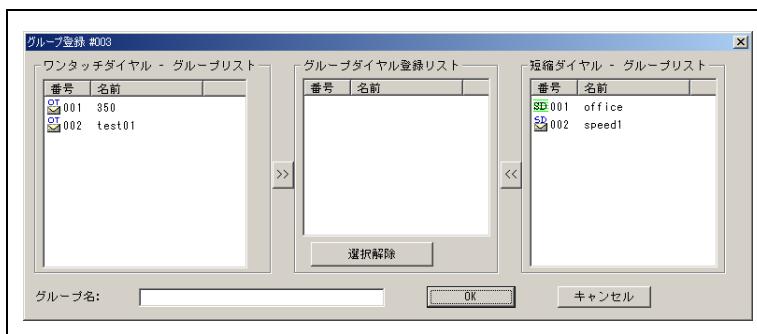
2

表示されたリストから登録したい番号をダブルクリックします。



3

グループ登録画面で、グループに登録する番号を選択し   をクリックします。



4

グループ名を入力します。

5

[OK] をクリックします。

グループの登録が完了しました。

ひとこと

ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルを登録してから、グループ登録を行ってください。



詳しく説明します

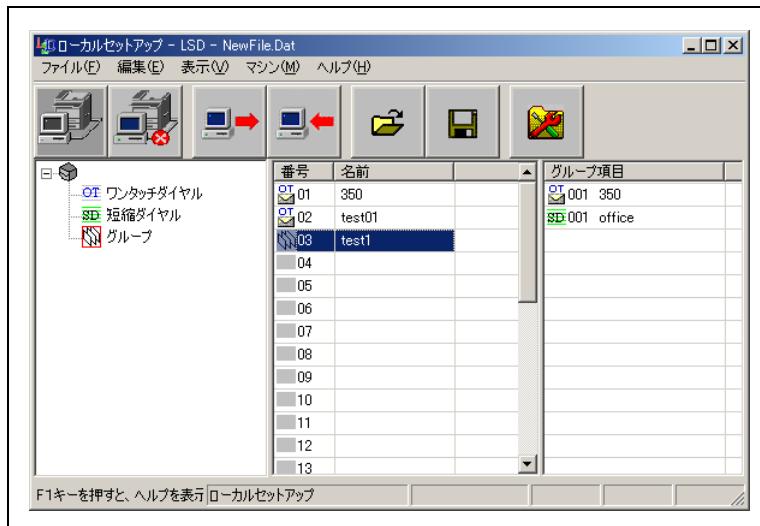
グループには、27の宛先を登録できます。

■ グループを編集する

1

グループリストを表示し、編集したいグループ番号を選択します。

○ すでに登録されているグループを選択し、設定内容を変更できます。



■ ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、グループのリストを印刷する

1

「ファイル」メニュー - 「印刷」をクリックします。

以下の画面が表示されます。



2

プリントしたい項目にチェックをいれ、[OK] をクリックします。

■ 設定内容を PC に保存する

1

 をクリックします。

2

保存先を指定し、ファイル名を入力します。

3

[保存] をクリックします。

ひとこと

「ファイル」メニュー - 「上書き保存」をクリックしても保存できます。

■ 設定内容を本機に保存する

1

 をクリックし、本機に設定内容を送信します。

ひとこと

「マシン」メニューの「アップロード」をクリックしても本機にデータを保存できます。

■ ユーティリティの設定をする

本機操作パネルで設定するユーティリティメニューを LSD のユーティリティ設定画面から設定できます。

1

 をクリックします。
ユーティリティ設定画面が表示されます。



LSD から設定できる項目は以下のとおりです。

説明	項目
マシン設定	オートクリア
	オートパワーオフ
	画質 (ADF)
	ブザー音量
	初期モード
	画質 (ブック)
	スリープ
	プリント濃度
	LCD コントラスト
	言語選択
給紙口設定	インチ / メトリック設定
	用紙属性
	1段目トレイ用紙

ひとこと

LSD で操作しているときは、本機操作パネルから操作できません。

ひとこと

「マシン」メニュー「ユーティリティ設定」をクリックしても表示できます。

説明	項目
コピー設定 (1)	優先用紙
	優先濃度
	濃度レベル (A)
	濃度レベル (M)
	綴じ代設定
	小サイズ原稿
	ブック綴じ位置
	イレース設定
コピー設定 (2)	優先原稿混載
	優先 APS/AMS
	優先ソート
	4in1 ページ順
	交互排紙
送信設定	読み取り濃度
	画質
	優先送信モード
	ヘッダー
受信設定	メモリ受信モード
	縮小プリント
	受信プリントモード
	受信モード
	転送モード
	呼び出し回数
	トレイ設定
	フッター
通信 / レポート	通信設定
	レポート設定
メール設定 (1)	送信者名
	メールアドレス
	SMTP サーバアドレス
	SMTP ポート番号
	SMTP タイムアウト
	初期タイトル
	メールモード
	テキスト挿入

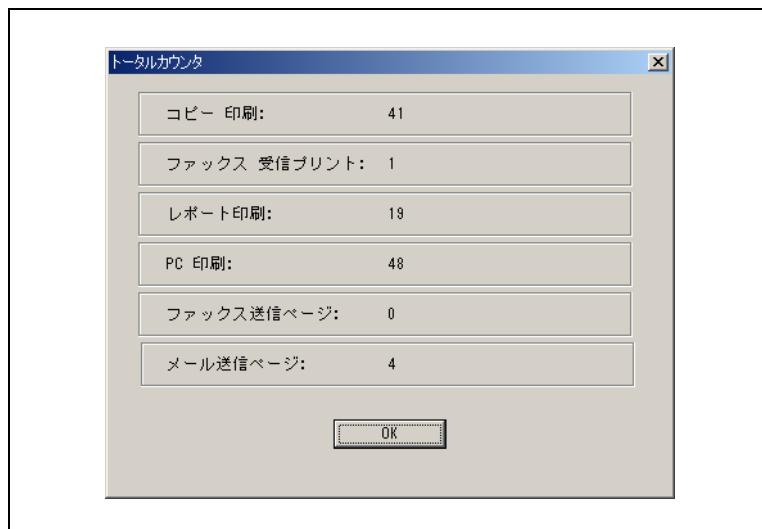
説明	項目
メール設定 (2)	POP3 サーバアドレス
	POP3 アカウント
	POP3 パスワード
	POP3 ポート番号
	POP3 タイムアウト
	自動受信
	転送アドレス
	ヘッダープリント
ネットワーク設定	IP アドレス自動設定
	IP アドレス指定
	DNS 設定
	ゲートウェイ送信
管理者	管理者モード
	オートパワーオフ
	部門管理
	リモートモニタ
スキャナ設定	画質
	フォーマット
	符号化方式

■ トータルカウンタを確認する

1

「マシン」メニュー - 「トータルカウンタ」をクリックします。

トータルカウンタが表示されます。



■ コンフィギュレーションページを確認する

1

「マシン」メニュー - 「コンフィギュレーション」をクリックします。

マシン設定リストが表示されます。



■ LSD のアンインストール

1

[スタート] – [プログラム] – [162f LSD] –
[Uninstall] をクリックします。

2

表示される画面のメッセージにしたがって操作します。

3

以下の画面が表示されたら、アンインストールの完了です。



12.9 用語一覧

用語の説明

用語	説明
オートリダイヤル	相手先が使用中などで通信できなかった場合に、自動的に再呼び出しを行います。メモリ内に送信待ちの原稿が複数ある場合は、再呼び出しする時間がくるまで、順次繰り上げて送信します。
ブック原稿	本やカタログなどの綴じられた原稿のことです。
Fコード	ITU-T（国際電気通信連合）のG3規格で制定された「SUB（サブアドレス）」、「SEP（セレクティブポーリング）」、「SID」「PWD（パスワード）」などを使用したメールボックス機能です。Fコード対応機種同士で親展通信や中継指示送信が可能です。
G3通信	G3規格（ファクシミリの国際規格）で通信します。アナログ回線（一般加入電話回線）を使用してファクス通信します。
インターネットファクス	電話回線ではなく、インターネットやイントラネットを利用してファクス通信を行うことです。相手先とは、ファクス番号ではなくEメールアドレスを指定して通信を行い、読み取った画像（TIFF形式）をEメール書類としてコンピュータやインターネットファクスに送信できます。また、コンピュータからのEメールを画像として受信できます。
一般加入回線	NTT東日本・NTT西日本・NTTコミュニケーションズやNCCが提供するアナログ電話回線（公衆網）のことです。
JBIG符号化方式	ITU-T（国際電気通信連合）の一部であるJoint Bi-level Image Expert Working Group（ジョイント・バイレベル・イメージ・エキスパート・ワーキング・グループ）で決められた、新しいデータ圧縮伸長方式のことです。ハーフトーンなどの大量データ・高解像度データの通信の際に威力を発揮します。
手動受信	相手と電話で話したあとに、そのまま原稿を受信することができます。
手動送信	相手と電話で話したあとに、そのまま原稿を送ることができます。
メモリ	ファクスやコピーの画像データを記憶します。メモリを増設することにより、より多くの画像データをメモリに蓄積できるようになります。
ネットワークスキャナ	読み取った画像をネットワーク経由でコンピュータに送る機能です。Eメール書類として送信したり、FTPサーバにアップロードしたりできます。
オンフック	受話器を置いたままダイヤルすることができます。【オンフック】を使用します。

用語	説明
PBX（構内交換機）	Private Branch Exchange の略。 会社や工場などで、数本の局線に多数の電話機を接続したり、これらの電話機の間を内線として自由に接続できるようにした交換機のことです。
プッシュ信号	電話回線で使用される電気信号の一つで、プッシュ回線（PB）をお使いの場合に聞こえる「ピッ、 ポッ、パッ」という音の信号のことです。プッシュ回線で電話をかける場合や、プッシュホンサービスを利用する場合などに使われます。 テンキーの【*】を押すと、ダイヤル回線でもプッシュ信号を使用するサービスを利用することができます。

数字・記号

- 2in1 コピー 5-2
4in1 コピー 5-2

アルファベット

- F コード 7-2
LCD コントラスト 8-12
LSD (Local Setup for Diagnostic) 12-18
OHP フィルム 4-16, 4-25
PageScope Web Connection 9-77, 12-14
PBX 3-31
PSTN 3-31
TEL/FAX 切替え 9-68

あ行

- 一括送信 6-37, 9-31
イレース 5-5, 5-12
印刷ジョブの消去 4-8
印刷の再開 4-8
印刷の停止 4-8
オートトレイチェンジ機能 4-11
オートパワーオフ 2-20, 8-8
オートパワーオフしない設定 8-25
オート用紙 4-9
オートリセット 2-20, 8-6
オプション
　セパレータ 2-9
　ペーパーフィーダーユニット 2-8
　マルチ手差しトレイ 2-7
おもな機能の組み合わせ一覧表 12-8

か行

- 回線設定 3-29
画質 9-46
画質 (ADF) 8-9
画質 (原稿ガラス) 8-10
画像コピー／プリント領域 3-6
画像トラブルの処理 11-2
紙づまりの処理 10-5
　原稿送り装置 10-14
　第 2/ 第 3/ 第 4/ 第 5 トレイ 10-10
　本体 10-6
　マルチ手差しトレイ 10-12
官製はがき 4-15, 4-36
管理者保守モード 8-24

給紙カバー 2-7

グループダイヤル 6-15, 9-15

クローズドネットワーク 9-63

原稿 3-12

原稿ガラス使用時読み込み画質 8-10

原稿づまり 10-14

原稿のセット 3-14

　OHP フィルム 3-16

　原稿ガラス 3-15

　混載原稿 3-18

　透明度の高い原稿 3-16

　ブック原稿 3-17

交互グループ 5-8

交互ソート 5-8

固定倍率 4-41

コピー禁止事項 23

コピーする

　基本的なコピーのとりかた 4-2

コピー設定

　4in1 ページ順 8-51

　イレース幅の調整 8-45

　交互排紙の設定 8-52

　登録 5-17

　とじ代幅の調整 8-44

　ブックとじ位置 8-43

　優先混載原稿 8-48

　優先自動選択 8-49

　優先ソート 8-50

　優先濃度 8-40

　優先濃度レベル (オート) 8-41

　優先濃度レベル (マニュアル) 8-42

　優先用紙 8-39

　呼出し 5-18

　コピー濃度の設定 4-46

　コピー濃度の変更 4-45

　コピー用紙サイズとコピー倍率一覧表 12-9

さ行

時刻指定送信 6-35, 9-23

時刻設定 3-25

自動原稿送り装置 12-4

自動受信 6-39, 9-59

縮小プリント 9-57

受信結果 6-30, 9-76

受信プリント 9-58

手動受信 6-43, 9-59

手動送信 6-27

順次同報送信 6-20, 9-21

仕様 12-2

省エネルギー	2-21
使用環境	1-13
小サイズ原稿	8-46
使用上のご注意	1-13
消耗品	24, 1-14, 12-12
初期モード	2-19, 8-14
白黒反転コピー	5-14
親展受信	7-8
親展送信	7-6, 9-25
親展ボックス	9-35
設置環境	1-11
設置スペース	1-12
設置電源	1-11
セパレータ	12-4
操作パネル	2-10
ID キー	5-19
ユーティリティキー	8-3
割込みキー	4-48
送信結果	6-30, 9-75
即時送信	6-34, 9-48

た行

第1トレイ用紙の設定	8-18
タイムゾーン	3-25
短縮ダイヤル	6-14, 9-10
チェーンダイヤル	6-19
中継指示送信	7-16, 9-29
中継同報送信	7-18
中継ボックス	9-39
通信回線	3-31
通信結果	6-30, 9-75, 9-76
露とり	8-22
ディスプレイの角度	2-15
ディスプレイ表示	2-16
低電力モード	2-20, 8-7
手差しコピー	4-13
電源	2-19
転送	7-19, 9-60
転送受信	6-43, 9-64
電話帳	6-17
トーン	3-29
とじ代	5-15
トナー交換	10-2
トナー補給	8-23
ドラムドライ	8-22
トレイ設定	8-15, 9-62

な行

日常のお手入れ	12-6
ネガポジ反転	5-14
濃度	9-45

は行

排出面と通紙方向	21
倍率設定	4-39
オート倍率	4-40
タテ・ヨコ独立変倍	4-43
発信元名登録	3-28
パルス	3-29
日付設定	3-25
ファクス受信	6-39, 9-59
自動受信	6-39, 9-59
縮小プリント	9-57
受信プリント	9-58
手動受信	6-43
親展受信	7-8
転送	7-19, 9-60
転送受信	6-43, 9-64
ポーリング受信	7-13, 9-27
メモリ受信	6-38, 9-53
ファクス送信	6-2
一括送信	6-37, 9-31
画質	6-10, 9-46
グループダイヤル	6-15, 9-15
時刻指定送信	6-35, 9-23
手動送信	6-27
順次同報送信	6-20, 9-21
親展送信	7-6, 9-25
即時送信	6-34, 9-48
短縮ダイヤル	6-14, 9-10
チェーンダイヤル	6-19
中継指示送信	7-16, 9-29
中継同報送信	7-18
電話帳	6-17
プログラムダイヤル	6-16, 9-19
ポーリング送信	7-9
メモリ送信	6-34, 9-48
リダイヤル	6-24
ワンタッチダイヤル	6-13, 9-5
ファクス番号登録	3-27
封筒	4-18, 4-33
ブザー	8-13
ブック分割コピー	5-5
フッター	9-61
部門管理の設定	8-27
プリント濃度	8-11
プログラムダイヤル	6-16, 9-19

ページの見かた	20
ペーパーフィーダーユニット	2-8, 12-4
ヘッダー	9-49
ポーリング受信	7-13, 9-27
ポーリング送信	7-9
保守サービスについて	12-13
本体設定	8-4

ま行

前カバー	10-2
マシンカウンタ	4-50
マニュアル用紙選択	4-10
マルチ手差し給紙ユニット（マルチ手差し）	12-5
メールボックス	7-5
メッセージ	10-17
メモリ受信	6-38, 9-53
メモリ送信	6-34, 9-48
文字入力	
入力モード	3-21
入力例	3-22
モニタ音量	9-67

や行

ユーザー保守モード	8-22
ユーティリティ	
コピー設定 1	8-38
コピー設定 2	8-47
ユーティリティキー	2-10, 8-2, 9-2
用語一覧	12-37
用紙	4-9
用紙サイズ自動検出	8-17
用紙のセット	3-8
用紙の保管	3-7
用紙補給のしかた	
第 1 トレイ	3-9
第 2 トレイ	3-10
第 3 トレイ	3-10
第 4 トレイ	3-10
第 5 トレイ	3-10
手差しトレイ	4-14
用紙を仕分ける（ソート、グループ）	5-7
呼び出し回数	9-56
予約コピー	2-20

ら行

ラベル用紙	4-17, 4-27
リサイクル／リユース	24
リセットキー	2-12
リダイヤル	6-24
リモートモニタ	8-35
留守番電話	6-42, 9-70
レポート	9-71

わ行

割り込みコピー	4-48
ワンタッチダイヤル	6-13, 9-5

お問い合わせは

■ 販売店連絡先

《販売店 連絡先》	
販売店名	<hr/>
電話番号	<hr/>
担当部門	<hr/>
担当者	<hr/>

■ 保守・操作・修理・サポートのお問い合わせ

この商品の保守・操作方法・修理・サポートについてのお問い合わせは、お買い上げの販売店、サービス実施店にご連絡ください。

《保守・操作・修理・サポートのお問い合わせ先》	
TEL	<hr/>

コニカミノルタ ビジネスソリューションズ株式会社

〒103-0023 東京都中央区日本橋本町1丁目5番4号

当社についての詳しい情報はインターネットでご覧いただけます。 <http://bj.konicaminolta.jp>

当社に関する要望、ご意見、ご相談、その他お困りの点などございましたら、お客様相談室にご連絡ください。
お客様相談室電話番号 フリーダイヤル：0120-510010 (受付時間：土、日、祝日を除く9:00～12:00 / 13:00～17:00)



KONICA MINOLTA

国内総販売元
コニカミノルタ ビジネスソリューションズ株式会社

製造元
コニカミノルタ ビジネステクノロジーズ株式会社
〒100-0005 東京都千代田区丸の内一丁目6番1号 丸の内センタービルディング